
浦安市

子ども・子育て支援総合計画に関する

基礎調査報告書(案)

平成 31 (2019) 年 3 月

浦 安 市

目 次

第1章 基礎調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の種類と実施方法	1
3. アンケートの配布と回収状況	1
4. アンケート調査結果の見方	2
第2章 アンケート調査結果	3
I 就学前児童保護者調査	3
1. お子さんご家族の状況について	3
2. 平日の定期的な施設・事業の利用状況について	16
3. 地域の子育て支援事業の利用状況について	34
4. 病気やケガの際の対応について	39
5. 不定期の教育・保育事業の利用について	44
6. 小学校就学後における放課後の過ごし方について【5歳児限定】	50
7. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	51
8. 子育てに関する意識について	56
II 小学校児童保護者調査	72
1. お子さんご家族の状況について	72
2. お子さんの放課後や土曜日の過ごし方について	83
3. 児童育成クラブの利用状況についてうかがいます。	85
4. 地域の子育て支援事業の利用状況について	91
5. 病気やケガの際の対応について	94
6. 不定期の子育て支援事業の利用について	98
7. 子育てに関する意識について	102
III 市民調査	114
1. 回答者ご家族の状況について	114
2. 回答者の仕事や生活について	121
3. 回答者の結婚や子育てなどについて	126
4. 少子化などについて	133
5. 子どもや子育てなどについて	136
6. 子育て環境などについて	141
7. 浦安市子育て支援総合計画について	145
第3章 グループヒアリング結果	149
資料編	154

第1章 基礎調査概要

1. 調査の目的

本調査は、平成32年度(2020年度)から5年間を計画期間とする「第2期 浦安市子ども・子育て支援総合計画」策定にあたり、市民の子育てニーズや確保を図るべき教育・保育施設や子育て支援サービスの量の見込みなどを算定する基礎資料とするため実施したものです。

2. 調査の種類と実施方法

本調査においては、対象者別に次の3種類のアンケート調査とヒアリングを実施しました。

調査の種類	調査の対象(母集団)	実施方法
就学前児童保護者調査	市内の就学前児童(0~5歳)の保護者	無作為抽出 1,200人 郵送による配布・回収
小学生保護者調査	市内の小学生(1~4年生)の保護者	無作為抽出 800人 郵送による配布・回収
市民調査	市内にお住いの18歳以上の方	無作為抽出 2,000人 郵送による配布・回収
ヒアリング調査	子育てケアマネジャー、主催事業参加者、施設利用者	主催事業開催時等にグループヒアリング

【調査基準日】平成30年10月1日

【調査期間】

就学前児童保護者：平成30年12月14日~12月28日

小学生保護者調査：平成30年12月14日~12月26日

市民調査：平成30年12月14日~12月26日

ヒアリング調査：平成30年11月7日~平成31年2月4日

3. アンケートの配布と回収状況

調査票の配布と回収の状況は次のとおりです。

	配布数	回収数	回収率
就学前児童保護者調査	1,200票	692票	57.6%
小学校児童保護者調査	800票	450票	56.3%
市民調査	2,000票	706票	35.3%

4. アンケート調査結果の見方


- 各設問ごとにその設問内容を示すタイトルを付けています。
- タイトルの横には、次の2つのデータを並べています。
 - ①当該設問の回答対象者（限定設問である場合）。
 - ②質問形態（単回答、複数回答、数量回答、自由回答等）

単回答：「1つに○」など選択肢を1つ選ぶ質問形態

複数回答：「あてはまるものすべてに○」など2つ以上の選択を選ぶ質問形態

数量回答：日数や時間、回数などの数値を記入してもらう質問形態

自由回答：文章や単語などを自由に記載する質問形態

- 集計結果のグラフ・表における“無回答”は、当該設問への無回答のほか、回答方法の誤り等を含んでいます。
- 数表やグラフにおいては、原則として各集計数の総回答対象者数に対する比率を表示しています。
- 集計は、小数点第二位以下を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。
- クロス集計表は、トップ1項目のセルに  で着色しています。
- 各設問の選択肢等について、その意味を損なわない程度に表現を簡略化している場合があります。

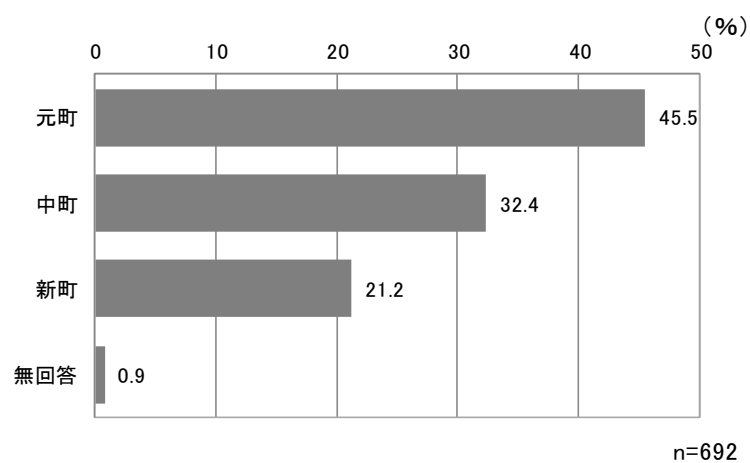
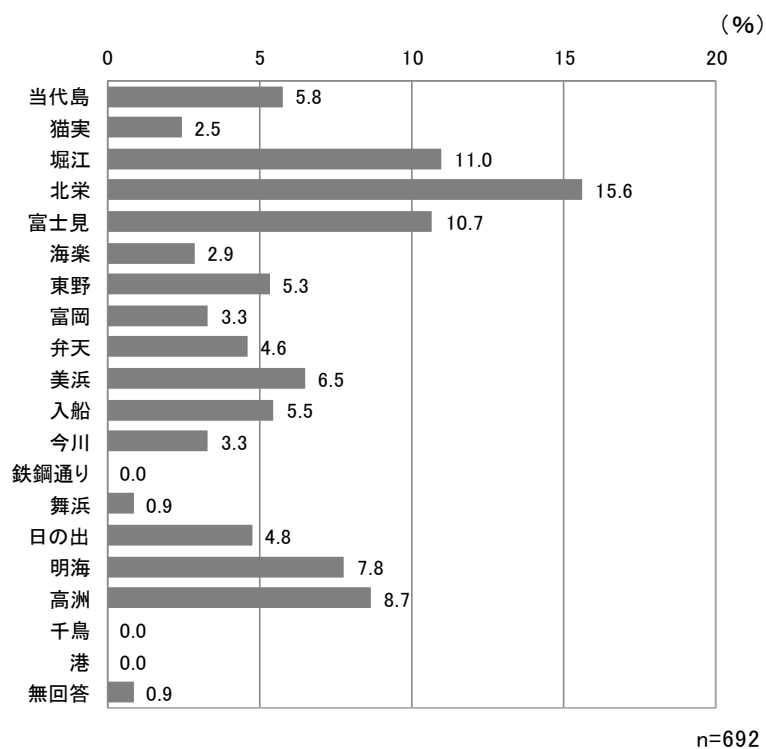
第2章 アンケート調査結果

Ⅰ 就学前児童保護者調査

1. お子さんご家族の状況について

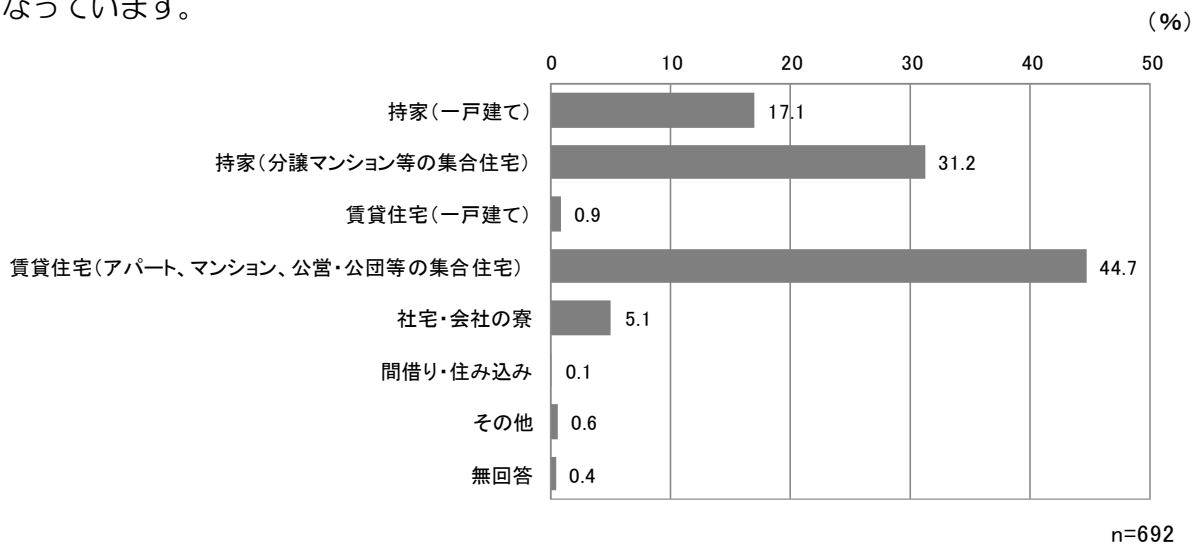
問1① 居住地域（単回答）

- 16 地区別にみると「北栄」が 15.6%で最も高く、次いで「堀江」が 11.0%、「富士見」が 10.7%の順となっています。
- 3 地域別にみると、「元町」が 45.5%、「中町」が 32.4%、「新町」が 21.2%となっています。



問1② 住まいの種類（単回答）

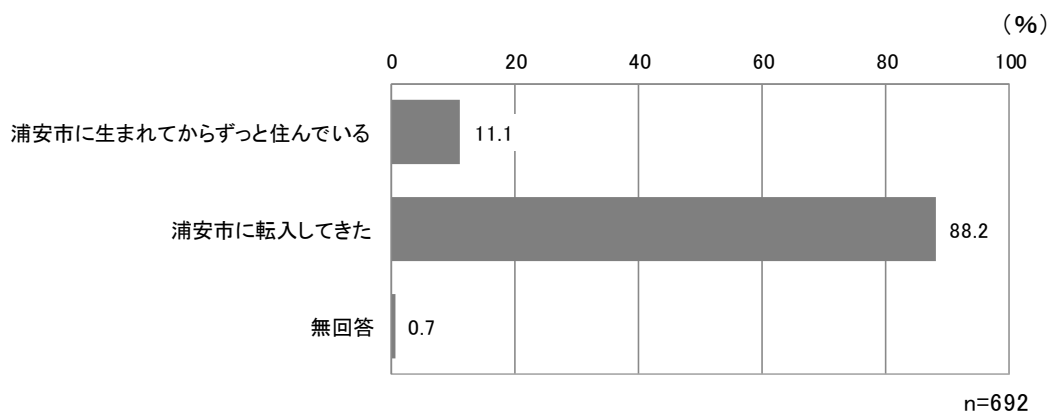
- 「賃貸住宅（アパート、マンション、公営・公団等の集合住宅）」が 44.7%で最も高く、次いで「持家（分譲マンション等の集合住宅）」が 31.2%、「持家（一戸建て）」が 17.1%の順となっています。
- 居住地域別にみると、“中町”と“新町”は、「持家（分譲マンション等の集合住宅）」が最も高くなっています。



	合計	問1②住まいの種類							
		持家（一戸建て）	持家（分譲マンション等の集合住宅）	賃貸住宅（一戸建て）	賃貸住宅（アパート、マンション、公営・公団等の集合住宅）	社宅・会社の寮	間借り・住み込み	その他	無回答
全体	692	118	216	6	309	35	1	4	3
	100.0	17.1	31.2	0.9	44.7	5.1	0.1	0.6	0.4
住まいの地域	元町	315	48	63	2	192	10	0	0
		100.0	15.2	20.0	0.6	61.0	3.2	0.0	0.0
	中町	224	52	77	4	72	15	1	3
	100.0	23.2	34.4	1.8	32.1	6.7	0.4	1.3	
新町	147	17	75	0	44	10	0	1	
	100.0	11.6	51.0	0.0	29.9	6.8	0.0	0.7	

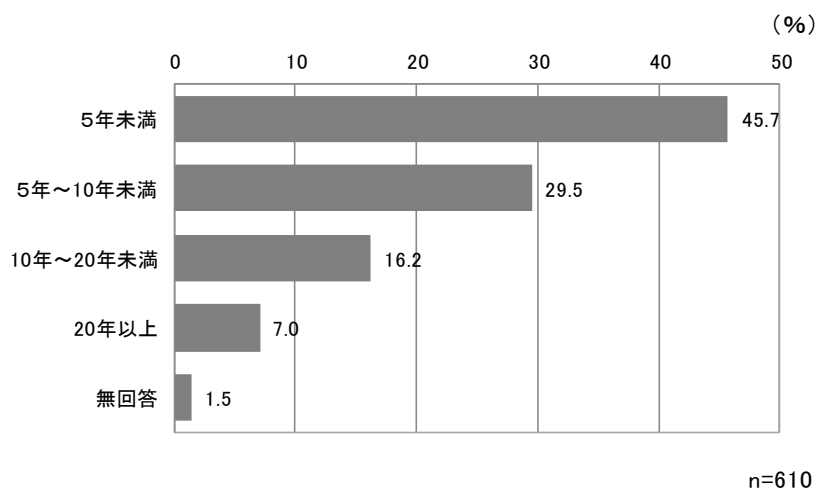
問1③ 居住歴（単回答）

- 「浦安市に転入してきた」が 88.2%、「浦安市に生まれてからずっと住んでいる」が 11.1%となっています。
- 居住地域別にみると、「浦安市に転入してきた」は新町” で 94.6%と高くなっています。



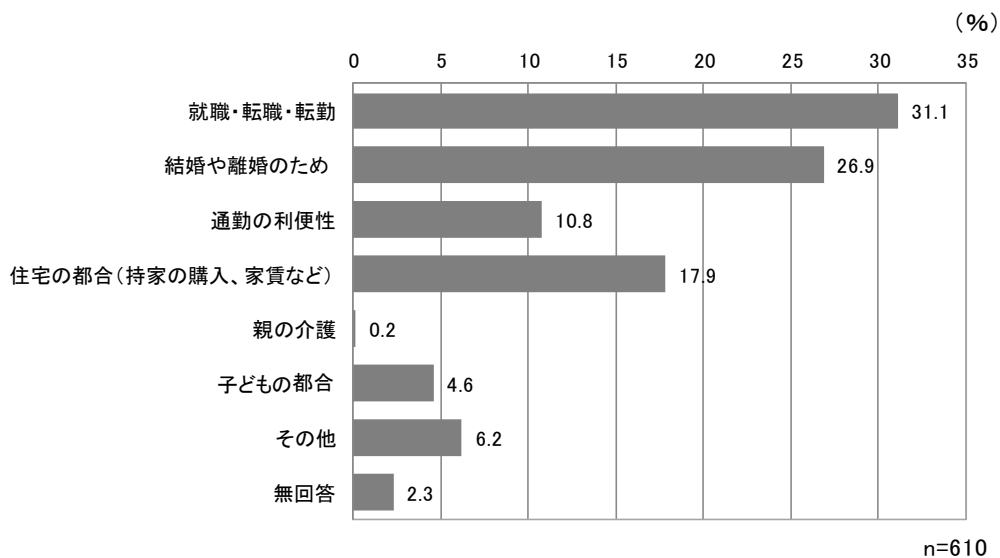
	合計	問1③居住歴		
		浦安市に生まれてからずっと住んでいる	浦安市に転入してきた	無回答
全体	692 100.0	77 11.1	610 88.2	5 0.7
住まいの地域	元町	41 100.0	272 86.3	2 0.6
	中町	29 100.0	195 87.1	0 0.0
	新町	147 100.0	7 4.8	139 94.6

- 転入者の居住歴は、「5年未満」が 45.7%で最も高く、次いで「5年～10年未満」が 29.5%となっており、合わせた『10年未満』が 75.2%となっています。



問1④ 転入の理由（単回答）【問1③で「2. 浦安市に転入してきた」と回答した方限定】

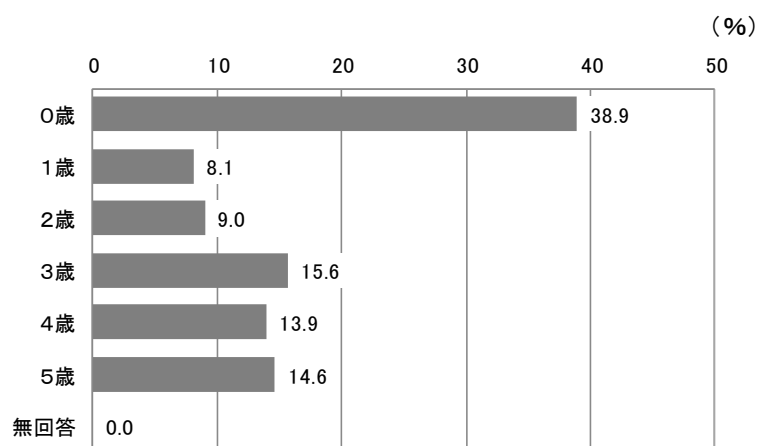
- ・転入理由は、「就職・転職・転勤」が31.1%で最も高く、次いで「結婚や離婚のため」が26.9%、「住宅の都合（持家の購入、家賃など）」が17.9%となっています。
- ・地区別の居住歴別の転入理由をみると、居住歴“5年未満”は、“元町”と“中町”では「結婚や離婚のため」が最も多く、“新町”では「就職・転職・転勤」が49.2%と多くなっています。



	合計	問1④転入された主な理由								非該当	
		就職・転職・転勤	結婚や離婚のため	通勤の利便性	住宅の都合 (持家の購入、家賃など)	親の介護	子どもの都合	その他	無回答		
全体	610 100.0	190 31.1	164 26.9	66 10.8	109 17.9	1 0.2	28 4.6	38 6.2	14 2.3	82	
居住地区×転入してからの居住歴	元町-5年未満	125 100.0	38 30.4	40 32.0	14 11.2	15 12.0	0 0.0	10 8.0	7 5.6	1 0.8	0
	元町-5年～10年未満	89 100.0	33 37.1	29 32.6	9 10.1	12 13.5	0 0.0	1 1.1	2 2.2	3 3.4	0
	元町-10年～20年未満	37 100.0	16 43.2	9 24.3	6 16.2	2 5.4	0 0.0	1 2.7	2 5.4	1 2.7	0
	元町-20年以上	18 100.0	6 33.3	2 11.1	1 5.6	5 27.8	1 5.6	0 0.0	2 11.1	1 5.6	0
	中町-5年未満	90 100.0	25 27.8	14 15.6	10 11.1	22 24.4	0 0.0	7 7.8	10 11.1	2 2.2	0
	中町-5年～10年未満	57 100.0	13 22.8	32 56.1	4 7.0	5 8.8	0 0.0	1 1.8	1 1.8	1 1.8	0
	中町-10年～20年未満	25 100.0	7 28.0	4 16.0	8 32.0	3 12.0	0 0.0	1 4.0	2 8.0	0 0.0	0
	中町-20年以上	20 100.0	5 25.0	0 0.0	0 0.0	7 35.0	0 0.0	0 0.0	7 35.0	1 5.0	0
	新町-5年未満	63 100.0	31 49.2	9 14.3	1 1.6	12 19.0	0 0.0	5 7.9	5 7.9	0 0.0	0
	新町-5年～10年未満	34 100.0	4 11.8	8 23.5	6 17.6	14 41.2	0 0.0	2 5.9	0 0.0	0 0.0	0
	新町-10年～20年未満	35 100.0	6 17.1	13 37.1	6 17.1	8 22.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.7	0
	新町-20年以上	4 100.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0

問2 子どもの年齢（数量回答）

- ・「0歳」が38.9%、「3歳」が15.6%、「5歳」が14.6%となっています。
- ・地域別にみると、“元町”は「0歳」が43.8%と他の地域に比べ高くなっています。

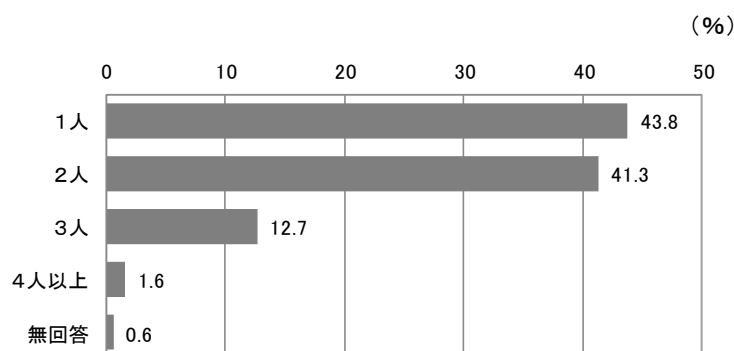


n=692

		合計	問2 子どもの年齢						無回答
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
全体		692	269	56	62	108	96	101	0
		100.0	38.9	8.1	9.0	15.6	13.9	14.6	0.0
居住地区	元町	315	138	26	23	50	36	42	0
		100.0	43.8	8.3	7.3	15.9	11.4	13.3	0.0
	中町	224	78	18	17	46	33	32	0
	100.0	34.8	8.0	7.6	20.5	14.7	14.3	0.0	
	新町	147	50	12	22	12	25	26	0
	100.0	34.0	8.2	15.0	8.2	17.0	17.7	0.0	

問3 子どもの人数（単回答）

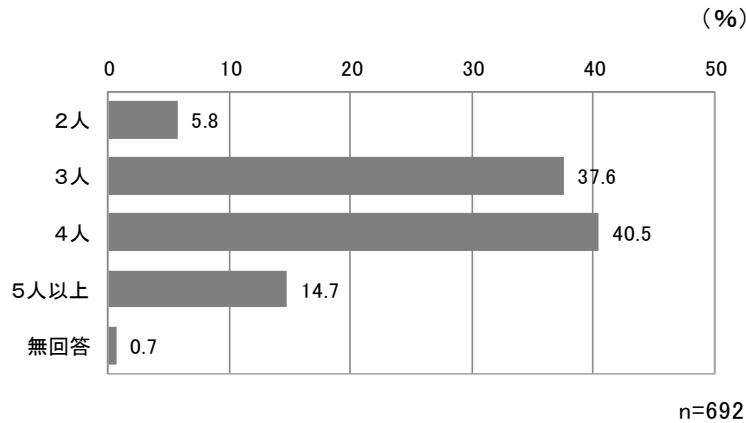
- ・「1人」が43.8%、「2人」が41.3%、「3人」が12.7%で、平均では、1.73人となっています。



n=692

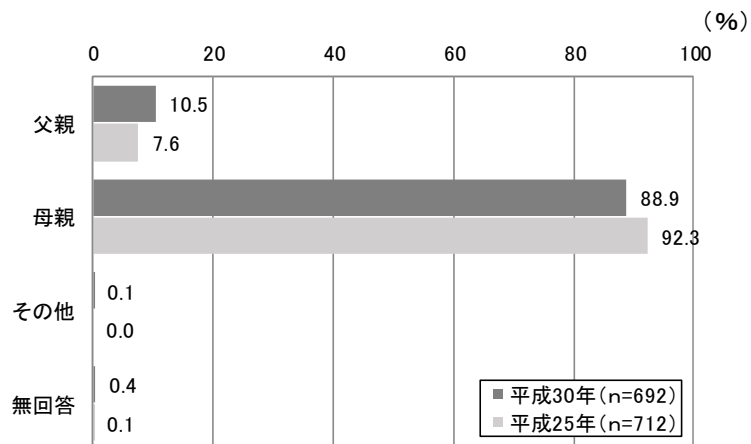
問4 世帯員の人数（数量回答）

・「4人」が40.5%、「3人」が37.6%、「5人以上」が14.7%で、平均では、3.68人となっています。



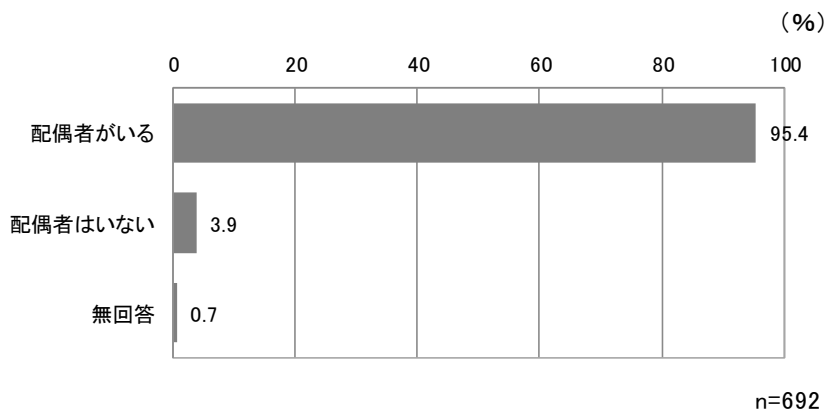
問5 回答者（単回答）

・「母親」が88.9%、「父親」が10.5%となっています。
・平成25年調査と比較すると、「父親」が2.9ポイント増加しています。



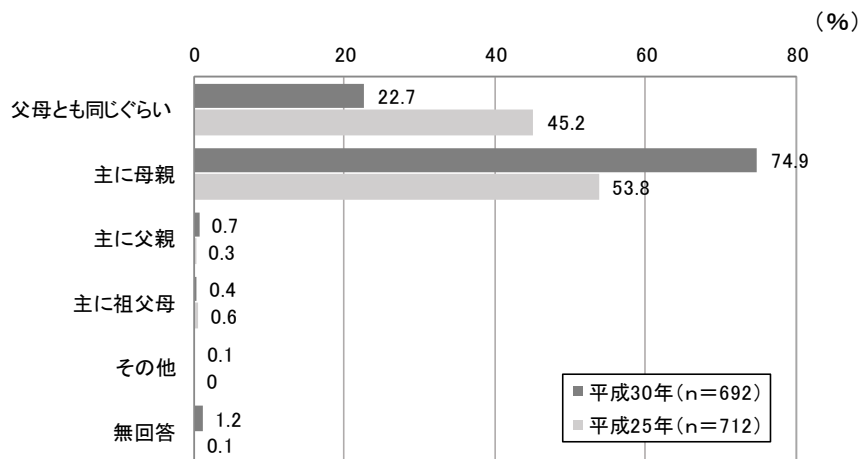
問6 回答者の配偶関係（単回答）

・「配偶者がいる」が95.4%、「配偶者がいない」が3.9%となっています。



問7 子育てを主に行っている人（単回答）

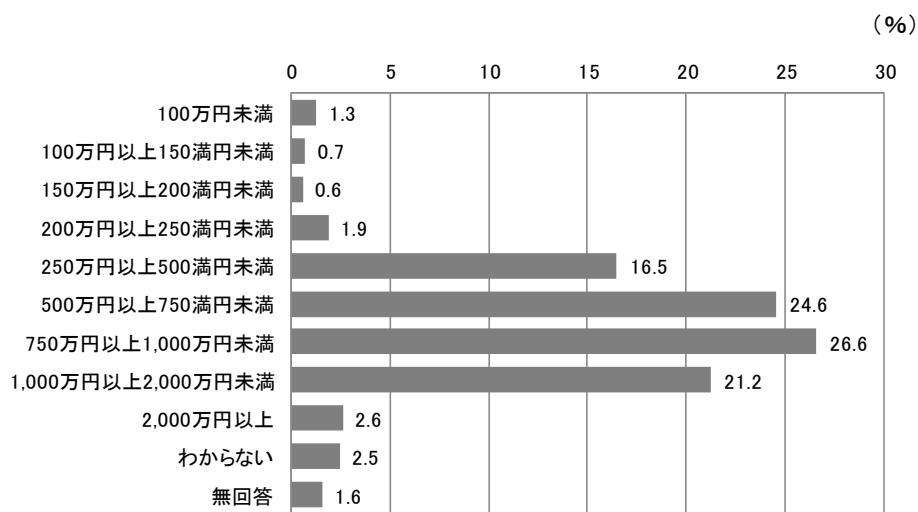
- 「主に母親」が74.9%で最も割合が高く、次いで「父母とも同じくらい」が22.7%となっています。
- 平成25年調査と比較すると、「主に母親」が21.1ポイント増加し、その反面「父母とも同じくらい」が22.5ポイント減少しています。
- 子どもの年齢別では“4歳”、地域別では“中町”で「父母ともに」の割合が最も高くなっています。



	合計	問7 子育てを主にしている方						
		父母とも同じくらい	主に母親	主に父親	主に祖父母	その他	無回答	
全体	692	157	518	5	3	1	8	
	100.0	22.7	74.9	0.7	0.4	0.1	1.2	
子どもの年齢	0歳	269	57	206	2	0	1	3
		100.0	21.2	76.6	0.7	0.0	0.4	1.1
	1歳	56	14	40	0	1	0	1
		100.0	25.0	71.4	0.0	1.8	0.0	1.8
	2歳	62	18	43	0	0	0	1
		100.0	29.0	69.4	0.0	0.0	0.0	1.6
3歳	108	20	86	1	1	0	0	
	100.0	18.5	79.6	0.9	0.9	0.0	0.0	
4歳	96	29	63	2	0	0	2	
	100.0	30.2	65.6	2.1	0.0	0.0	2.1	
5歳	101	19	80	0	1	0	1	
	100.0	18.8	79.2	0.0	1.0	0.0	1.0	
居住地	元町	315	70	240	0	1	1	3
		100.0	22.2	76.2	0.0	0.3	0.3	1.0
	中町	224	55	163	2	2	0	2
	100.0	24.6	72.8	0.9	0.9	0.0	0.9	
新町	147	31	110	3	0	0	3	
	100.0	21.1	74.8	2.0	0.0	0.0	2.0	

問8 世帯の年間収入（税込）（単回答）

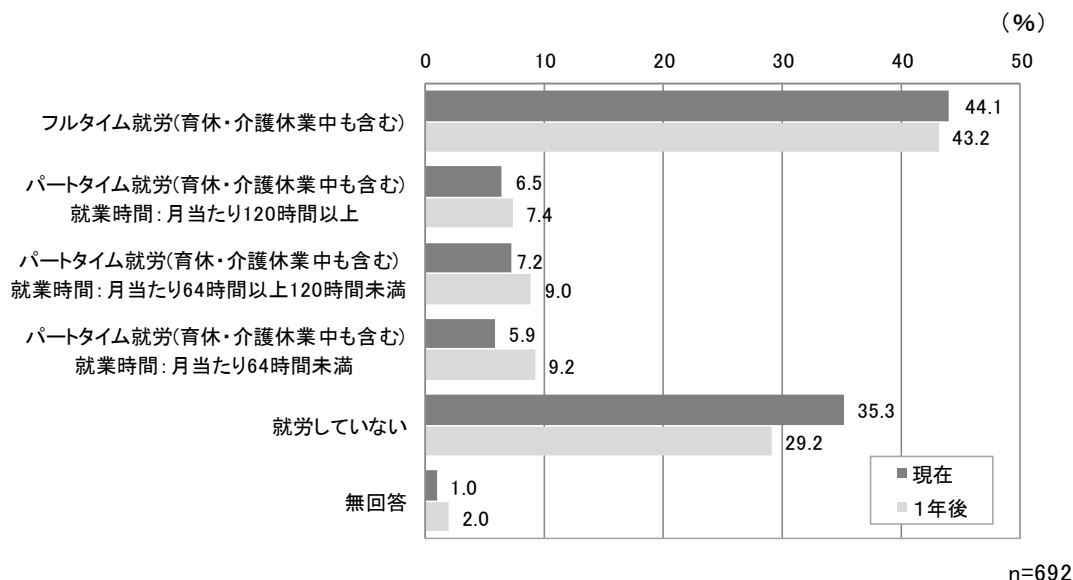
- 「750万円以上 1,000万円未満」が 26.6%でもっと高く、次いで「500万円以上 750万円未満」が 24.6%、「1,000万円以上 2,000万円未満」が 21.2%で、『1,000万円以上』が 23.8%となっています。



n=692

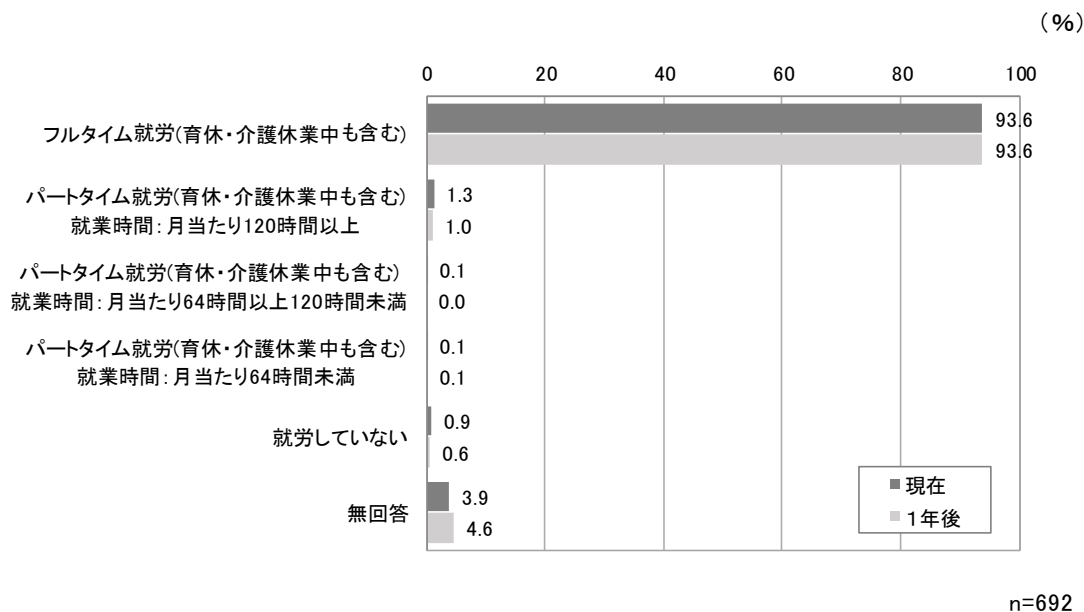
問9(1) 母親の現在の就労状況と今後の就労予定(単回答)

- 現在、1年後ともに「フルタイム就労(産休・育休・介護休業中も含む)」が最も割合が高く、次いで、「就労していない」となっています。
- 現在と1年後の就業率を比較すると、現在は63.7%、1年後は68.8%で5.1ポイント増加しています。



問9(2) 父親の現在の就労状況と今後の就労予定(単回答)

- 現在、1年後ともに「フルタイム就労(産休・介護休業中も含む)」の割合が最も高くなっており、大きな変化はみられません。



(1) 家庭類型について

保護者の就労状況については、内閣府が提示する「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き」をもとにした「家庭類型の分類」を行い、8タイプに分類しています。

母親 タイプA 父親 ひとり親		1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中	3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中			5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない
			120時間以上	64時間以上 120時間未満	64時間未満	
1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中		タイプB	タイプC	タイプC'		タイプD
3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	120時間以上	タイプC	タイプE	タイプE'		
	64時間以上 120時間未満	タイプC'				
	64時間未満					
5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない		タイプD			タイプF	

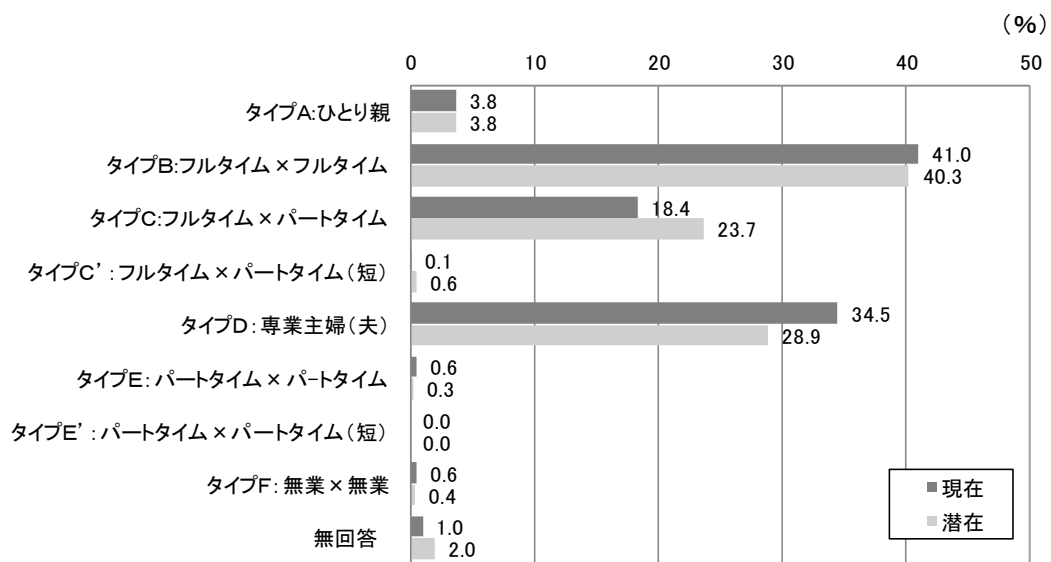
※3～5歳：平日定期的に利用している教育・保育の事業で「幼稚園」を利用しており、今後の希望でも「認可保育所」「認定こども園を選択していない」方をタイプC'・E'に分類し、それ以外をタイプC・Eとした。

0～2歳：定期的に教育・保育の事業を利用している方については、「保育の事業」を利用している方をタイプC・Eとし、現在利用していない方は、今後の希望で「保育の事業」を希望した方について、タイプC・Eとし、それ以外をタイプC'・E'とした。

(2) 家庭類型割合

ニーズ調査の結果から家庭類型を分類すると、以下のとおりで、現在の共働き家庭（タイプB、C、C'、E、E'）が60.1%から、1年後に64.9%と4.8ポイント高くなっています。

家庭類型		現在		潜在(1年後)	
		実数	割合(%)	実数	割合(%)
タイプA	ひとり親	26	3.8	26	3.8
タイプB	フルタイム×フルタイム	284	41.0	279	40.3
タイプC	フルタイム×パートタイム(月120時間以上+64時間～120時間の一部)	127	18.4	164	23.7
タイプC'	フルタイム×パートタイム(月64時間未満+64時間～120時間の一部)	1	0.1	4	0.6
タイプD	専業主婦(夫)	239	34.5	200	28.9
タイプE	パート×パート(双方月120時間以上+64時間～120時間の一部)	4	0.6	2	0.3
タイプE'	パート×パート(いずれかが月64時間未満+64時間～120時間の一部)	0	0.0	0	0.0
タイプF	無業×無業	4	0.6	3	0.4
無回答		7	1.0	14	2.0
全体		692	100.0	692	100.0

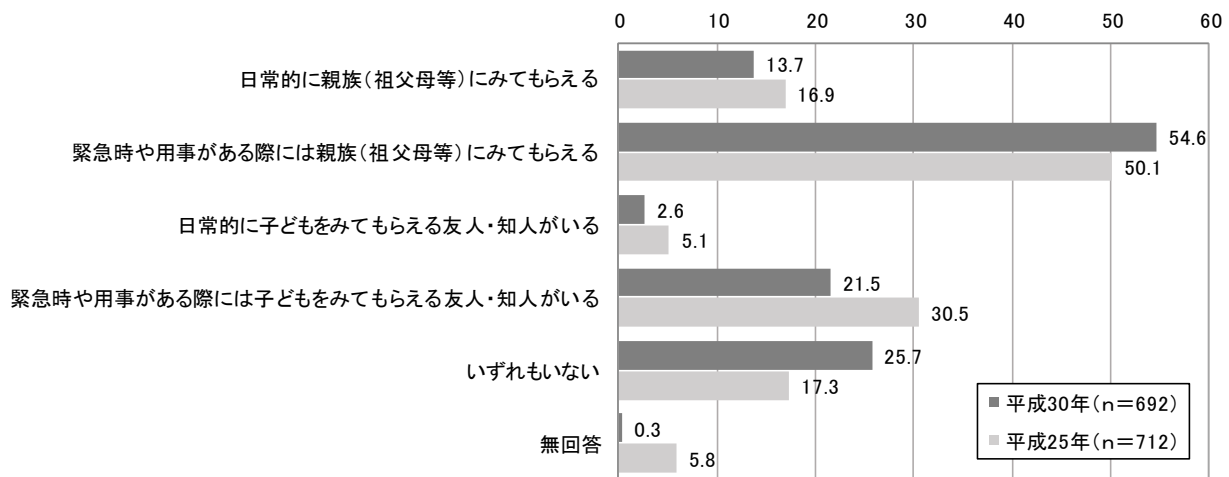


n=692

問 10 子どもを保護者に代わってみてる親族・知人の有無（複数回答）

- ・「緊急時や用事がある際には親族（祖父母等）にみてもらえる」が 54.6%で最も高く、「いずれもない」が 25.7%、「緊急時や用事がある際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 21.5%の順となっています。
- ・平成 25 年調査と比較すると、「いずれもない」は 8.4 ポイント増加しています。
- ・「いずれもない」の割合は、子どもの年齢別では“2歳”、現在の家庭類型別では、“タイプC（フルタイム×パートタイム）”で最も高くなっています。

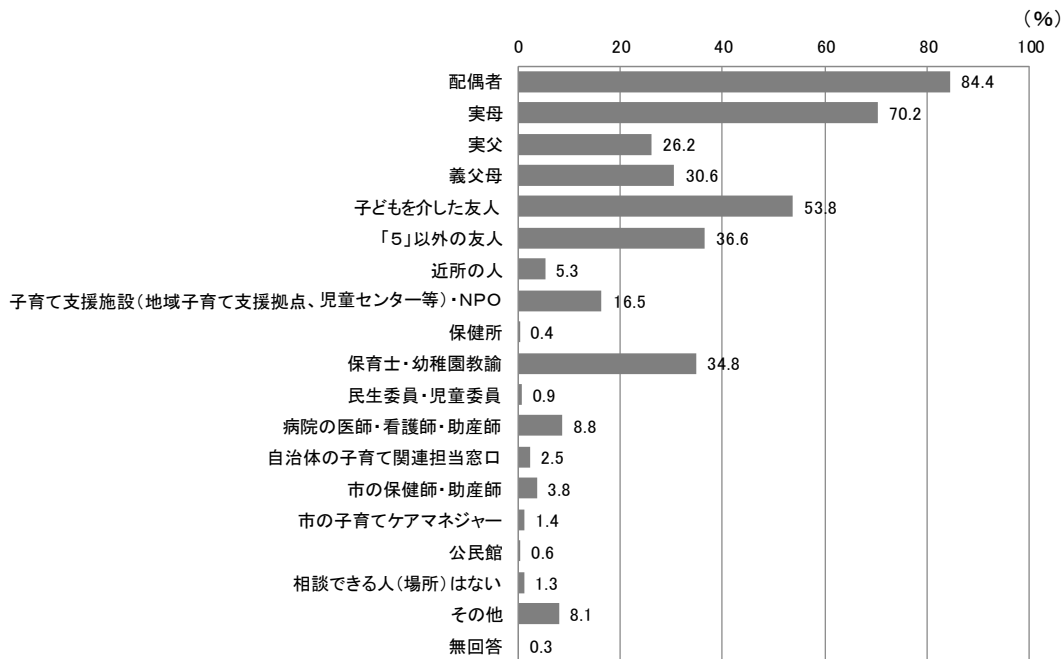
(%)



	合計	問10 子どもを保護者に代わってみてる親族・知人の有無						
		日常的に親族(祖父母等)にみてもらえる	緊急時や用事がある際には親族(祖父母等)にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時や用事がある際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答	
全体	692 100.0	95 13.7	378 54.6	18 2.6	149 21.5	178 25.7	2 0.3	
子どもの年齢	0歳	269 100.0	42 15.6	157 58.4	3 1.1	28 10.4	72 26.8	0 0.0
	1歳	56 100.0	6 10.7	33 58.9	0 0.0	9 16.1	14 25.0	0 0.0
	2歳	62 100.0	6 9.7	31 50.0	1 1.6	10 16.1	21 33.9	0 0.0
	3歳	108 100.0	14 13.0	63 58.3	2 1.9	33 30.6	23 21.3	0 0.0
	4歳	96 100.0	11 11.5	50 52.1	8 8.3	35 36.5	20 20.8	2 2.1
	5歳	101 100.0	16 15.8	44 43.6	4 4.0	34 33.7	28 27.7	0 0.0
現在の家庭類型	タイプA	26 100.0	9 34.6	12 46.2	0 0.0	5 19.2	5 19.2	0 0.0
	タイプB	284 100.0	43 15.1	166 58.5	7 2.5	46 16.2	70 24.6	0 0.0
	タイプC	127 100.0	11 8.7	68 53.5	4 3.1	29 22.8	36 28.3	0 0.0
	タイプC'	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	タイプD	239 100.0	30 12.6	125 52.3	7 2.9	66 27.6	63 26.4	0 0.0
	タイプE	4 100.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
	タイプE'	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	タイプF	4 100.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0

問 11 子育てに関して気軽に相談できる人や場所（複数回答）

・「配偶者」が84.4%で最も高く、次いで「実母」が70.2%、「子どもを介した友人」が53.8%の順となっています。



n=692

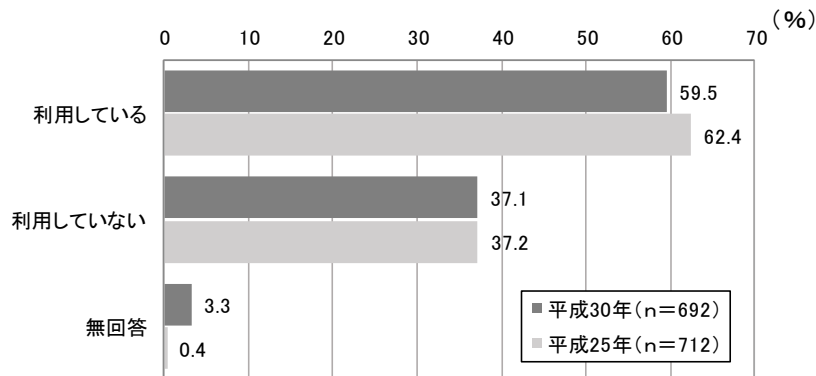
	合計	問11 子育てに関して気軽に相談できる人・場所										
		配偶者	実母	実父	義父母	子どもを介した友人	「5」以外の友人	近所の人	子育て支援施設	保健所	保育士・幼稚園教諭	
全体	692 100.0	584 84.4	486 70.2	181 26.2	212 30.6	372 53.8	253 36.6	37 5.3	114 16.5	3 0.4	241 34.8	
子どもの年齢	0歳	269 100.0	230 85.5	211 78.4	84 31.2	88 32.7	115 42.8	107 39.8	10 3.7	64 23.8	3 1.1	63 23.4
	1歳	56 100.0	49 87.5	37 66.1	11 19.6	17 30.4	28 50.0	21 37.5	6 10.7	7 12.5	0 0.0	20 35.7
	2歳	62 100.0	52 83.9	44 71.0	16 25.8	23 37.1	34 54.8	24 38.7	4 6.5	7 11.3	0 0.0	27 43.5
	3歳	108 100.0	92 85.2	70 64.8	23 21.3	36 33.3	66 61.1	40 37.0	6 5.6	11 10.2	0 0.0	54 50.0
	4歳	96 100.0	83 86.5	64 66.7	29 30.2	21 21.9	62 64.6	35 36.5	3 3.1	15 15.6	0 0.0	42 43.8
	5歳	101 100.0	78 77.2	60 59.4	18 17.8	27 26.7	67 66.3	26 25.7	8 7.9	10 9.9	0 0.0	35 34.7

	合計	問11 子育てに関して気軽に相談できる人・場所									
		民生委員・児童委員	病院の医師・看護師・助産師	自治体の子育て関連担当窓口	市の保健師・助産師	市の子育てケアマネジャー	公民館	相談できる人(場所)はない	その他	無回答	
全体	692 100.0	6 0.9	61 8.8	17 2.5	26 3.8	10 1.4	4 0.6	9 1.3	56 8.1	2 0.3	
子どもの年齢	0歳	269 100.0	3 1.1	29 10.8	13 4.8	23 8.6	6 2.2	4 1.5	3 1.1	20 7.4	0 0.0
	1歳	56 100.0	1 1.8	2 3.6	0 0.0	0 0.0	1 1.8	0 0.0	0 0.0	8 14.3	0 0.0
	2歳	62 100.0	1 1.6	8 12.9	0 0.0	1 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 3.2	0 0.0
	3歳	108 100.0	0 0.0	7 6.5	3 2.8	2 1.9	1 0.9	0 0.0	1 0.9	8 7.4	0 0.0
	4歳	96 100.0	0 0.0	8 8.3	1 1.0	0 0.0	2 2.1	0 0.0	3 3.1	9 9.4	2 2.1
	5歳	101 100.0	1 1.0	7 6.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.0	9 8.9	0 0.0

2. 平日の定期的な施設・事業の利用状況について

問 12 幼稚園や保育所などの施設・事業の定期的利用の有無（単回答）

- 「利用している」が59.5%、「利用していない」が37.1%となっています。
- 子どもの年齢別で見ると、“4歳”“5歳”は9割以上の利用率となっており、「地域別で見ると、“中町”での割合が最も高くなっています。

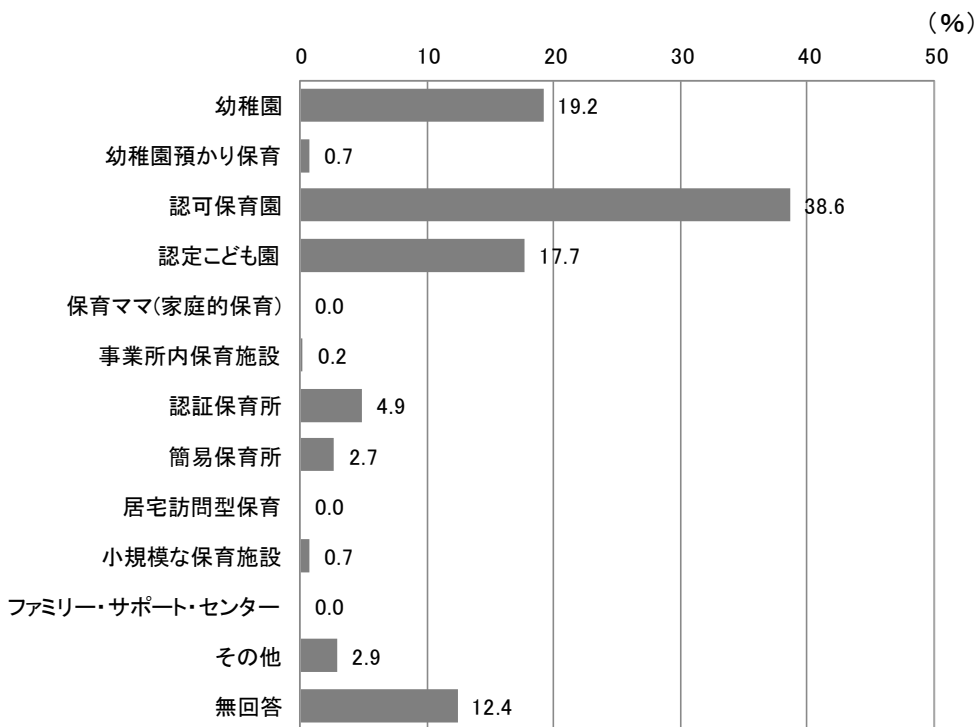


		合計	問12 施設・事業の定期的利用の有無		
			利用している	利用していない	無回答
全体		692 100.0	412 59.5	257 37.1	23 3.3
子どもの年齢	0歳	269 100.0	58 21.6	201 74.7	10 3.7
	1歳	56 100.0	32 57.1	21 37.5	3 5.4
	2歳	62 100.0	38 61.3	22 35.5	2 3.2
	3歳	108 100.0	93 86.1	11 10.2	4 3.7
	4歳	96 100.0	93 96.9	2 2.1	1 1.0
	5歳	101 100.0	98 97.0	0 0.0	3 3.0
居住地区	元町	315 100.0	169 53.7	137 43.5	9 2.9
	中町	224 100.0	151 67.4	67 29.9	6 2.7
	新町	147 100.0	87 59.2	52 35.4	8 5.4

問 12-1 (1) 定期的に利用している施設・事業（複数回答）

【問 12 で「1. 利用している」と回答した方限定】

- ・「認可保育所」が 38.6% で最も高く、次いで「幼稚園」が 19.2%、「認定こども園」が 17.7% となっています。
- ・「幼稚園」は、子どもの年齢別にみると“4歳”、現在の家庭類型別にみると、“タイプD（専業主婦（夫）”で高くなっています。（タイプC’は回答者が少ないため参考）



n=412

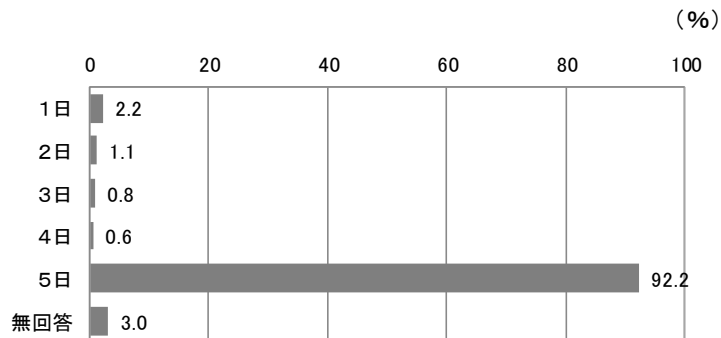
	合計	問12-1 ①(1)定期的に利用している施設・事業													非該当
		幼稚園	幼稚園預かり保育	認可保育所	認定こども園	保育ママ(家庭的保育)	事業所内保育施設	認証保育所	簡易保育所	居宅訪問型保育	小規模な保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答	
全体	412	79	3	159	73	0	1	20	11	0	3	0	12	51	280
	100.0	19.2	0.7	38.6	17.7	0.0	0.2	4.9	2.7	0.0	0.7	0.0	2.9	12.4	
子どもの年齢	0歳	58	1	0	25	0	0	7	2	0	0	0	7	16	211
		100.0	1.7	0.0	43.1	0.0	0.0	12.1	3.4	0.0	0.0	0.0	12.1	27.6	
	1歳	32	1	0	19	2	0	4	1	0	1	0	1	3	24
		100.0	3.1	0.0	59.4	6.3	0.0	12.5	3.1	0.0	3.1	0.0	3.1	9.4	
	2歳	38	1	0	19	3	0	1	2	5	0	2	0	3	24
		100.0	2.6	0.0	50.0	7.9	0.0	2.6	5.3	13.2	0.0	5.3	0.0	5.3	7.9
	3歳	93	22	0	39	19	0	0	1	0	0	0	0	1	11
	100.0	23.7	0.0	41.9	20.4	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	11.8	
4歳	93	28	3	24	20	0	0	3	2	0	0	0	1	12	3
	100.0	30.1	3.2	25.8	21.5	0.0	0.0	3.2	2.2	0.0	0.0	0.0	1.1	12.9	
5歳	98	26	0	33	29	0	0	3	1	0	0	0	0	6	3
	100.0	26.5	0.0	33.7	29.6	0.0	0.0	3.1	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1	
現在の家庭類型	タイプA	21	1	0	16	1	0	0	1	0	0	0	0	2	5
		100.0	4.8	0.0	76.2	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	
	タイプB	164	4	1	109	11	0	1	9	9	0	0	4	16	120
		100.0	2.4	0.6	66.5	6.7	0.0	0.6	5.5	5.5	0.0	0.0	2.4	9.8	
	タイプC	103	14	1	29	26	0	0	9	1	0	2	2	19	24
		100.0	13.6	1.0	28.2	25.2	0.0	0.0	8.7	1.0	0.0	1.9	0.0	1.9	18.4
	タイプC'	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
タイプD	112	58	1	3	32	0	0	1	0	0	1	0	6	10	127
	100.0	51.8	0.9	2.7	28.6	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.9	0.0	5.4	8.9	
タイプE	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
タイプE'	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
タイプF	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	100.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

問 12-1 (2) 現在、定期的に利用している施設・事業の利用日数・時間（数量回答）

【問 12 で「1. 利用している」と回答した方限定】

【日数】

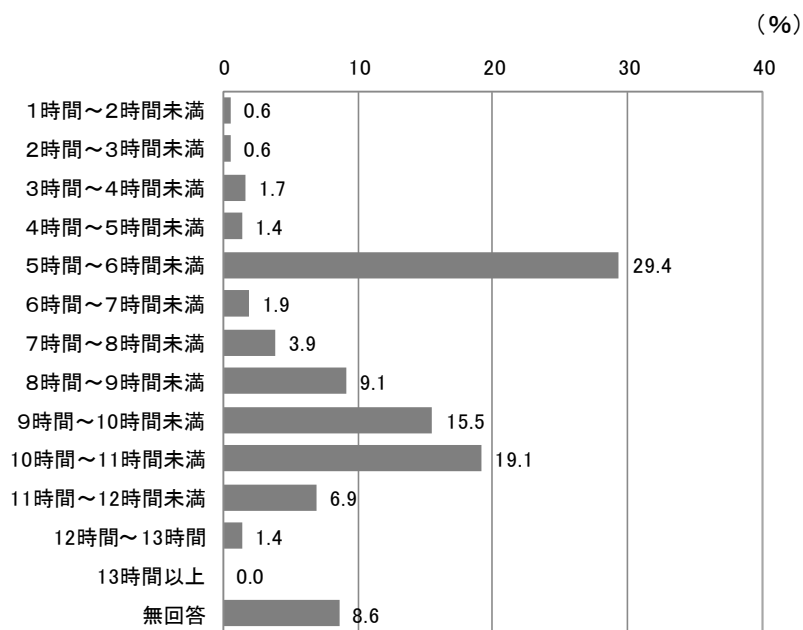
・「5日」が92.2%となっています。



n=361

【1日当たりの利用時間】

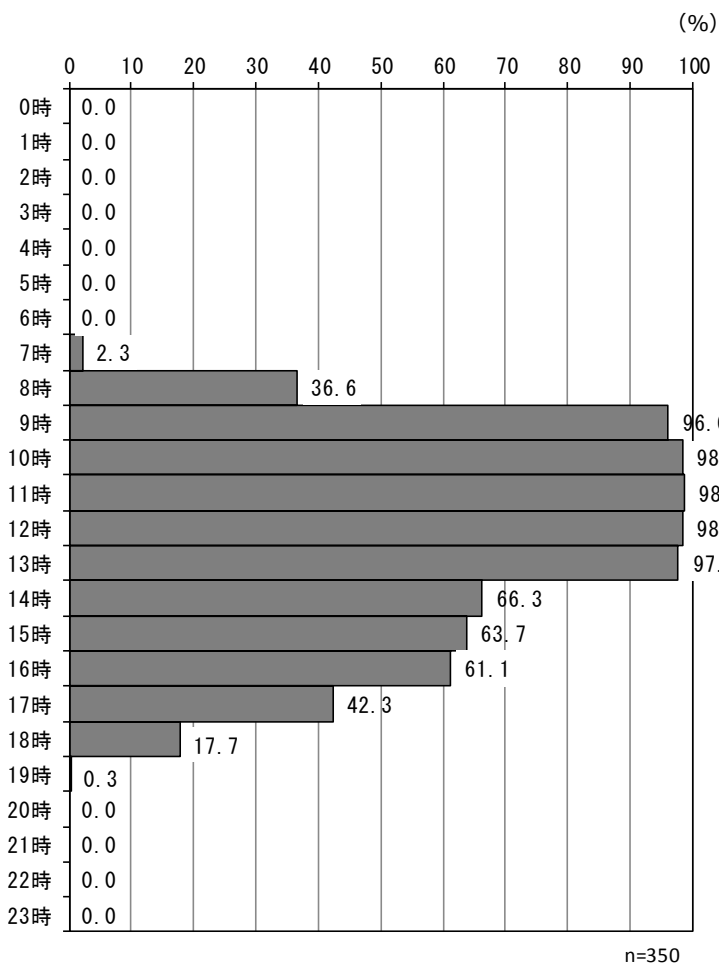
・「5時間～6時間未満」が29.4%で最も高く、次いで「10時間～11時間未満」が19.1%となっています。



n=361

【利用時間帯】

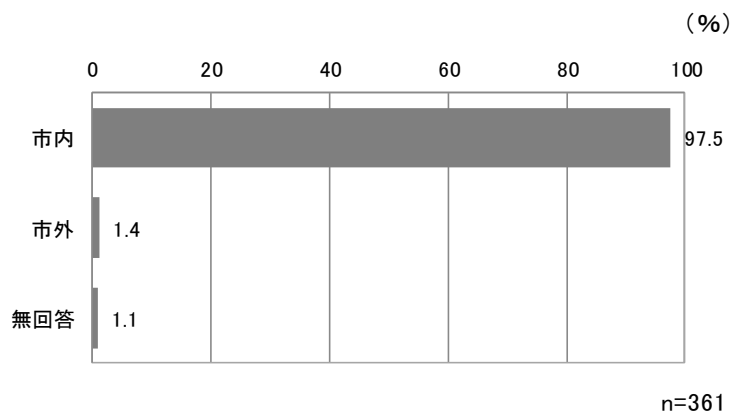
- ・9時から14時までの利用が9割以上となっており、18時以降は17.7%となっています。



問 12-1 (3) 定期的に利用している施設・事業の利用場所 (単回答)

【問 12 で「1. 利用している」と回答した方限定】

- ・「市内」が97.5%、「市外」が1.4%となっています。
- ・利用している事業別にみると、「市外」は“事業所内保育施設” “認証保育所” “その他”となっています。

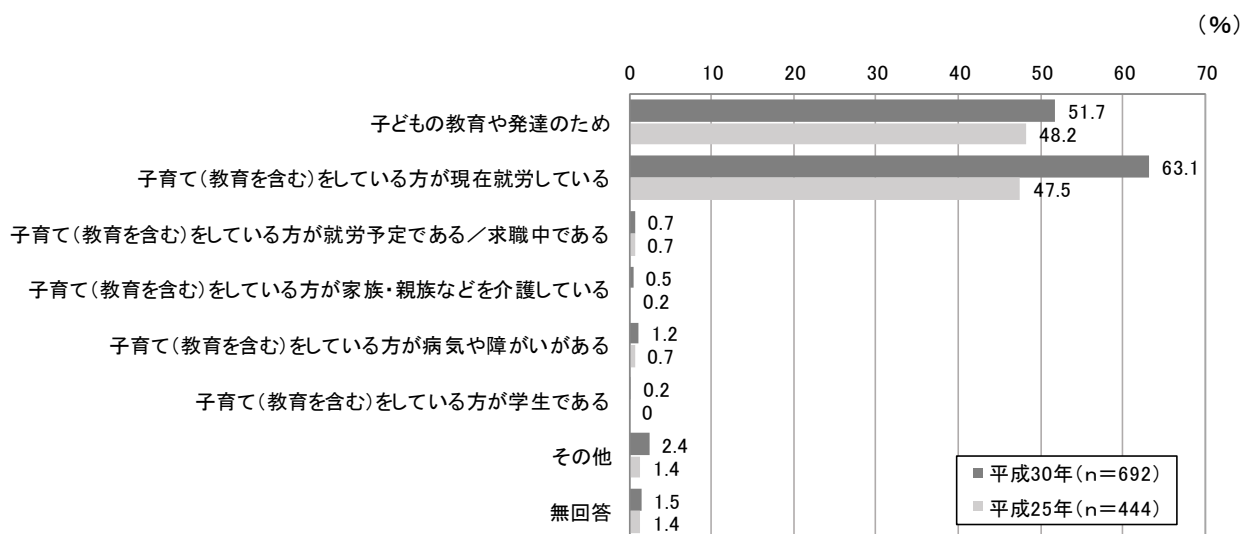


		合計	問12-1 ①(3) 利用場所			
			市内	市外	無回答	非該当
全体		361	352	5	4	331
		100.0	97.5	1.4	1.1	
平日に定期利用している事業	幼稚園	79	78	1	0	0
		100.0	98.7	1.3	0.0	
	幼稚園預かり保育	3	3	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	
	認可保育園	159	156	0	3	0
		100.0	98.1	0.0	1.9	
	認定こども園	73	72	0	1	0
		100.0	98.6	0.0	1.4	
	保育ママ(家庭的保育)	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	
	事業所内保育施設	1	0	1	0	0
		100.0	0.0	100.0	0.0	
	認証保育所	20	18	2	0	0
		100.0	90.0	10.0	0.0	
簡易保育所	11	11	0	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0		
居宅訪問型保育	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0		
小規模な保育施設	3	3	0	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0		
ファミリー・サポート・センター	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0		
その他	12	11	1	0	0	
	100.0	91.7	8.3	0.0		

問 12-2 定期的に施設・事業を利用している理由（複数回答）

【問 12 で「1. 利用している」と回答した方限定】

- 「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が63.1%で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が51.7%となっています。
- 家庭類型別にみると、“タイプD（専業主婦（夫））”は「子どもの教育や発達のため」が最も高くなっています。（タイプC’、タイプFは回答者が少ないため参考）



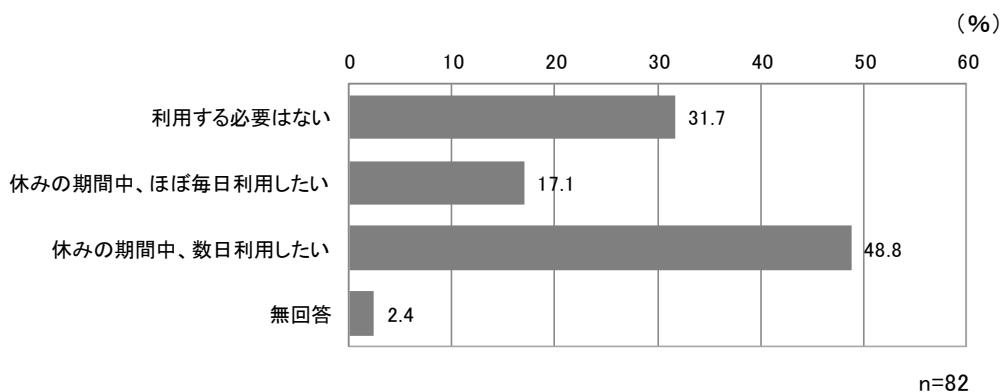
	合計	問12-2 定期的に教育・保育事業を利用している理由									
		子どもの教育や発達のため	子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している	子育て（教育を含む）をしている方が就労予定である／求職中である	子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している	子育て（教育を含む）をしている方が病気や障がいがある	子育て（教育を含む）をしている方が学生である	その他	無回答	非該当	
全体	412 100.0	213 51.7	260 63.1	3 0.7	2 0.5	5 1.2	1 0.2	10 2.4	6 1.5	280	
現在の家庭類型	タイプA	21 100.0	4 19.0	19 90.5	0 0.0	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0	5	
	タイプB	164 100.0	44 26.8	153 93.3	3 1.8	2 1.2	0 0.0	0 0.0	4 2.4	2 1.2	120
	タイプC	103 100.0	51 49.5	78 75.7	0 0.0	0 0.0	1 1.0	0 0.0	2 1.9	0 0.0	24
	タイプC'	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0
	タイプD	112 100.0	106 94.6	3 2.7	0 0.0	0 0.0	2 1.8	1 0.9	4 3.6	4 3.6	127
	タイプE	2 100.0	1 50.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2
	タイプE'	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0
	タイプF	3 100.0	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1

家庭類型	
タイプA	ひとり親
タイプB	フルタイム×フルタイム
タイプC	フルタイム×パートタイム(月120時間以上+64時間～120時間の一部)
タイプC'	フルタイム×パートタイム(月64時間未満+64時間～120時間の一部)
タイプD	専業主婦(夫)
タイプE	パート×パート(双方月120時間以上+64時間～120時間の一部)
タイプE'	パート×パート(いずれかが月64時間未満+64時間～120時間の一部)
タイプF	無業×無業

問 12-3 長期休業中の施設・事業の利用希望・時間（単回答、数量回答）

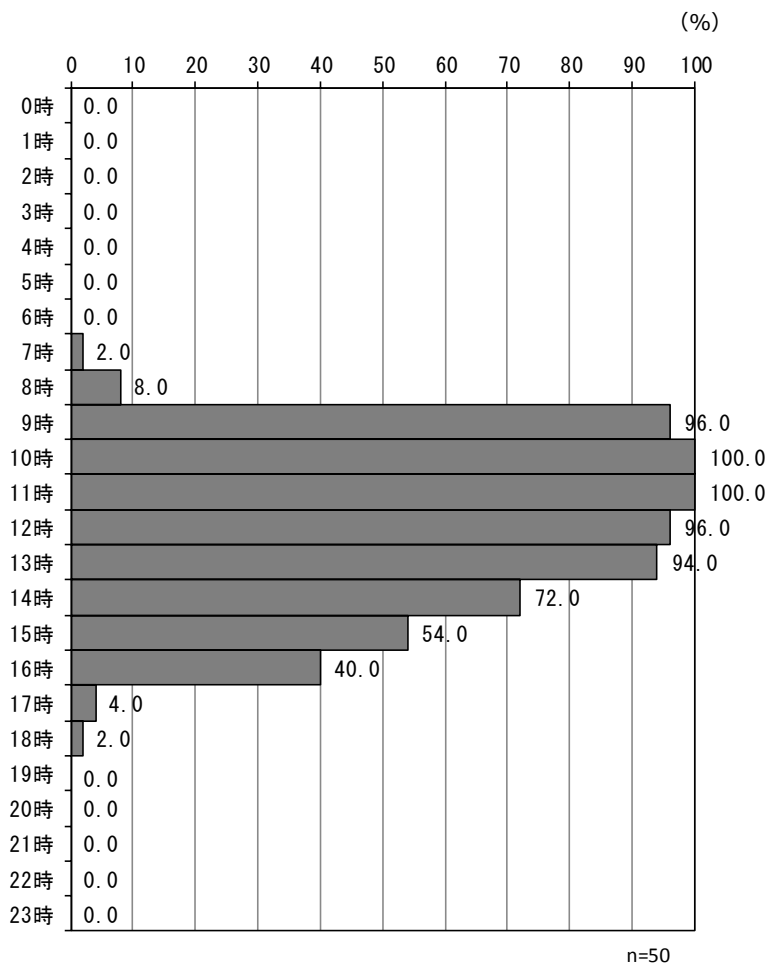
【問 12-1 で「1. 幼稚園」と回答した方限定】

・「休みの期間中、数日利用したい」が 48.8%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 17.1%
 で、合わせると『利用したい』は 65.9%となっています。



【利用時間帯】

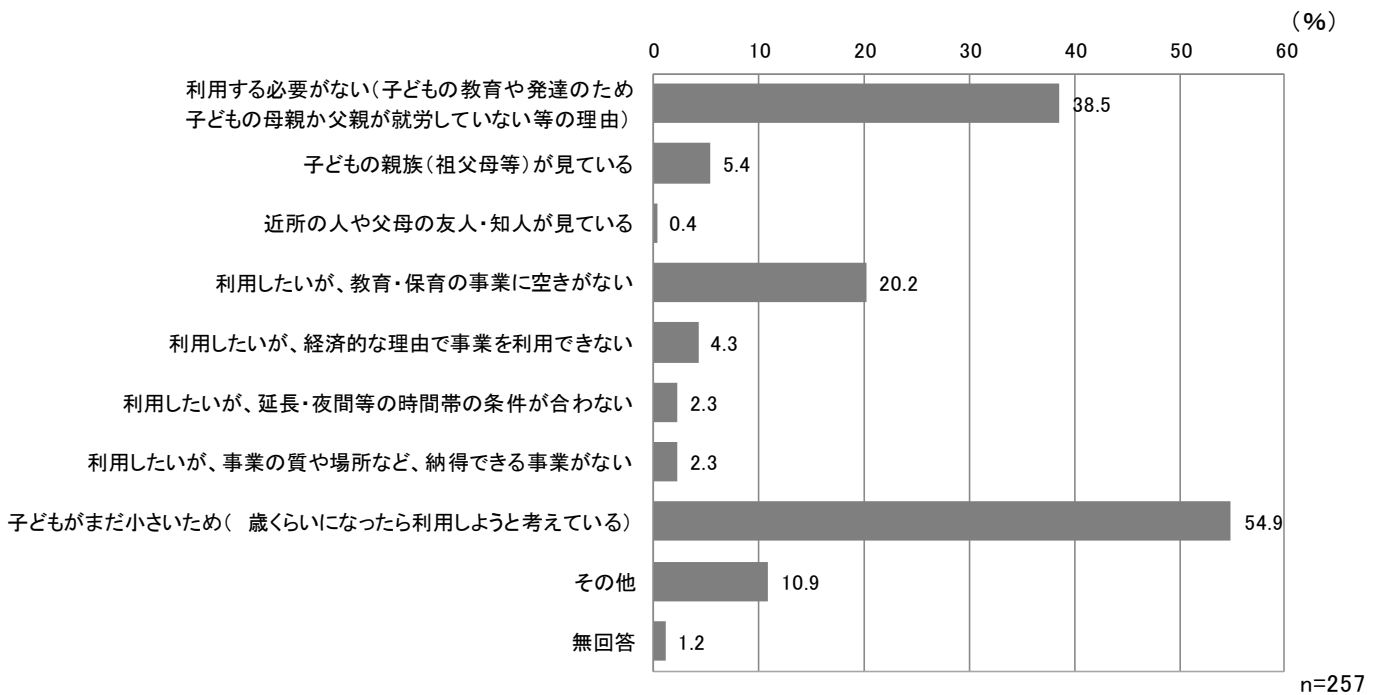
・9時～14時が9割以上となっており、16時以降は40.0%となっています。



問 12-4 定期的に施設・事業を利用していない理由（複数回答）

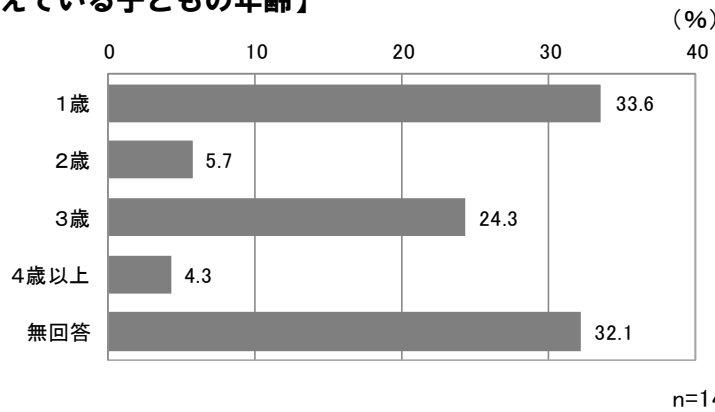
【問 12 で「2. 利用していない」と回答した方限定】

- ・「子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）」が 54.9%で最も高く、次いで「利用する必要がある（子どもの教育や発達のため子どもの母親か父親が就労していない等の理由）」が 38.5%となっています。
- ・子どもの年齢別にみると、“1 歳” “2 歳” “3 歳” は「利用する必要がある（子どもの教育や発達のため子どもの母親か父親が就労していない等の理由）」が最も高くなっています。
- ・「子どもがまだ小さいため（〇〇歳くらいになったら利用しようと考えている）」と回答した方の、就労しようと考えている子どもの年齢は、「1 歳」が 33.6%となっています。



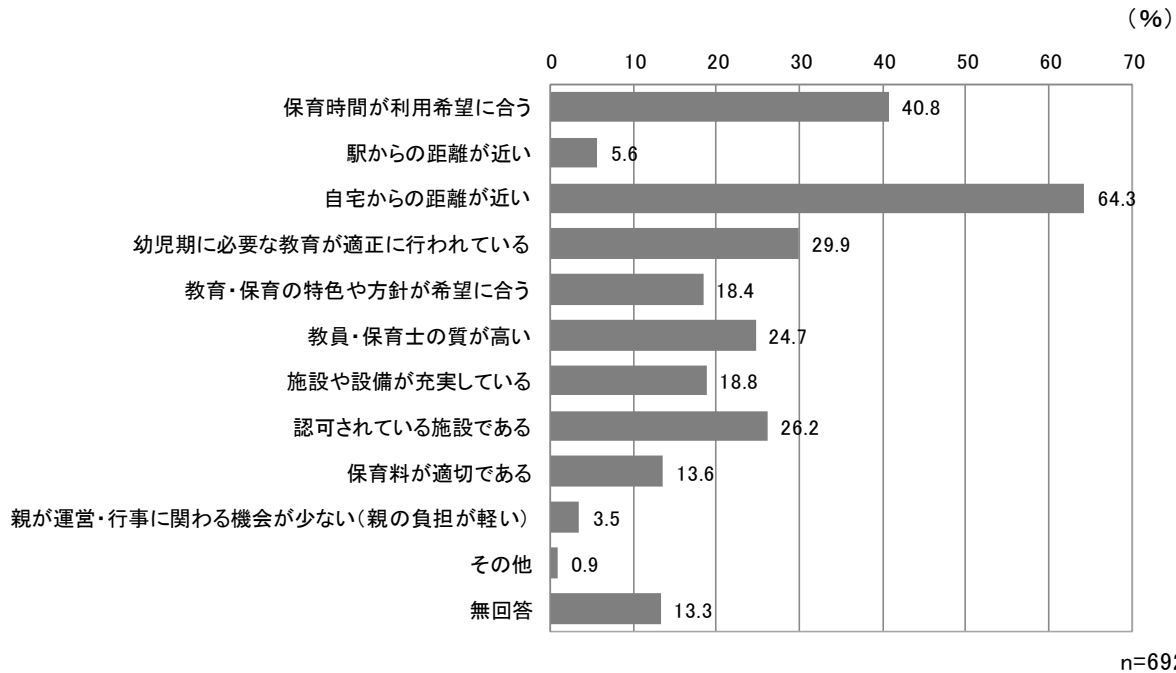
	合計	問12-4 定期的に施設・事業を利用していない理由										非該当	
		利用する必要がある	子どもの親族(祖父母等)が見ている	近所の人や父母の友人・知人が見ている	利用したいが、教育・保育の事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもがまだ小さいため	その他	無回答		
全体	257 100.0	99 38.5	14 5.4	1 0.4	52 20.2	11 4.3	6 2.3	6 2.3	141 54.9	28 10.9	3 1.2	435	
子どもの年齢	0 歳	201 100.0	67 33.3	13 6.5	1 0.5	39 19.4	10 5.0	6 3.0	4 2.0	124 61.7	25 12.4	0 0.0	68
	1 歳	21 100.0	13 61.9	0 0.0	0 0.0	5 23.8	1 4.8	0 0.0	0 0.0	11 52.4	1 4.8	0 0.0	35
	2 歳	22 100.0	13 59.1	0 0.0	0 0.0	3 13.6	0 0.0	0 0.0	2 9.1	4 18.2	1 4.5	2 9.1	40
	3 歳	11 100.0	5 45.5	0 0.0	0 0.0	5 45.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	1 9.1	97
	4 歳	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 100.0	0 0.0	0 0.0	94
	5 歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	101

【就労しようと考えている子どもの年齢】



問 13 施設・事業を選ぶうえで重視する条件（複数回答）

- ・「自宅からの距離が近い」が 64.3%で最も高く、次いで「保育時間が利用希望に合う」が 40.8%、「幼児期に必要な教育が適正に行われている」が 29.9%の順となっています。
- ・家庭類型別にみると、“タイプA（ひとり親家庭）は、「保育時間が利用希望に合う」も 53.8%と高くなっています。（タイプC’ は回答者が少ないため参考）

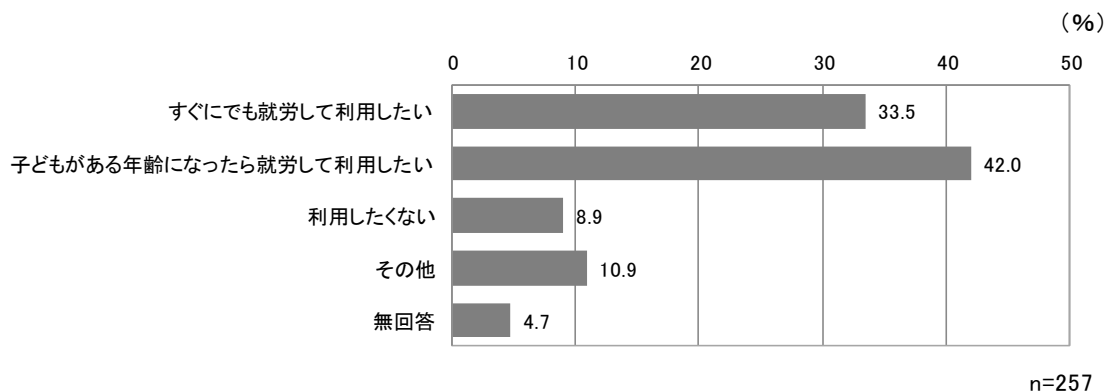


	合計	問13 施設・事業を選ぶうえで重視する条件												
		保育時間が利用希望に合う	駅からの距離が近い	自宅からの距離が近い	幼児期に必要な教育が適正に行われている	教育・保育の特色や方針が希望に合う	教員・保育士の質が高い	施設や設備が充実している	認可されている施設である	保育料が適切である	親が運営・行事に関わる機会が少ない	その他	無回答	
全体	692	282	39	445	207	127	171	130	181	94	24	6	92	
	100.0	40.8	5.6	64.3	29.9	18.4	24.7	18.8	26.2	13.6	3.5	0.9	13.3	
現在の家庭類型	タイプA	26	14	1	14	6	4	5	4	11	1	1	2	4
		100.0	53.8	3.8	53.8	23.1	15.4	19.2	15.4	42.3	3.8	3.8	7.7	15.4
	タイプB	284	137	29	184	58	48	78	70	83	16	6	4	35
		100.0	48.2	10.2	64.8	20.4	16.9	27.5	24.6	29.2	5.6	2.1	1.4	12.3
	タイプC	127	57	6	84	31	20	20	23	39	16	6	0	21
		100.0	44.9	4.7	66.1	24.4	15.7	15.7	18.1	30.7	12.6	4.7	0.0	16.5
	タイプC'	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	タイプD	239	70	3	151	106	51	64	30	45	60	11	0	29
		100.0	29.3	1.3	63.2	44.4	21.3	26.8	12.6	18.8	25.1	4.6	0.0	12.1
タイプE	4	0	0	2	1	1	0	0	1	1	0	0	2	
	100.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0	
タイプE'	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
タイプF	4	0	0	4	1	1	2	1	1	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	100.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

問 14 無償化実施の際の施設・事業の利用意向（単回答、数量回答）

【現在、定期的な教育・保育事業を利用していない方限定】

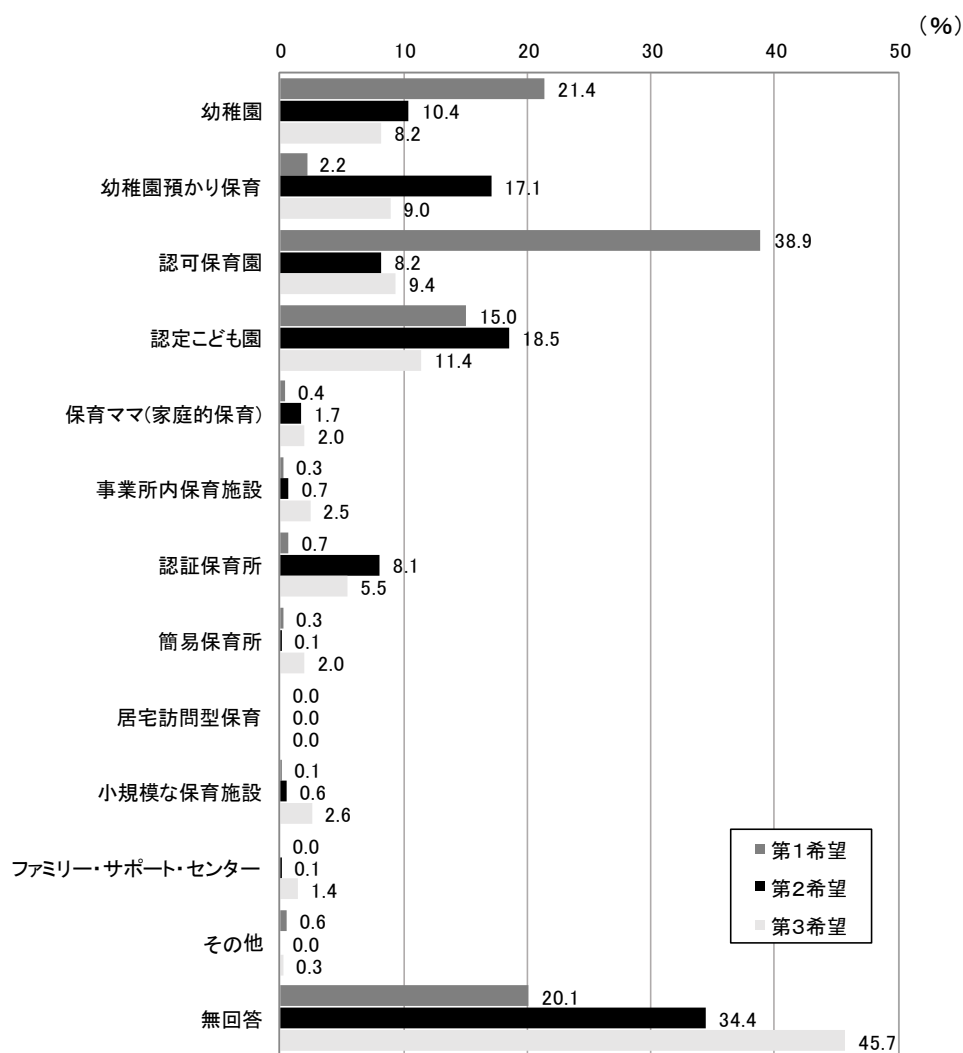
- 「子どもがある年齢になったら就労して利用したい」が42.0%で最も高く、次いで「すぐにでも就労して利用したい」が33.5%となっています。
- 子どもの年齢別にみると、“2歳”“3歳”の「すぐにでも就労して利用したい」が高くなっています。



		合計	問14 無償化実施の際の施設・事業の利用意向					非該当
			すぐにでも就労して利用したい	子どもがある年齢になったら就労して利用したい	利用したくない	その他	無回答	
全体		257 100.0	86 33.5	108 42.0	23 8.9	28 10.9	12 4.7	435
子どもの年齢	0歳	131 100.0	45 34.4	59 45.0	10 7.6	13 9.9	4 3.1	57
	1歳	21 100.0	5 23.8	6 28.6	5 23.8	4 19.0	1 4.8	35
	2歳	22 100.0	10 45.5	5 22.7	3 13.6	2 9.1	2 9.1	40
	3歳	11 100.0	4 36.4	2 18.2	3 27.3	1 9.1	1 9.1	97
	4歳	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	94
	5歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	101

問 15 (1) 定期的に利用したい施設・事業（無償化されなかった場合）（複数回答）

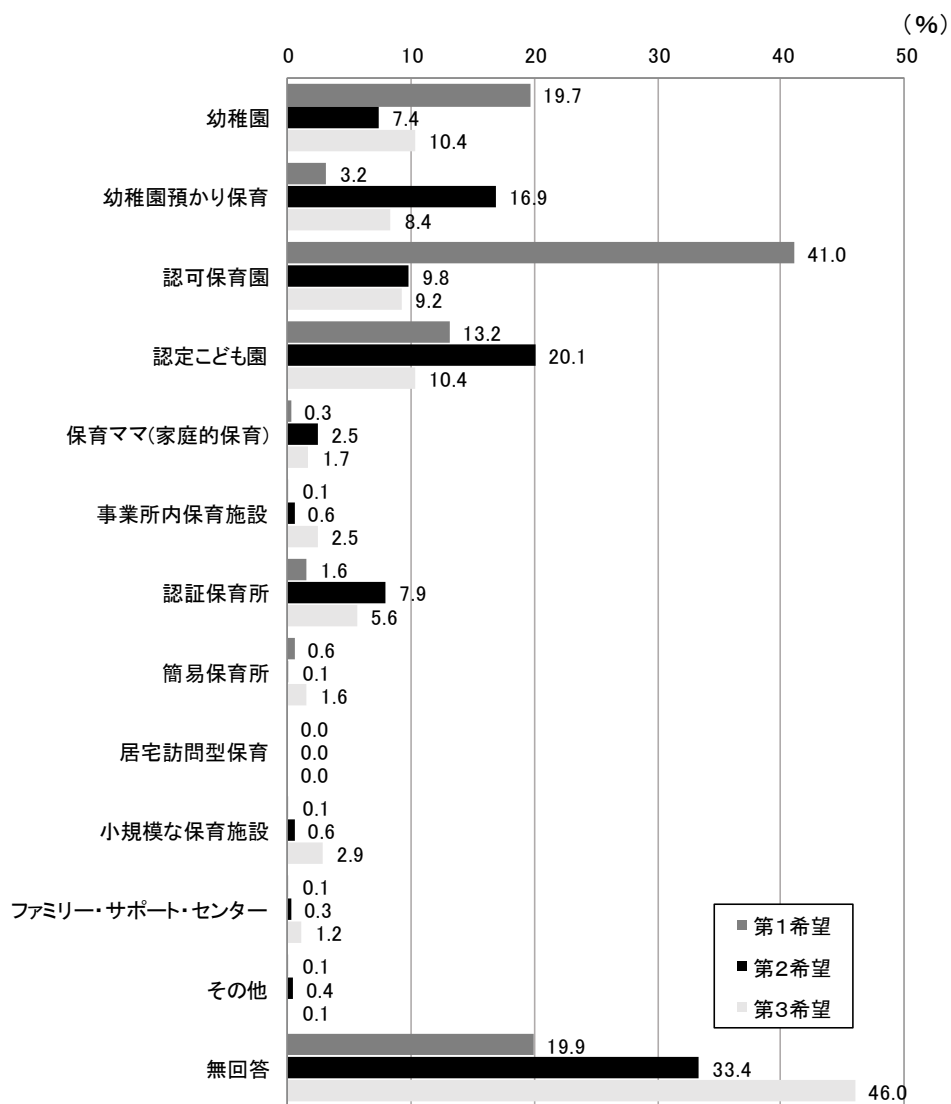
- 第1希望は「認可保育園」が38.9%で最も高く、次いで「幼稚園」が21.4%、「認定こども園」が15.0%の順となっています。
- 第2希望は、「認定こども園」が18.5%、「幼稚園預かり保育」が17.1%、第3希望は「認定こども園」が11.4%となっています。



n=692

問 15 (2) ① 定期的に利用したい施設・事業（無償化された場合）（複数回答）

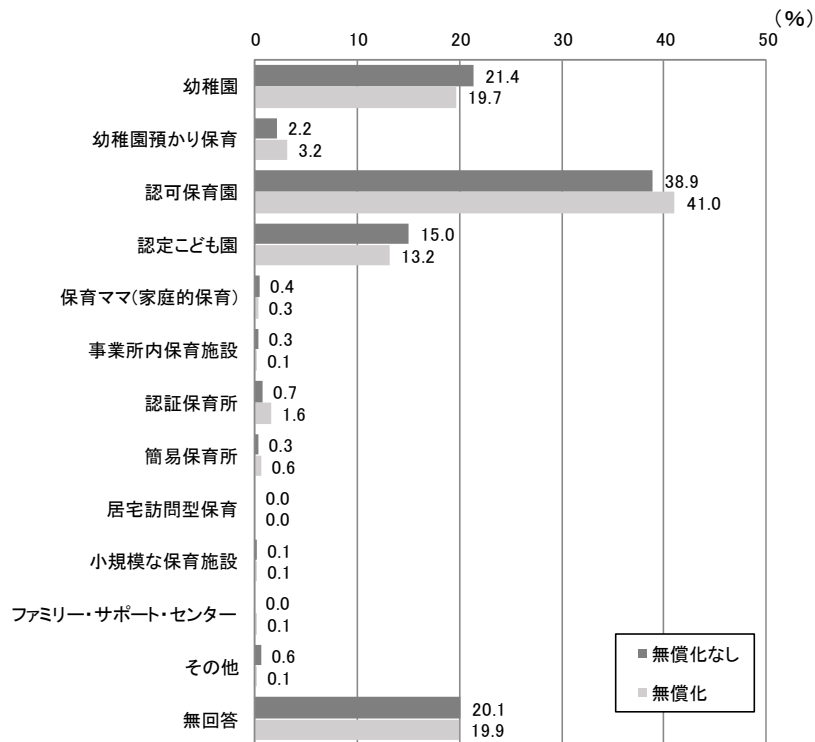
- 第1希望は「認可保育園」が41.0%で最も高く、次いで「幼稚園」が19.7%、「認定こども園」が13.2%の順となっています。
- 第2希望は、「認定こども園」が20.1%、「幼稚園預かり保育」が16.9%、第3希望は「幼稚園」と「認定こども園」がともに10.4%となっています。



n=692

【無償化による利用意向の比較】

- ・無償化による第1希望の施設・事業の利用意向は、「認可保育園」が2.1ポイント、「幼稚園の預かり保育」が1.0ポイント増加しており、逆に「幼稚園」は1.7ポイント、「認定こども園」は1.8ポイント減少しています。

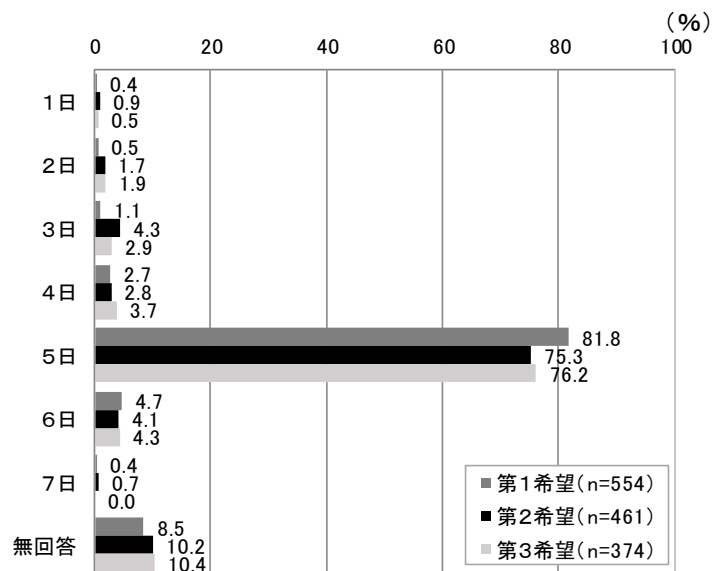


n=692

問 15 (2) ② 定期的にご利用したい施設・事業の利用日数・時間（無償化された場合）（数量回答）

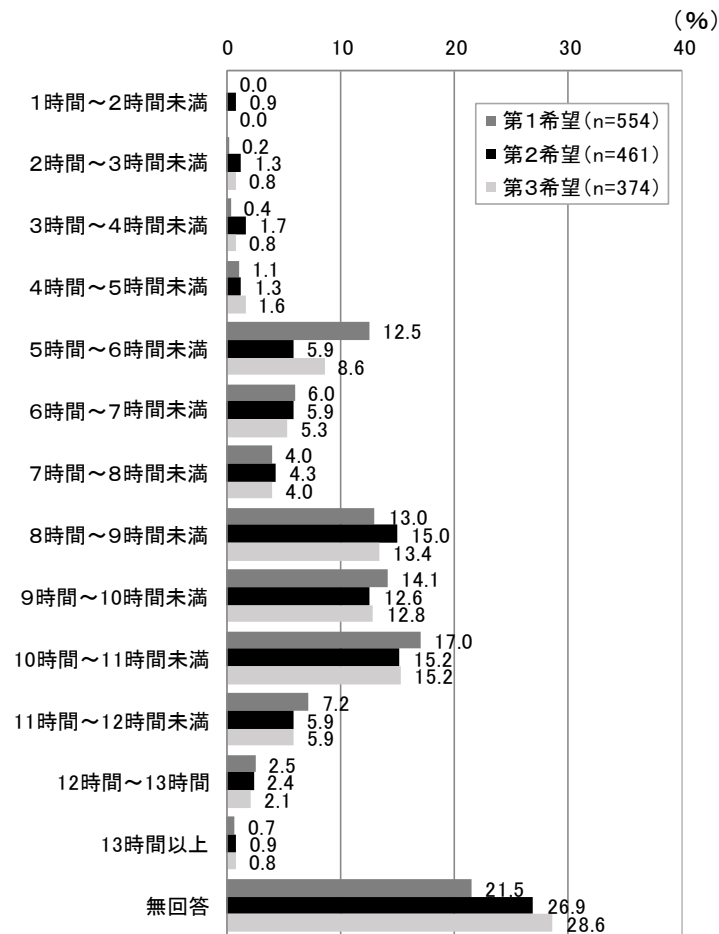
【希望日数】

- ・利用希望日数は、第1希望、第2希望、第3希望ともに「5日」が最も高くなっています。



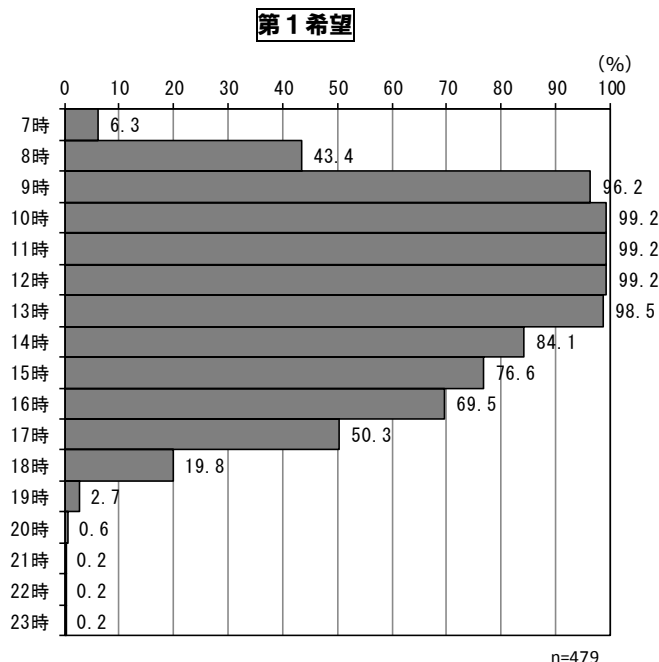
【希望時間】

- 利用希望時間は、第1希望は、「10時間～11時間未満」が17.0%で最も高く、次いで「9時間～10時間未満」が14.15となっています。
- 第2希望は、「8時間～9時間未満」、第3希望は「10時間～11時間未満」が最も高くなっています。



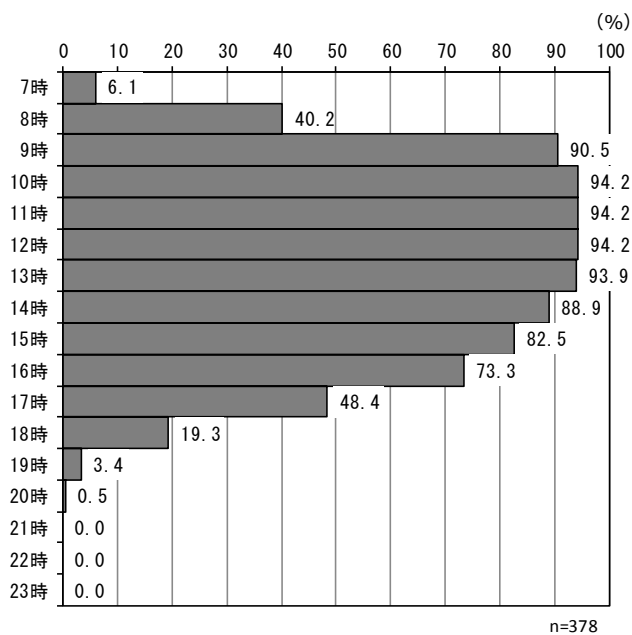
【利用希望時間帯】

- 第1希望の利用時間帯は9時～14時が9割以上、18時以降は19.8%の利用意向がみられません。

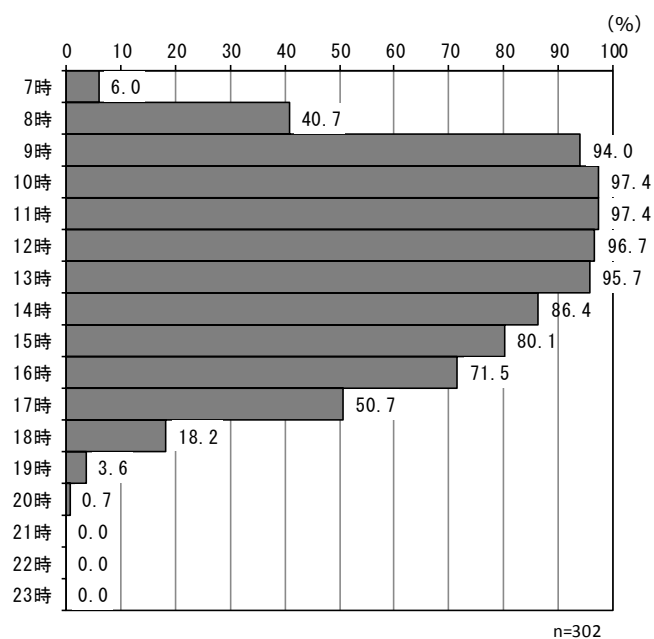


• 第2希望、第3希望ともに9時~14時が9割以上となっています。

第2希望



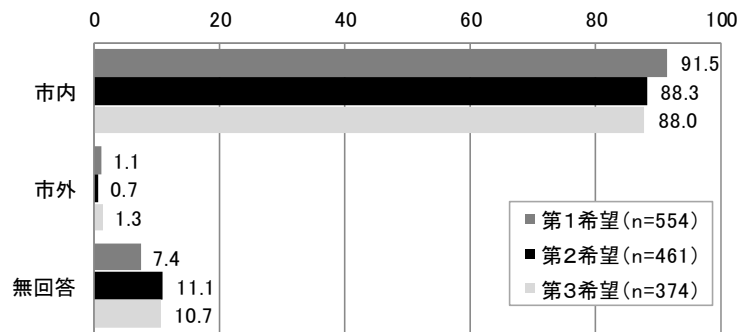
第3希望



**問 15 (2) ③ 定期的に利用したい施設・事業の希望する利用場所（無償化された場合）
（単回答）**

・第1希望、第2希望、第3希望ともに「市内」が最も高くなっています。

(%)



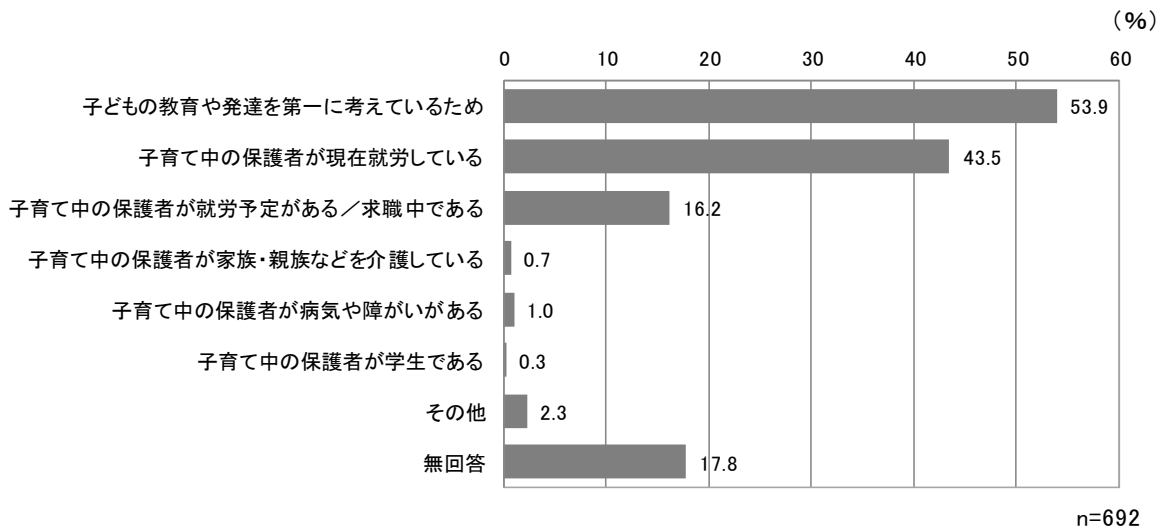
	合計	第15 (2) 無償化：第1希望事業の希望する利用場所				
		市内	市外	無回答	非該当	
全体	554	507	6	41	138	
	100.0	91.5	1.1	7.4		
無償化の場合の第1希望の事業	幼稚園	136	122	2	12	0
		100.0	89.7	1.5	8.8	
	幼稚園預かり保育	22	22	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	
	認可保育園	284	261	1	22	0
		100.0	91.9	0.4	7.7	
	認定こども園	91	83	2	6	0
		100.0	91.2	2.2	6.6	
	保育ママ(家庭的保育)	2	2	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	
	事業所内保育施設	1	0	0	1	0
		100.0	0.0	0.0	100.0	
	認証保育所	11	10	1	0	0
		100.0	90.9	9.1	0.0	
簡易保育所	4	4	0	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0		
居宅訪問型保育	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0		
小規模な保育施設	1	1	0	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0		
ファミリー・サポート・センター	1	1	0	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0		
その他	1	1	0	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0		

	合計	第15 (2) 無償化：第2希望事業の希望する利用場所				
		市内	市外	無回答	非該当	
全体	461	407	3	51	231	
	100.0	88.3	0.7	11.1		
無償化の場合の第2希望の事業	幼稚園	51	46	0	5	0
		100.0	90.2	0.0	9.8	
	幼稚園預かり保育	117	109	0	8	0
		100.0	93.2	0.0	6.8	
	認可保育園	68	58	1	9	0
		100.0	85.3	1.5	13.2	
	認定こども園	139	121	1	17	0
		100.0	87.1	0.7	12.2	
	保育ママ(家庭的保育)	17	13	0	4	0
		100.0	76.5	0.0	23.5	
	事業所内保育施設	4	3	1	0	0
		100.0	75.0	25.0	0.0	
	認証保育所	55	49	0	6	0
		100.0	89.1	0.0	10.9	
簡易保育所	1	1	0	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0		
居宅訪問型保育	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0		
小規模な保育施設	4	3	0	1	0	
	100.0	75.0	0.0	25.0		
ファミリー・サポート・センター	2	1	0	1	0	
	100.0	50.0	0.0	50.0		
その他	3	3	0	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0		

	合計	第15 (2) 無償化：第3希望事業の希望する利用場所				
		市内	市外	無回答	非該当	
全体	374	329	5	40	318	
	100.0	88.0	1.3	10.7		
無償化の場合の第3希望の事業	幼稚園	72	62	0	10	0
		100.0	86.1	0.0	13.9	
	幼稚園預かり保育	58	49	0	9	0
		100.0	84.5	0.0	15.5	
	認可保育園	64	62	0	2	0
		100.0	96.9	0.0	3.1	
	認定こども園	72	66	0	6	0
		100.0	91.7	0.0	8.3	
	保育ママ(家庭的保育)	12	11	0	1	0
		100.0	91.7	0.0	8.3	
	事業所内保育施設	17	11	4	2	0
		100.0	64.7	23.5	11.8	
	認証保育所	39	35	1	3	0
		100.0	89.7	2.6	7.7	
簡易保育所	11	8	0	3	0	
	100.0	72.7	0.0	27.3		
居宅訪問型保育	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0		
小規模な保育施設	20	17	0	3	0	
	100.0	85.0	0.0	15.0		
ファミリー・サポート・センター	8	7	0	1	0	
	100.0	87.5	0.0	12.5		
その他	1	1	0	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0		

問 15-1 定期的な教育・保育サービスの利用を希望する理由（複数回答）

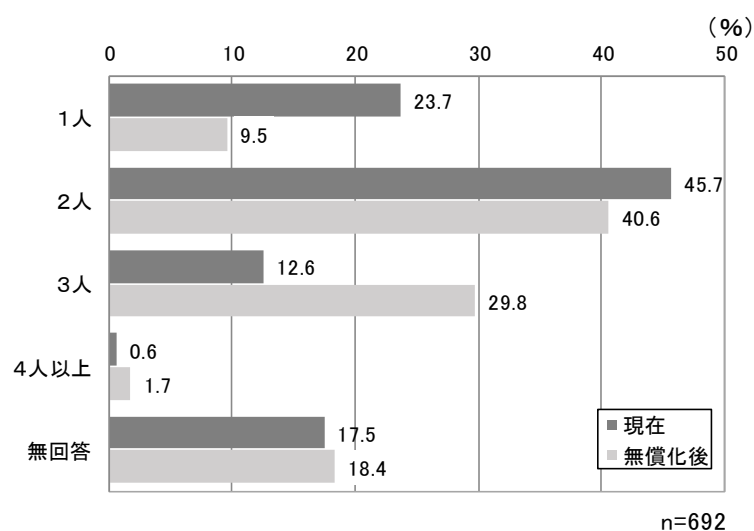
- 「子どもの教育や発達を第一に考えているため」が53.9%で最も高く、次いで「子育て中の保護者が現在就労している」が43.5%、「子育て中の保護者が就労予定がある／求職中である」が16.2%の順となっています。
- 現在の家庭類型別にみると、“タイプD（専業主婦（夫））”は、「子どもの教育や発達を第一に考えているため」が84.5%と高くなっています。（“タイプC’”と“タイプF”は回答者が少ないため参考）



	合計	問15-1 定期的な教育・保育サービスの利用を希望する理由								
		子どもの教育や発達を第一に考えているため	子育て中の保護者が現在就労している	子育て中の保護者が就労予定がある／求職中である	子育て中の保護者が家族・親族などを介護している	子育て中の保護者が病気や障がいがある	子育て中の保護者が学生である	その他	無回答	
全体	692 100.0	373 53.9	301 43.5	112 16.2	5 0.7	7 1.0	2 0.3	16 2.3	123 17.8	
現在の家庭類型	タイプA	26 100.0	5 19.2	16 61.5	2 7.7	0 0.0	1 3.8	0 0.0	0 0.0	7 26.9
	タイプB	284 100.0	98 34.5	190 66.9	36 12.7	0 0.0	1 0.4	0 0.0	2 0.7	60 21.1
	タイプC	127 100.0	61 48.0	67 52.8	13 10.2	0 0.0	1 0.8	0 0.0	1 0.8	33 26.0
	タイプC'	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	タイプD	239 100.0	202 84.5	21 8.8	61 25.5	4 1.7	3 1.3	2 0.8	13 5.4	18 7.5
	タイプE	4 100.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0
	タイプE'	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	タイプF	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0

問 15-2 理想とする子どもの人数（数量回答）

- 現在は、「2人」が45.7%で最も高く、次いで「1人」が23.7%、「3人」が12.6%で、平均1.88人となっています。
- 無償化後は、「2人」が40.6%で最も高く、次いで「3人」が29.8%、「1人」が9.5%で、平均2.30人となっています。
- 現在と無償化後を比較すると、無償化後は平均で0.42人の増加となっています。

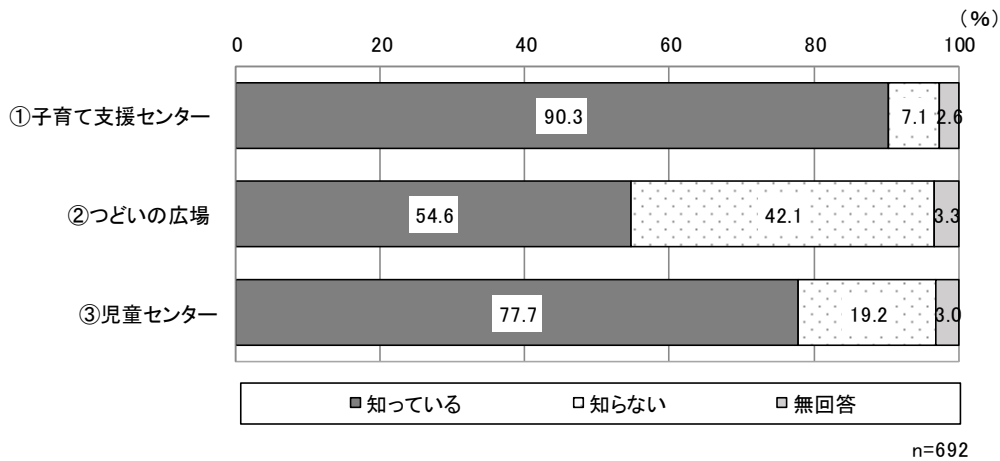


3. 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 16 地域子育て支援場所の認知状況や利用状況、今後の利用希望（単回答、数量回答）

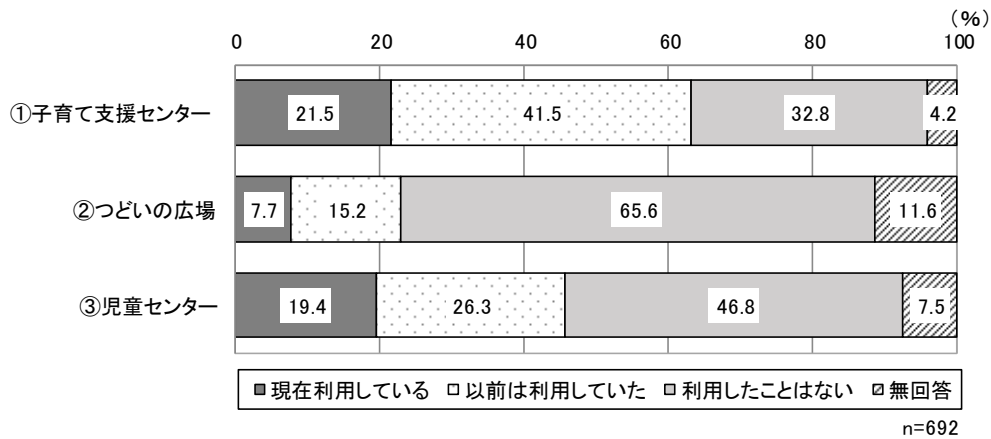
【認知状況】

・「子育て支援センター」が90.3%、「児童センター」が77.7%、「つどいの広場」が54.6%となっています。



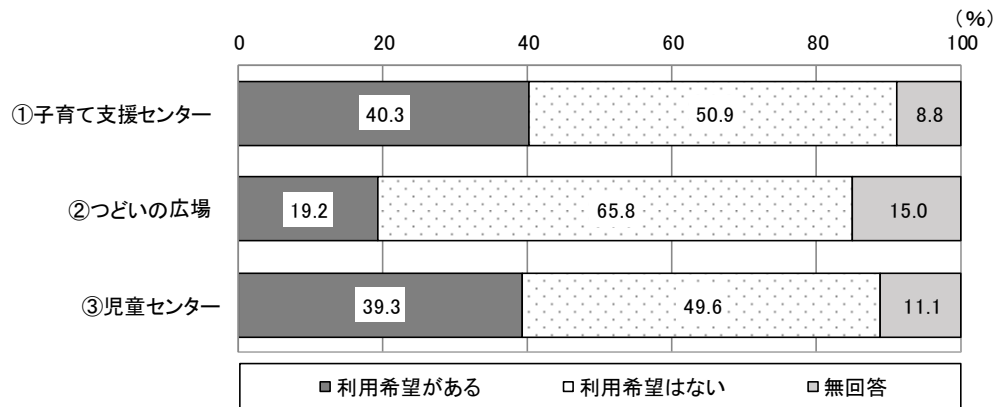
【利用状況】

・「子育て支援センター」が21.5%、「児童センター」が19.4%、「つどいの広場」が7.7%となっています。



【今後の利用希望】

・「子育て支援センター」が40.3%、「児童センター」が39.3%、「つどいの広場」が19.2%となっています。



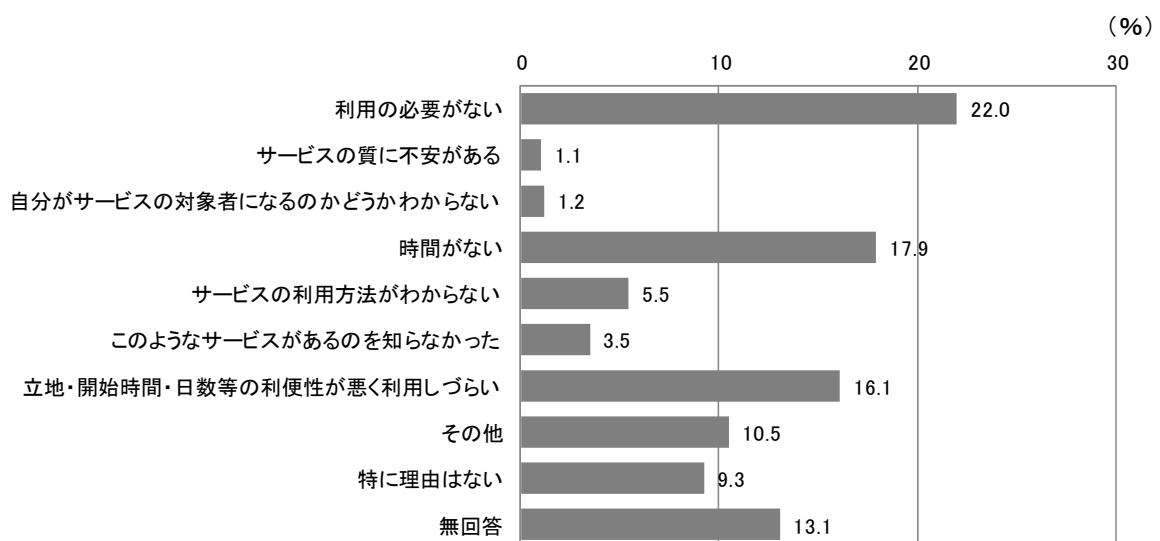
n=692

【利用回数】

No.	事業名	現在の平均 利用回数／月	今後の平均 利用希望回数／月
1	子育て支援センター	3.1	3.0
2	つどいの広場	4.1	3.1
9	児童センター	2.4	2.2

問 16-1 地域子育て支援事業を利用していない理由（単回答）

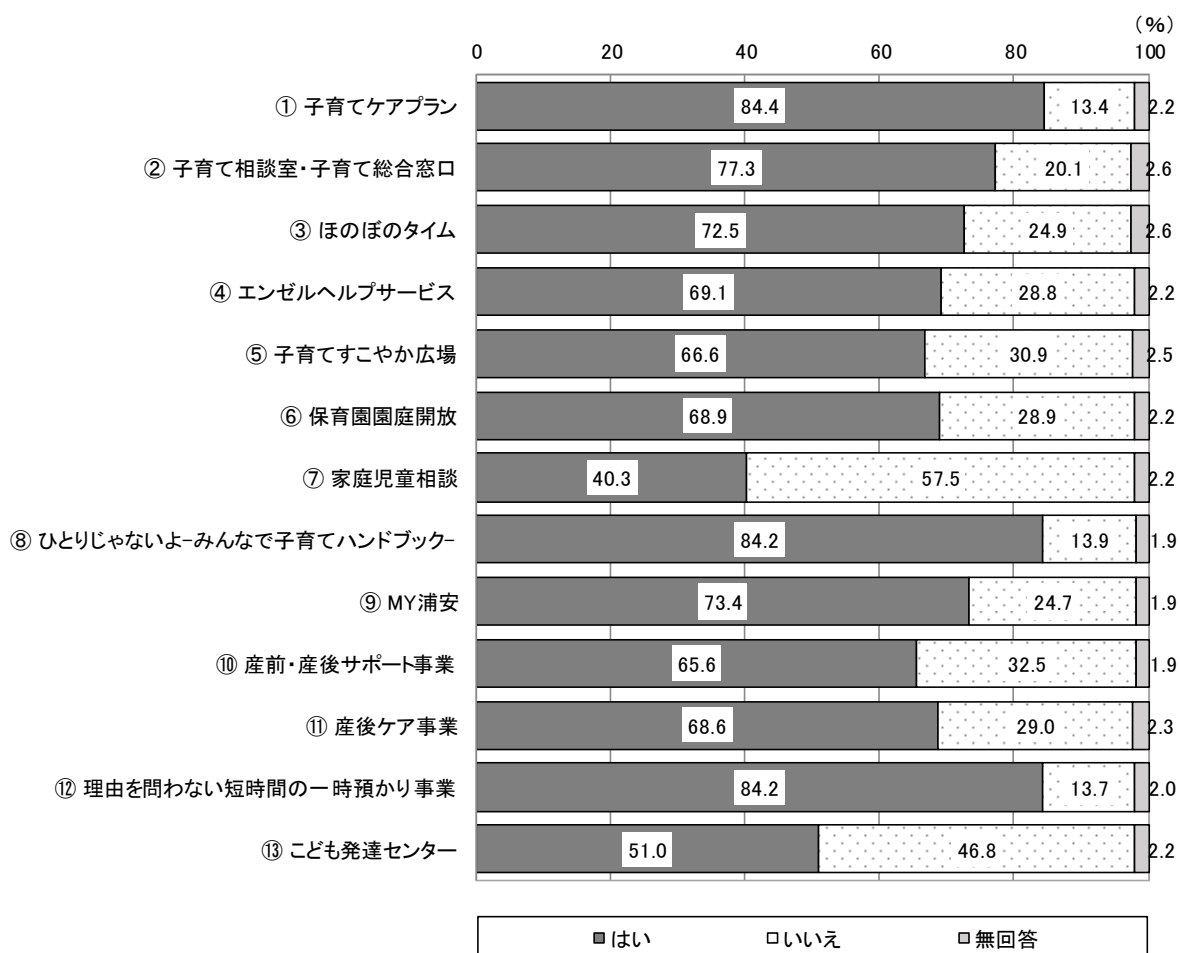
・「利用の必要がない」が22.0%と最も高く、次いで「時間がない」が17.9%、「立地・開始時間・日数等の利便性が悪く利用しづらい」が16.1%となっています。



n=659

問 17(A) 地域子育て支援事業の認知度（単回答）

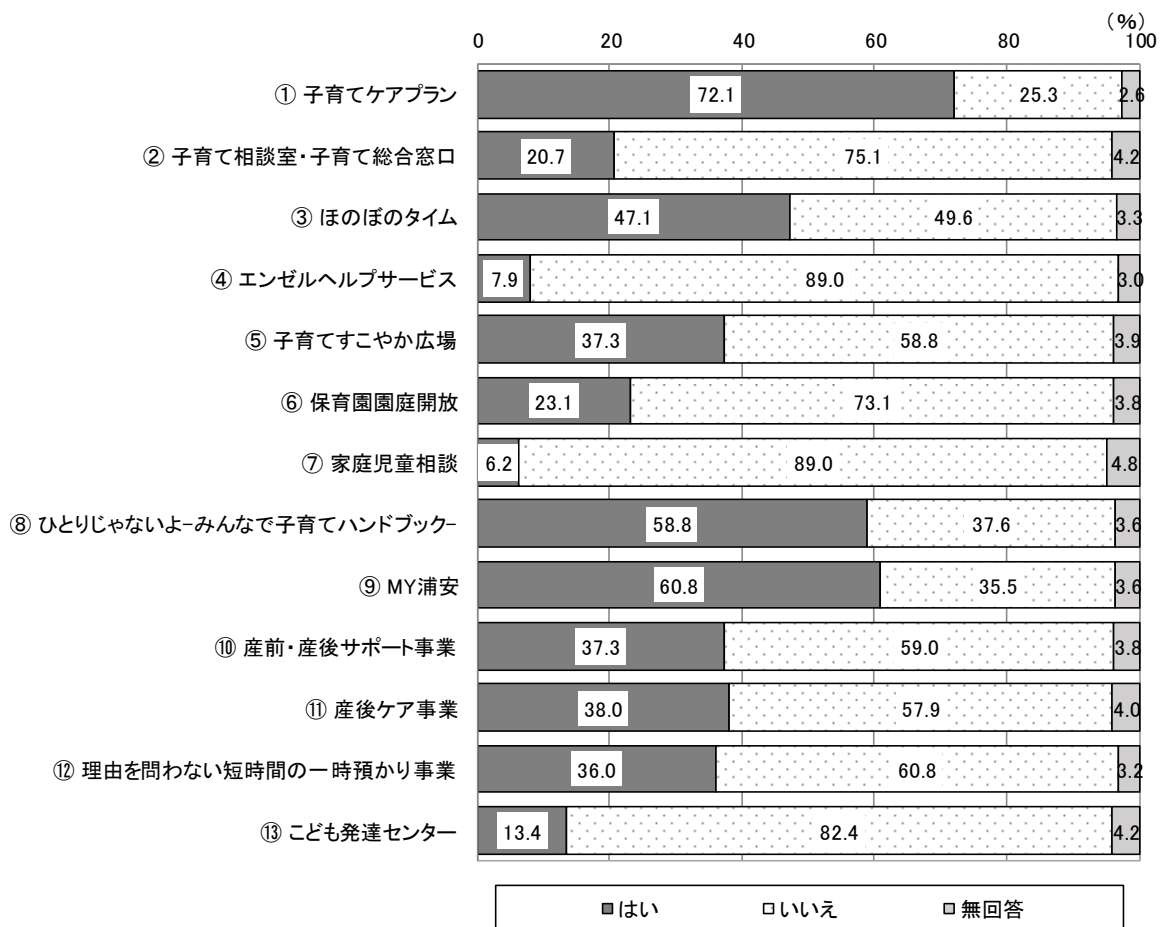
- 認知度が高い事業は、「子育てケアプラン」が 84.4%で最も高く、次いで「ひとりじゃないよ-みんなで子育てハンドブック-」と「理由を問わない短時間の一時預かり事業」が 84.2%となっています。
- 認知度が低い事業は、「家庭児童相談」が 40.3%で最も低く、次いで「こども発達センター」が 51.0%となっています。



n=692

問 17(B) 地域子育て支援事業の利用経験（単回答）

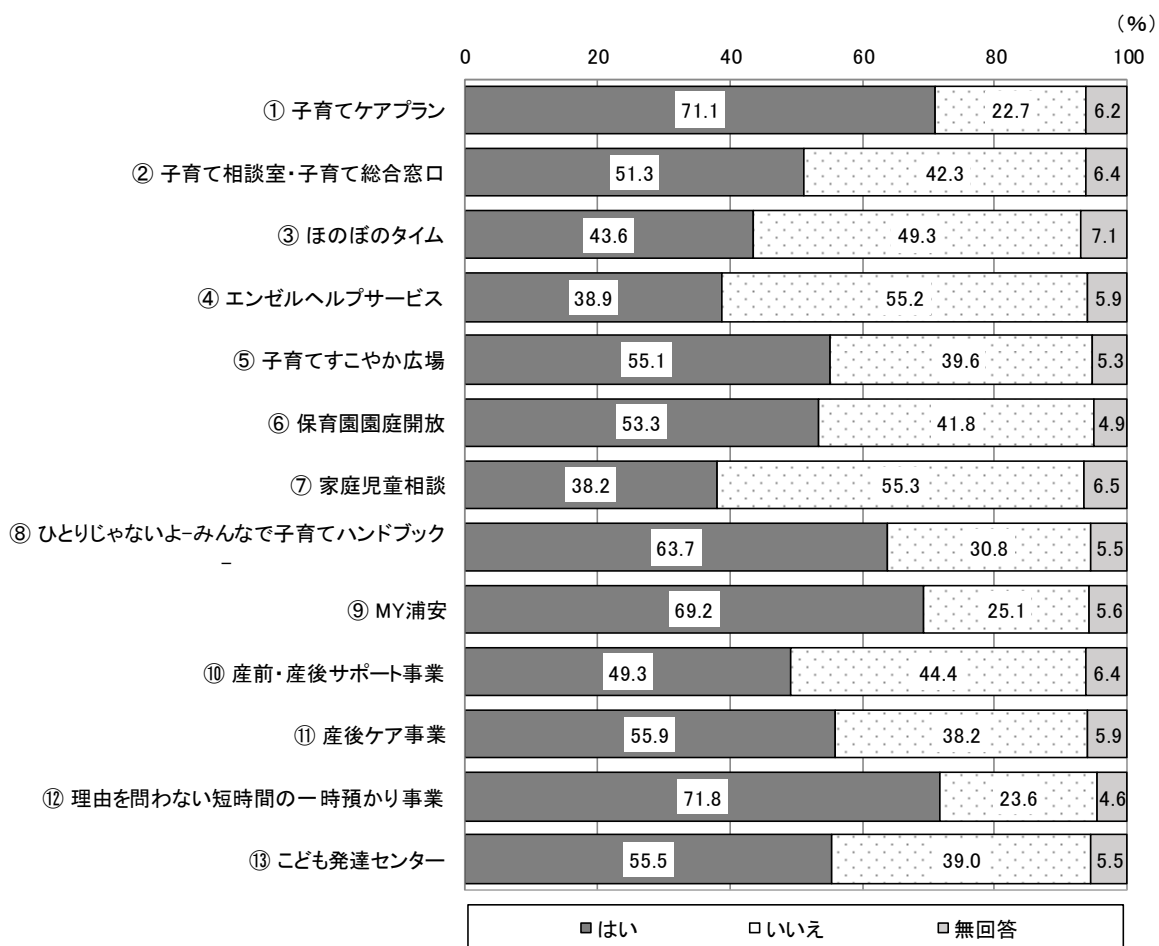
- 利用経験が高い事業は、「子育てケアプラン」が72.1%で最も高く、次いで「MY浦安」が60.8%となっています。
- 利用経験が低い事業は、「家庭児童相談」が6.2%で最も低く、次いで「エンゼルヘルプサービス」が7.9%となっています。
- 認知度と比較すると、「エンゼルヘルプサービス」は61.1ポイント、「子育て相談室・子育て総合窓口」は56.6ポイント利用経験が少なくなっています。



n=692

問 17(C) 地域子育て支援事業の今後の利用意向（単回答）

- 利用意向が高い事業は、「理由を問わない短時間の一時預かり事業」が71.8%で最も高く、次いで「子育てケアプラン」が71.1%となっています。
- 利用意向が低い事業は、「家庭児童相談」が38.2%で最も低く、次いで「エンゼルヘルプサービス」が38.9%となっています。
- 利用経験と比較すると、「こども発達センター」は42.1ポイント、「理由を問わない短時間の一時預かり事業」は35.8ポイント利用意向が高くなっています。



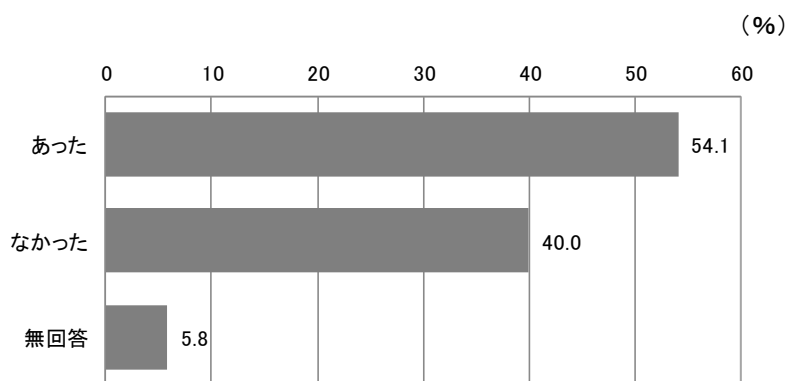
n=692

4. 病気やケガの際の対応について

問 18 この1年間の病気やケガの経験の有無（単回答）

【定期的な施設・事業を利用している方限定】

- ・「あった」が54.1%、「なかった」が40.0%となっています。
- ・子どもの年齢別にみると、「あった」は“1歳”の71.9%が最も高くなっています。



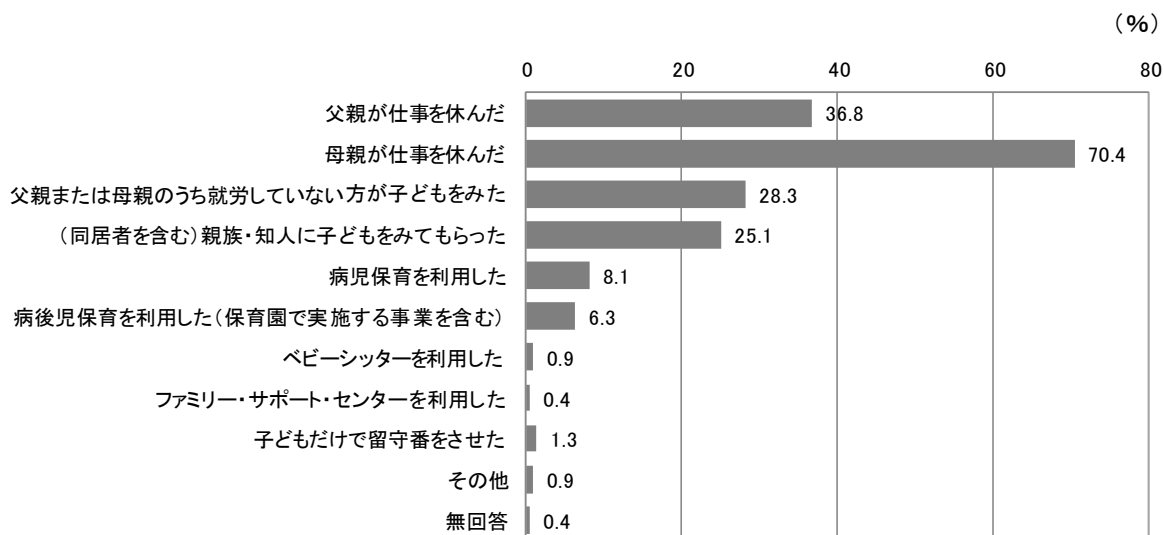
n=412

		合計	問18 この1年間の病気やケガの経験の有無			
			あった	なかった	無回答	非該当
全体		412 100.0	223 54.1	165 40.0	24 5.8	280
子どもの年齢	0歳	58 100.0	35 60.3	20 34.5	3 5.2	211
	1歳	32 100.0	23 71.9	8 25.0	1 3.1	24
	2歳	38 100.0	26 68.4	9 23.7	3 7.9	24
	3歳	93 100.0	51 54.8	37 39.8	5 5.4	15
	4歳	93 100.0	46 49.5	42 45.2	5 5.4	3
	5歳	98 100.0	42 42.9	49 50.0	7 7.1	3

問 18-1 病気やケガの場合の対処方法と日数（複数回答、数量回答）

【問 18 で「1. あった」と回答した方限定】

・「母親が仕事を休んだ」が 70.4%で最も高く、次いで「父親が休んだ」が 36.8%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が 28.3%となっています。



n=223

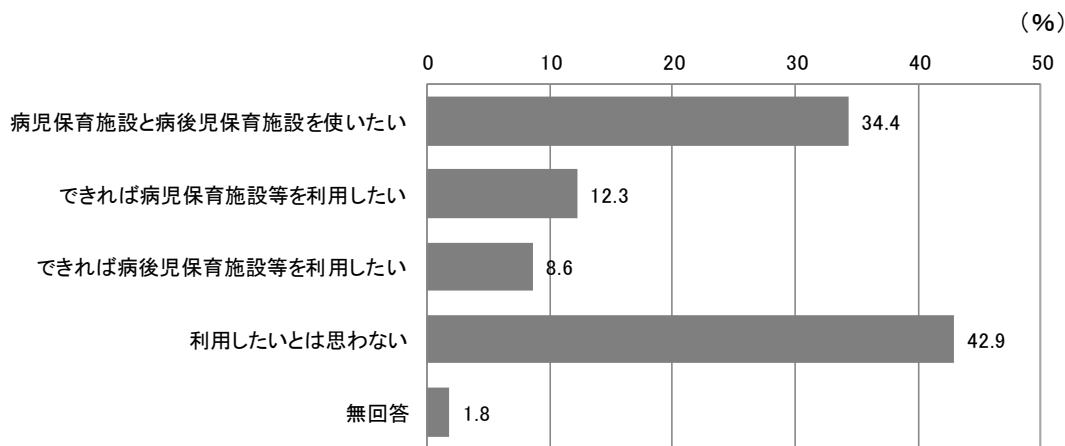
【対処方法別日数】

No.	対処方法	年間の平均日数
1	父親が仕事を休んだ	3.1
2	母親が仕事を休んだ	8.3
3	父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	7.4
4	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	11.1
5	病児保育を利用した	4.3
6	病後児保育を利用した(保育園で実施する事業を含む)	3.8
7	ベビーシッターを利用した	-
8	ファミリー・サポート・センターを利用した	1.0
9	子どもだけで留守番をさせた	2.5
10	その他	2.0

問 18-2 病児・病後児保育の利用希望（複数回答、数量回答）

【問 18-1 で「1.」「2.」と回答した方限定】

- 「できれば病児保育施設等を利用したい」が 47.2%、「できれば病後児保育施設等を利用したい」が 43.6%、「利用したいとは思わない」が 42.9%となっています。
- 子どもの年齢別にみると、年齢が上がると、「利用したいとは思わない」の割合も高くなっています。



n=163

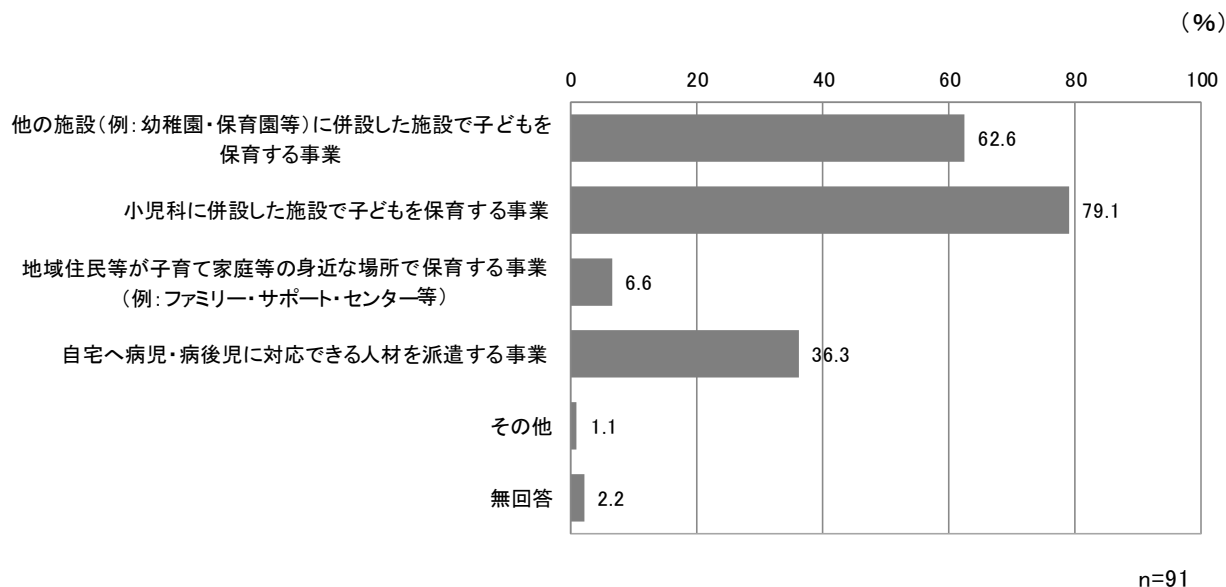
		合計	問18-2 病児・病後児保育の利用希望				非該当
			できれば病児保育施設等を利用したい	できれば病後児保育施設等を利用したい	利用したいとは思わない	無回答	
全体		163 100.0	77 47.2	71 43.6	70 42.9	3 1.8	529
子どもの年齢	0歳	33 100.0	15 45.5	11 33.3	13 39.4	1 3.0	236
	1歳	21 100.0	12 57.1	10 47.6	8 38.1	1 4.8	35
	2歳	23 100.0	10 43.5	10 43.5	10 43.5	0 0.0	39
	3歳	33 100.0	17 51.5	16 48.5	13 39.4	0 0.0	75
	4歳	27 100.0	12 44.4	14 51.9	12 44.4	1 3.7	69
	5歳	26 100.0	11 42.3	10 38.5	14 53.8	0 0.0	75

【対処方法別日数】

No.	利用したい事業	年間の平均日数
1	できれば病児保育施設等を利用したい	5.3
2	できれば病後児保育施設等を利用したい	4.8

問 18-3 望ましい事業形態（複数回答）【問 18-2で「1.」「2.」と回答した方限定】

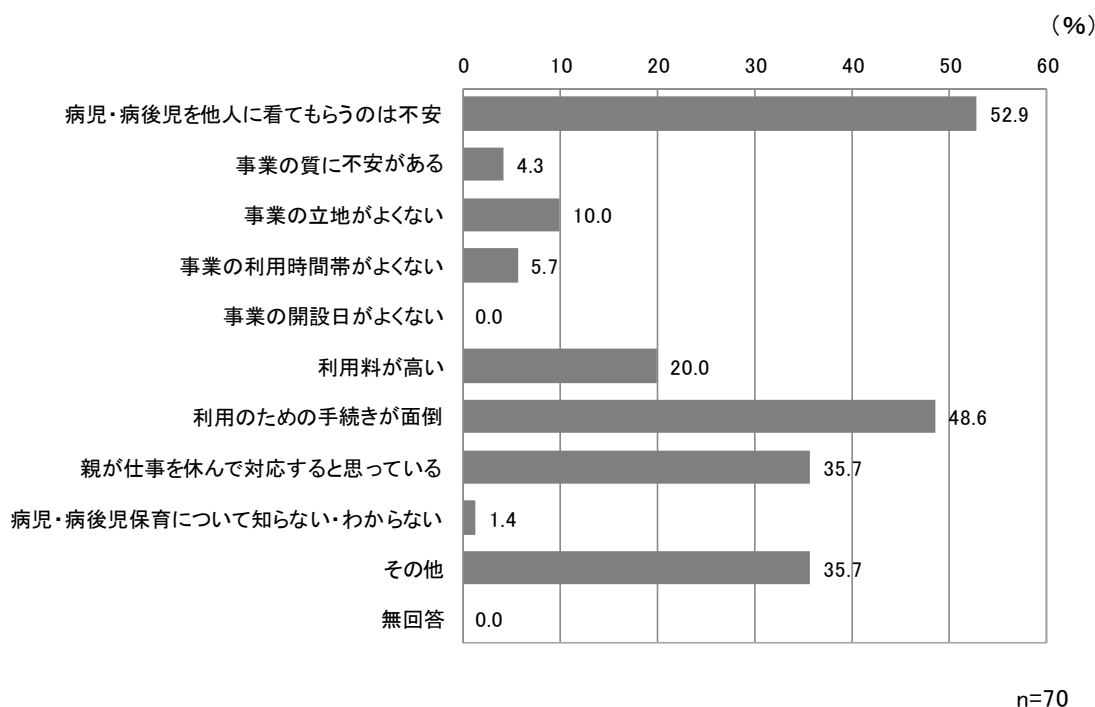
・「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が79.1%で最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が62.6%、「自宅へ病児・病後児に対応できる人材を派遣する事業」が36.3%の順となっています。



問 18-4 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由（複数回答）

【問 18-2で「3. 利用したいとは思わない」と回答した方限定】

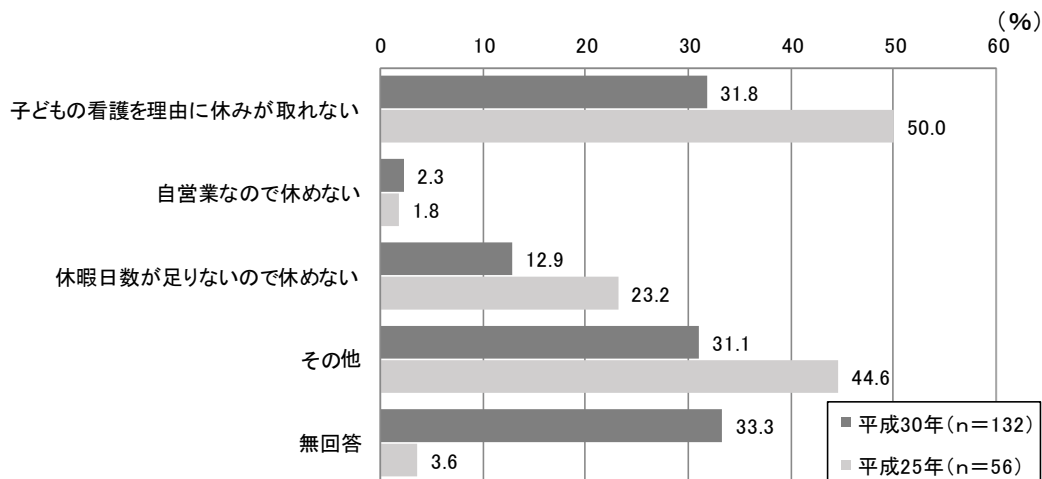
・「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が52.9%で最も高く、次いで「利用のための手続きが面倒」が48.6%、「親が仕事を休んで対応すると思っている」と「その他」がそれぞれ35.7%となっています。



問 18-5 問 18-1 の「3.」～「10.」の対応をした理由（複数回答）

【問 18-1 で「3.」～「10.」と回答した方限定】

- 「子どもの看護を理由に休みが取れない」が31.8%で最も高く、次いで「その他」が31.1%となっています。
- 平成25年調査と比較すると、「子どもの看護を理由に休みが取れない」は、18.2ポイント減少しています。
- 現在の家庭類型別にみると、“タイプA（ひとり親家庭）”より“タイプC（フルタイム×パートタイム）”の方が、「子どもの看護を理由に休みが取れない」の割合が高くなっています。

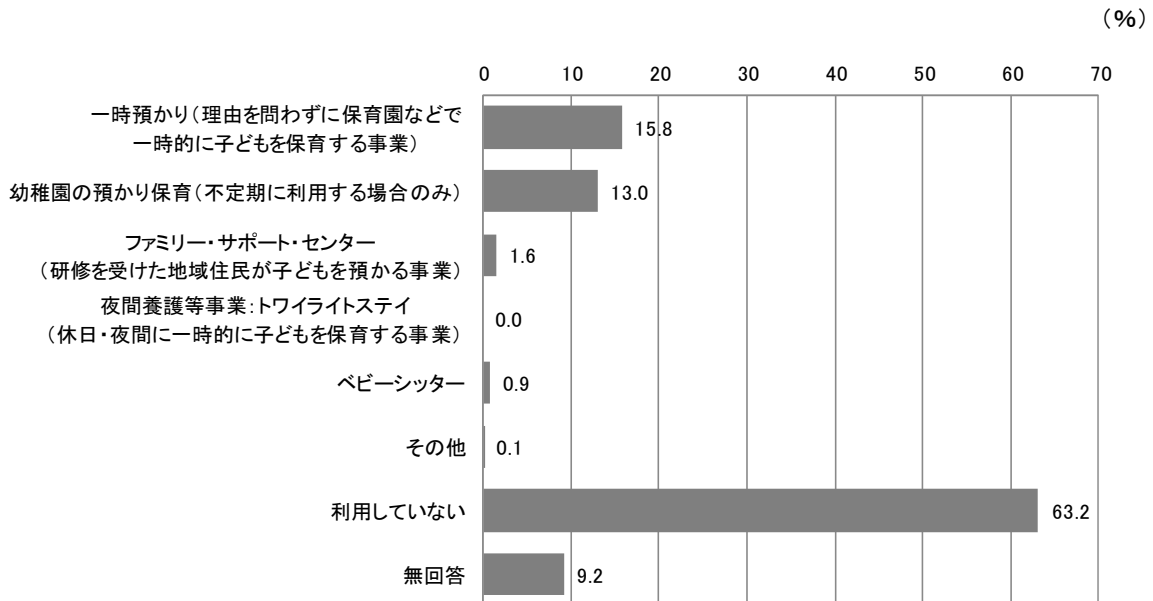


	合計	問18-5 問18-1で「3」～「10」を選んだ理由					非該当	
		子どもの看護を理由に休みが取れない	自営業なので休めない	休暇日数が足りないので休めない	その他	無回答		
全体	132 100.0	42 31.8	3 2.3	17 12.9	41 31.1	44 33.3	560	
現在の家庭類型	タイプA	5 100.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	3 60.0	21
	タイプB	56 100.0	17 30.4	2 3.6	12 21.4	18 32.1	15 26.8	228
	タイプC	23 100.0	12 52.2	0 0.0	3 13.0	7 30.4	7 30.4	104
	タイプC'	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1
	タイプD	46 100.0	12 26.1	1 2.2	1 2.2	14 30.4	19 41.3	193
	タイプE	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4
	タイプE'	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0
	タイプF	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	3

5. 不定期の教育・保育事業の利用について

問 19 不定期に利用した事業（複数回答、数量回答）

- 「利用していない」が63.2%で最も高くなっています。
- 利用している事業では、「一時預かり（理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業）」が15.8%、「幼稚園の預かり保育（不定期に利用する場合のみ）」が13.0%となっています。



n=692

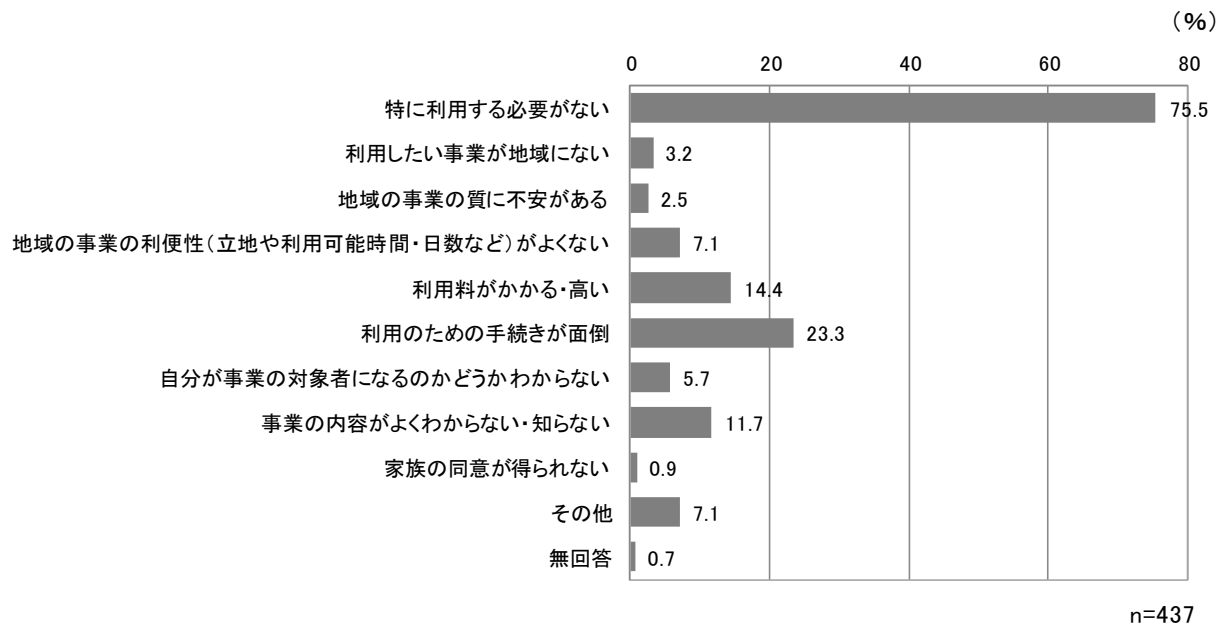
【利用日数】

No.	利用している事業	年間の平均日数
1	一時預かり(理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業)	14.9
2	幼稚園の預かり保育(不定期に利用する場合のみ)	29.6
3	ファミリー・サポート・センター(研修を受けた地域住民が子どもを預かる事業)	8.8
4	夜間養護等事業:トワイライトステイ(休日・夜間に一時的に子どもを保育する事業)	-
5	ベビーシッター	3.2
6	その他	15.0

問 19-1 不定期で事業を利用していない理由（複数回答）

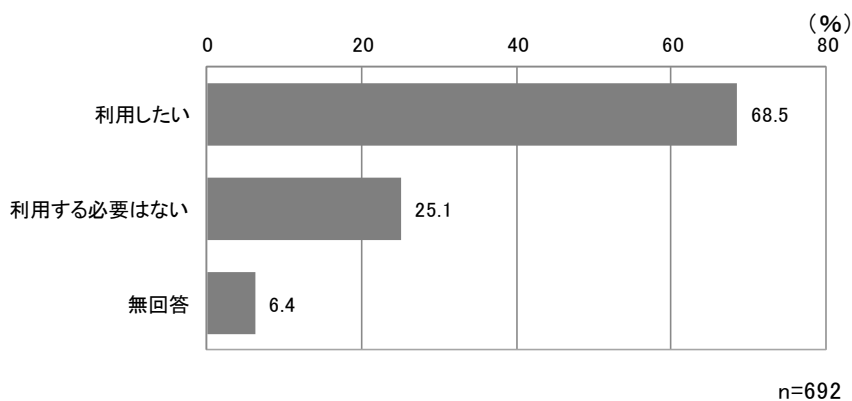
【問 19 で「7. 利用していない」と回答した方限定】

- ・「特に利用する必要がない」が 75.5% で最も高く、次いで「利用のための手続きが面倒」が 23.3%、「利用料がかかる・高い」が 14.4% となっています。



問 20① 一時的な預かり事業の利用希望（単回答）

- ・「利用したい」が 68.5%、「利用する必要はない」が 25.1% となっています。
- ・現在の家庭類型別にみると、「タイプA（ひとり親家庭）」のみ「利用する必要はない」が高い割合となっています。

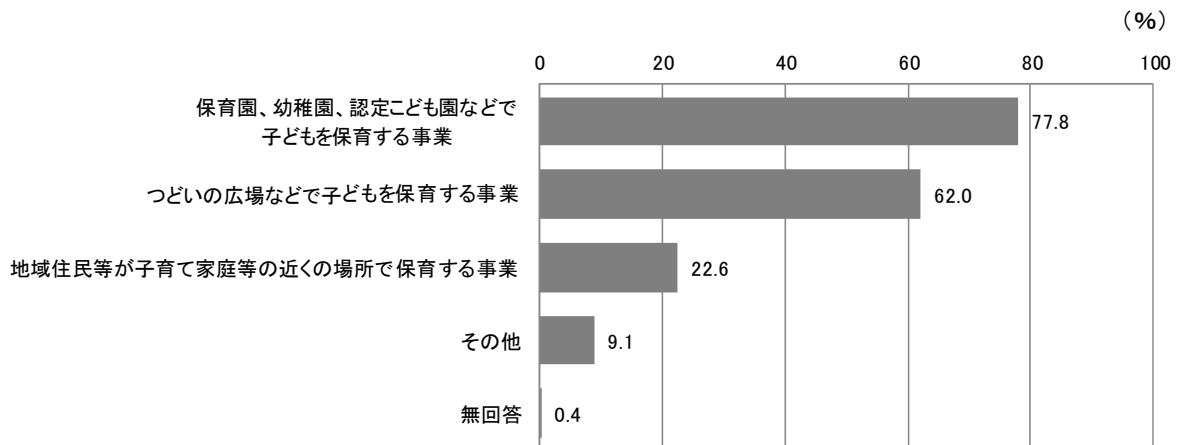


	合計	問20 一時的な預かり事業の利用希望			
		利用したい	利用する必要はない	無回答	
全体	692 100.0	474 68.5	174 25.1	44 6.4	
現在の家庭類型	タイプA:ひとり親	26 100.0	11 42.3	12 46.2	3 11.5
	タイプB:フルタイム×フルタイム	284 100.0	187 65.8	75 26.4	22 7.7
	タイプC:フルタイム×パートタイム	127 100.0	74 58.3	47 37.0	6 4.7
	タイプC':フルタイム×パートタイム(短)	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	タイプD:専業主婦(夫)	239 100.0	192 80.3	35 14.6	12 5.0
	タイプE':パートタイム×パートタイム(短)	4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0
	タイプF:無業×無業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	タイプF	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0

問 20② 不定期に利用したい事業（複数回答）

【問 20①で「1. 利用したい」と回答した方限定】

- 「保育園、幼稚園、認定こども園などで子どもを保育する事業」が 77.8%で最も高く、次いで「つどいの広場などで子どもを保育する事業」が 62.0%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が 22.6%の順となっています。

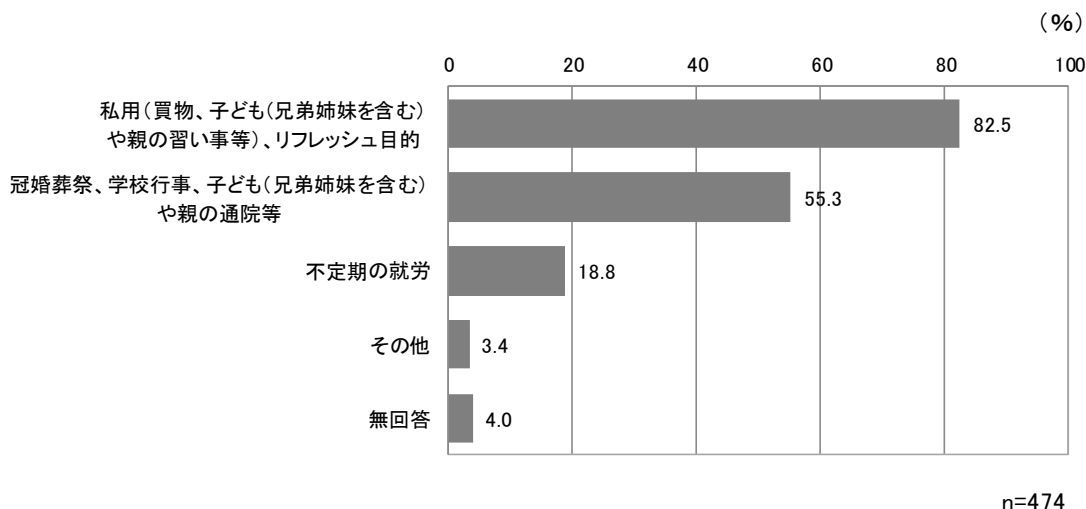


n=474

問 20③ 一時的な預かり事業の利用目的・日数（複数回答、数量回答）

【問 20①で「1. 利用したい」と回答した方限定】

- ・「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 82.5%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 55.3%、「不定期の就労」が 18.8%となっています。

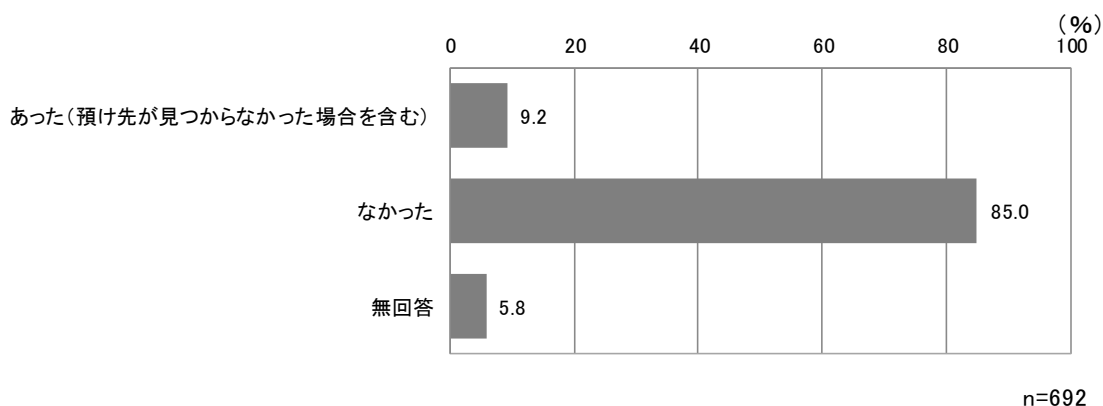


【利用したい日数】

No.	利用目的	年間の平均日数
1	私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	19.4
2	冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	9.3
3	不定期の就労	53.8
4	その他	29.6

問 21① 宿泊を伴う一時預かり等の必要性の有無（単回答）

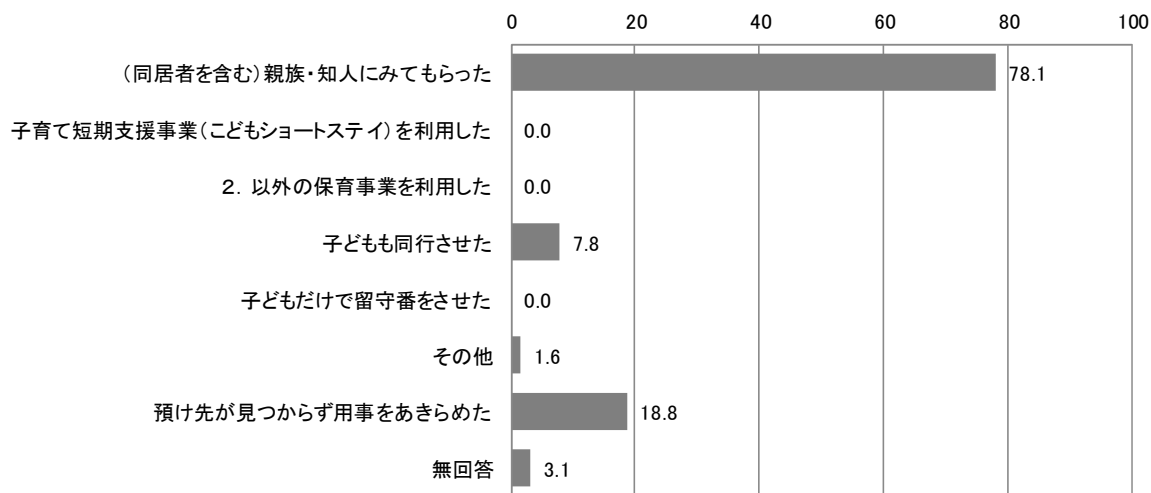
- ・「あった（預け先が見つからなかった場合を含む）」が 9.2%、「なかった」が 85.0%となっています。
- ・子どもの年齢別にみると、「あった（預け先が見つからなかった場合を含む）」は「3 歳」の 13.0%が最も高くなっています。



	合計	問21 宿泊を伴う一時預かり等の必要性の有無			
		あった (預け先が見つからなかった場合を含む)	なかった	無回答	
全体	692 100.0	64 9.2	588 85.0	40 5.8	
子どもの年齢	0歳	269 100.0	22 8.2	229 85.1	18 6.7
	1歳	56 100.0	7 12.5	47 83.9	2 3.6
	2歳	62 100.0	8 12.9	51 82.3	3 4.8
	3歳	108 100.0	14 13.0	90 83.3	4 3.7
	4歳	96 100.0	4 4.2	88 91.7	4 4.2
	5歳	101 100.0	9 8.9	83 82.2	9 8.9

問 21② 宿泊を伴う一時預かりが必要となった場合の対処方法（複数回答、数量回答）
【問 21①で「1. あった」と回答した方限定】

・「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 78.1%で最も高く、次いで「預け先が見つからないので用事をあきらめた」が 18.8%、「子どもも同行させた」が 7.8%となっています。
 (%)



n=64

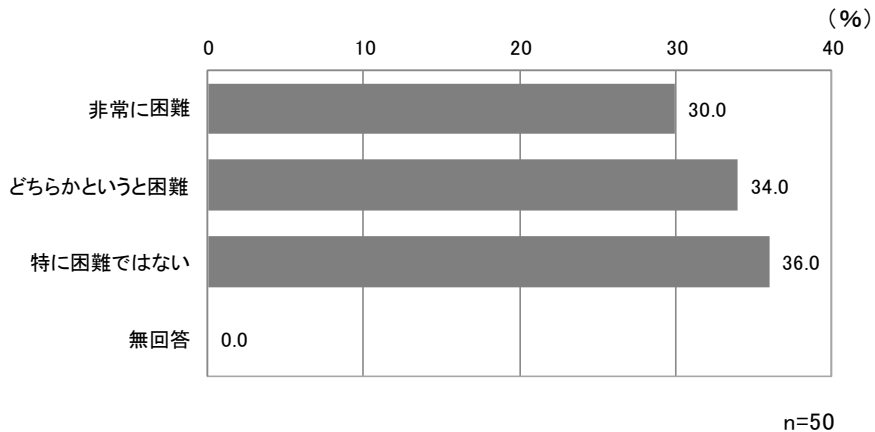
【対処方法別日数】

No.	対処方法	年間の平均日数
1	(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	6.6
2	子育て短期支援事業(こどもショートステイ)を利用した	-
3	2. 以外の保育事業を利用した	-
4	子どもも同行させた	-
5	子どもだけで留守番をさせた	2.0
6	その他	-
7	預け先が見つからず用事をあきらめた	15.0

問 21-1 親族・知人に預かってもらった際の困難度（単回答）

【問 21②で「1.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と回答した方限定】

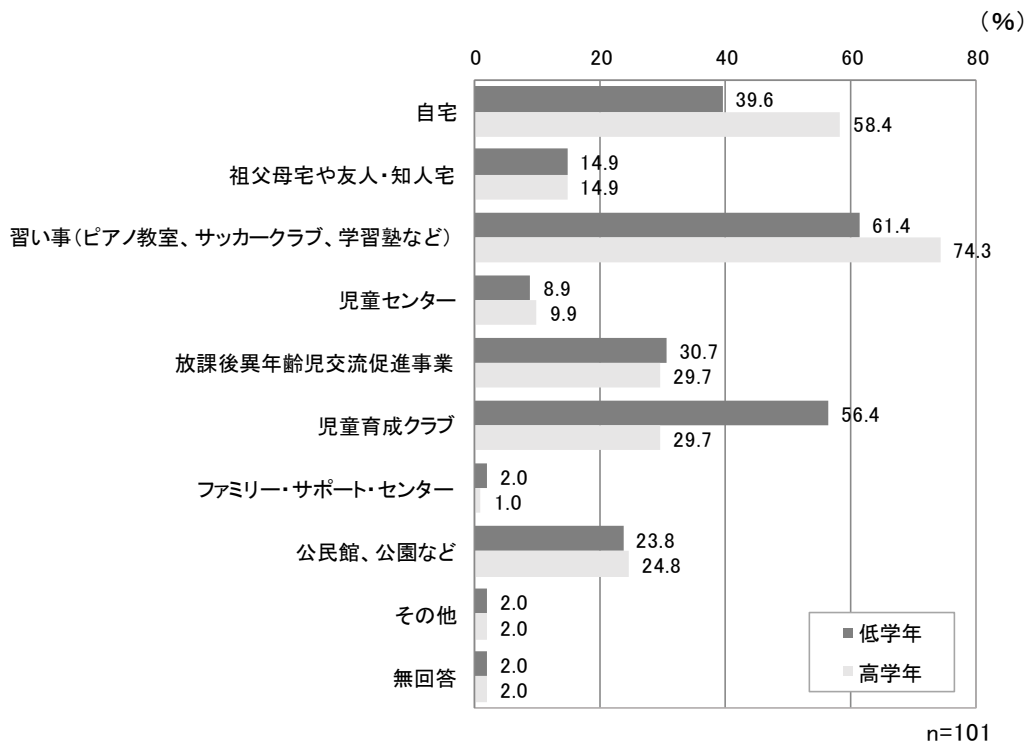
・「非常に困難」が30.0%、「どちらかという困難」が34.0%で合わせた『困難』は64.0%となっています。



6. 小学校就学後における放課後の過ごし方について【5歳児限定】

問 22 (1) 小学校就学後の放課後に希望する居場所（複数回答、数量回答）

- 低学年時は、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 61.4%で最も高く、次いで「児童育成クラブ」が 56.4%、「自宅」が 39.6%となっています。
- 高学年時は、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 74.3%で最も高く、次いで「自宅」が 58.4%、「放課後異年齢児交流促進事業」と「児童育成クラブ」がそれぞれ 29.7%となっています。
- 低学年と高学年を比較すると、高学年では「自宅」が 18.8 ポイント増加、「児童育成クラブ」が 26.7 ポイント減少しています。



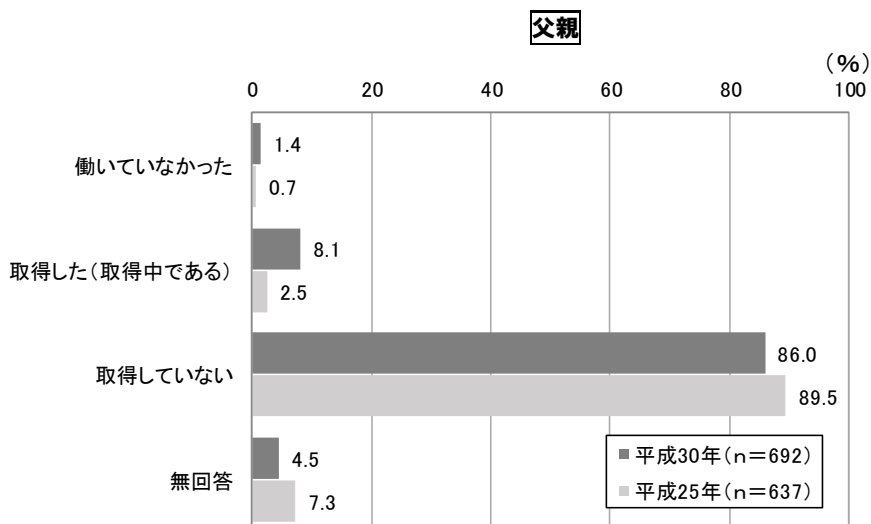
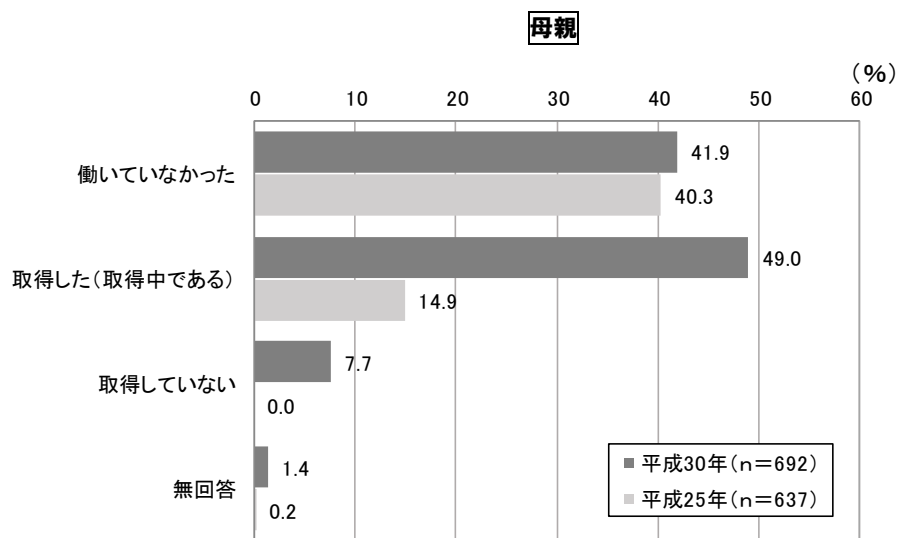
No.	居場所	低学年 週当たりの平均 日数	高学年 週当たりの平均 日数
1	自宅	2.9	2.7
2	祖父母宅や友人・知人宅	1.7	2.1
3	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	2.1	2.8
4	児童センター	2.1	2.1
5	放課後異年齢児交流促進事業	2.4	2.3
6	児童育成クラブ	4.4	3.7
7	ファミリー・サポート・センター	1.0	1.0
8	公民館、公園など	2.0	2.2
9	その他	2.5	3.0

7. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 23 (1) 母親の育児休業の取得状況 (単回答、複数回答)

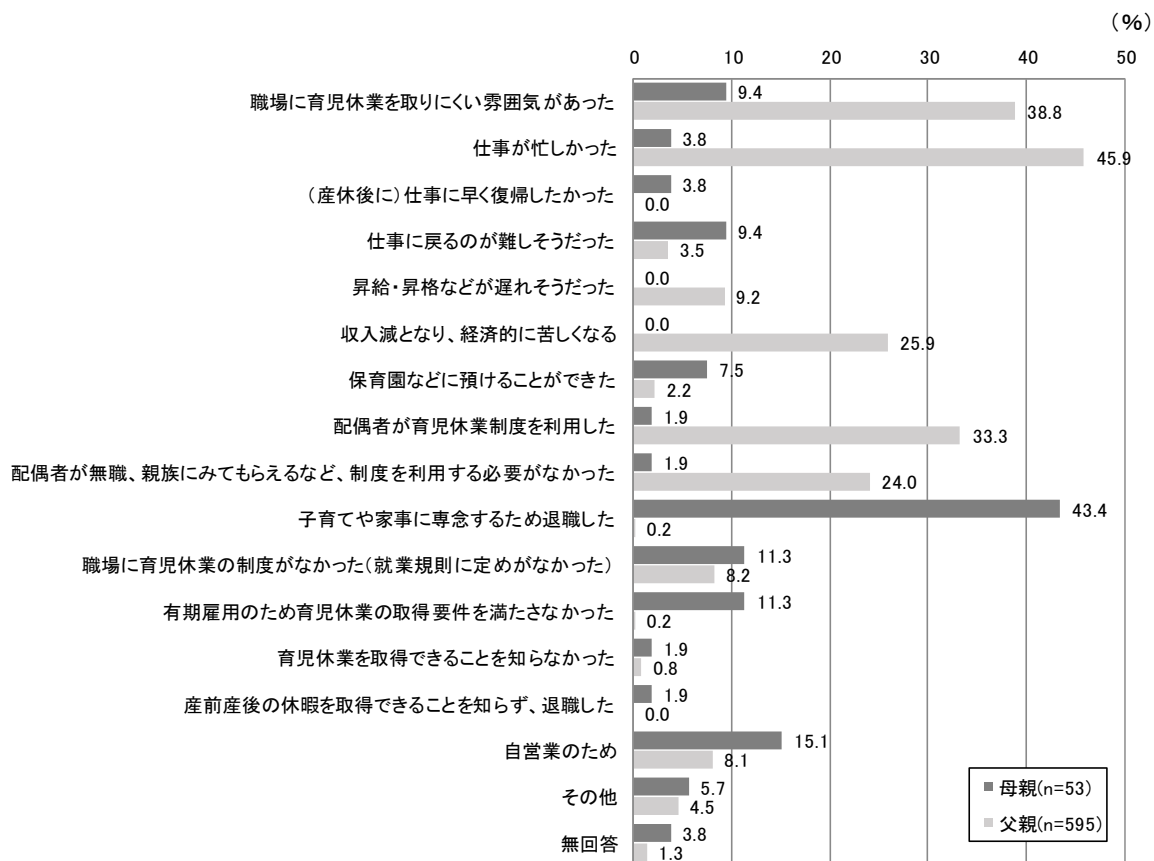
[取得状況]

- 母親は、「取得した (取得中である)」が 49.0%、「働いていなかった」が 41.9%、「取得していない」は 7.7%となっている。
- 父親は、「取得していない」が 86.0%、「取得した (取得中である)」は 8.1%となっている。
- 平成 25 年調査と比較すると、「取得した (取得中である)」は、母親で 34.1 ポイント、父親で 5.6 ポイントの増加となっています。



[取得していない理由]

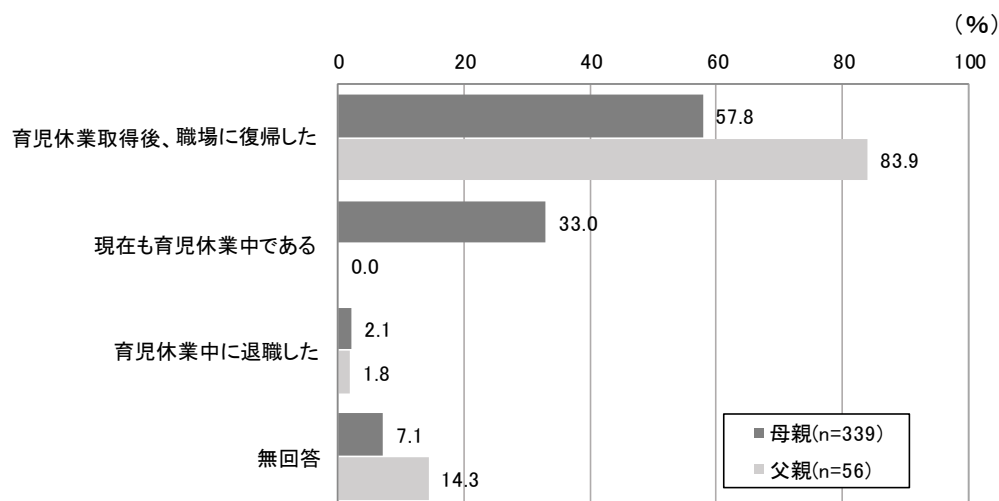
- 母親は、「子育てや家事に専念するために退職した」が43.4%で最も高く、次いで「自営業のため」が15.1%、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」と「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」がそれぞれ11.3%となっています。
- 父親は、「仕事が忙しかった」が45.9%で最も多く、次いで「職場に育児休業を取得しにくい雰囲気があった」が38.8%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が33.3%の順となっています。



問 23-1 育児休業後の職場への復帰の状況（単回答）

【問 23 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方限定】

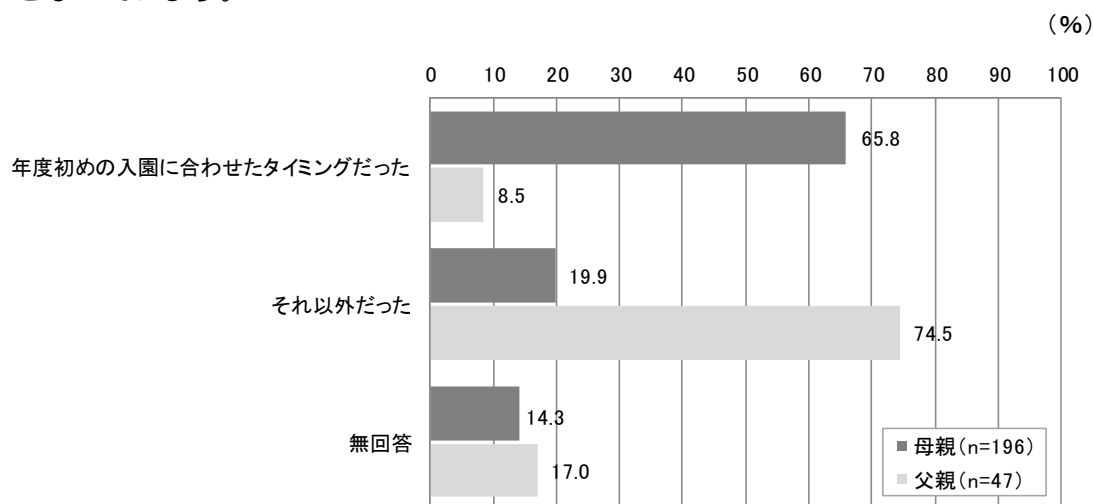
- 「育児休業取得後、職場に復帰した」は、母親が57.8%、父親が83.9%となっています。
- 母親は、「現在も育児休業中である」が33.0%となっています。



問 23-2 育児休業後の職場への復帰のタイミング（単回答）

【問 23-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方限定】

- 母親は、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 65.8%、「それ以外だった」が 19.9% となっています。
- 父親は、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 8.5%、「それ以外だった」が 74.5% となっています。

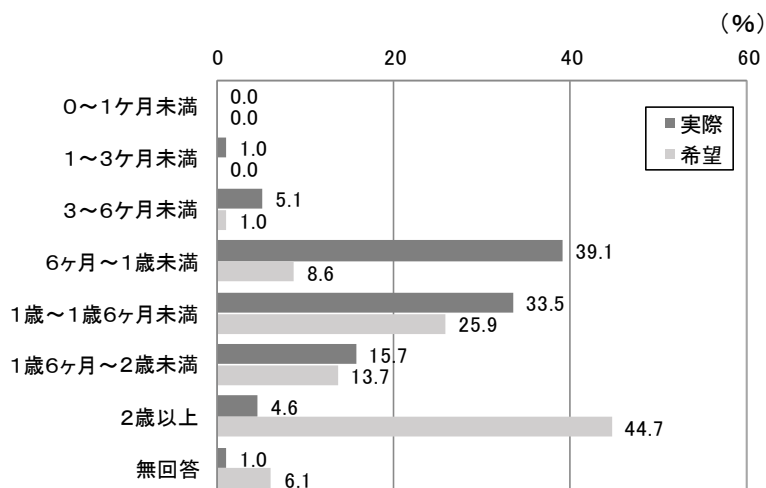


問 23-3 育児休業後の職場への復帰の実際の時期と希望する時期（数量回答）

【問 23-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方限定】

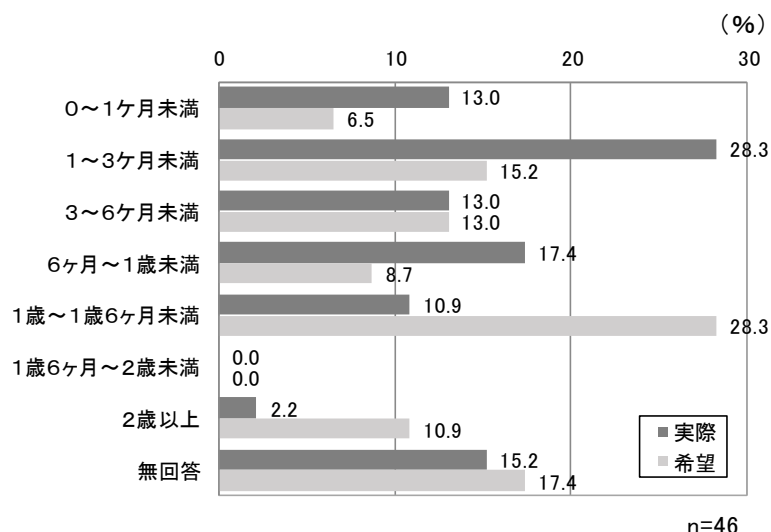
- 母親は、実際は「6ヶ月～1歳未満」が 39.1%で最も多く、希望は「1歳～1歳6ヶ月未満」が最も多くなっており、「2歳以上」も 4.6%となっている。
- 父親は、実際は「1～3ヶ月未満」が 28.3%と最も多く、希望は「1歳～1歳6ヶ月未満」が最も多い。

【母親】



n=197

【父親】

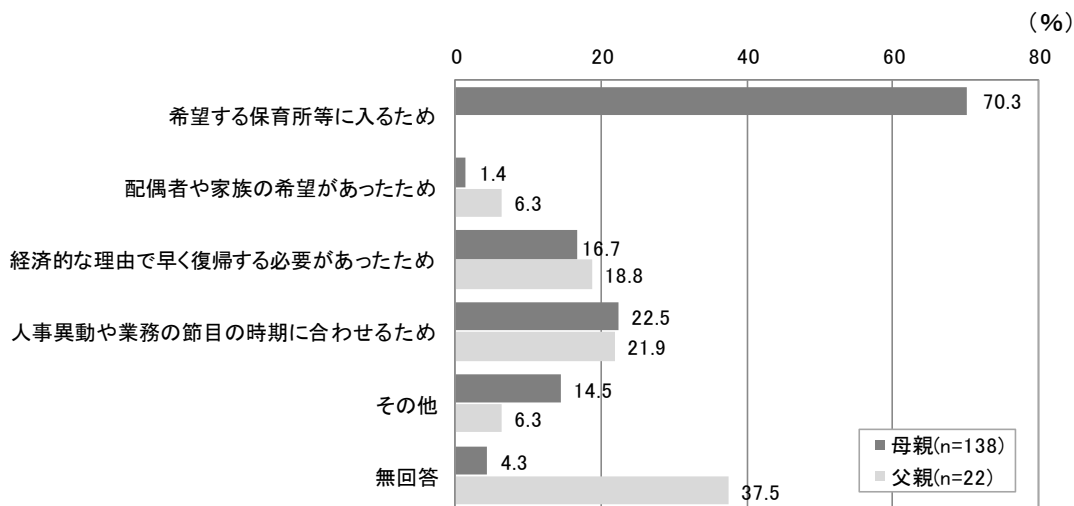


問 23-4 職場復帰の実際の時期と希望する時期が異なる理由（複数回答）

【問 23-3 で実際の時期と希望する時期が異なる方限定】

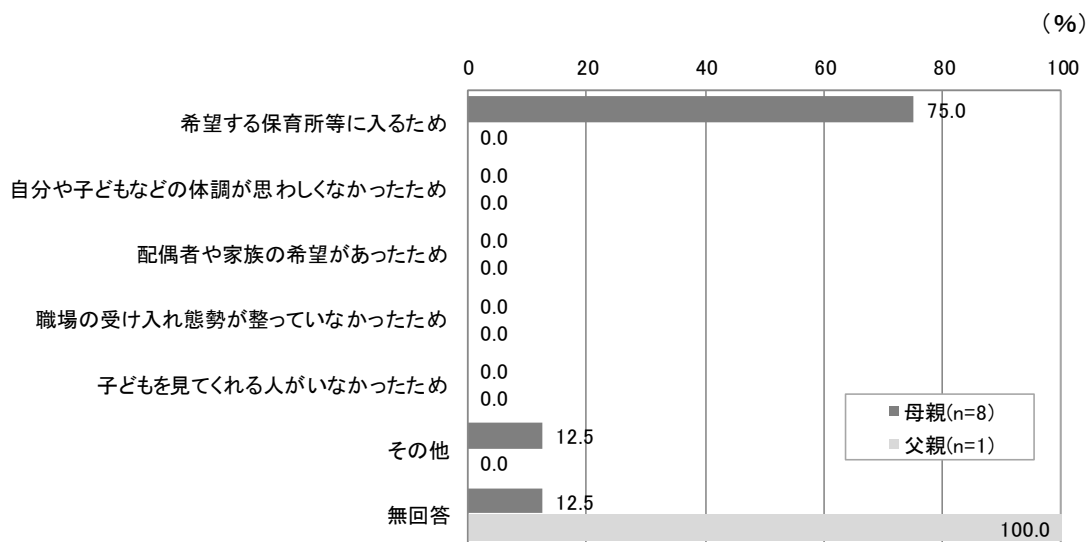
[①希望より「早く」復帰した理由]

- 母親は、「希望する保育所に入るため」が 70.3%で最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 22.5%となっています。
- 父親は、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 21.9%で最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が 18.8%となっています。



【②希望より「遅く」復帰した理由】

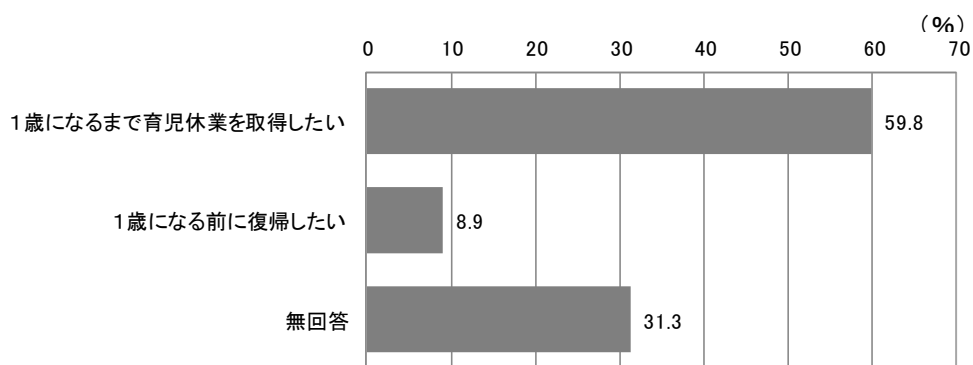
- 母親は、「希望する保育所に入れなかったため」が 75.0%で最も高く、父親は、対象が1人で、無回答となっています。



問 23-5 子どもを必ず預けられる施設がある場合の1歳までの育児休業の取得について (単回答)

【問 23-1で「2. 現在も育児休業中である」と回答し、子どもが1歳未満の方限定】

- 「1歳になるまで育児休業を取得したい」は、母親が 59.8%、「1歳になる前に復帰したい」は 8.9%となっています。
- 父親は、回答対象者が一人もいません。

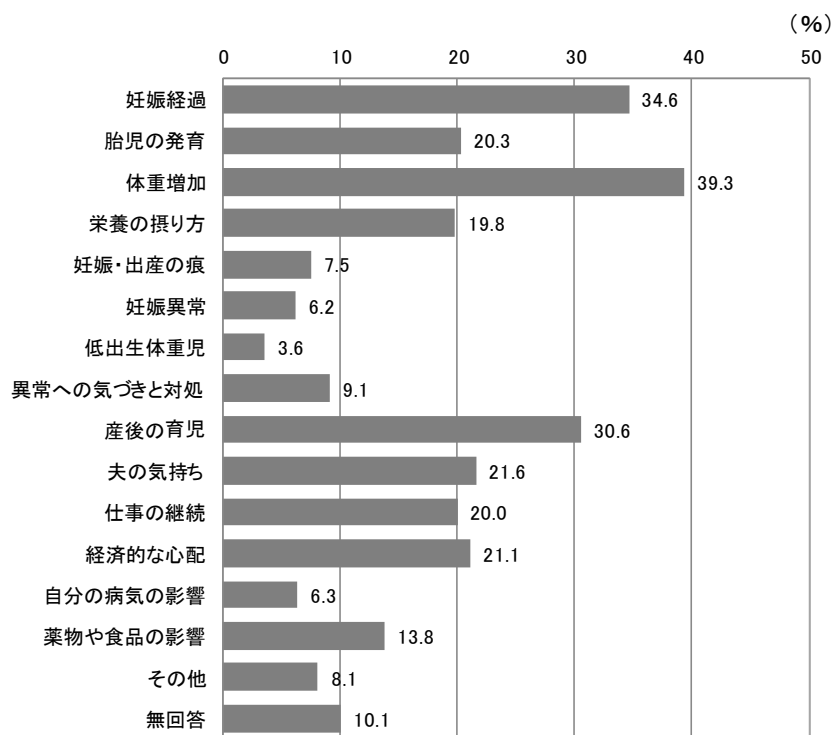


n=112

8. 子育てに関する意識について

問 24 妊娠中に感じたストレス（複数回答）【母親限定】

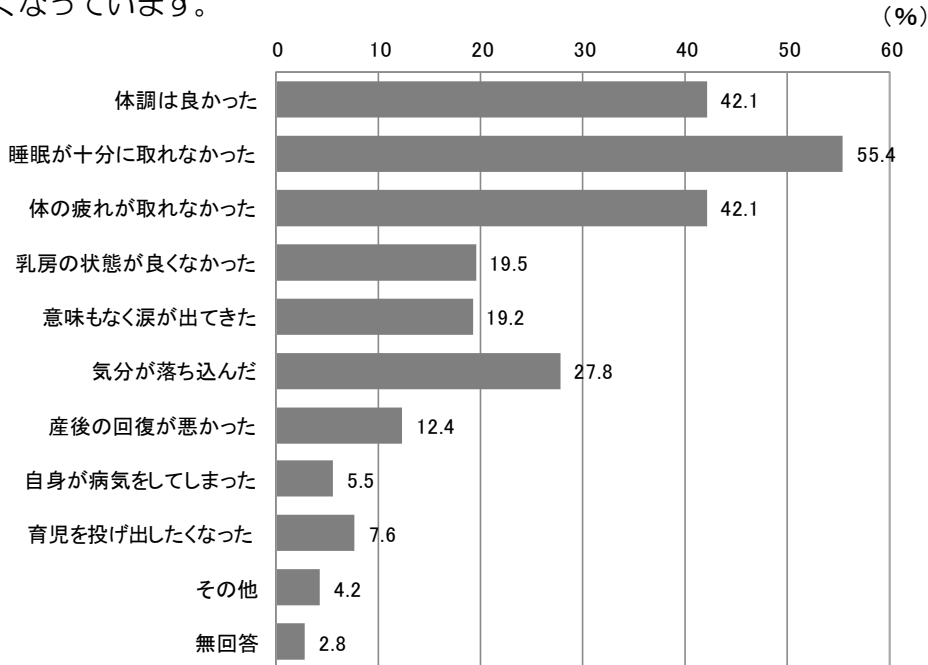
・「体重増加」が39.3%で最も高く、次いで「妊娠経過」が34.6%、「産後の育児」が30.6%となっています。



n=615

問 25 産後の母親の身体面、精神面の体調（複数回答）【母親限定】

- ・「睡眠が十分に取れなかった」が55.4%で最も高く、次いで「体調は良かった」と「体の疲れが取れなかった」がそれぞれ42.1%となっています。
- ・子どもをみてもらえる親族、友人の有無別にみると、“いずれもない”は「体調は良かった」が最も低くなっています。



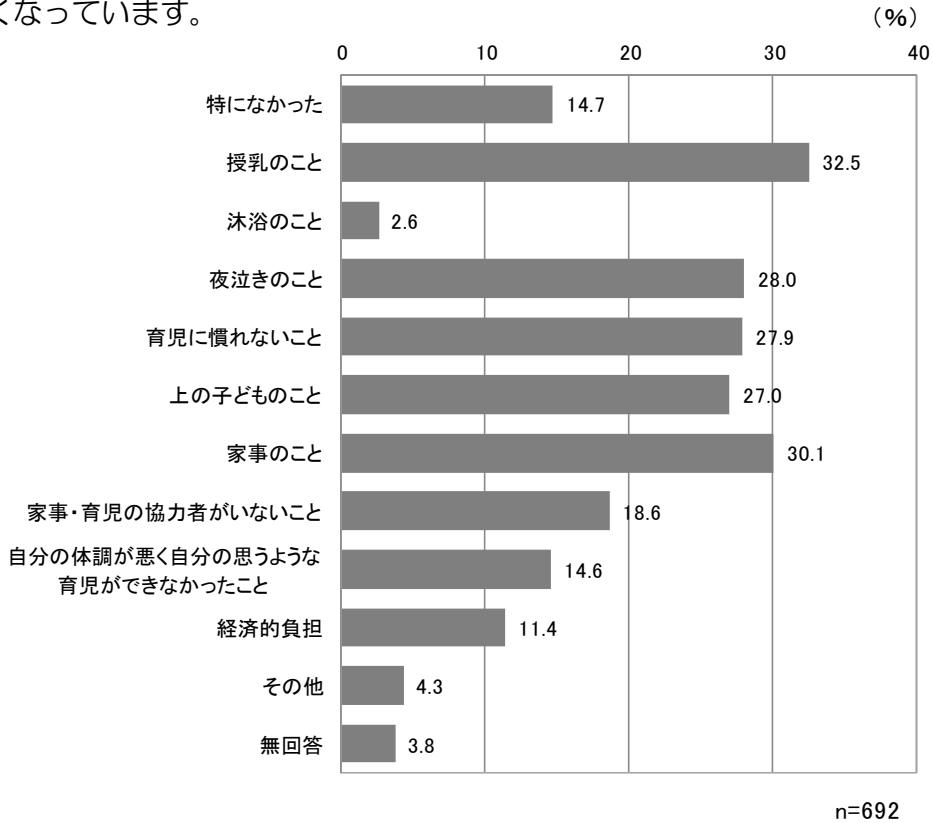
n=615

		合計	問25 産後の母親の身体面、精神面の体調							
			体調は良 かった	睡眠が十 分に取れ なかった	体の疲れ が取れな かった	乳房の状 態が良く なかった	意味もな く涙が出 てきた	気分が落 ち込んだ	産後の回 復が悪 かった	自身が病 気をし てしま った
全体		615 100.0	259 42.1	341 55.4	259 42.1	120 19.5	118 19.2	171 27.8	76 12.4	34 5.5
子どもを みてもら える親 族、友人 の有無	日常的に親族（祖父母等） にみてもらえる	82 100.0	34 41.5	43 52.4	38 46.3	16 19.5	20 24.4	19 23.2	15 18.3	9 11.0
	緊急時や用事がある際には 親族にみてもらえる	334 100.0	155 46.4	186 55.7	151 45.2	57 17.1	56 16.8	90 26.9	35 10.5	15 4.5
	日常的に子どもをみてもら える友人・知人がいる	17 100.0	12 70.6	7 41.2	6 35.3	0 0.0	3 17.6	1 5.9	0 0.0	0 0.0
	緊急時等に子どもをみても らえる友人・知人がいる	143 100.0	72 50.3	78 54.5	52 36.4	20 14.0	15 10.5	22 15.4	13 9.1	3 2.1
	いずれもない	159 100.0	57 35.8	88 55.3	61 38.4	40 25.2	40 25.2	55 34.6	23 14.5	9 5.7

		合計	問25 産後の母親の身体面、精神面の体調			
			育児を投 げ出した くなった	その他	無回答	非該当
全体		615 100.0	47 7.6	26 4.2	17 2.8	77
子どもを みてもら える親 族、友人 の有無	日常的に親族（祖父母等） にみてもらえる	82 100.0	5 6.1	1 1.2	3 3.7	13
	緊急時や用事がある際には 親族にみてもらえる	334 100.0	28 8.4	11 3.3	8 2.4	44
	日常的に子どもをみてもら える友人・知人がいる	17 100.0	0 0.0	3 17.6	1 5.9	1
	緊急時等に子どもをみても らえる友人・知人がいる	143 100.0	7 4.9	11 7.7	4 2.8	6
	いずれもない	159 100.0	14 8.8	7 4.4	3 1.9	19

問 26 産後の育児に関して困ったことや辛かったこと（複数回答）

- ・「授乳のこと」が32.5%で最も高く、次いで「家事のこと」が30.1%、「夜泣きのこと」が28.0%の順となっています。
- ・子どもをみてもらえる親族、友人の有無別にみると、“いずれもない”は「特になかった」が最も低くなっています。

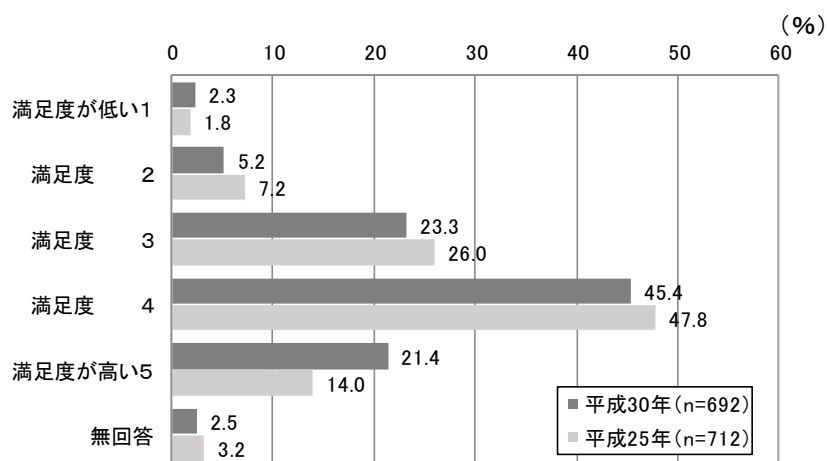


		合計	問26 産後の育児に関して困ったことや辛かったこと						
			特になかった	授乳のこと	沐浴のこと	夜泣きのこと	育児に慣れないこと	上の子どものこと	家事のこと
全体		692	102	225	18	194	193	187	208
		100.0	14.7	32.5	2.6	28.0	27.9	27.0	30.1
子どもをみてもらえる親族、友人の有無	日常的に親族（祖父母等）にみてもらえる	95	21	25	2	25	22	15	20
	100.0	22.1	26.3	2.1	26.3	23.2	15.8	21.1	
	緊急時や用事がある際には親族にみてもらえる	378	56	128	10	111	102	115	124
	100.0	14.8	33.9	2.6	29.4	27.0	30.4	32.8	
	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	18	7	2	1	4	4	4	3
	100.0	38.9	11.1	5.6	22.2	22.2	22.2	16.7	
緊急時等に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	149	33	38	5	26	21	51	35	
100.0	22.1	25.5	3.4	17.4	14.1	34.2	23.5		
いずれもない	178	18	59	6	54	58	41	55	
100.0	10.1	33.1	3.4	30.3	32.6	23.0	30.9		

		合計	問26 産後の育児に関して困ったことや辛かったこと				
			家事・育児の協力者がいないこと	自分の体調が悪く自分の思うような育児ができなかったこと	経済的負担	その他	無回答
全体		692	129	101	79	30	26
		100.0	18.6	14.6	11.4	4.3	3.8
子どもをみてもらえる親族、友人の有無	日常的に親族（祖父母等）にみてもらえる	95	2	22	14	5	3
	100.0	2.1	23.2	14.7	5.3	3.2	
	緊急時や用事がある際には親族にみてもらえる	378	57	45	48	12	14
	100.0	15.1	11.9	12.7	3.2	3.7	
	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	18	2	0	2	0	0
	100.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	
緊急時等に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	149	23	13	9	6	4	
100.0	15.4	8.7	6.0	4.0	2.7		
いずれもない	178	60	33	19	12	6	
100.0	33.7	18.5	10.7	6.7	3.4		

問 27 子育て支援の満足度（単回答）

- 「4」が45.4%で最も高く、次いで「3」が23.3%となっており、全体の平均値が3.80となっています。
- 平成25年調査と比較すると、「5」の割合が7.4ポイント増加し、平均値も3.55から0.25増加しています。
- 平均値は、子どもの年齢別では“4歳”の3.88、地域別では“新町”の3.89が最も高くなっています。

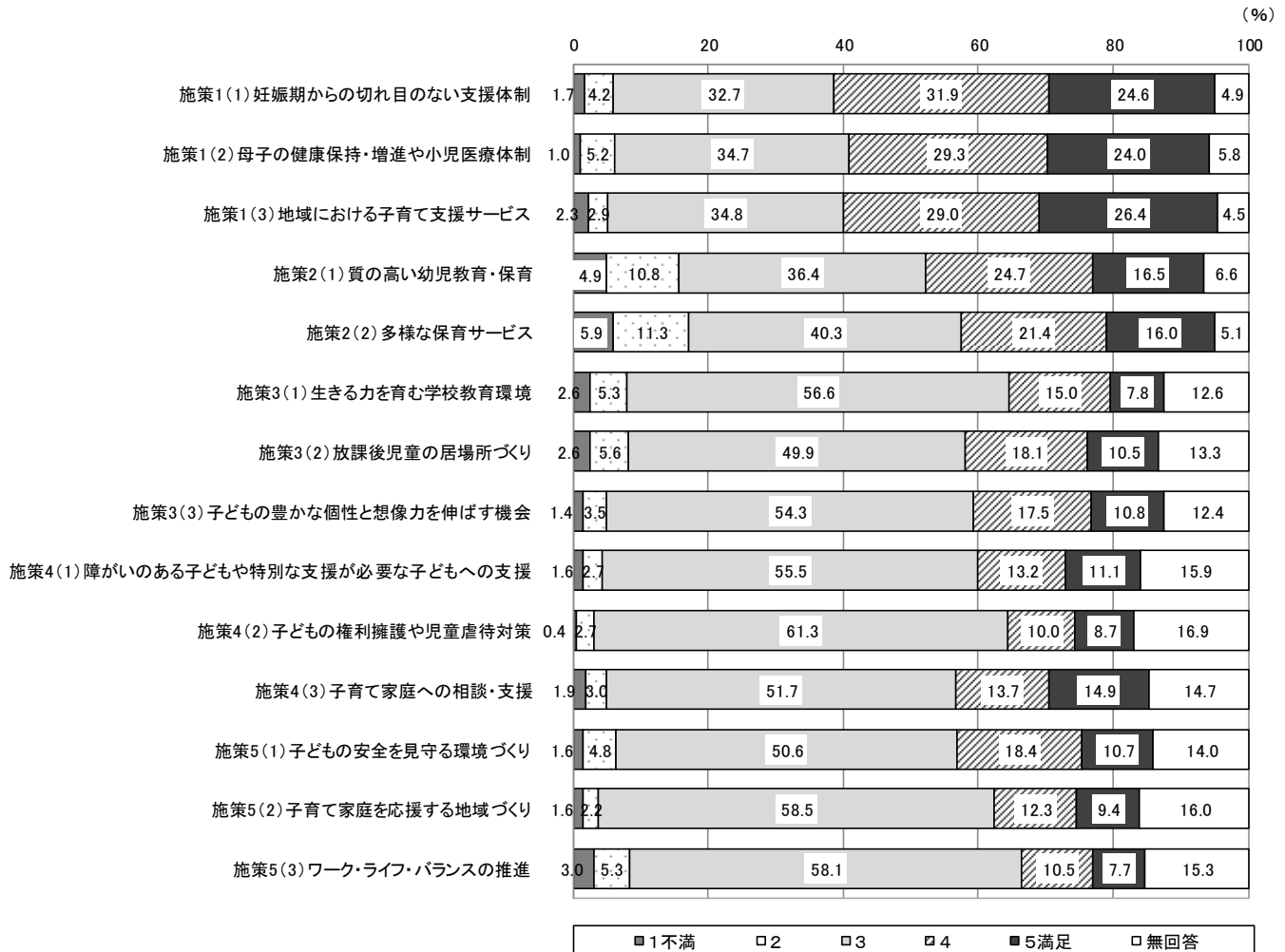


		合計	問27 子育て支援の満足度					無回答
			満足度が低い1	満足度 2	満足度 3	満足度 4	満足度が高い5	
全体		692	16	36	161	314	148	17
		100.0	2.3	5.2	23.3	45.4	21.4	2.5
子どもの年齢	0歳	269	8	12	56	119	64	10
		100.0	3.0	4.5	20.8	44.2	23.8	3.7
	1歳	56	2	1	12	28	12	1
		100.0	3.6	1.8	21.4	50.0	21.4	1.8
	2歳	62	1	6	14	30	10	1
		100.0	1.6	9.7	22.6	48.4	16.1	1.6
	3歳	108	2	8	28	46	24	0
	100.0	1.9	7.4	25.9	42.6	22.2	0.0	
4歳	96	0	2	26	46	19	3	
	100.0	0.0	2.1	27.1	47.9	19.8	3.1	
5歳	101	3	7	25	45	19	2	
	100.0	3.0	6.9	24.8	44.6	18.8	2.0	
居住地区	元町	315	10	19	72	149	61	4
		100.0	3.2	6.0	22.9	47.3	19.4	1.3
	中町	224	4	9	59	89	54	9
	100.0	1.8	4.0	26.3	39.7	24.1	4.0	
新町	147	2	8	27	74	33	3	
	100.0	1.4	5.4	18.4	50.3	22.4	2.0	

問 28 子育て施策への評価（単回答）

【満足度】

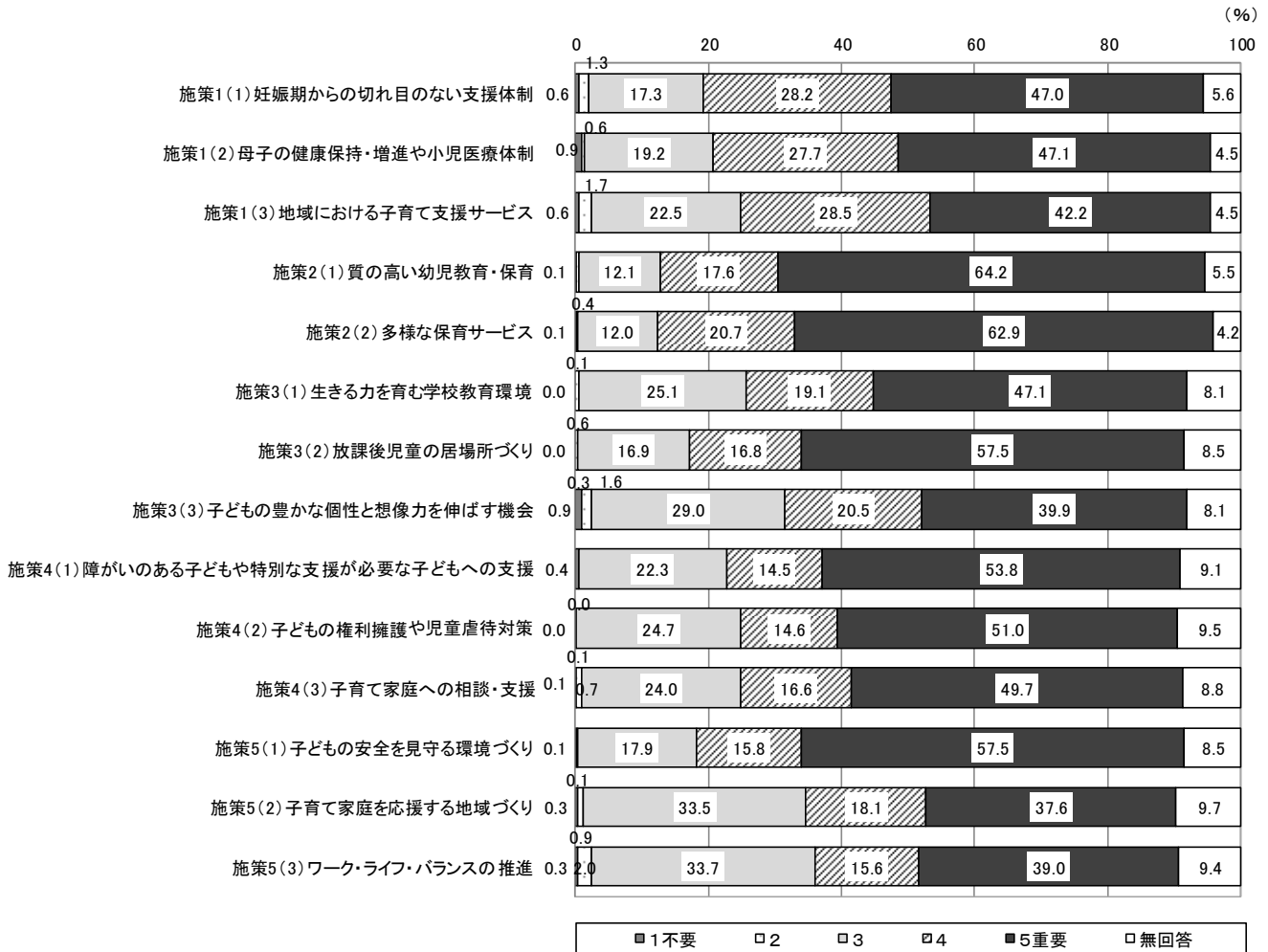
- ・ 満足の「5」の割合が最も高い施策は「施策 1（3）地域における子育て支援サービス」で、不満の「1」の割合が最も高い施策は「施策 2（2）多様な保育サービス」です。



n=692

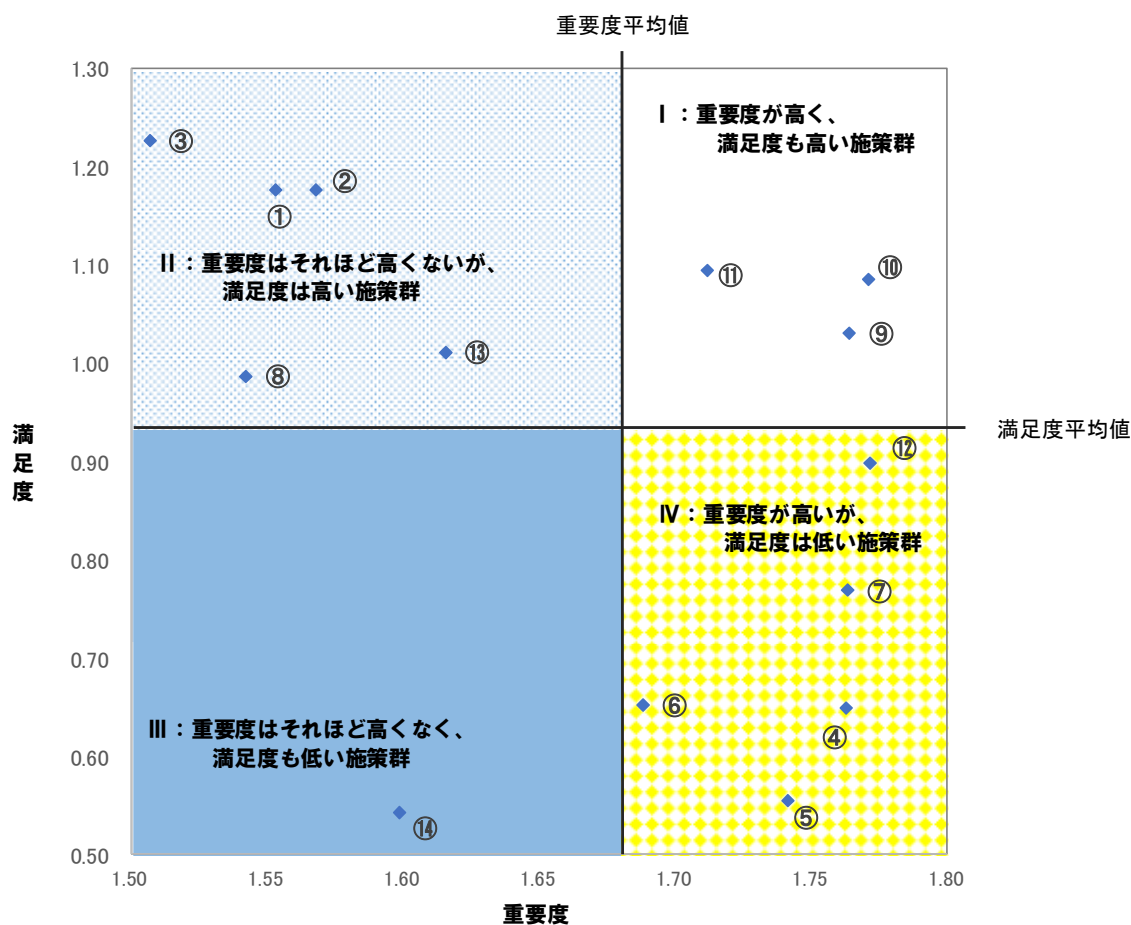
【重要度】

- 重要の「5」の割合が最も高い施策は「施策2（1）質の高い幼児教育・保育」で、不要の「1」の割合が最も高い施策は「施策1（2）母子の健康保持・増進や小児医療体制」と「施策3（3）子どもの豊かな個性と想像力を伸ばす機会」です。



n=692

- 重要度は高いが、満足度は低い施策は、「施策 2 (1) 質の高い幼児教育・保育」「施策 2 (2) 多様な保育サービス」「施策 3 (1) 生きる力を育む学校教育環境」「施策 3 (2) 放課後児童の居場所づくり」「施策 5 (1) 子どもの安全を見守る環境づくり」です。



①	施策 1 (1) 妊娠期からの切れ目のない支援体制	⑧	施策 3 (3) 子どもの豊かな個性と想像力を伸ばす機会
②	施策 1 (2) 母子の健康保持・増進や小児医療体制	⑨	施策 4 (1) 障がいのある子どもや特別な支援が必要な子どもへの支援
③	施策 1 (3) 地域における子育て支援サービス	⑩	施策 4 (2) 子どもの権利擁護や児童虐待対策
④	施策 2 (1) 質の高い幼児教育・保育	⑪	施策 4 (3) 子育て家庭への相談・支援
⑤	施策 2 (2) 多様な保育サービス	⑫	施策 5 (1) 子どもの安全を見守る環境づくり
⑥	施策 3 (1) 生きる力を育む学校教育環境	⑬	施策 5 (2) 子育て家庭を応援する地域づくり
⑦	施策 3 (2) 放課後児童の居場所づくり	⑭	施策 5 (3) ワーク・ライフ・バランスの推進

評価点数の算出方法

$$\text{満足度} = \frac{(\text{満足} \times 2 \text{点} + \text{やや満足} \times 1 \text{点} + \text{やや不満} \times -1 \text{点} + \text{不満} \times -2 \text{点})}{(\text{満足} + \text{やや満足} + \text{やや不満} + \text{不満}) \text{の回答数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{(\text{重要} \times 2 \text{点} + \text{やや重要} \times 1 \text{点} + \text{やや不要} \times -1 \text{点} + \text{不要} \times -2 \text{点})}{(\text{重要} + \text{やや重要} + \text{やや不要} + \text{不要}) \text{の回答数}}$$

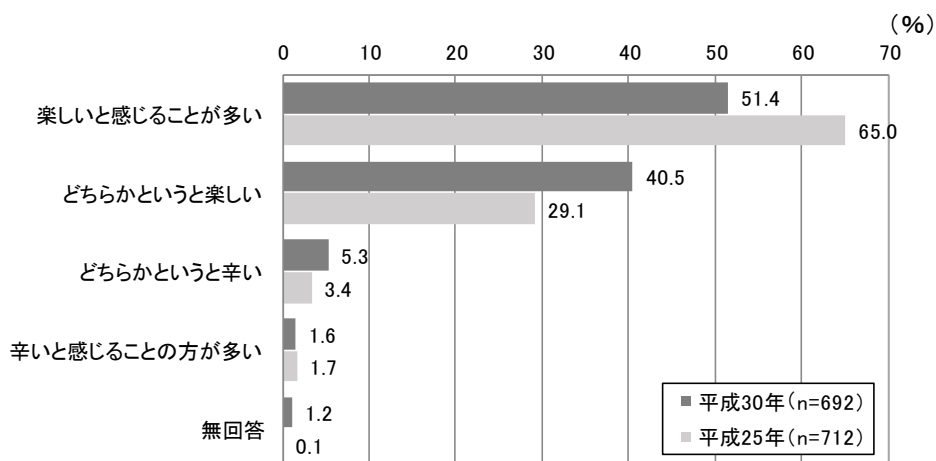
※加重平均にて評価値を算出

- 5. 満足 (重要) 2点
- 4. やや満足 (重要) 1点
- 3. どちらでも 0点
- 2. やや不満 (不要) -1点
- 1. 不満 (不要) -2点

※「無回答」を除いて算出している。

問 29 子育ての感想（単回答）

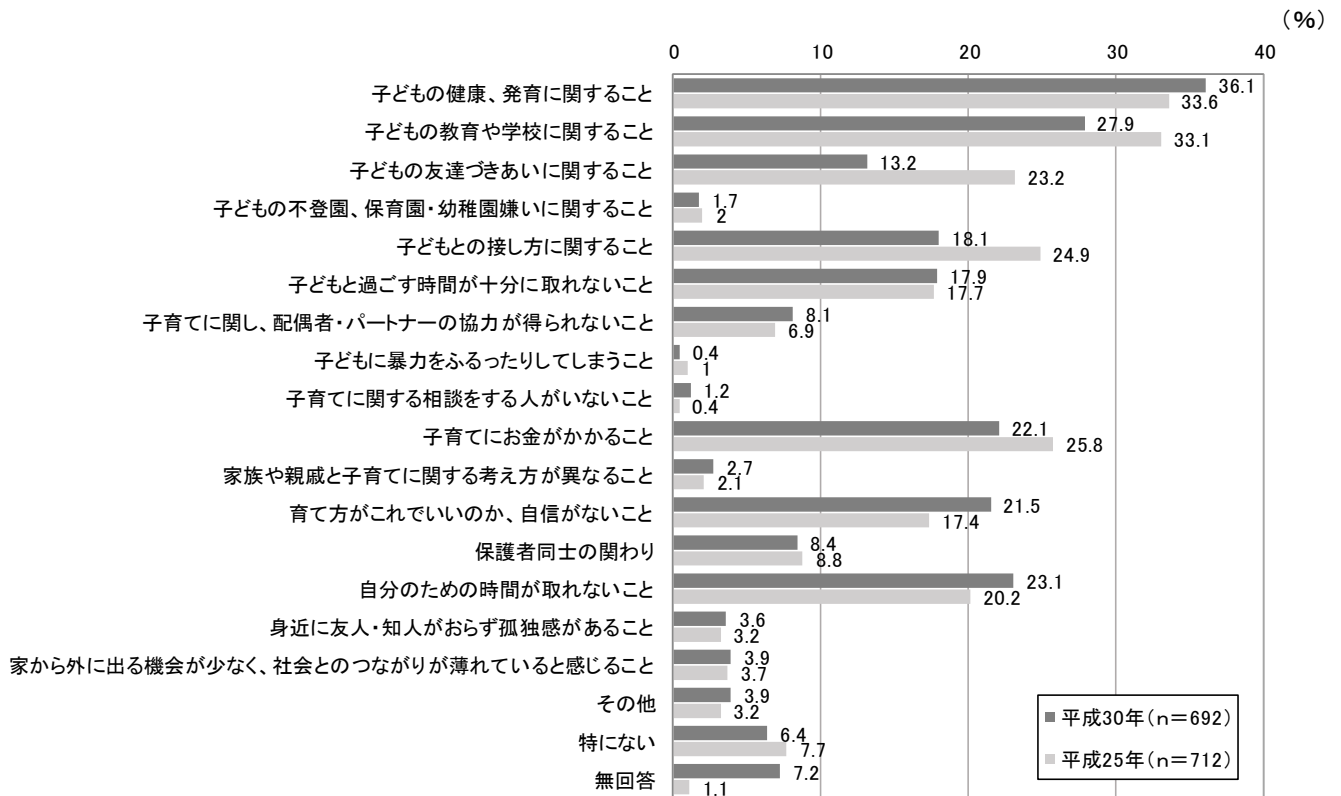
- 「楽しいと感じることが多い」が51.4%、「どちらかという楽しい」が40.5%で合わせた『楽しい』は91.9%となっています。
- 平成25年調査と比較すると、『楽しい』は2.2ポイント減少しています。
- 子どもの年齢別にみると、『楽しい』は“0歳”、居住地別では“元町”で高くなっています。



		合計	問29 子育てについて感じていること				無回答
			楽しいと感じることが多い	どちらかという楽しい	どちらかという辛い	辛いと感じることが多い	
全体		692 100.0	356 51.4	280 40.5	37 5.3	11 1.6	8 1.2
子どもの年齢	0歳	269 100.0	156 58.0	100 37.2	8 3.0	4 1.5	1 0.4
	1歳	56 100.0	25 44.6	27 48.2	2 3.6	2 3.6	0 0.0
	2歳	62 100.0	25 40.3	29 46.8	6 9.7	2 3.2	0 0.0
	3歳	108 100.0	53 49.1	46 42.6	6 5.6	0 0.0	3 2.8
	4歳	96 100.0	48 50.0	40 41.7	4 4.2	2 2.1	2 2.1
	5歳	101 100.0	49 48.5	38 37.6	11 10.9	1 1.0	2 2.0
	居住地	元町	315 100.0	163 51.7	133 42.2	13 4.1	5 1.6
中町		224 100.0	112 50.0	90 40.2	13 5.8	4 1.8	5 2.2
新町		147 100.0	78 53.1	55 37.4	10 6.8	2 1.4	2 1.4

問 30 子育てに関する悩みや困っていること（複数回答）

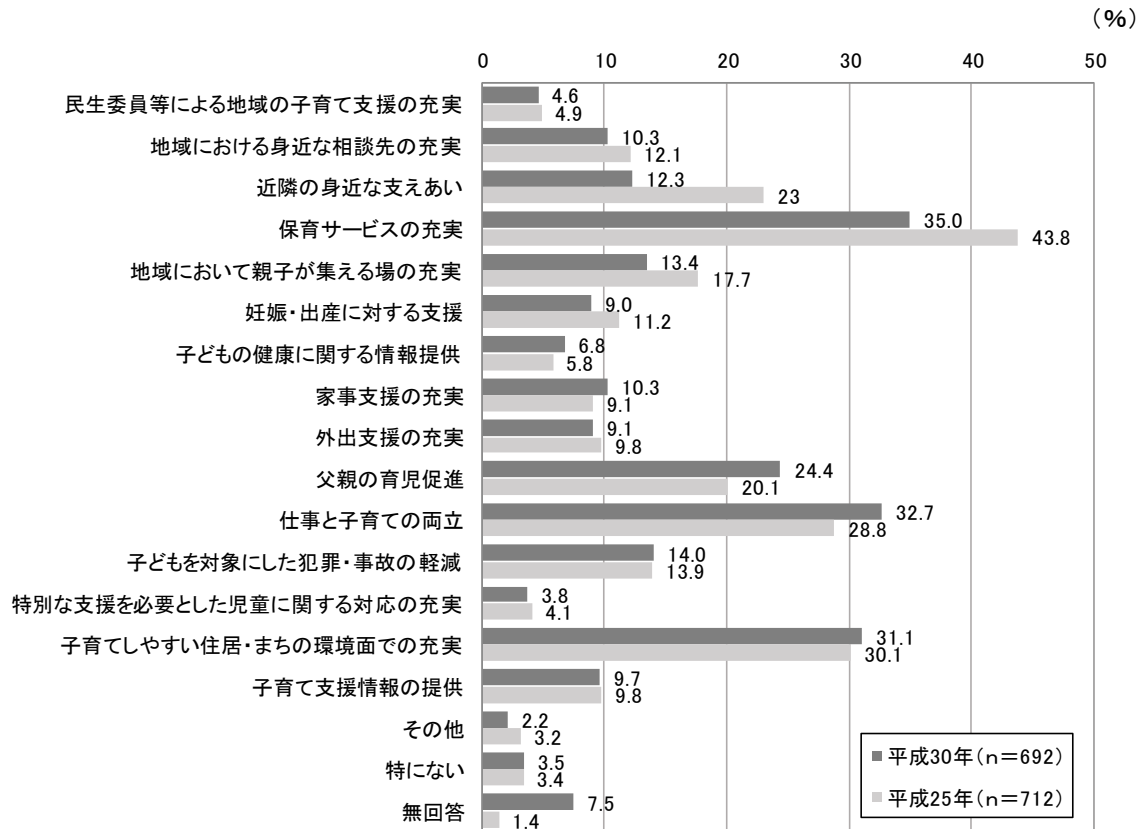
- 「子どもの健康、発育に関すること」が36.1%で最も高く、次いで「子どもの教育や学校に関すること」が27.9%、「自分のための時間が取れないこと」が23.1%の順となっています。
- 平成25年と比較すると、「育て方がこれでいいのか、自信がないこと」が最も多い4.1ポイントの増加、「子どもの友達つきあいに関すること」が10.0ポイントの減少となっています。



n=692

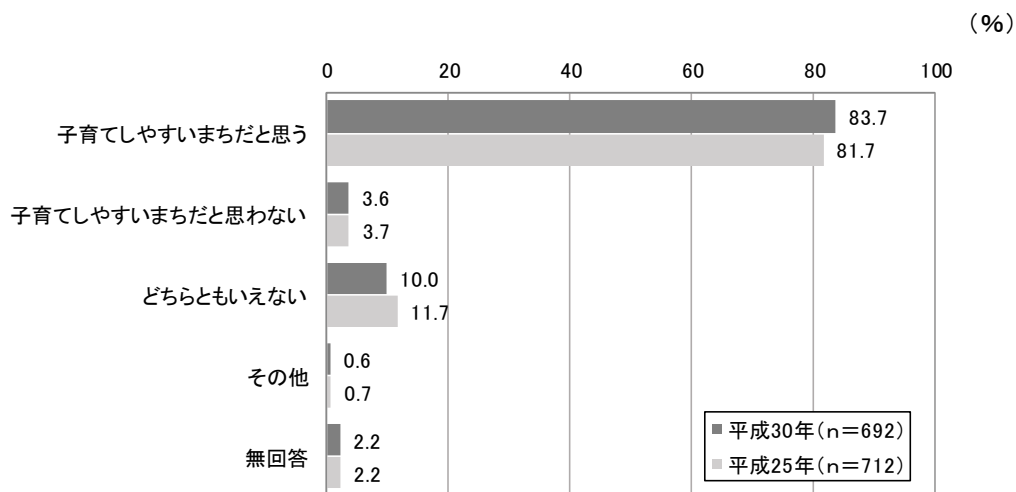
問 31 子育てに関する悩み等解消のために必要な支援・対策（複数回答）

- 「保育サービスの充実」が 35.0%で最も高く、次いで「仕事と子育ての両立」が 32.7%、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が 31.1%となっています。
- 平成 25 年調査と比較すると、「父親の育児促進」が最も多い 4.3 ポイントの増加、「近隣の身近な支えあい」が 10.7 ポイントの減少となっています。



問 32 浦安市は子育てしやすいまちか（単回答）

- 「子育てしやすいまちだと思う」が 83.7%、「子育てしやすいまちだと思わない」が 3.6%となっています。
- 平成 25 年調査と比較すると、「子育てしやすいまちだと思う」が 2.0 ポイント増加しています。
- 子どもの年齢別にみると、“1 歳”、居住地域別にみると“新町”で「子育てしやすいまちだと思う」が高くなっています。



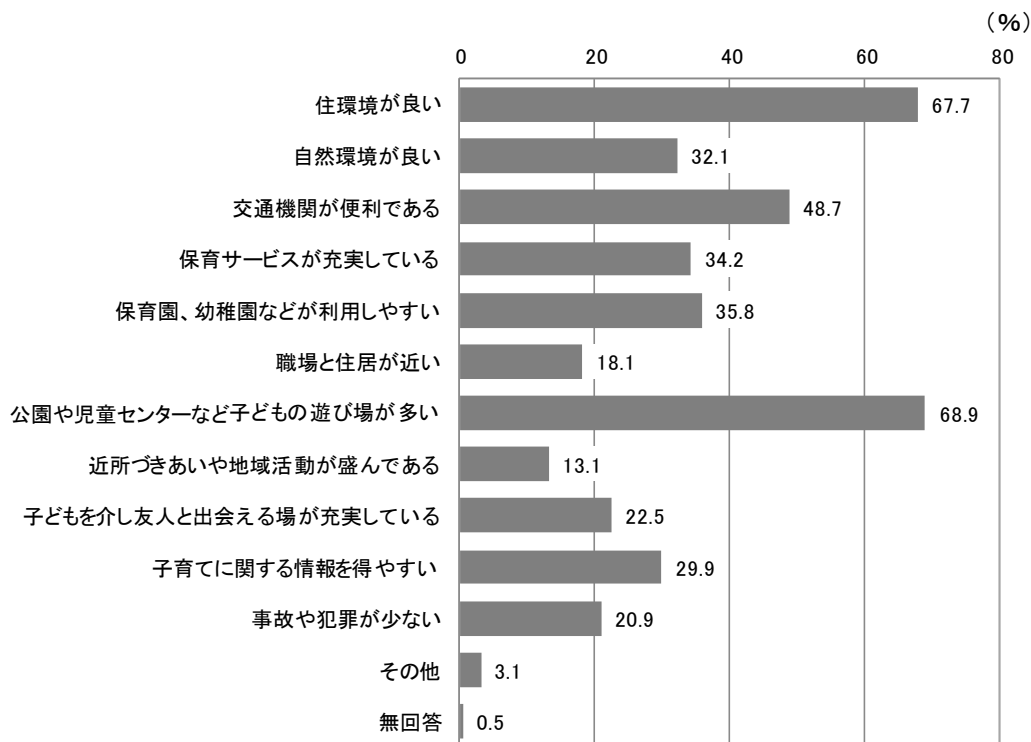
		合計	問32 浦安市は子育てしやすいまちか				
			子育てし やすいま ちだと思 う	子育てし やすいま ちだと思 わない	どちらと もいえな い	その他	無回答
全体		692 100.0	579 83.7	25 3.6	69 10.0	4 0.6	15 2.2
子どもの 年齢	0 歳	269 100.0	223 82.9	12 4.5	27 10.0	3 1.1	4 1.5
	1 歳	56 100.0	52 92.9	1 1.8	2 3.6	0 0.0	1 1.8
	2 歳	62 100.0	51 82.3	6 9.7	4 6.5	0 0.0	1 1.6
	3 歳	108 100.0	90 83.3	4 3.7	11 10.2	0 0.0	3 2.8
	4 歳	96 100.0	81 84.4	0 0.0	10 10.4	1 1.0	4 4.2
	5 歳	101 100.0	82 81.2	2 2.0	15 14.9	0 0.0	2 2.0
居住地 区	元町	315 100.0	255 81.0	8 2.5	44 14.0	2 0.6	6 1.9
	中町	224 100.0	187 83.5	12 5.4	18 8.0	1 0.4	6 2.7
	新町	147 100.0	131 89.1	5 3.4	7 4.8	1 0.7	3 2.0

問 32-1 浦安市は子育てしやすいまちと思う理由（複数回答）

【問 32 で「1. 子育てしやすいまちだと思う」と回答した方限定】

・「公園や児童センターなど子どもの遊び場が多い」が 68.9%で最も高く、次いで「住環境が良い」が 67.7%、「交通機関が便利である」が 48.7%となっています。

・地域別にみると、“元町”と“新町”は、「住環境が良い」が最も高くなっています。



n=579

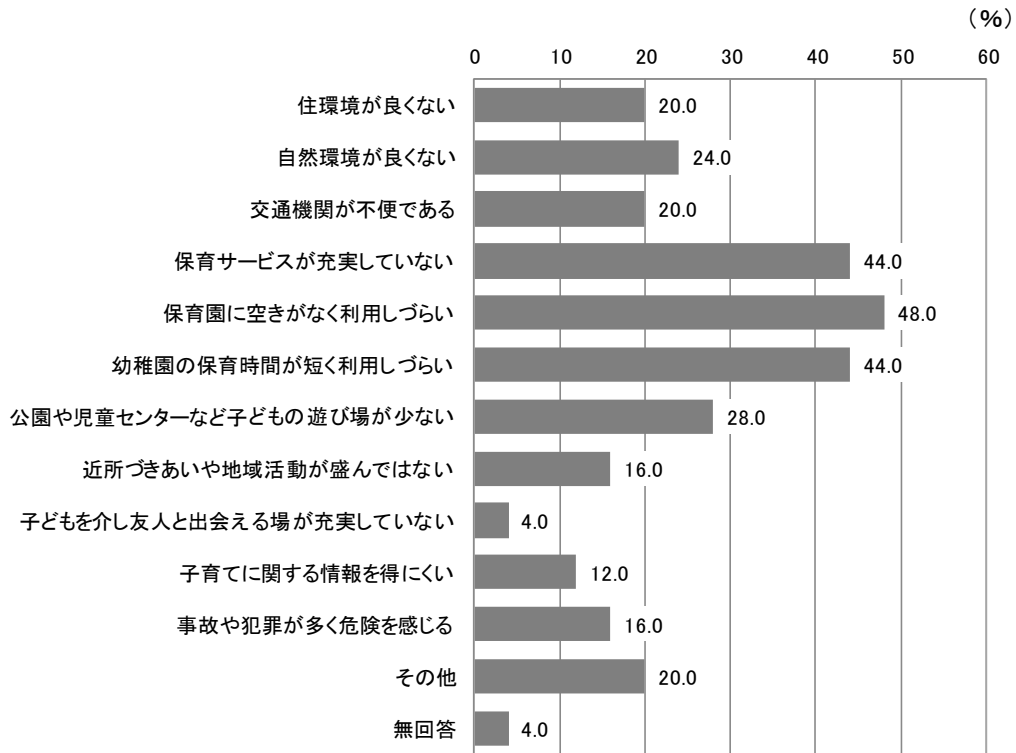
	合計	問32-1								
		住環境が良い	自然環境が良い	交通機関が便利である	保育サービスが充実している	保育園、幼稚園などが利用しやすい	職場と住居に近い	公園や児童センターなど子どもの遊び場が多い	近所づきあいや地域活動が盛んである	その他
全体	579	392	186	282	198	207	105	399	76	
	100.0	67.7	32.1	48.7	34.2	35.8	18.1	68.9	13.1	
居住地区	元町	255	147	53	144	74	82	53	147	35
		100.0	57.6	20.8	56.5	29.0	32.2	20.8	57.6	13.7
	中町	187	134	68	93	63	75	35	140	21
		100.0	71.7	36.4	49.7	33.7	40.1	18.7	74.9	11.2
新町	131	108	62	42	61	50	16	107	20	
	100.0	82.4	47.3	32.1	46.6	38.2	12.2	81.7	15.3	

	合計	問32-1 「子育てしやすいまちだと思う」理由						
		子どもを介し友人と出会う場が充実している	子育てに関する情報を得やすい	事故や犯罪が少ない	その他	無回答	非該当	
全体	579	130	173	121	18	3	113	
	100.0	22.5	29.9	20.9	3.1	0.5		
居住地区	元町	255	59	80	30	10	2	60
		100.0	23.1	31.4	11.8	3.9	0.8	
	中町	187	42	57	53	3	0	37
		100.0	22.5	30.5	28.3	1.6	0.0	
新町	131	29	36	38	5	1	16	
	100.0	22.1	27.5	29.0	3.8	0.8		

問 32-2 浦安市は子育てしやすいまちと思わない理由（複数回答）

【問 32 で「2. 子育てしやすいまちだと思わない」と回答した方限定】

- ・「保育園に空きがなく利用しづらい」が 48.0%、「保育サービスが充実していない」と「幼稚園の保育時間が短く利用しづらい」がそれぞれ 44.0%となっています。
- ・居住地域別にみると、「元町」は「住環境が良くない」や「自然環境が良くない」が他の地域に比べ高くなっています。



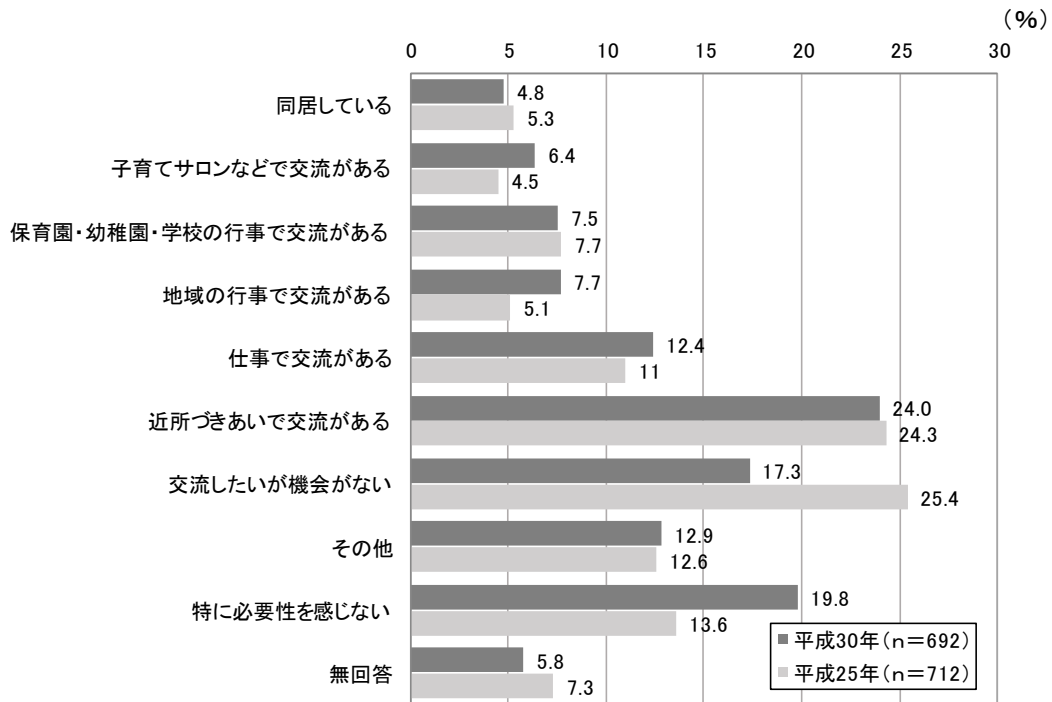
n=25

	合計	問32-2 「子育てしやすいまちだと思わない」理由								
		住環境が良くない	自然環境が良くない	交通機関が不便である	保育サービスが充実していない	保育園に空きがなく利用しづらい	幼稚園の保育時間が短く利用しづらい	公園や児童センターなど子どもの遊び場が少ない	近所づきあいや地域活動が盛んではない	
全体	25 100.0	5 20.0	6 24.0	5 20.0	11 44.0	12 48.0	11 44.0	7 28.0	4 16.0	
居住地区	元町	8 100.0	3 37.5	4 50.0	1 12.5	4 50.0	4 50.0	4 50.0	3 37.5	1 12.5
	中町	12 100.0	2 16.7	2 16.7	1 8.3	5 41.7	4 33.3	4 33.3	3 25.0	2 16.7
	新町	5 100.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	2 40.0	4 80.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0

	合計	問32-2 「子育てしやすいまちだと思わない」理由						
		子どもを介し友人と出会える場が充実していない	子育てに関する情報を得にくい	事故や犯罪が多く危険を感じる	その他	無回答	非該当	
全体	25 100.0	1 4.0	3 12.0	4 16.0	5 20.0	1 4.0	667	
居住地区	元町	8 100.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0	307
	中町	12 100.0	0 0.0	2 16.7	2 16.7	4 33.3	1 8.3	212
	新町	5 100.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	142

問33 高齢者との交流の有無（複数回答）

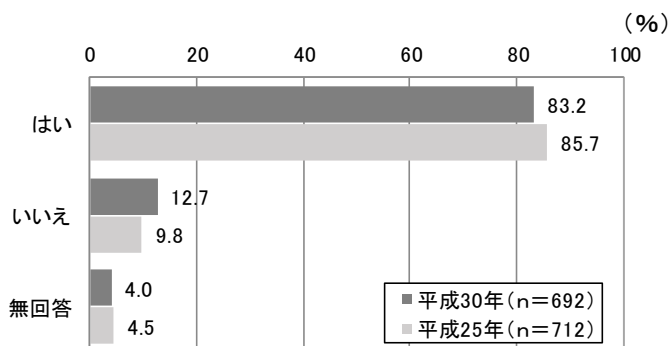
- ・「近所づきあいで交流がある」が24.0%で最も高く、次いで「特に必要性を感じない」が19.8%、「交流したいが機会がない」が17.3%となっています。
- ・居住地域別にみると、「特に必要性を感じない」は“元町”では最も高くなっています。



		合計	問33 高齢者との交流の有無									
			同居している	子育てサロンなどで交流がある	保育園・幼稚園・学校の行事で交流がある	地域の行事で交流がある	仕事で交流がある	近所づきあいで交流がある	交流したいが機会がない	その他	特に必要性を感じない	無回答
全体		692	33	44	52	53	86	166	120	89	137	40
		100.0	4.8	6.4	7.5	7.7	12.4	24.0	17.3	12.9	19.8	5.8
居住地区	元町	315	9	19	14	14	43	58	52	47	77	18
		100.0	2.9	6.0	4.4	4.4	13.7	18.4	16.5	14.9	24.4	5.7
	中町	224	17	15	23	30	31	77	34	28	32	12
		100.0	7.6	6.7	10.3	13.4	13.8	34.4	15.2	12.5	14.3	5.4
新町	147	6	10	14	9	12	28	33	14	27	10	
	100.0	4.1	6.8	9.5	6.1	8.2	19.0	22.4	9.5	18.4	6.8	

問 34 高齢者との交流機会が必要と思うか（単回答）

- ・「はい」が83.2%、「いいえ」が12.7%となっている。
- ・平成25年調査と比較すると、「はい」が2.5ポイントの減少となっています。
- ・「はい」は、子どもの年齢別にみると“3歳”、居住地別にみると“中町”で高くなっています。



		合計	問34 高齢者との交流機会が必要と思うか		
			はい	いいえ	無回答
全体		692 100.0	576 83.2	88 12.7	28 4.0
子どもの年齢	0歳	269 100.0	215 79.9	39 14.5	15 5.6
	1歳	56 100.0	48 85.7	7 12.5	1 1.8
	2歳	62 100.0	49 79.0	11 17.7	2 3.2
	3歳	108 100.0	97 89.8	8 7.4	3 2.8
	4歳	96 100.0	80 83.3	12 12.5	4 4.2
	5歳	101 100.0	87 86.1	11 10.9	3 3.0
	居住地	元町	315 100.0	263 83.5	39 12.4
中町		224 100.0	191 85.3	27 12.1	6 2.7
新町		147 100.0	118 80.3	20 13.6	9 6.1

問 35 市の子育て環境に関する意見（自由回答）

- 自由記述については、269人（38.9%）から461件の意見がありました。意見分類ごとの意見数は以下のとおりです。

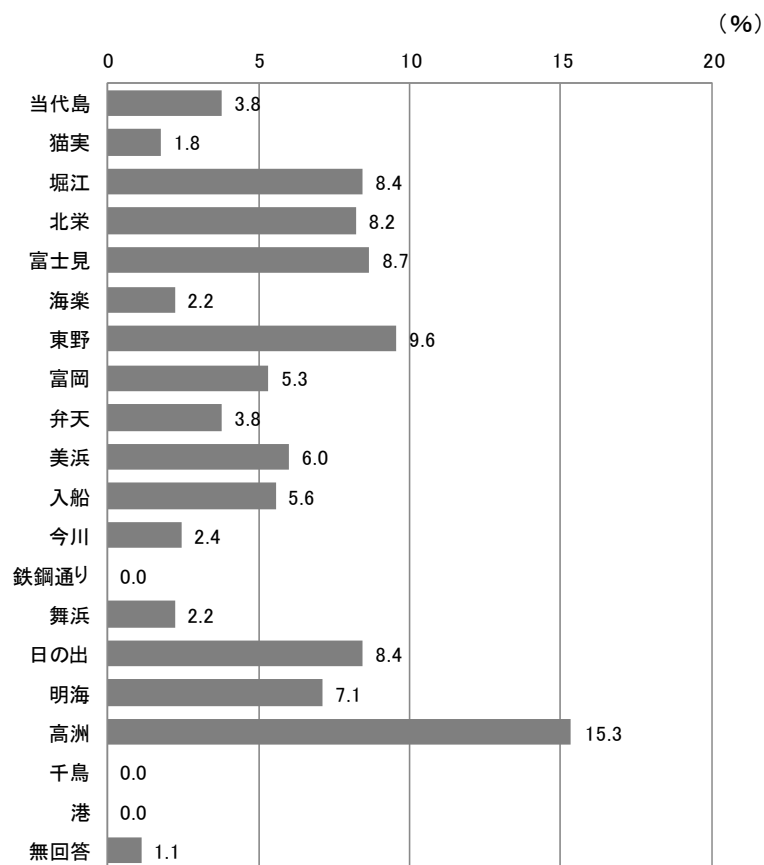
意見内容	件数
子育て支援事業・施策（ファミサポ、病児・病後児保育、一時預かり 等）	88
保育・教育の事業・施設	86
子育て環境（買い物、住宅環境）	52
公園・遊び場	43
経済的支援（無償化）	31
相談・情報	25
健康（医療機関、健診、医療費助成 等）	25
安全（道路、不審者、治安）	24
児童育成クラブ	13
小学校・教育環境 等	11
児童館	7
特別な支援（障がい・ひとり親等）	4
その他	52
計	461

II 小学校児童保護者調査

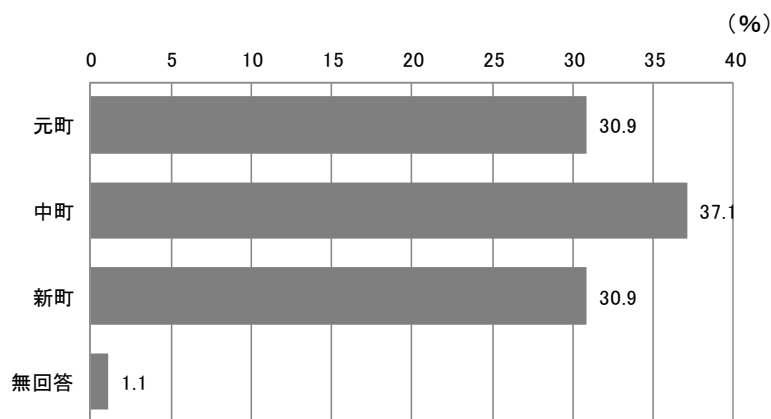
1. お子さんご家族の状況について

問1① 住まいの地域（単回答）

- 19地区別にみると「高洲」が15.3%で最も高く、次いで「東野」が9.6%、「富士見」が8.7%の順となっています。
- 3地域別にみると、「元町」が30.9%、「中町」が37.1%、「新町」が30.9%となっています。



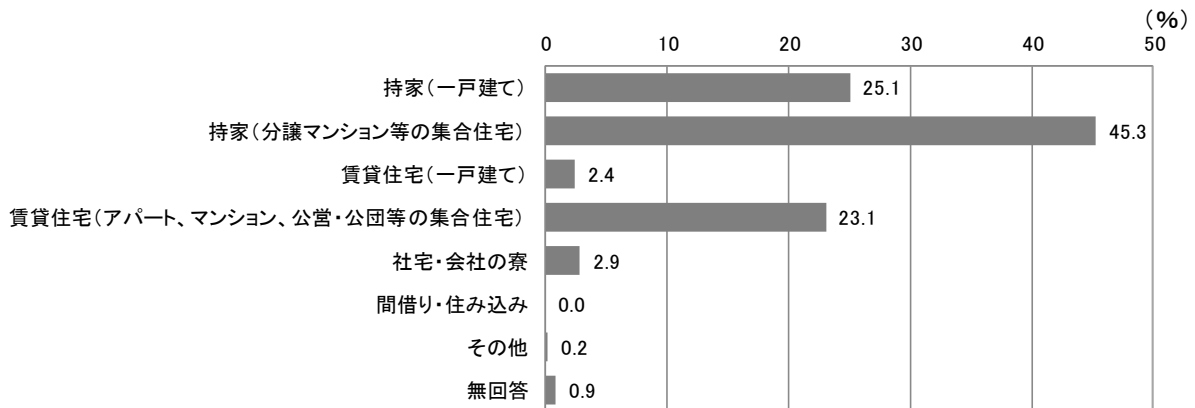
n=450



n=450

問1② 住まいの種類（単回答）

- ・「持家（分譲マンション等の集合住宅）」が 45.3%で最も高く、次いで「持家（一戸建て）」が 25.1%、「賃貸住宅（アパート、マンション、公営・公団等の集合住宅）」が 23.1%の順となっています。
- ・住まいの地域別にみると、“元町”で「賃貸住宅（アパート、マンション、公営・公団等の集合住宅）」、“新町”で、「持家（分譲マンション等の集合住宅）」が最も高くなっています。

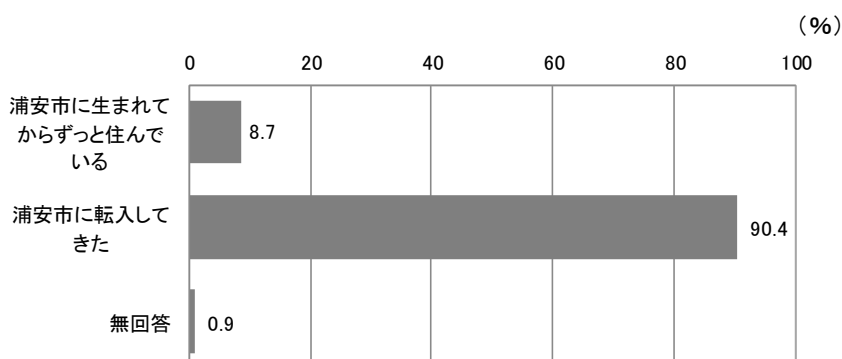


n=450

	合計	問1②住まいの種類							
		持家(一戸建て)	持家(分譲マンション等の集合住宅)	賃貸住宅(一戸建て)	賃貸住宅(アパート、マンション、公営・公団等の集合住宅)	社宅・会社の寮	間借り・住み込み	その他	無回答
全体	450	113	204	11	104	13	0	1	4
	100.0	25.1	45.3	2.4	23.1	2.9	0.0	0.2	0.9
住まいの地域	元町	139	47	38	5	48	1	0	0
		100.0	33.8	27.3	3.6	34.5	0.7	0.0	0.0
	中町	167	62	60	4	29	11	0	1
	100.0	37.1	35.9	2.4	17.4	6.6	0.0	0.6	
新町	139	4	105	2	27	1	0	0	
	100.0	2.9	75.5	1.4	19.4	0.7	0.0	0.0	

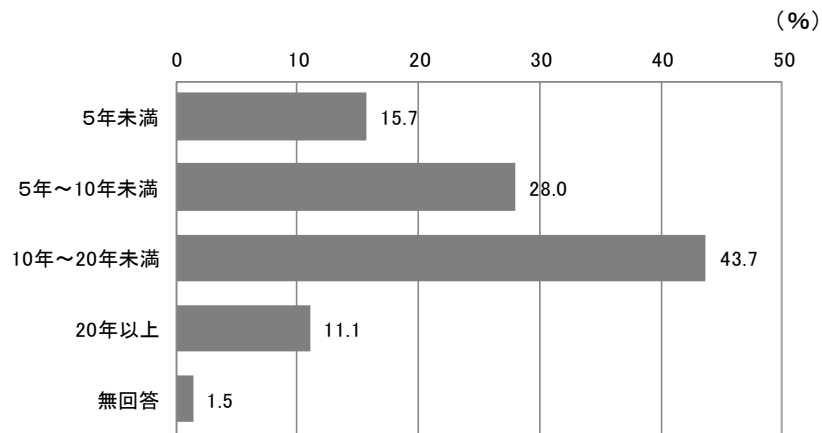
問1③ 居住歴（単回答）

- ・「浦安市に転入してきた」が 90.4%、「浦安市に生まれてからずっと住んでいる」が 8.7%となっています。
- ・住まいの地域別にみると、「浦安市に転入してきた」は新町”で 94.2%と高くなっています。



	合計	問1 ③居住歴		
		浦安市に 生まれて からずっと 住んで いる	浦安市に 転入して きた	無回答
全体	450 100.0	39 8.7	407 90.4	4 0.9
住まい の 地域	元町	14 100.0	125 89.9	0 0.0
	中町	16 100.0	151 90.4	0 0.0
	新町	139 100.0	8 5.8	131 94.2

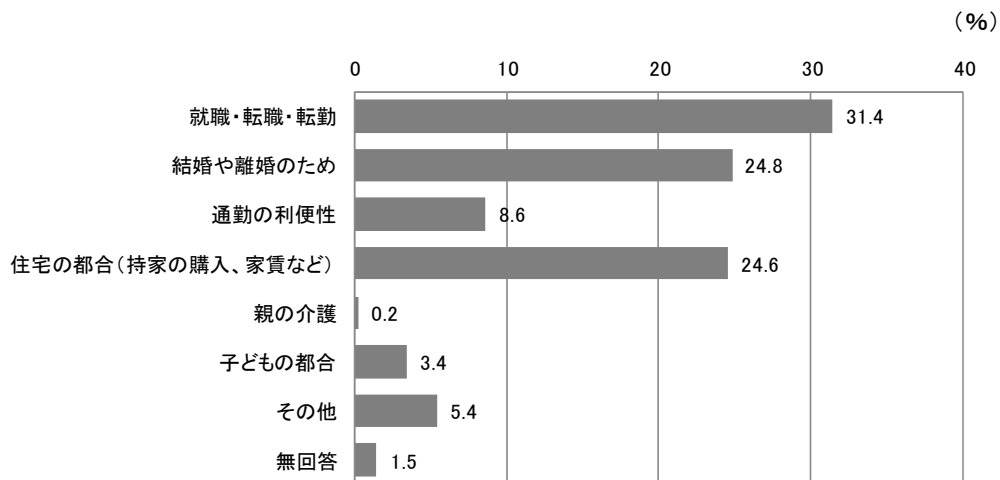
・転入者の居住歴は、「10年～20年未満」が43.7%で最も高くなっています。



n=407

問1 ④ 転入の理由（単回答）【問1 ③で「2. 浦安市に転入してきた」と回答した方限定】

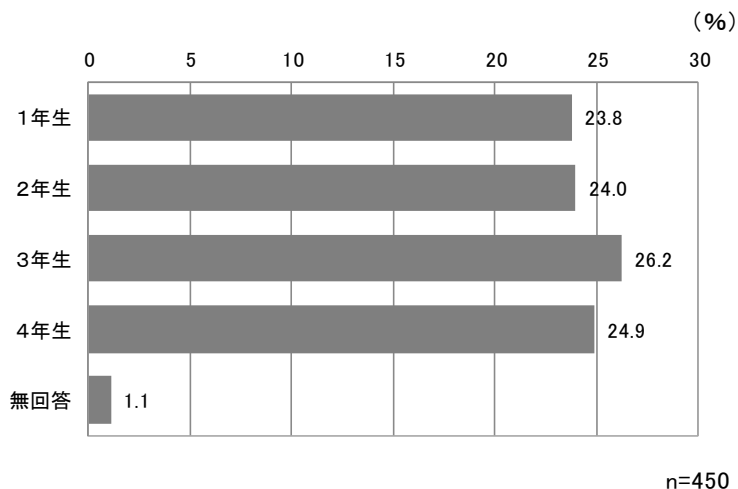
・転入理由は、「就職・転職・転勤」が31.4%で最も高く、次いで「結婚や離婚のため」が24.8%、「住宅の都合（持家の購入、家賃など）」が24.6%となっています。



n=407

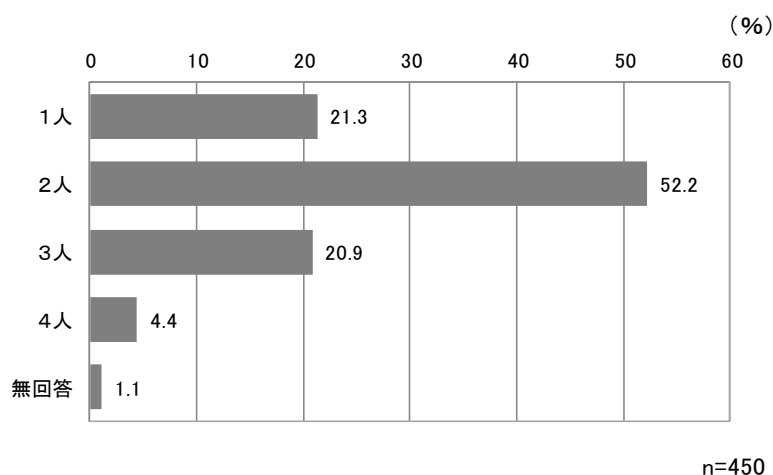
問2 子どもの学年（単回答）

・「1年生」が23.8%、「2年生」が24.0%、「3年生」が26.2%、「4年生」が24.9%となっています。



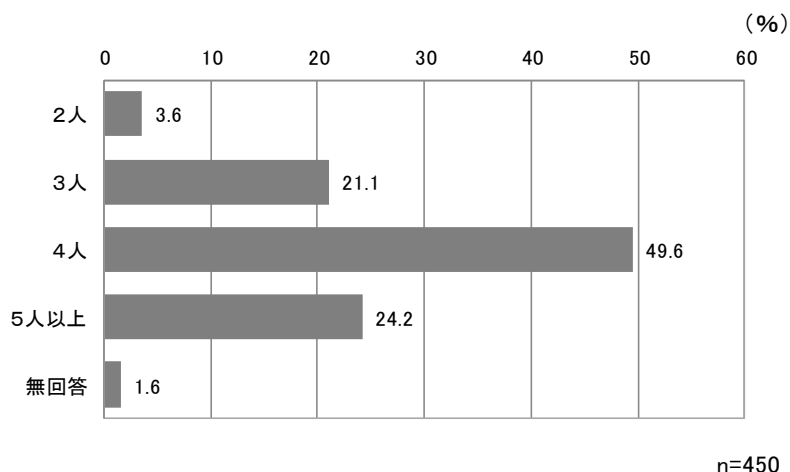
問3 子どもの人数（単回答）

・「1人」が21.3%、「2人」が52.2%、「3人」が20.9%で、平均では、2.09人となっています。



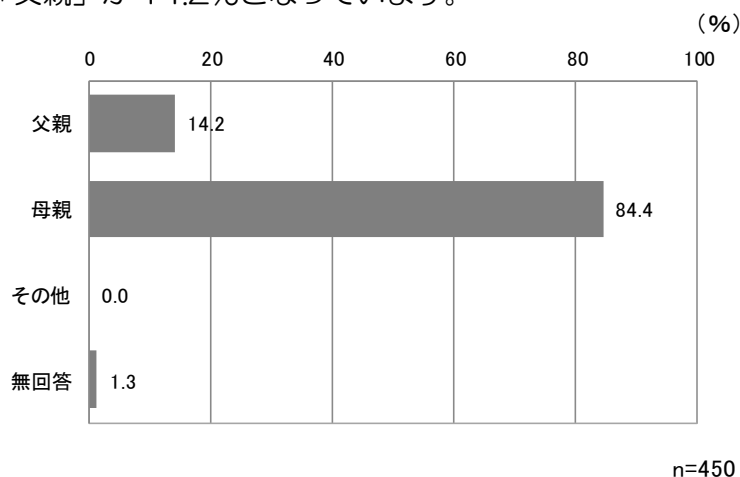
問4 世帯員の人数（数量回答）

・「4人」が49.6%、「5人以上」が24.2%、「3人」が21.1%で、平均では、4.01人となっています。



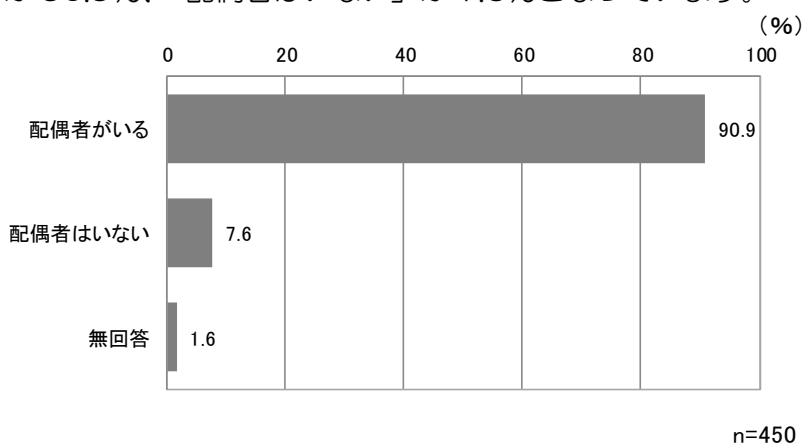
問5 回答者（単回答）

・「母親」が84.4%、「父親」が14.2%となっています。



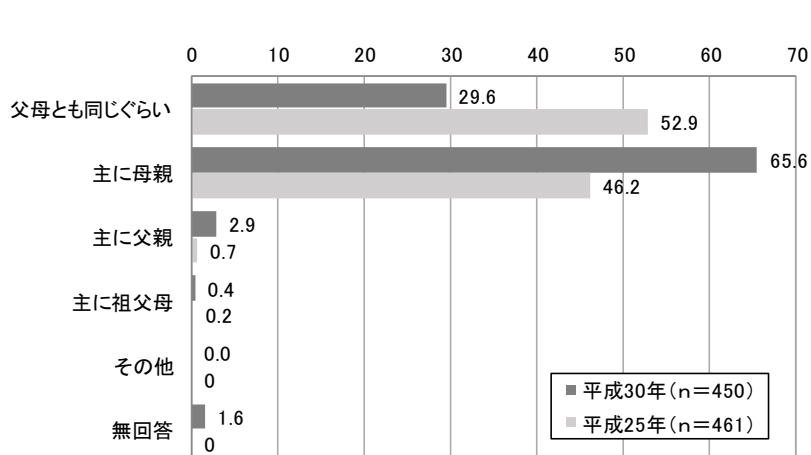
問6 回答者の配偶関係（単回答）

・「配偶者がいる」が90.9%、「配偶者はいない」が7.6%となっています。



問7 子育てを主に行っている人（単回答）

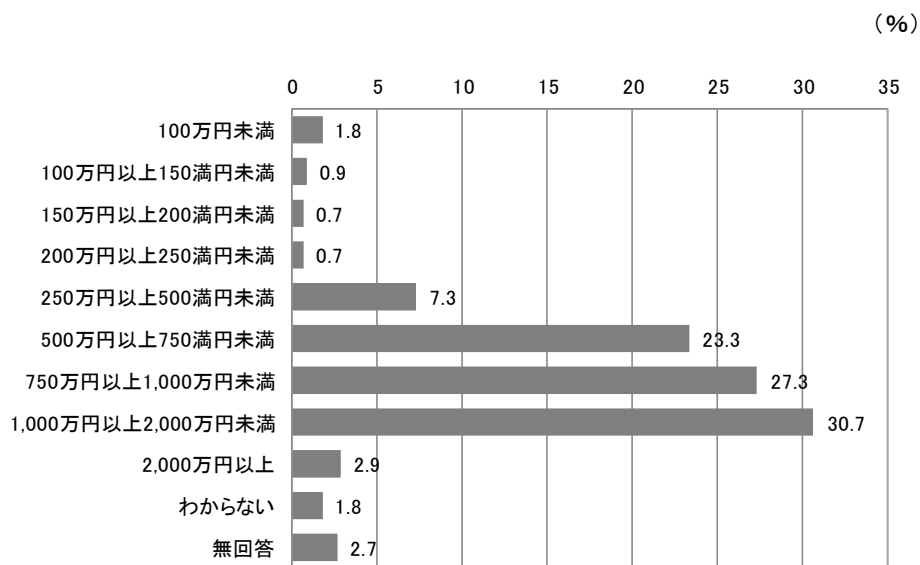
- ・「主に母親」が65.6%で最も割合が高く、次いで「父母とも同じくらい」が29.6%となっています。
- ・平成25年調査と比較すると、「主に母親」が19.4ポイント増加し、その反面「父母とも同じくらい」が23.3ポイント減少しています。
- ・子どもの学年別では“2年生”、住まいの地域別では“中町”で「父母ともに」の割合が高くなっています。



	合計	問7 子育てを主にしている人					無回答
		父母とも同じぐらい	主に母親	主に父親	主に祖父 母	その他	
全体	450	133	295	13	2	0	7
	100.0	29.6	65.6	2.9	0.4	0.0	1.6
子どもの学年	1年生	107	28	72	3	0	4
		100.0	26.2	67.3	2.8	0.0	3.7
	2年生	108	42	62	3	0	1
		100.0	38.9	57.4	2.8	0.0	0.9
	3年生	118	28	83	4	1	2
	100.0	23.7	70.3	3.4	0.8	1.7	
4年生	112	32	76	3	1	0	
	100.0	28.6	67.9	2.7	0.9	0.0	
住まいの地域	元町	139	39	92	5	1	2
		100.0	28.1	66.2	3.6	0.7	1.4
	中町	167	50	110	4	1	2
	100.0	29.9	65.9	2.4	0.6	1.2	
新町	139	41	91	4	0	3	
	100.0	29.5	65.5	2.9	0.0	2.2	

問8 世帯の年間収入（税込）（単回答）

- ・「1,000万円以上 2,000万円未満」が30.7%でもっと高く、次いで「750万円以上 1,000万円未満」が27.3%、「500万円以上 750万円未満」が23.3%で、『1,000万円以上』が33.6%となっています。
- ・子どもの学年別では“3年生”、地域別では、“新町”で『1,000万円以上』が最も高くなっています。

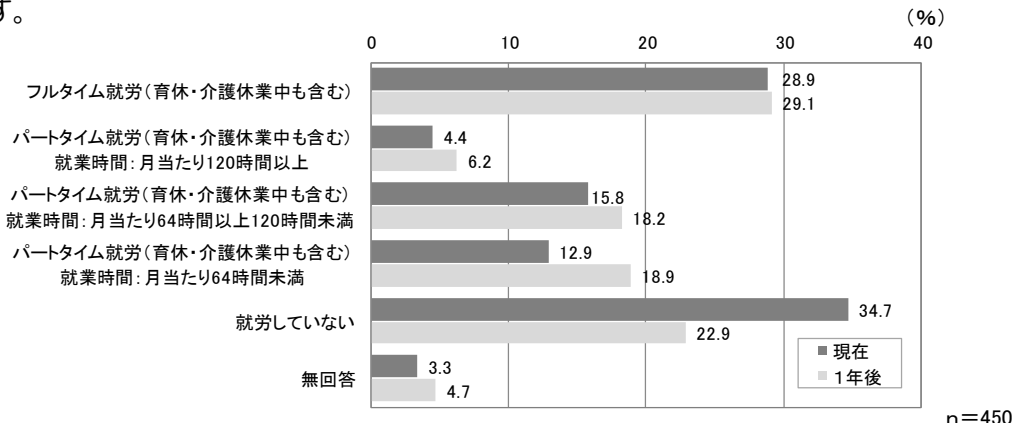


n=450

	合計	問8 世帯の年間収入											
		100万円未満	100万円以上150万円未満	150万円以上200万円未満	200万円以上250万円未満	250万円以上500万円未満	500万円以上750万円未満	750万円以上1,000万円未満	1,000万円以上2,000万円未満	2,000万円以上	わからない	無回答	
全体	450 100.0	8 1.8	4 0.9	3 0.7	3 0.7	33 7.3	105 23.3	123 27.3	138 30.7	13 2.9	8 1.8	12 2.7	
子どもの学年	1年生	107 100.0	2 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 9.3	22 20.6	38 35.5	23 21.5	3 2.8	3 2.8	6 5.6
	2年生	108 100.0	4 3.7	0 0.0	2 1.9	0 0.0	5 4.6	26 24.1	31 28.7	36 33.3	1 0.9	1 0.9	2 1.9
	3年生	118 100.0	1 0.8	1 0.8	0 0.0	1 0.8	10 8.5	28 23.7	25 21.2	41 34.7	6 5.1	2 1.7	3 2.5
	4年生	112 100.0	1 0.9	3 2.7	1 0.9	2 1.8	7 6.3	28 25.0	29 25.9	35 31.3	3 2.7	2 1.8	1 0.9
住まいの地域	元町	139 100.0	5 3.6	1 0.7	2 1.4	2 1.4	16 11.5	46 33.1	41 29.5	18 12.9	1 0.7	3 2.2	4 2.9
	中町	167 100.0	2 1.2	0 0.0	0 0.0	1 0.6	13 7.8	38 22.8	43 25.7	58 34.7	8 4.8	1 0.6	3 1.8
	新町	139 100.0	1 0.7	3 2.2	1 0.7	0 0.0	3 2.2	19 13.7	39 28.1	60 43.2	4 2.9	4 2.9	5 3.6

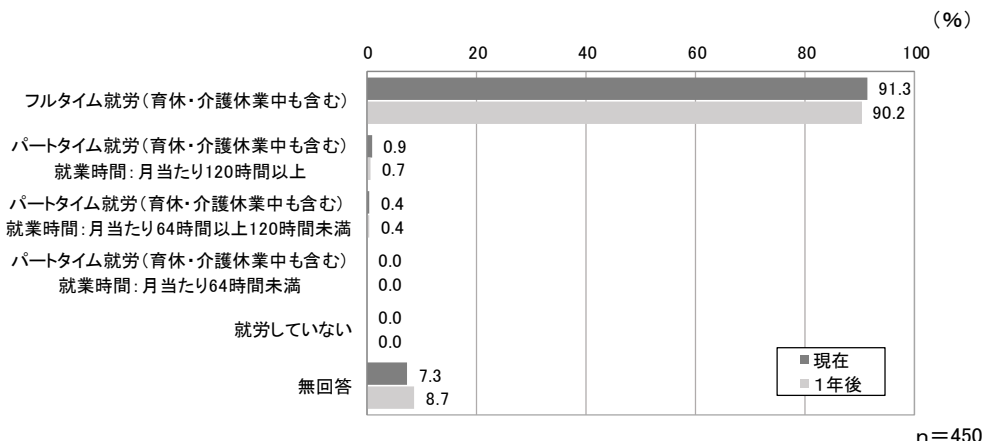
問9(1) 母親の現在の就労状況と今後の就労予定(単回答)

- ・現在は「就労していない」が最も多く、1年後は「フルタイム就労(産休・育休・介護休業中も含む)」が最も割合が高くなっています。
- ・現在と1年後の就業率を比較すると、現在は62.0%、1年後は72.4%で10.4ポイント増加しています。



問9(2) 父親の現在の就労状況と今後の就労予定(単回答)

- ・現在、1年後ともに「フルタイム就労(育休・介護休業中も含む)」の割合が最も高くなっており、大きな変化はみられません。



(1) 家庭類型について

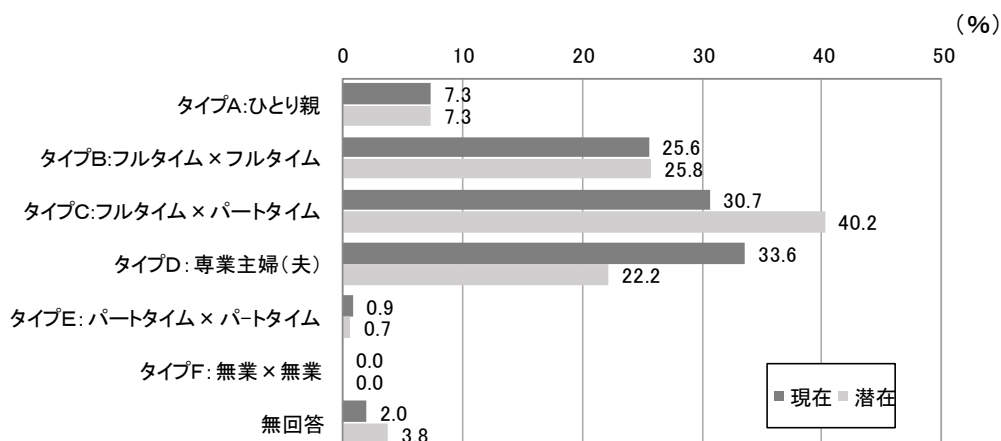
保護者の就労状況については、内閣府が提示する「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き」をもとにした「家庭類型の分類」を行い、6タイプに分類しています。

母親 タイプA 父親 ひとり親	1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中	3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない
1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中	タイプB	タイプC	タイプD
3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	タイプC	タイプE	
5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない	タイプD		タイプF

(2) 家庭類型割合

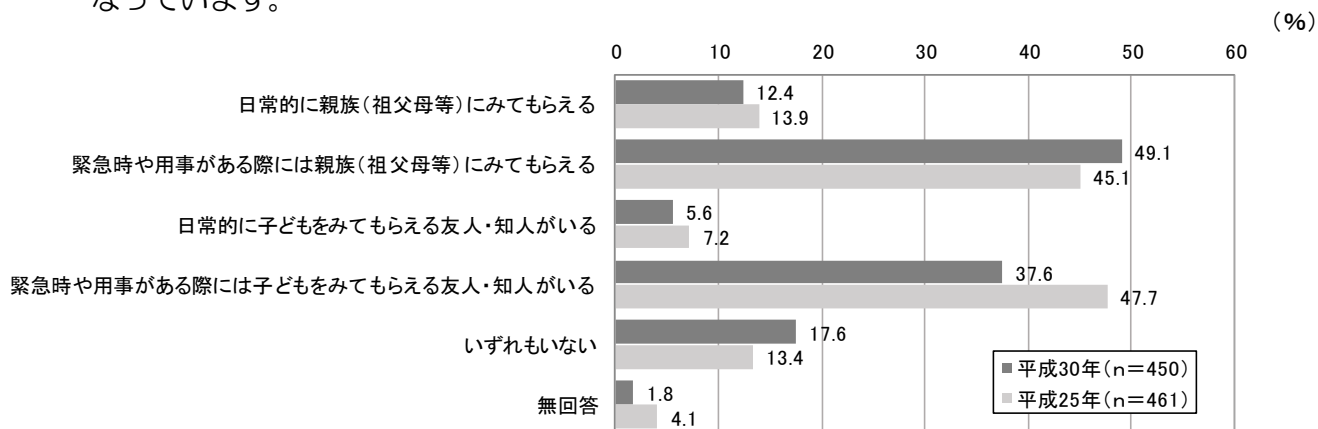
ニーズ調査の結果から、年齢区分ごとの家庭類型を分類すると、以下のとおりで、現在の共働き家庭（タイプB、C、E、）が57.2%から、1年後に66.7%と9.5ポイント高くなっています。

家庭類型		現在		潜在(1年後)	
		実数	割合(%)	実数	割合(%)
タイプA	ひとり親	33	7.3	33	7.3
タイプB	フルタイム×フルタイム	115	25.6	116	25.8
タイプC	フルタイム×パートタイム	138	30.7	181	40.2
タイプD	専業主婦(夫)	151	33.6	100	22.2
タイプE	パート×パート	4	0.9	3	0.7
タイプF	無業×無業	0	0.0	0	0.0
無回答		9	2.0	17	3.8
全体		450	100.0	450	100.0



問 10 子どもを保護者に代わってみってくれる親族・知人の有無（複数回答）

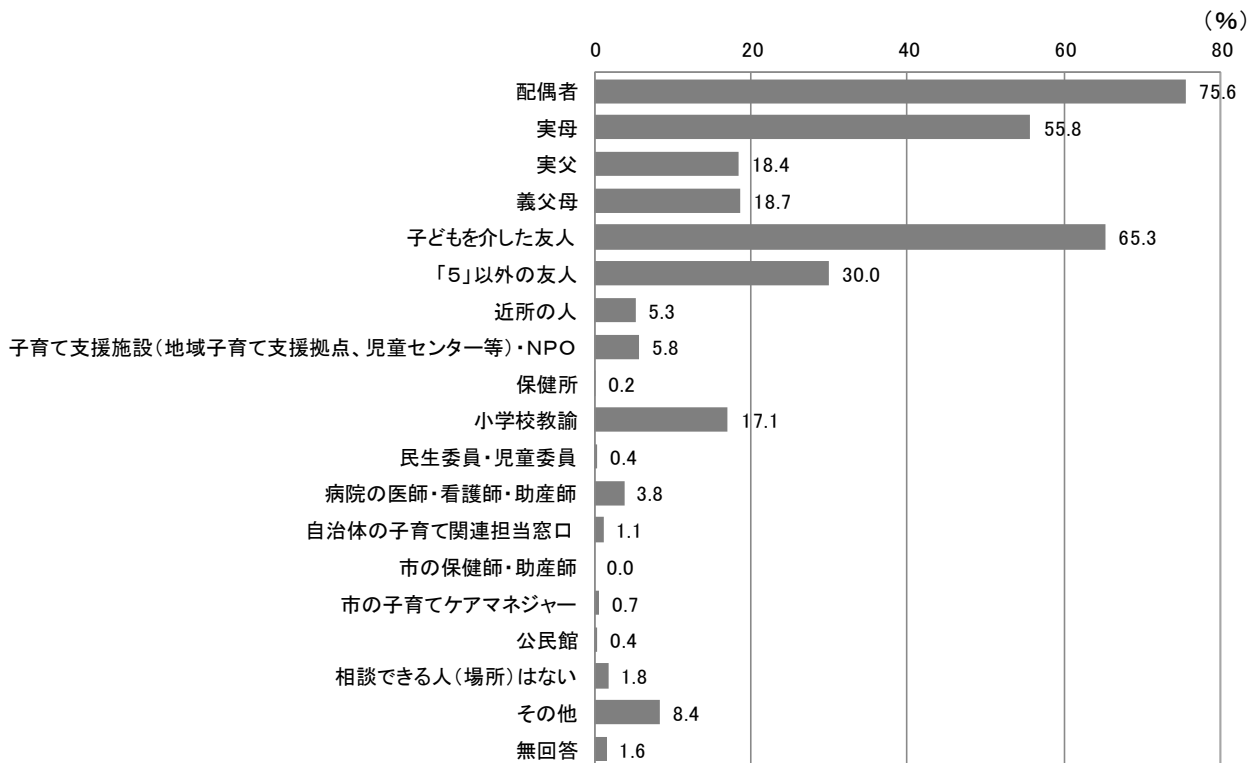
- ・「緊急時や用事がある際には親族（祖父母等）にみてもらえる」が 49.1%で最も高く、「緊急時や用事がある際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 37.6%、「いずれもない」が 17.6%の順となっています。
- ・平成 25 年調査と比較すると、「いずれもない」は 4.2 ポイント増加しています。
- ・「いずれもない」の割合は、子どもの学年別では“2年生”、地域別では、“元町”が最も高くなっています。



	合計	問10 子どもを保護者に代わってみってくれる親族・知人の有無						
		日常的に親族(祖父母等)にみてもらえる	緊急時や用事がある際には親族(祖父母等)にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時や用事がある際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答	
全体	450 100.0	56 12.4	221 49.1	25 5.6	169 37.6	79 17.6	8 1.8	
子どもの学年	1年生	107 100.0	14 13.1	51 47.7	7 6.5	39 36.4	16 15.0	4 3.7
	2年生	108 100.0	13 12.0	53 49.1	4 3.7	37 34.3	22 20.4	1 0.9
	3年生	118 100.0	11 9.3	61 51.7	6 5.1	41 34.7	21 17.8	3 2.5
	4年生	112 100.0	15 13.4	55 49.1	8 7.1	51 45.5	18 16.1	0 0.0
住まいの地域	元町	139 100.0	17 12.2	68 48.9	3 2.2	50 36.0	29 20.9	3 2.2
	中町	167 100.0	23 13.8	91 54.5	13 7.8	65 38.9	22 13.2	2 1.2
	新町	139 100.0	13 9.4	61 43.9	8 5.8	53 38.1	27 19.4	3 2.2

問 11 子育てに関して気軽に相談できる人や場所（複数回答）

- 「配偶者」が75.6%で最も高く、次いで「子どもを介した友人」が65.3%、「実母」が55.8%の順となっています。
- 地域別では、“元町”で「子育てサークル・NPO・子育て支援施設（子育てすこやかセンター、児童館等）」の割合が低くなっています。



n=450

	合計	問11 子育てに関して気軽に相談できる人・場所										
		配偶者	実母	実父	義父母	子どもを介した友人	「5」以外の友人	近所の人	子育て支援施設 (地域子育て支援拠点、児童センター等)・NPO	保健所	小学校教諭	
全体	450 100.0	340 75.6	251 55.8	83 18.4	84 18.7	294 65.3	135 30.0	24 5.3	26 5.8	1 0.2	77 17.1	
子どもの学年	1年生	107 100.0	84 78.5	65 60.7	20 18.7	24 22.4	71 66.4	32 29.9	6 5.6	6 5.6	1 0.9	16 15.0
	2年生	108 100.0	88 81.5	58 53.7	23 21.3	23 21.3	67 62.0	28 25.9	3 2.8	6 5.6	0 0.0	20 18.5
	3年生	118 100.0	80 67.8	67 56.8	18 15.3	11 9.3	73 61.9	33 28.0	6 5.1	5 4.2	0 0.0	10 8.5
	4年生	112 100.0	85 75.9	59 52.7	20 17.9	24 21.4	79 70.5	39 34.8	9 8.0	9 8.0	0 0.0	31 27.7
住まいの地域	元町	139 100.0	104 74.8	77 55.4	24 17.3	22 15.8	85 61.2	44 31.7	9 6.5	7 5.0	1 0.7	28 20.1
	中町	167 100.0	129 77.2	96 57.5	38 22.8	35 21.0	116 69.5	54 32.3	7 4.2	9 5.4	0 0.0	27 16.2
	新町	139 100.0	103 74.1	75 54.0	19 13.7	25 18.0	90 64.7	35 25.2	8 5.8	10 7.2	0 0.0	22 15.8

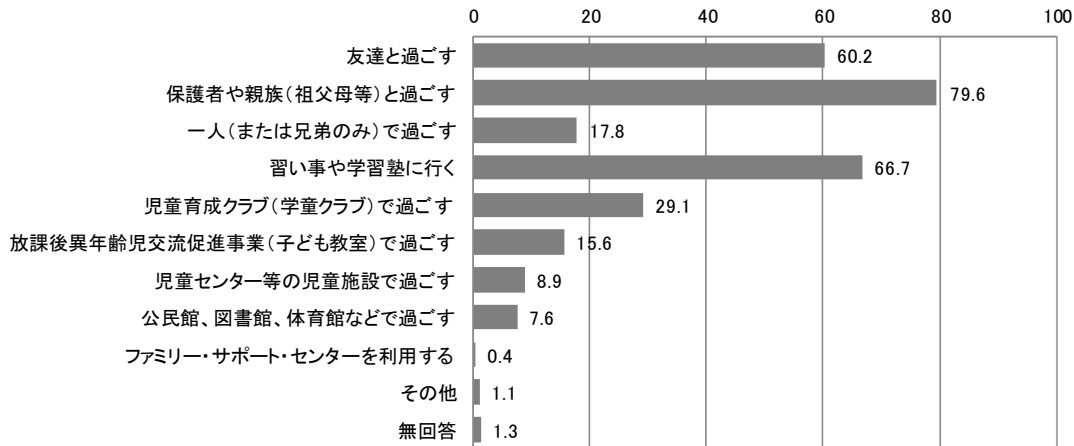
	合計	問11 子育てに関して気軽に相談できる人・場所								
		民生委員・児童委員	病院の医師・看護師・助産師	自治体の子育て関連担当窓口	市の保健師・助産師	市の子育てケアマネジャー	公民館	相談できる人(場所)はない	その他	無回答
全体	450 100.0	2 0.4	17 3.8	5 1.1	0 0.0	3 0.7	2 0.4	8 1.8	38 8.4	7 1.6
子どもの学年	1年生	107 100.0	1 0.9	3 2.8	0 0.0	0 0.0	1 0.9	1 0.9	8 7.5	4 3.7
	2年生	108 100.0	0 0.0	5 4.6	1 0.9	0 0.0	0 0.9	1 1.9	9 8.3	1 0.9
	3年生	118 100.0	1 0.8	1 0.8	2 1.7	0 0.0	1 0.8	0 3.4	4 11.0	2 1.7
	4年生	112 100.0	0 0.0	8 7.1	2 1.8	0 0.0	1 0.9	0 0.9	1 7.1	0 0.0
住まいの地域	元町	139 100.0	2 1.4	8 5.8	2 1.4	0 0.0	1 0.7	1 0.7	4 7.9	3 2.2
	中町	167 100.0	0 0.0	4 2.4	0 0.0	0 0.0	1 0.6	1 0.6	3 7.2	2 1.2
	新町	139 100.0	0 0.0	5 3.6	3 2.2	0 0.0	1 0.7	0 0.0	1 10.8	2 1.4

2. お子さんの放課後や土曜日の過ごし方について

問12 子どもの放課後や土曜日の過ごし方（複数回答）

- ・「保護者や親族（祖父母等）と過ごす」が79.6%で最も高く、次いで「習い事や学習塾に行く」が66.7%、「友達と過ごす」が60.2%の順となっています。
- ・「一人（または兄弟のみ）で過ごす」の割合をみると、学年別では“4年生”で、地域別では、“元町”で、家庭類型別では“タイプB（フルタイム×フルタイム）”で高くなっています。

(%)

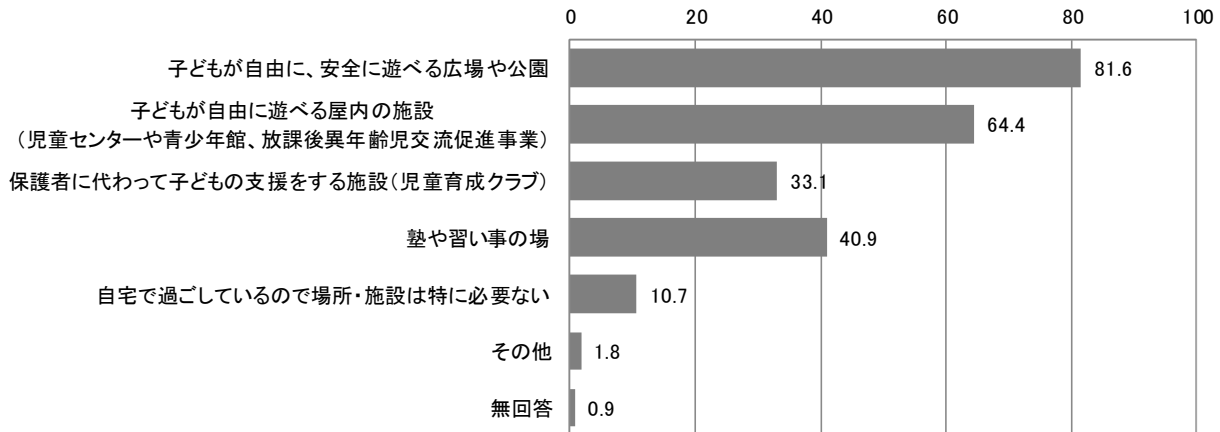


n=450

	合計	問12 子どもの放課後や土曜日の過ごし方											
		友達と過ごす	保護者や親族(祖父母等)と過ごす	一人(または兄弟のみ)で過ごす	習い事や学習塾に行く	児童育成クラブ(学童クラブ)で過ごす	放課後異年齢児交流促進事業(子ども教室)で過ごす	児童センター等の児童施設で過ごす	公民館、図書館、体育館などで過ごす	ファミリー・サポート・センターを利用する	その他	無回答	
全体	450	271	358	80	300	131	70	40	34	2	5	6	
	100.0	60.2	79.6	17.8	66.7	29.1	15.6	8.9	7.6	0.4	1.1	1.3	
子どもの学年	1年生	107	54	92	12	61	38	23	16	9	0	2	3
		100.0	50.5	86.0	11.2	57.0	35.5	21.5	15.0	8.4	0.0	1.9	2.8
	2年生	108	58	78	13	69	39	13	6	4	2	0	1
		100.0	53.7	72.2	12.0	63.9	36.1	12.0	5.6	3.7	1.9	0.0	0.9
3年生	118	79	93	27	84	36	24	7	9	0	2	2	
	100.0	66.9	78.8	22.9	71.2	30.5	20.3	5.9	7.6	0.0	1.7	1.7	
4年生	112	77	90	27	82	16	9	11	12	0	1	0	
	100.0	68.8	80.4	24.1	73.2	14.3	8.0	9.8	10.7	0.0	0.9	0.0	
住まいの地域	元町	139	78	115	31	90	35	20	8	11	0	2	2
		100.0	56.1	82.7	22.3	64.7	25.2	14.4	5.8	7.9	0.0	1.4	1.4
	中町	167	100	131	22	117	55	31	21	11	2	3	2
	100.0	59.9	78.4	13.2	70.1	32.9	18.6	12.6	6.6	1.2	1.8	1.2	
新町	139	90	107	27	90	39	18	11	12	0	0	2	
	100.0	64.7	77.0	19.4	64.7	28.1	12.9	7.9	8.6	0.0	0.0	1.4	
現在の家庭類型	タイプA	33	13	21	7	15	16	4	2	1	0	0	0
		100.0	39.4	63.6	21.2	45.5	48.5	12.1	6.1	3.0	0.0	0.0	0.0
	タイプB	115	60	87	25	79	74	11	5	3	2	0	0
		100.0	52.2	75.7	21.7	68.7	64.3	9.6	4.3	2.6	1.7	0.0	0.0
	タイプC	138	87	106	29	93	36	23	14	11	0	1	0
		100.0	63.0	76.8	21.0	67.4	26.1	16.7	10.1	8.0	0.0	0.7	0.0
	タイプD	151	106	137	17	108	5	31	19	17	0	4	0
	100.0	70.2	90.7	11.3	71.5	3.3	20.5	12.6	11.3	0.0	2.6	0.0	
タイプE	4	3	4	0	2	0	1	0	2	0	0	0	
	100.0	75.0	100.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
タイプF	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

問 13 子どもが放課後や土曜日に過ごす際に必要な場所・施設（複数回答）

- 「子どもが自由に、安全に遊べる広場や公園」が81.6%で最も高く、次いで「子どもが自由に遊べる屋内の施設（児童センターや青少年館、放課後異年齢児交流促進事業）」が64.4%、「塾や習い事の間」が40.9%の順となっています。
- 家庭類型別の“タイプ A（ひとり親家庭）”では、「子どもが自由に、安全に遊べる広場や公園」と「子どもが自由に遊べる屋内の施設（児童センターや青少年館、放課後異年齢児交流促進事業）」が同じ割合となっています。



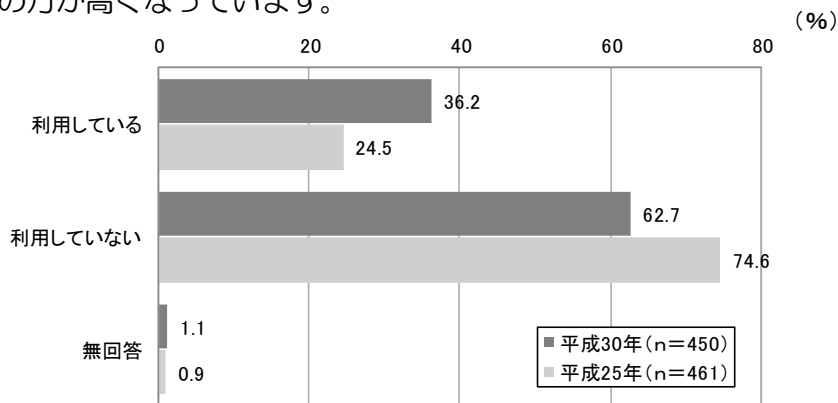
n=450

		問13 子どもが放課後や土曜日に過ごす際に必要な場所・施設							
		合計	子どもが自由に、安全に遊べる広場や公園	子どもが自由に遊べる屋内の施設 (児童センターや青少年館、放課後異年齢児交流促進事業)	保護者に代わって子どもの支援をする施設 (児童育成クラブ)	塾や習い事の間	自宅で過ごしているため場所・施設は特に必要ない	その他	無回答
全体		450 100.0	367 81.6	290 64.4	149 33.1	184 40.9	48 10.7	8 1.8	4 0.9
現在の家庭類型	タイプA	33 100.0	19 57.6	19 57.6	17 51.5	11 33.3	4 12.1	0 0.0	0 0.0
	タイプB	115 100.0	93 80.9	64 55.7	64 55.7	56 48.7	6 5.2	4 3.5	1 0.9
	タイプC	138 100.0	112 81.2	88 63.8	39 28.3	54 39.1	19 13.8	1 0.7	2 1.4
	タイプD	151 100.0	132 87.4	112 74.2	26 17.2	59 39.1	18 11.9	3 2.0	1 0.7
	タイプE	4 100.0	4 100.0	2 50.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	タイプF	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

3. 児童育成クラブの利用状況についてうかがいます。

問 14 児童育成クラブの利用状況（単回答）

- 「利用している」が 36.2%で、「利用していない」が 62.7%となっています。平成 25 年調査と比較すると「利用している」が 11.7 ポイント増加しています。
- 家庭類型別の“タイプ A（ひとり親家庭）”“タイプ B（フルタイム×フルタイム）”では、「利用している」割合の方が高くなっています。

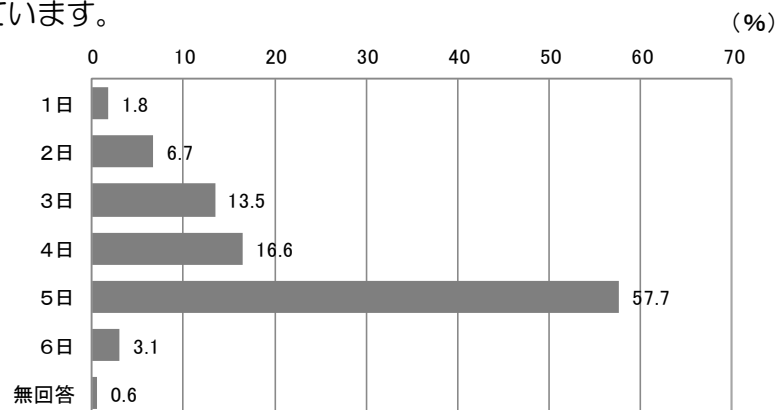


		合計	問14 児童育成クラブの利用状況		
			利用している	利用していない	無回答
全体		450 100.0	163 36.2	282 62.7	5 1.1
現在の家庭類型	タイプA	33 100.0	20 60.6	13 39.4	0 0.0
	タイプB	115 100.0	90 78.3	25 21.7	0 0.0
	タイプC	138 100.0	44 31.9	92 66.7	2 1.4
	タイプD	151 100.0	6 4.0	142 94.0	3 2.0
	タイプE	4 100.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0
	タイプF	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	タイプG	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問 14-1 児童育成クラブの利用日数と土曜日の利用状況（単回答）

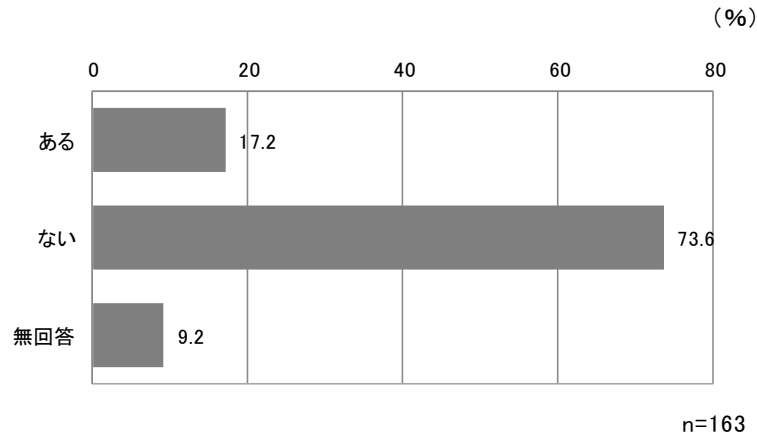
【問 14 で「1. 利用している」と回答した方限定】

- 「5日」が 57.7%で最も高く、次いで「4日」が 16.6%、「3日」が 13.5%の順となっています。
- 「6日」と回答した割合をみると子どもの学年別では“4年生”で、配偶関係別では“配偶者はいない”で高くなっています。



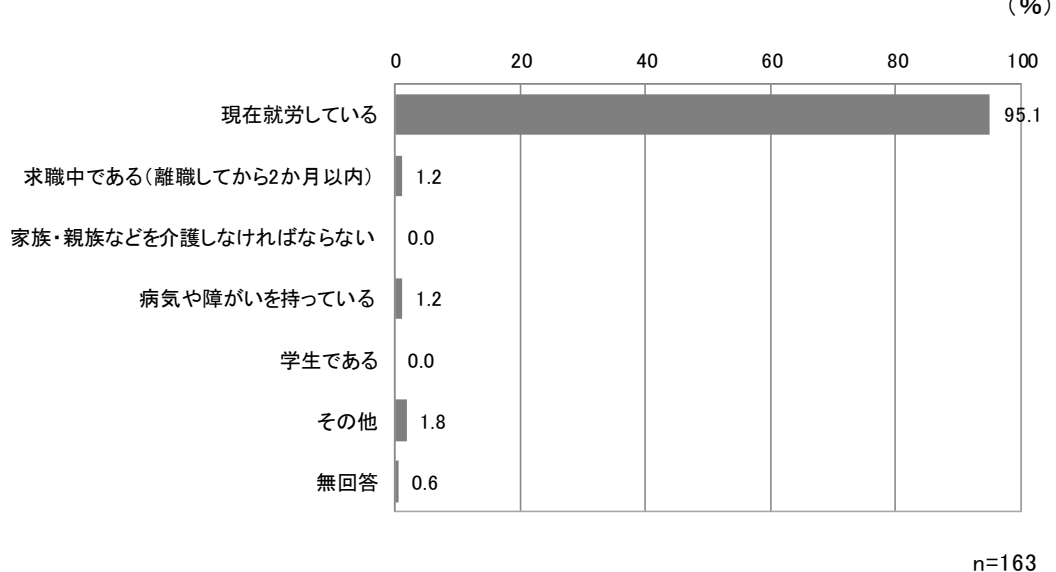
		合計	問14-1 児童育成クラブの利用日数						
			1日	2日	3日	4日	5日	6日	無回答
全体		163 100.0	3 1.8	11 6.7	22 13.5	27 16.6	94 57.7	5 3.1	1 0.6
子どもの学年	1年生	44 100.0	0 0.0	2 4.5	2 4.5	7 15.9	31 70.5	2 4.5	0 0.0
	2年生	47 100.0	0 0.0	4 8.5	8 17.0	6 12.8	28 59.6	1 2.1	0 0.0
	3年生	51 100.0	3 5.9	1 2.0	11 21.6	11 21.6	23 45.1	1 2.0	1 2.0
	4年生	19 100.0	0 0.0	3 15.8	1 5.3	3 15.8	11 57.9	1 5.3	0 0.0
配偶関係	配偶者がいる	140 100.0	2 1.4	11 7.9	17 12.1	23 16.4	84 60.0	2 1.4	1 0.7
	配偶者はいない	20 100.0	1 5.0	0 0.0	4 20.0	2 10.0	10 50.0	3 15.0	0 0.0

• そのうちの土曜の利用としては「ない」が73.6%となっています。



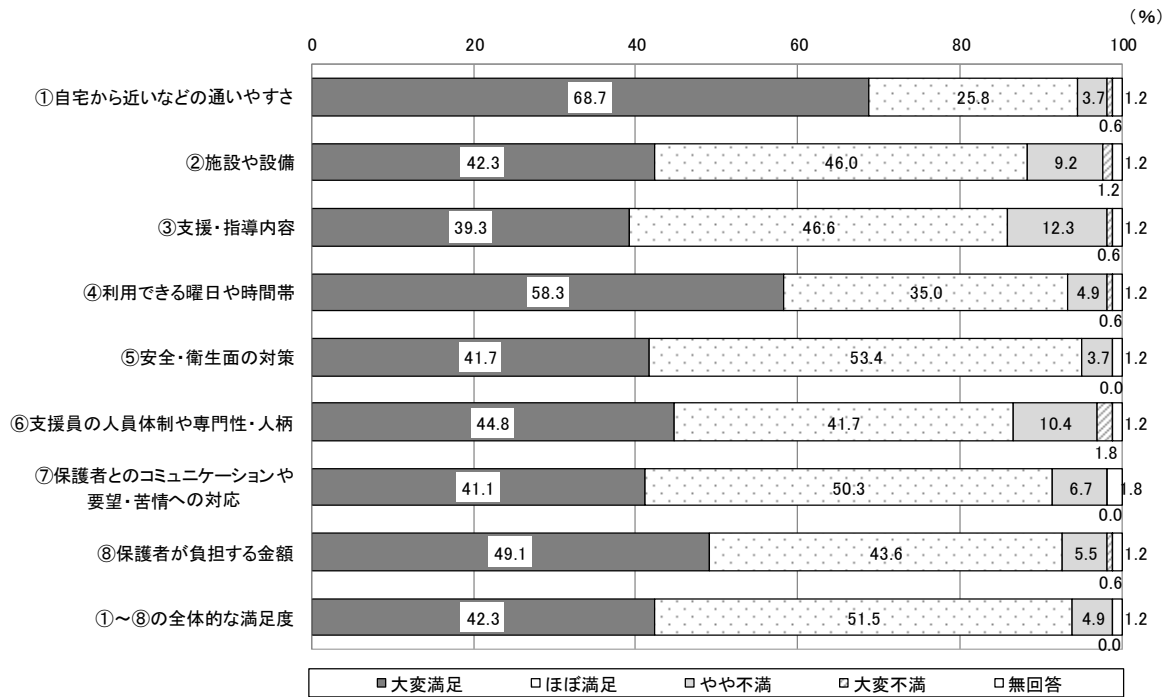
問 14-2 児童育成クラブを利用している理由（単回答）

• 「現在就労している」が95.1%とほとんどを占めています。



問 14-3 児童育成クラブへの評価（単回答）

・「大変満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』の割合をみると、「⑤安全・衛生面の対策」「①自宅から近いなどの通いやすさ」「①～⑧の全体的な満足度」の順に高くなっています。

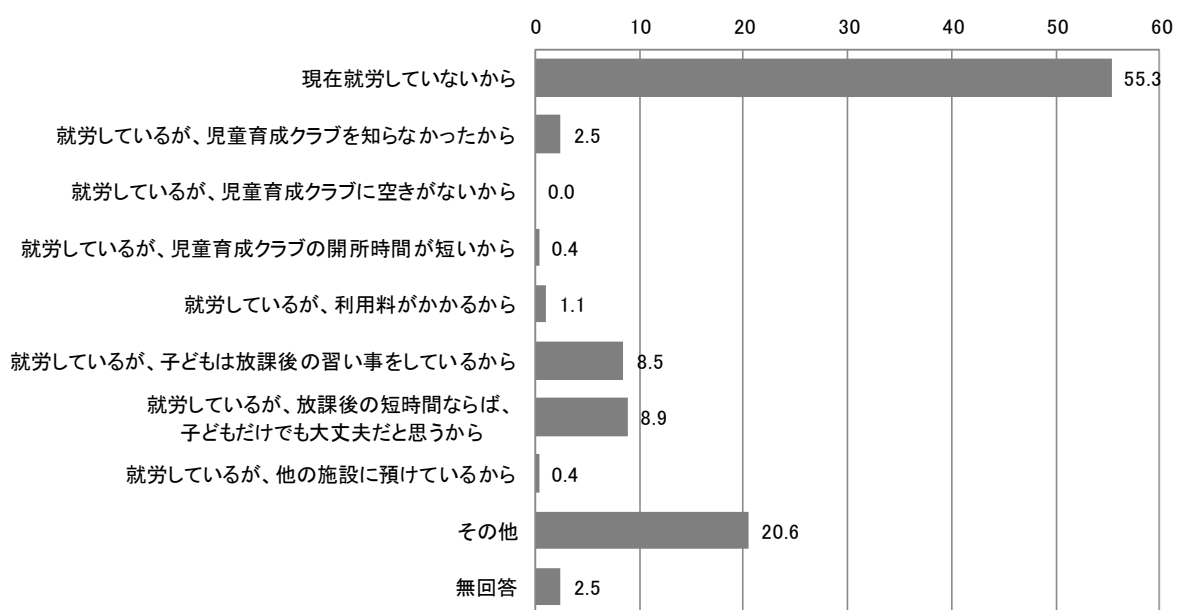


n=163

問 14-4 児童育成クラブを利用していない理由（単回答）

【問 14 で「2. 利用していない」と回答した方限定】

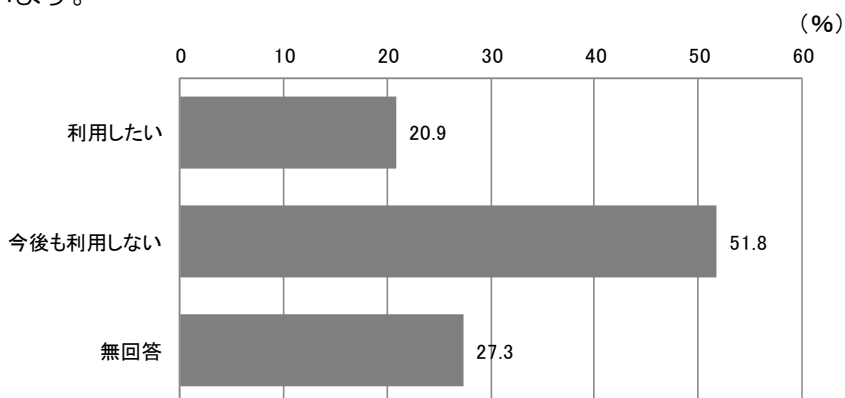
・「現在就労していないから」が 55.3%と最も多くなっています。また、「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」8.9%、「就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから」が 8.5%となっています。



n=282

問 14-5 児童育成クラブの利用意向・日数（単回答、数量回答）

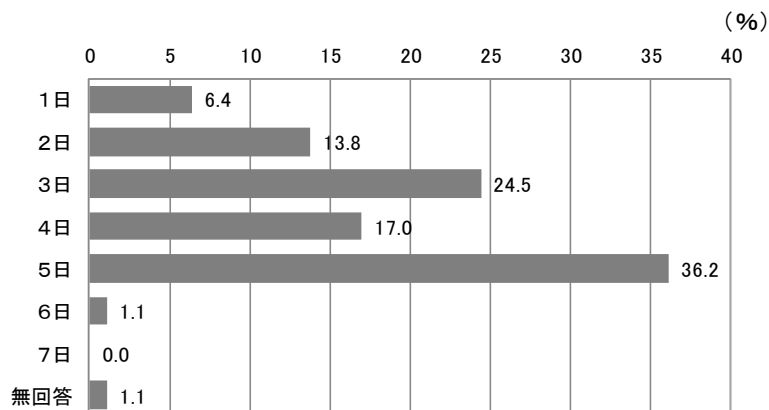
- 「利用したい」が20.9%、「今後も利用しない」が51.8%となっています。
- 「利用したい」と回答する割合をみると、子どもの学年別では“1年生”で、地域別では“中町”で高くなっています。



n=450

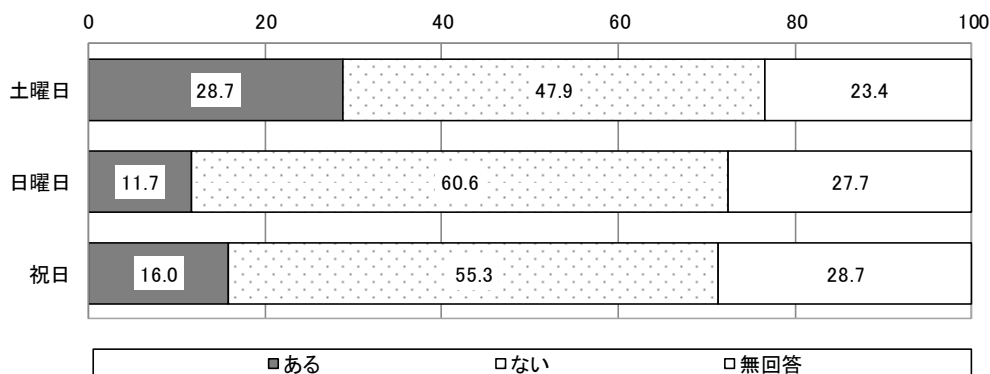
		合計	問14-5 児童育成クラブの利用意向		
			利用したい	今後も利用しない	無回答
全体		450 100.0	94 20.9	233 51.8	123 27.3
子どもの学年	1年生	107 100.0	29 27.1	42 39.3	36 33.6
	2年生	108 100.0	24 22.2	48 44.4	36 33.3
	3年生	118 100.0	30 25.4	50 42.4	38 32.2
	4年生	112 100.0	10 8.9	90 80.4	12 10.7
住まいの地域	元町	139 100.0	24 17.3	85 61.2	30 21.6
	中町	167 100.0	42 25.1	75 44.9	50 29.9
	新町	139 100.0	27 19.4	71 51.1	41 29.5

- 利用希望日数としては、「5日」が36.2%と最も多くなっています。



n=94

・土日祝日の利用希望としては、「土曜日」が28.7%と多くなっています。 (%)

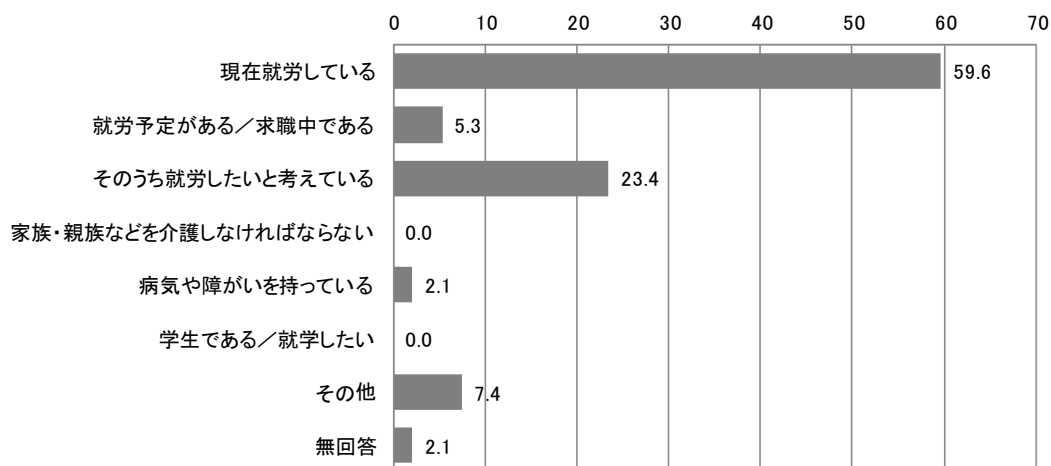


n=94

問 14-6 今後児童育成クラブを利用したい理由（単回答）

【問 14-5 で「1. 利用したい」と回答した方限定】

・「現在就労している」が59.6%で最も高く、次いで「そのうち就労したいと考えている」が23.4%となっています。 (%)

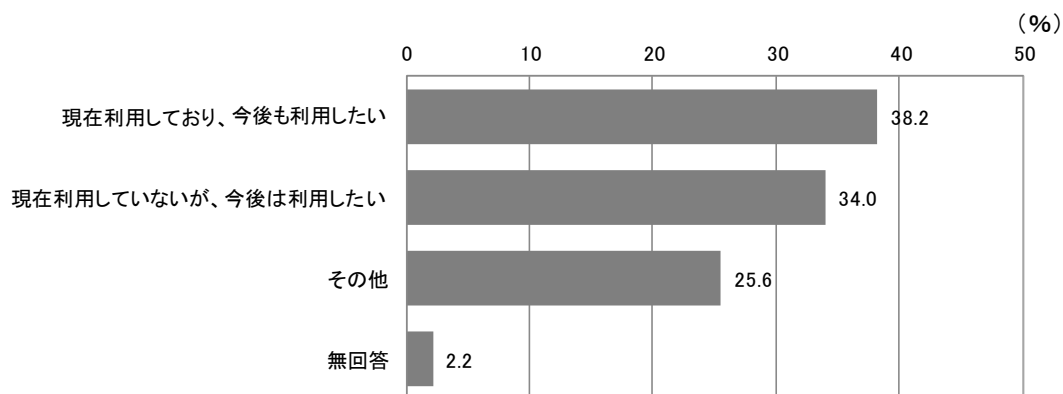


n=94

問 15 浦安市の放課後異年齢児交流促進事業の利用意向（単回答）

・「現在利用しており、今後も利用したい」が38.2%、「現在利用していないが、今後は利用したい」が34.0%となっています。

・地域別にみると“新町”で「現在利用していないが、今後は利用したい」が多くなっています。

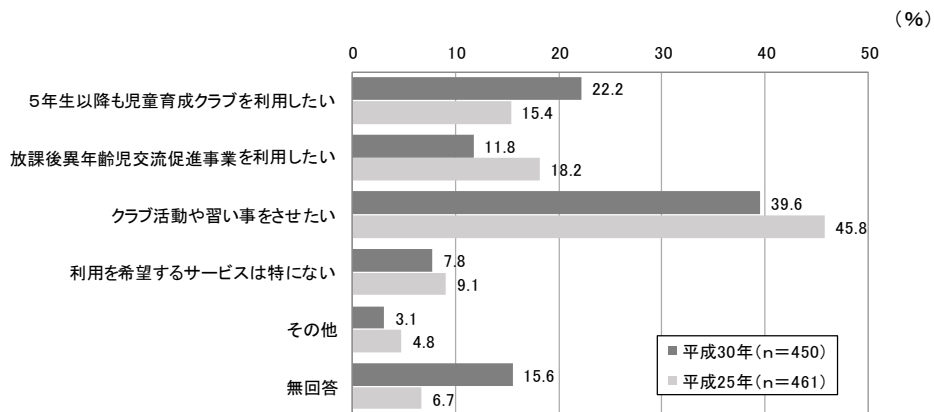


n=450

		合計	問15 浦安市の放課後異年齢児交流促進事業の利用意向			
			現在利用 しており、 今後も 利用し たい	現在利用 してい ないが、 今後は 利用 したい	その他	無回答
全体		450 100.0	172 38.2	153 34.0	115 25.6	10 2.2
住 ま い の 地 域	元町	139 100.0	44 31.7	49 35.3	42 30.2	4 2.9
	中町	167 100.0	72 43.1	50 29.9	40 24.0	5 3.0
	新町	139 100.0	55 39.6	51 36.7	32 23.0	1 0.7

問 16 小学5年生以降の放課後の過ごし方に望むこと（単回答、数量回答）

- 「クラブ活動や習い事をさせたい」が39.6%と最も多く、次いで、「5年生以降も児童育成クラブを利用したい」が22.2%となっています。
- 平成25年調査と比較すると、「5年生以降も児童育成クラブを利用したい」が6.8ポイント増加しています。
- 「5年生以降も児童育成クラブを利用したい」の割合は、子どもの学年別で見ると、「2年生」では25.9%であるのに対し、「4年生」では16.1%となっています。



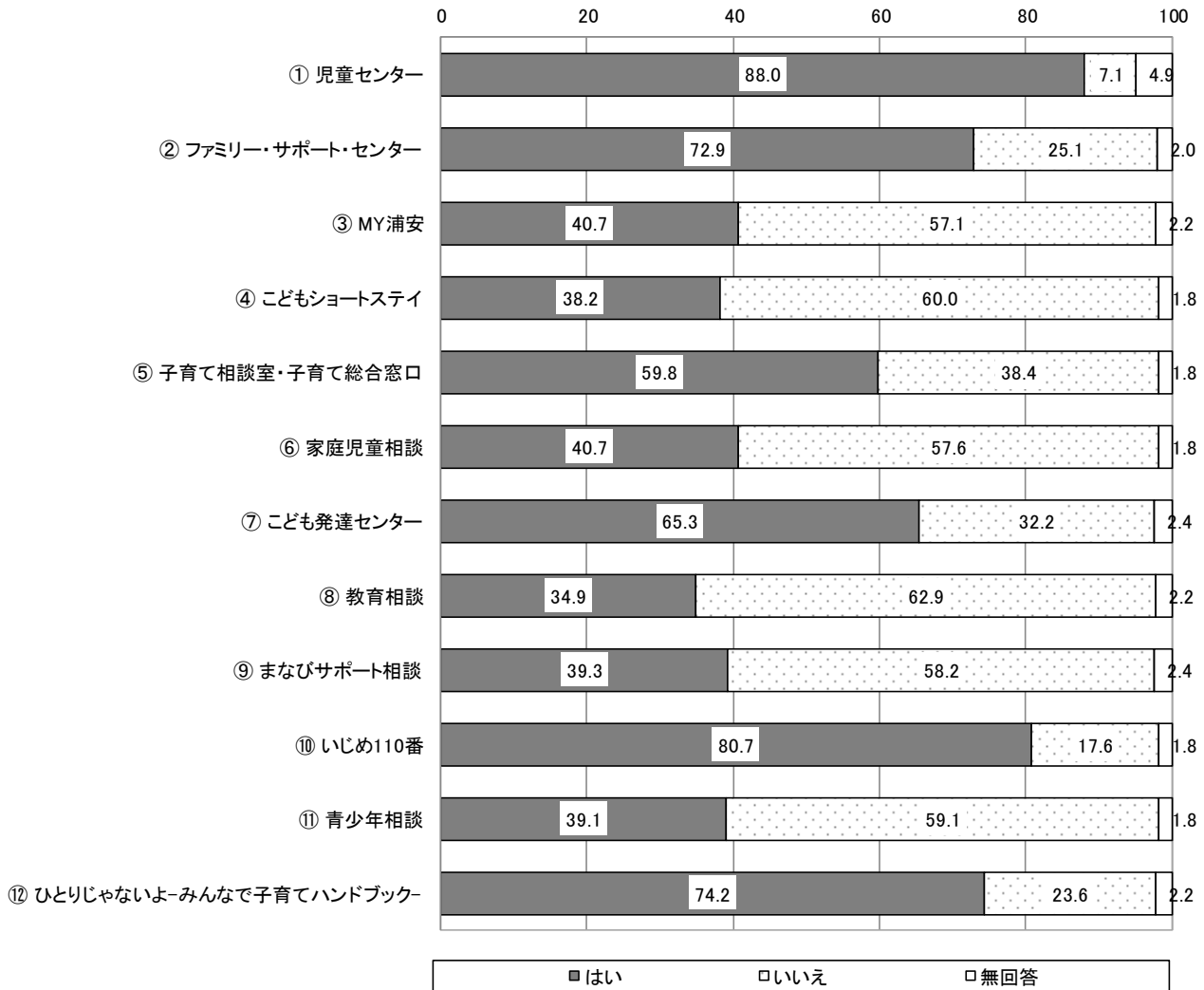
		合計	問16 小学5年生以降の放課後の過ごし方に望むこと					
			5年生以 降も児童 育成クラ ブを利用 したい	放課後異 年齢児交 流促進事 業を利用 したい	クラブ活 動や習い 事をさせ たい	利用を希 望する サービス は特にな い	その他	無回答
全体		450 100.0	100 22.2	53 11.8	178 39.6	35 7.8	14 3.1	70 15.6
子 ど も の 学 年	1年生	107 100.0	23 21.5	17 15.9	36 33.6	5 4.7	6 5.6	20 18.7
	2年生	108 100.0	28 25.9	6 5.6	47 43.5	6 5.6	1 0.9	20 18.5
	3年生	118 100.0	29 24.6	16 13.6	49 41.5	3 2.5	5 4.2	16 13.6
	4年生	112 100.0	18 16.1	14 12.5	45 40.2	19 17.0	2 1.8	14 12.5

4. 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 17 (A) 地域子育て支援事業の認知度 (単回答)

- 認知度が高い事業は、「児童センター」が 88.0%で最も高く、次いで「いじめ 110 番」が 80.7%、「ひとりじゃないよ-みんなで子育てハンドブック-」が 74.2%となっています。
- 認知度が低い事業は、「教育相談」が 34.9%で最も低く、次いで「こどもショートステイ」が 38.2%となっています。

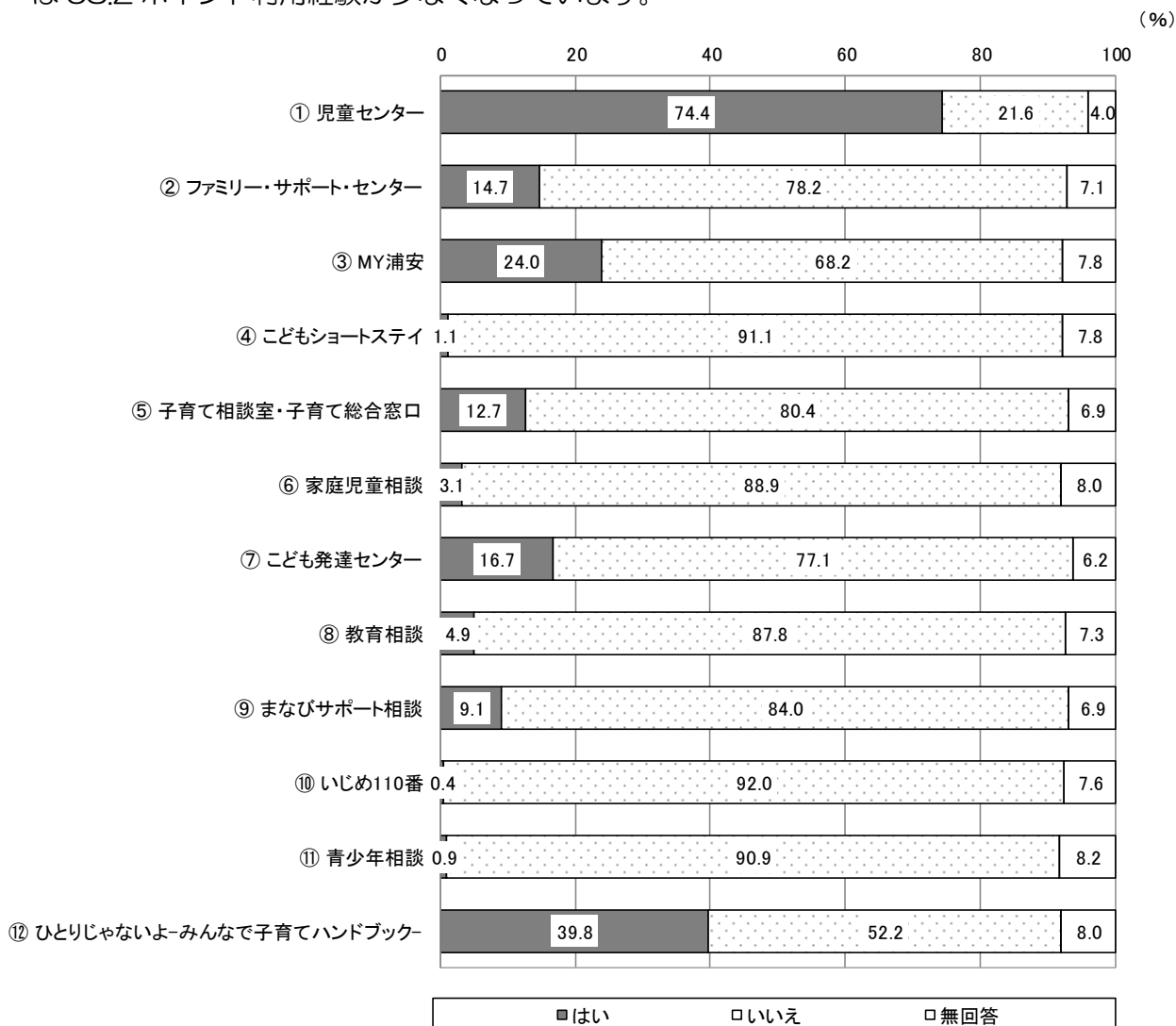
(%)



n=450

問 17 (B) 地域子育て支援事業の利用経験 (単回答)

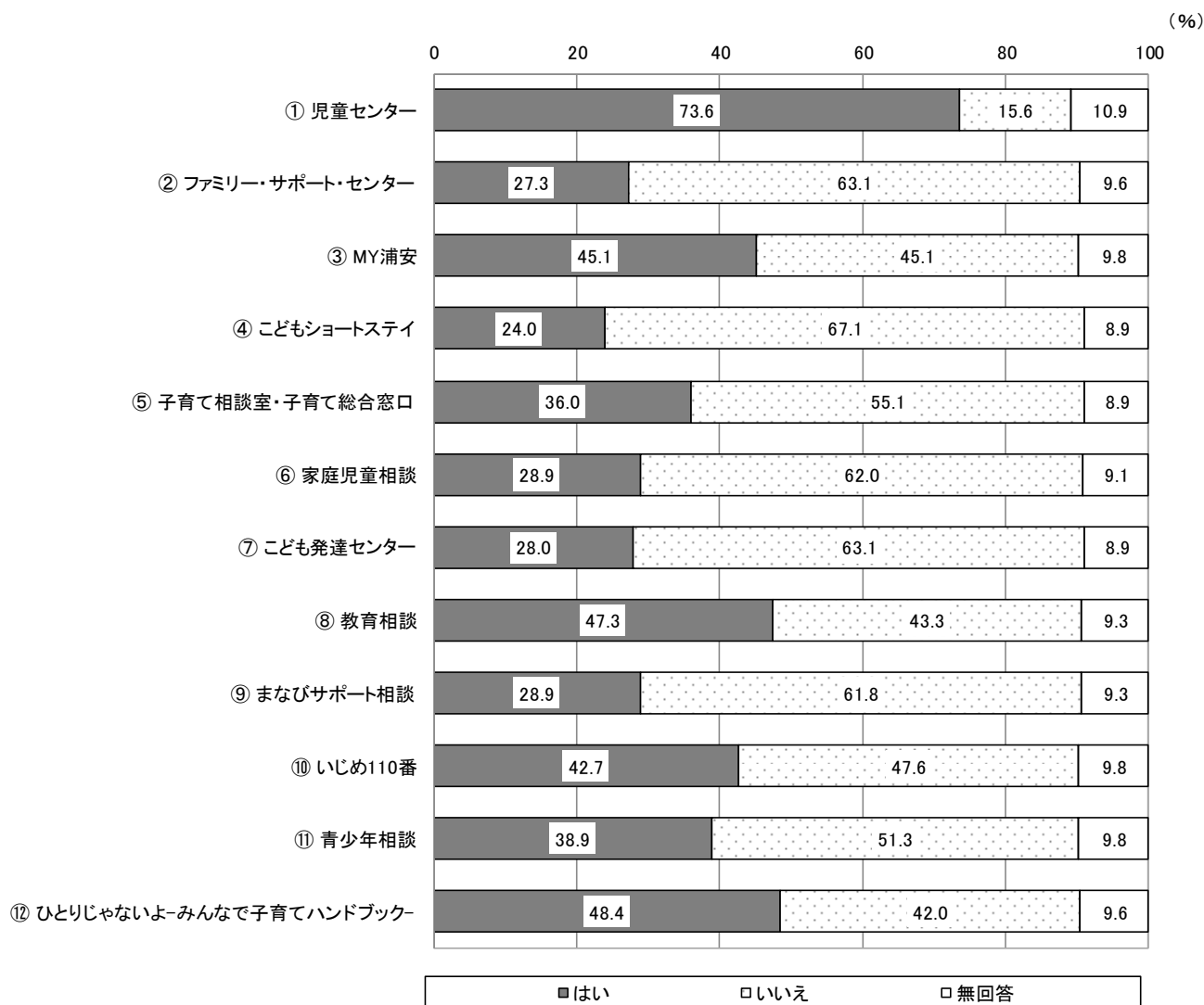
- 利用経験が高い事業は、「児童センター」が 74.4%で最も高く、次いで「ひとりじゃないよ-みんなで子育てハンドブック-」が 39.8%となっています。
- 利用経験が低い事業は、「いじめ 110 番」が 0.4%で最も低く、次いで「青少年相談」が 0.9%となっています。
- 認知度と比較すると、「いじめ 110 番」は 80.2 ポイント、「ファミリー・サポート・センター」は 58.2 ポイント利用経験が少なくなっています。



n=450

問 17 (C) 地域子育て支援事業の今後の利用意向 (単回答)

- 利用意向が高い事業は、「児童センター」が 73.6%で最も高く、次いで「ひとりじゃないよ-みんなで子育てハンドブック-」が 48.4%となっています。
- 利用意向が低い事業は、「こどもショートステイ」が 24.0%で最も低く、次いで「ファミリー・サポート・センター」が 27.3%となっています。
- 利用経験と比較すると、「教育相談」は 42.4 ポイント、「いじめ 110 番」は 42.2 ポイント利用意向が高くなっています。



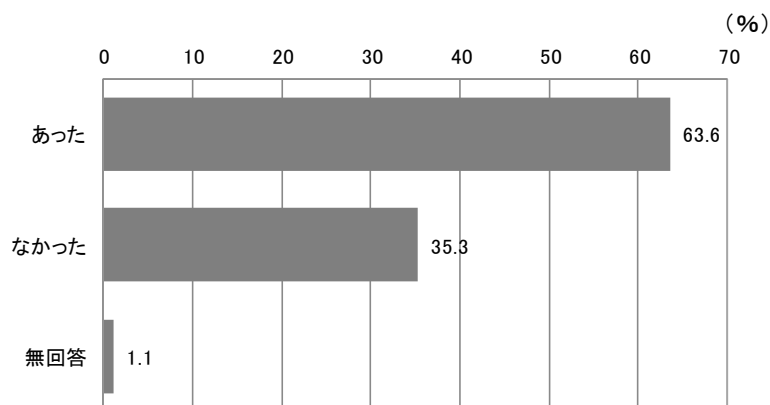
n=450

5. 病気やケガの際の対応について

問 18 この1年間の病気やケガの経験の有無（単回答）

【定期的な施設・事業を利用している方限定】

- ・「あった」が63.6%、「なかった」が35.3%となっています。
- ・子どもの学年別にみると、「あった」は“2年生”の68.5%が最も高くなっています。



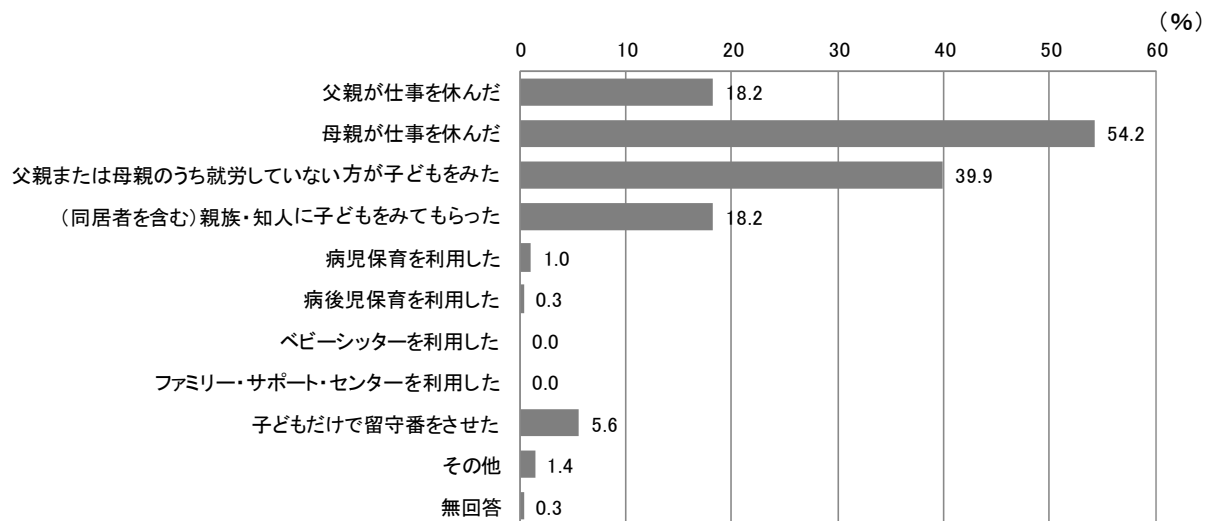
n=450

		合計	問18 この1年間の病気やケガの経験の有無		
			あった	なかった	無回答
全体		450 100.0	286 63.6	159 35.3	5 1.1
子 ど も の 学 年	1年生	107 100.0	60 56.1	47 43.9	0 0.0
	2年生	108 100.0	74 68.5	33 30.6	1 0.9
	3年生	118 100.0	79 66.9	39 33.1	0 0.0
	4年生	112 100.0	69 61.6	39 34.8	4 3.6

問 19 病気やケガの場合の対処方法と日数（複数回答、数量回答）

【問 18 で「1. あった」と回答した方限定】

・「母親が仕事を休んだ」が 54.2%で最も高く、次いで「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が 39.9%となっています。



n=286

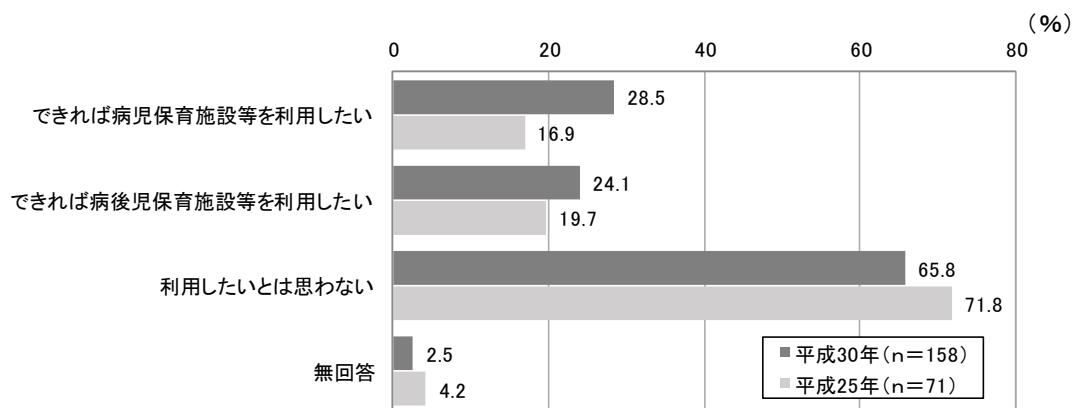
利用日数

No.	カテゴリー名	年間の平均日数
1	父親が仕事を休んだ	2.1
2	母親が仕事を休んだ	3.4
3	父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	3.8
4	親族・知人に子どもをみてもらった	2.8
5	病児保育を利用した	2.0
6	病後児保育を利用した	1.0
7	ベビーシッターを利用した	-
8	ファミリー・サポート・センターを利用した	-
9	子どもだけで留守番をさせた	1.4
10	その他	4.0

問 19-1 病児・病後児保育の利用希望（複数回答、数量回答）

【問 19 で「1.」「2.」と回答した方限定】

- 「できれば病児保育施設等を利用したい」が 28.5%、「できれば病後児保育施設等を利用したい」が 24.1%、「利用したいとは思わない」が 65.8%となっています。
- 平成 25 年調査と比較すると、「利用したいとは思わない」は 6.0 ポイント減少していますが、「利用したい」はともに増加しています。
- 子どもの学年別にみると、“3年生”で「利用したいとは思わない」の割合も高くなっています。



		合計	問19-1 病児・病後児保育の利用希望			
			できれば病児保育施設等を利用したい	できれば病後児保育施設等を利用したい	利用したいとは思わない	無回答
全体		158 100.0	45 28.5	38 24.1	104 65.8	4 2.5
子どもの学年	1年生	30 100.0	8 26.7	6 20.0	20 66.7	1 3.3
	2年生	40 100.0	12 30.0	9 22.5	25 62.5	2 5.0
	3年生	51 100.0	14 27.5	12 23.5	35 68.6	0 0.0
	4年生	34 100.0	11 32.4	11 32.4	21 61.8	1 2.9

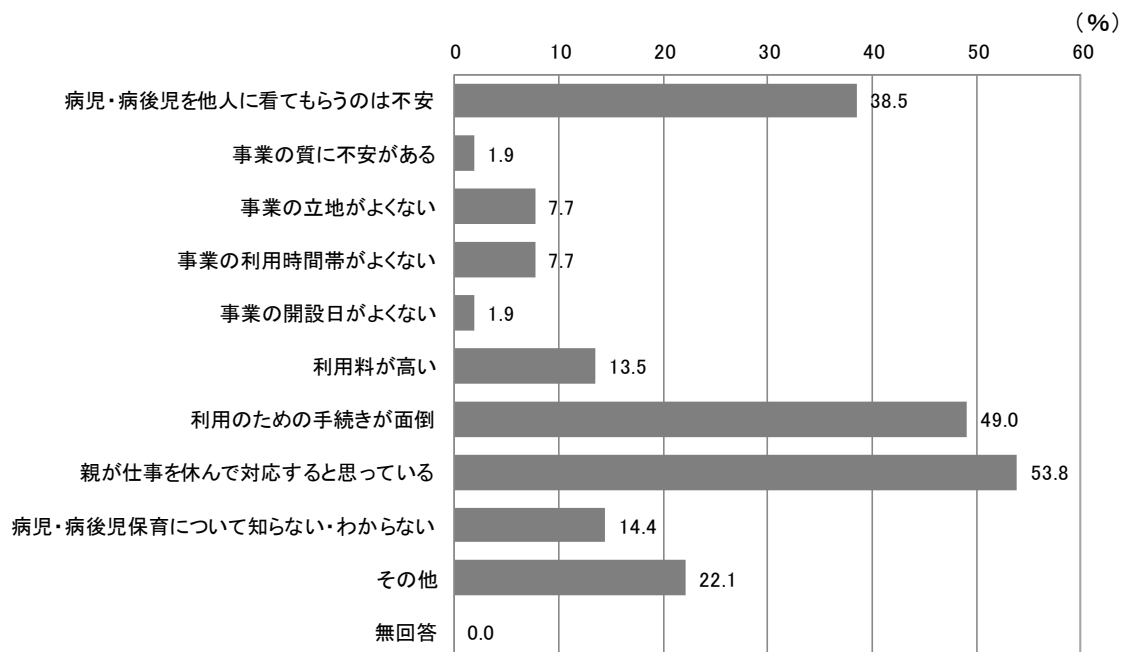
利用日数

No.	カテゴリー名	年間の平均日数
1	できれば病児保育施設等を利用したい	3.4
2	できれば病後児保育施設等を利用したい	3.1

問 19-2 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由（複数回答）

【問 19-1 で「3. 利用したいとは思わない」と回答した方限定】

- ・「親が仕事を休んで対応している」と思っているが53.8%で最も高く、次いで「利用のための手続きが面倒」が49.0%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が38.5%となっています。

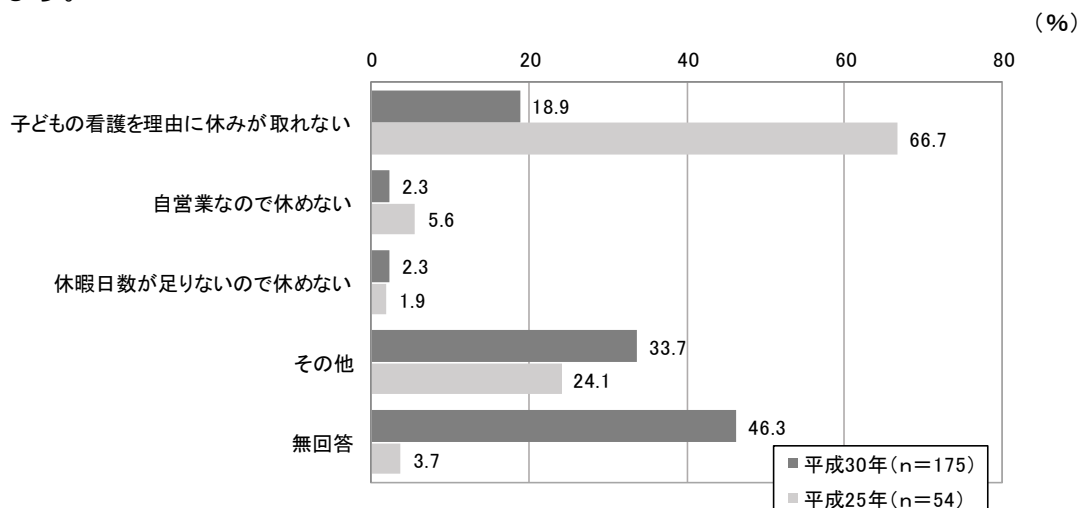


n=104

問 19-3 問 19 の「3.」～「10.」の対応をした理由（複数回答）

【問 19 で「3.」～「10.」と回答した方限定】

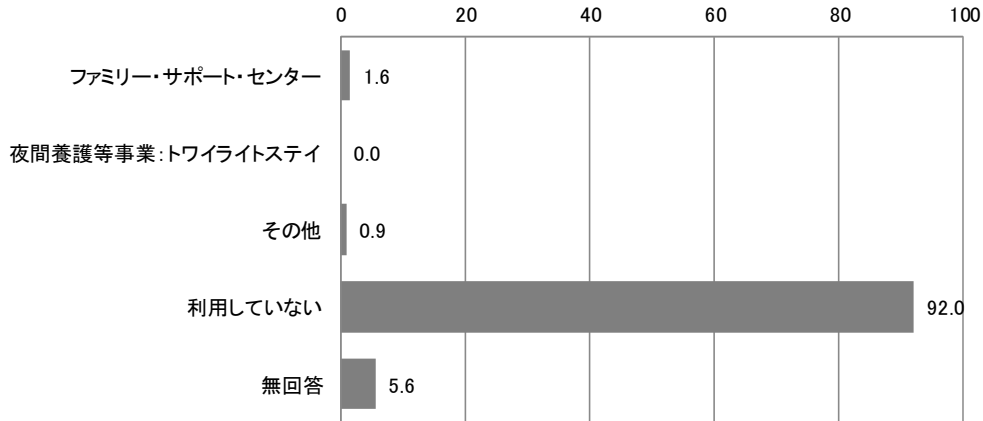
- ・「その他」が33.7%で最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みが取れない」が18.9%となっています。「その他」の内容としては、「就労していない方の親や祖父祖母に看もらった」という回答が多くを占めています。
- ・平成 25 年調査と比較すると、「子どもの看護を理由に休みが取れない」は、47.8 ポイント減少しています。



6. 不定期の子育て支援事業の利用について

問 20 不定期に利用した事業・日数（複数回答、数量回答）

・「利用していない」が92.0%でほとんどを占めています。 (％)



利用日数

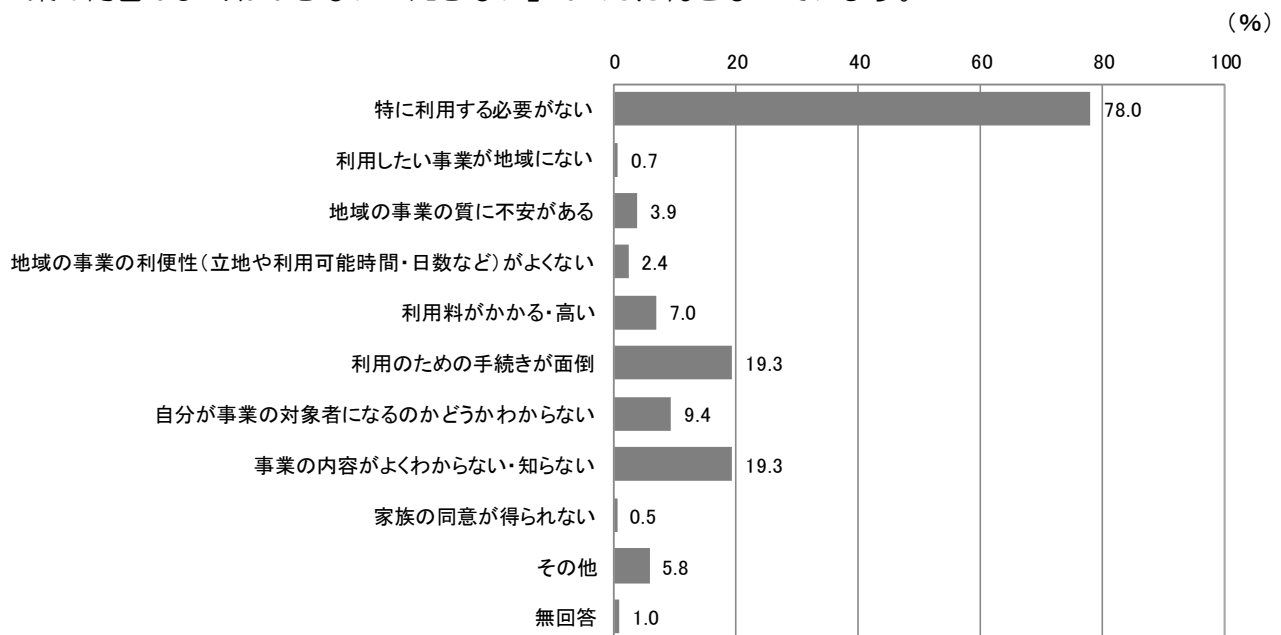
n=450

No.	カテゴリー名	年間の平均日数
1	ファミリーサポートセンター	16.1
2	トワイライトステイ	-
3	その他	13.3

問 20-1 不定期で事業を利用していない理由（複数回答）

【問 20 で「4. 利用していない」と回答した方限定】

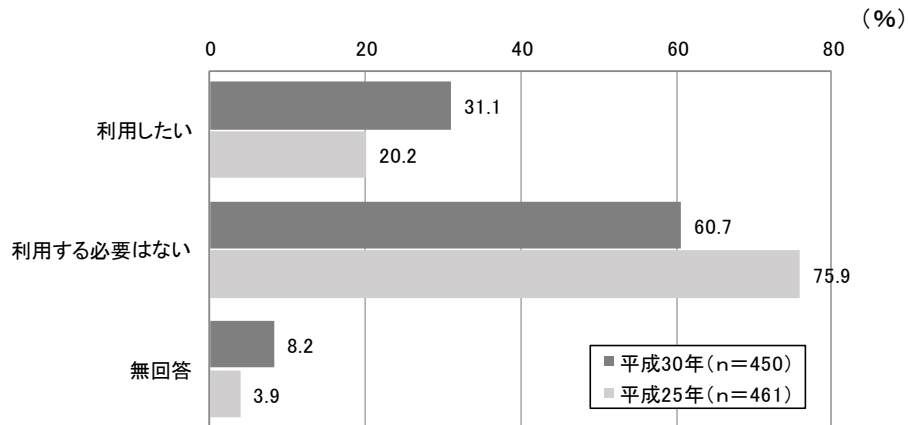
・「特に利用する必要がない」が78.0%で最も高く、次いで「利用のための手続きが面倒」と「事業の内容がよくわからない・知らない」が19.3%となっています。



n=414

問 21① 一時的な預かり事業の利用希望（単回答）

- 「利用したい」が31.1%、「利用する必要はない」が60.7%となっています。
- 子どもの学年別では“2年生”で「利用したい」が多くなっています。

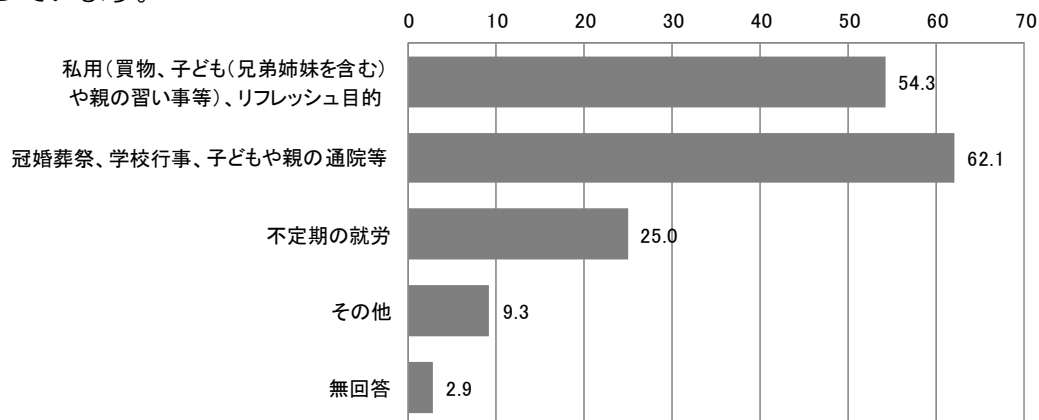


		合計	問21 ①一時的な預かり事業の利用希望		
			利用したい	利用する必要はない	無回答
全体		450	140	273	37
		100.0	31.1	60.7	8.2
子どもの学年	1年生	107	34	61	12
		100.0	31.8	57.0	11.2
	2年生	108	39	59	10
		100.0	36.1	54.6	9.3
	3年生	118	39	69	10
	100.0	33.1	58.5	8.5	
4年生	112	27	81	4	
	100.0	24.1	72.3	3.6	

問 21② 一時的な預かり事業の利用目的・日数（複数回答、数量回答）

【問 21①で「1. 利用したい」と回答した方限定】

- 「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が62.1%で最も高く、次いで「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」が54.3%、「不定期の就労」が25.0%となっています。



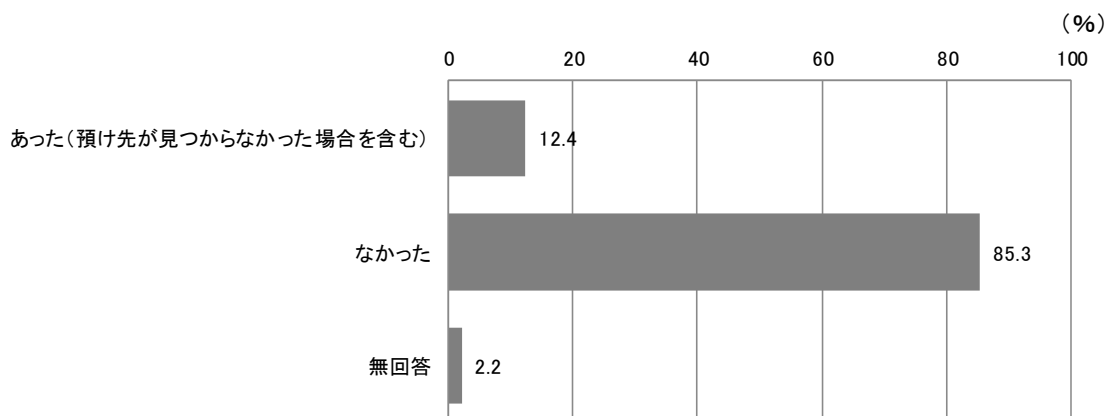
n=450

利用日数

No.	カテゴリー名	年間の平均日数
1	私用、リフレッシュ目的	11.2
2	冠婚葬祭、学校行事、子供や親の通院等	6.4
3	不定期の就労	32.8
4	その他	28.9

問 22① 宿泊を伴う一時預かり等の必要性の有無（単回答）

- ・「あった（預け先が見つからなかった場合を含む）」が 12.4%、「なかった」が 85.3%となっています。
- ・子どもの学年別にみると、「あった（預け先が見つからなかった場合を含む）」は“4年生”が最も高くなっています。



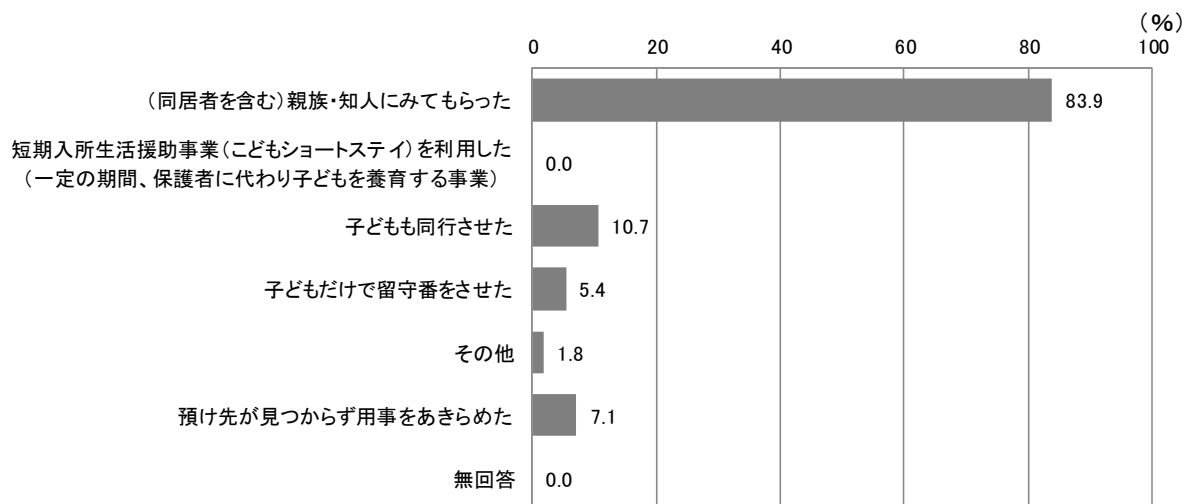
n=450

		合計	問22 ①宿泊を伴う一時預かり等の必要性の有無		
			あった (預け先 が見つから なかった 場合を 含む)	なかった	無回答
全体		450 100.0	56 12.4	384 85.3	10 2.2
子 ど も の 学 年	1年生	107 100.0	11 10.3	93 86.9	3 2.8
	2年生	108 100.0	11 10.2	92 85.2	5 4.6
	3年生	118 100.0	17 14.4	100 84.7	1 0.8
	4年生	112 100.0	17 15.2	94 83.9	1 0.9

問 22② 宿泊を伴う一時預かりが必要となった場合の対処方法（複数回答、数量回答）

【問 22①で「1. あった」と回答した方限定】

・「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 83.9%で最も高く、次いで「子どもも同行させた」が 10.7%、「預け先が見つからないので用事をあきらめた」が 7.1%となっています。



n=56

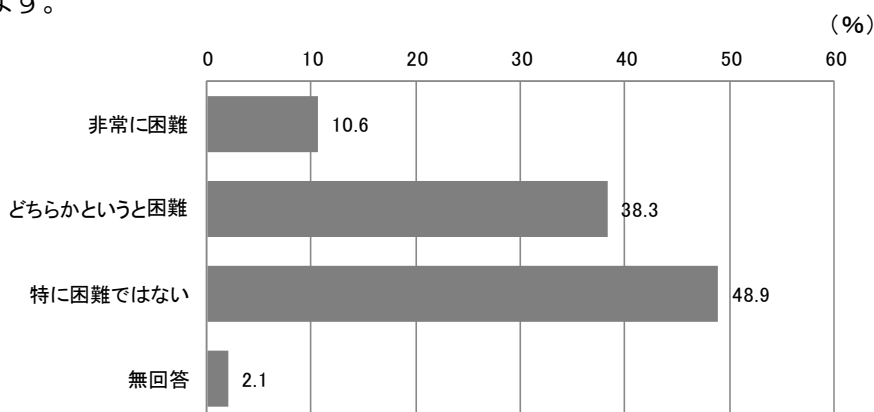
対応日数

No.	カテゴリー名	年間の平均日数
1	親族・知人にみてもらった	4.5
2	短期入所生活援助事業を利用した	-
3	子どもも同行させた	4.8
4	子どもだけで留守番をさせた	5.0
5	その他	0.0
6	預け先が見つからず用事をあきらめた	2.3

問 22-1 親族・知人に預かってもらった際の困難度（単回答）

【問 22②で「1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と回答した方限定】

・「非常に困難」が 10.6%、「どちらかという困難」が 38.3%で合わせた『困難』は 48.9%となっています。

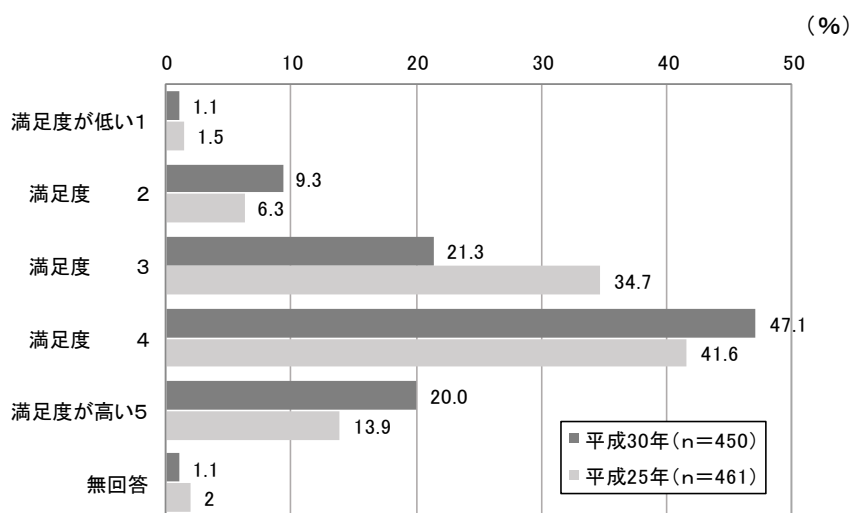


n=47

7. 子育てに関する意識について

問 23 子育て支援の満足度（単回答）

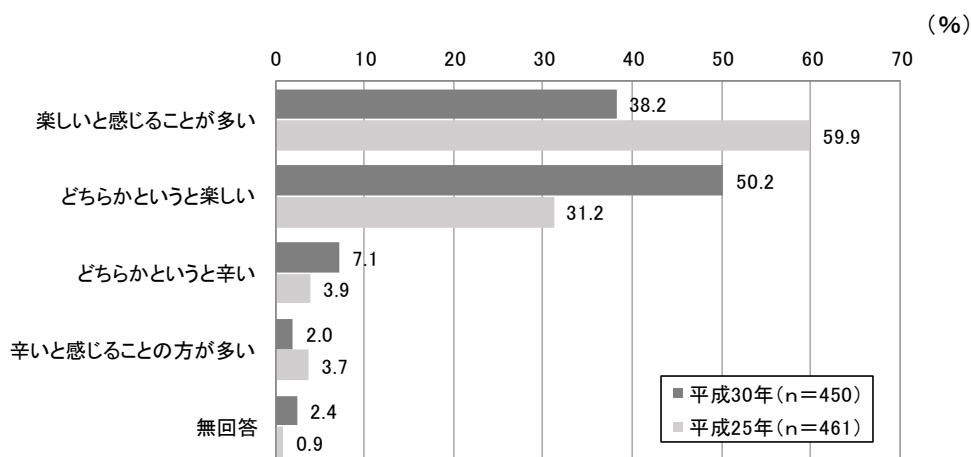
- 「4」が47.1%で最も高く、次いで「3」が21.3%となっており、全体の平均値が3.72となっています。
- 平成25年調査と比較すると、「5」の割合が6.1ポイント増加し、平均値も3.54から0.18増加しています。
- 子どもの学年別では“3年生”、居住地域別では“中町”で最も高くなっています。



		合計	問23 子育て支援の満足度					無回答
			満足度が低い1	満足度 2	満足度 3	満足度 4	満足度が高い5	
全体		450	5	42	96	212	90	5
		100.0	1.1	9.3	21.3	47.1	20.0	1.1
子どもの学年	1年生	107	1	10	21	48	24	3
		100.0	0.9	9.3	19.6	44.9	22.4	2.8
	2年生	108	1	12	26	48	21	0
		100.0	0.9	11.1	24.1	44.4	19.4	0.0
3年生		118	2	8	19	65	22	2
		100.0	1.7	6.8	16.1	55.1	18.6	1.7
	4年生	112	1	11	29	50	21	0
	100.0	0.9	9.8	25.9	44.6	18.8	0.0	
住まいの地域	元町	139	1	14	32	69	22	1
		100.0	0.7	10.1	23.0	49.6	15.8	0.7
	中町	167	2	8	33	84	36	4
	100.0	1.2	4.8	19.8	50.3	21.6	2.4	
新町	139	2	19	31	58	29	0	
	100.0	1.4	13.7	22.3	41.7	20.9	0.0	

問 24 子育ての感想（単回答）

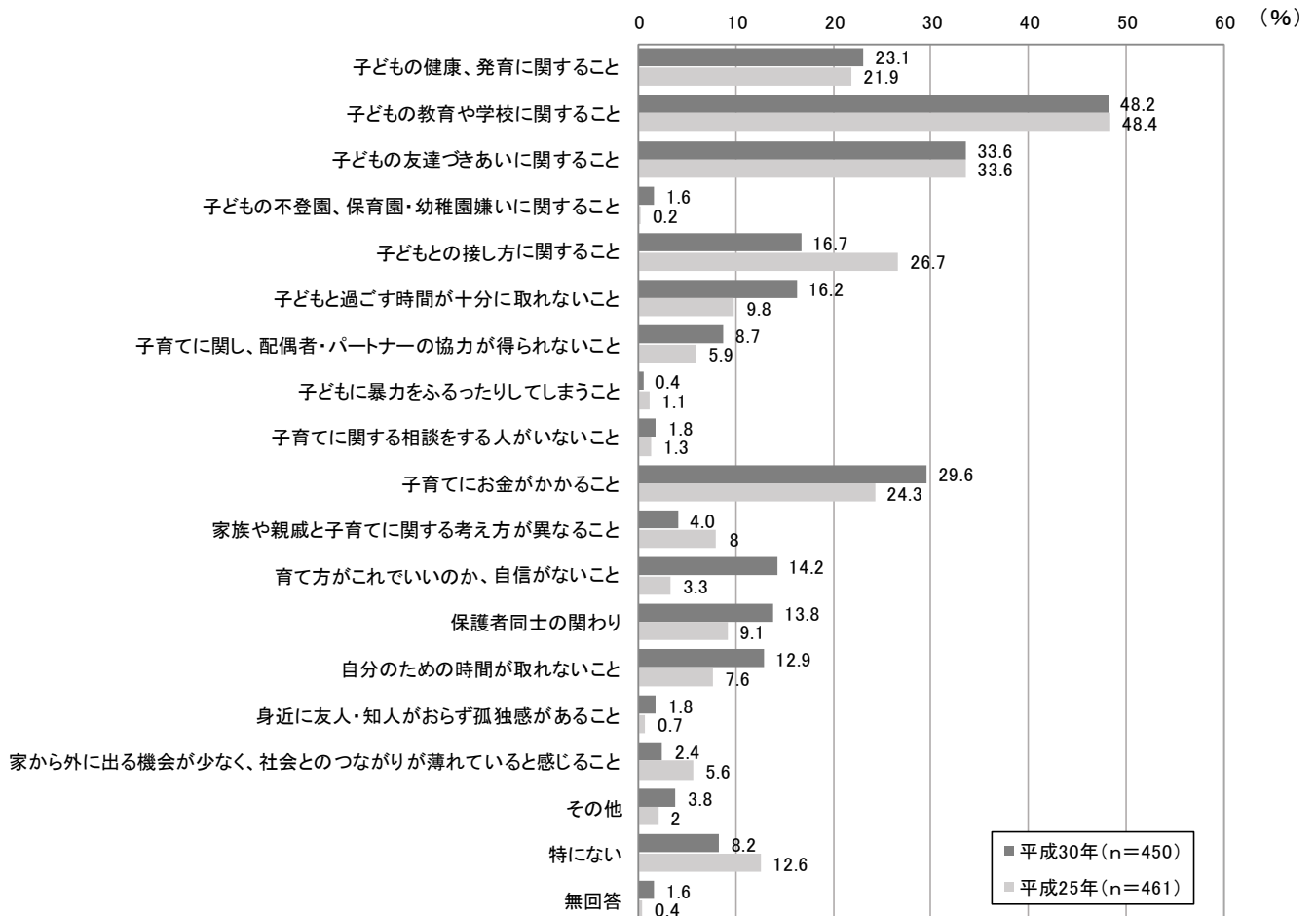
- 「楽しいと感じることが多い」が38.2%、「どちらかという楽しい」が50.2%で合わせた『楽しい』は88.4%となっています。
- 平成25年調査と比較すると、『楽しい』は2.7ポイント減少しています。
- 子どもの学年別にみると、『楽しい』は“2年生”、居住地別では“中町”で高くなっています。



	合計	問24 子育ての感想				無回答	
		楽しいと感じることが多い	どちらかという楽しい	どちらかという辛い	辛いと感じることが多い		
全体	450 100.0	172 38.2	226 50.2	32 7.1	9 2.0	11 2.4	
子どもの学年	1年生	107 100.0	41 38.3	55 51.4	4 3.7	2 1.9	5 4.7
	2年生	108 100.0	41 38.0	63 58.3	3 2.8	0 0.0	1 0.9
	3年生	118 100.0	44 37.3	59 50.0	11 9.3	1 0.8	3 2.5
	4年生	112 100.0	45 40.2	46 41.1	14 12.5	6 5.4	1 0.9
住まいの地域	元町	139 100.0	46 33.1	71 51.1	13 9.4	4 2.9	5 3.6
	中町	167 100.0	78 46.7	77 46.1	7 4.2	3 1.8	2 1.2
	新町	139 100.0	46 33.1	75 54.0	12 8.6	2 1.4	4 2.9

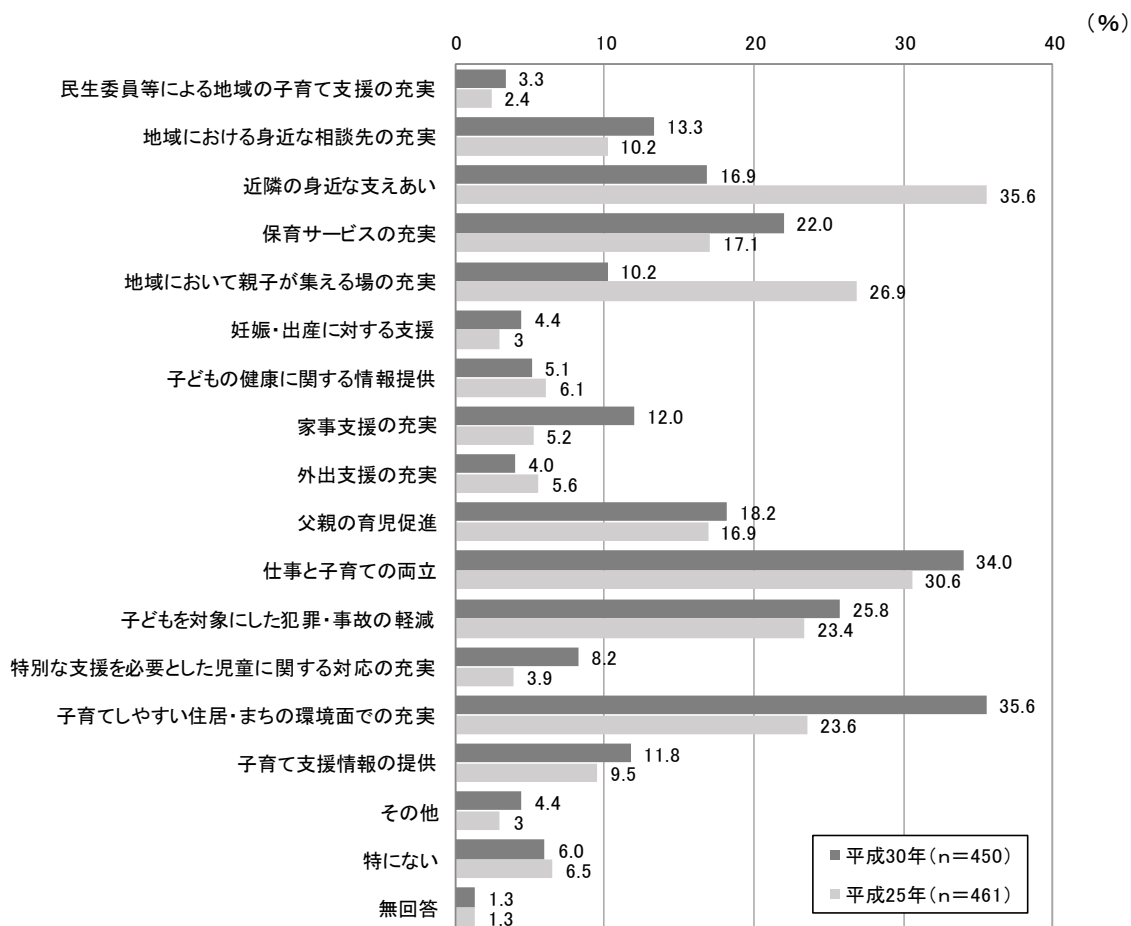
問 25 子育てに関する悩みや困っていること（複数回答）

- 「子どもの教育や学校に関すること」が 48.2%で最も高く、次いで、「子どもの友達づきあいに関すること」が 33.6%、「子育てにお金がかかること」が 29.6%の順となっています。
- 平成 25 年と比較すると、「育て方がこれでいいのか、自信がないこと」が最も多い 8.9 ポイントの増加、「子どもとの接し方に関すること」が 10.0 ポイントの減少となっています。



問 26 子育てに関する悩み等解消のために必要な支援・対策（複数回答）

- 「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が35.6%で最も高く、次いで「仕事と子育ての両立」が34.0%、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が25.8%となっています。
- 平成25年と比較すると、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が最も多い12.0ポイントの増加、「近隣の身近な支えあい」が18.7ポイントの減少となっています。

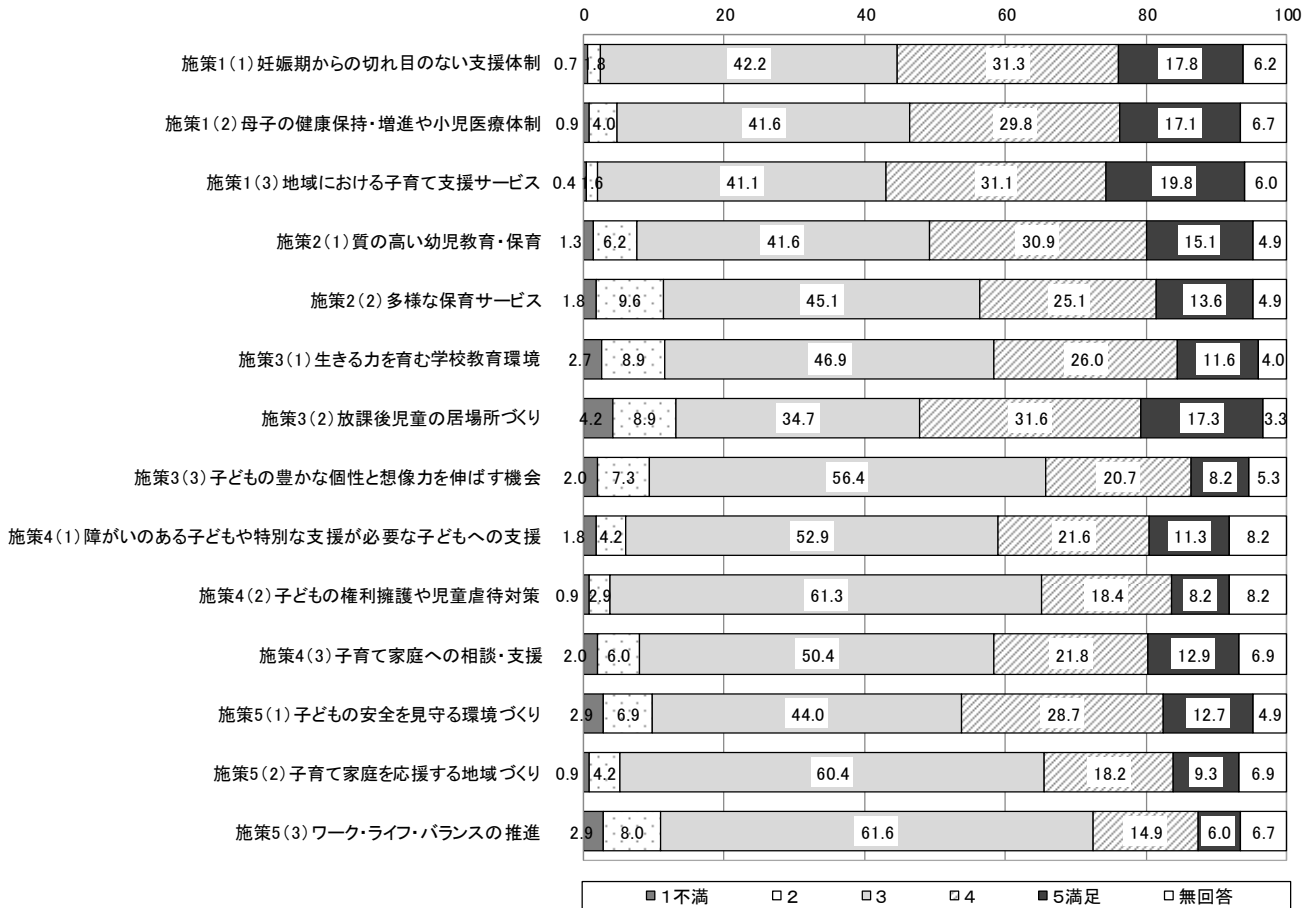


問 27 子育て施策への評価（単回答）

【満足度】

- 満足の「5」の割合が最も高い施策は「施策 1（3）地域における子育て支援サービス」で、不満の「1」の割合が最も高い施策は「施策 3（2）放課後児童の居場所づくり」です。

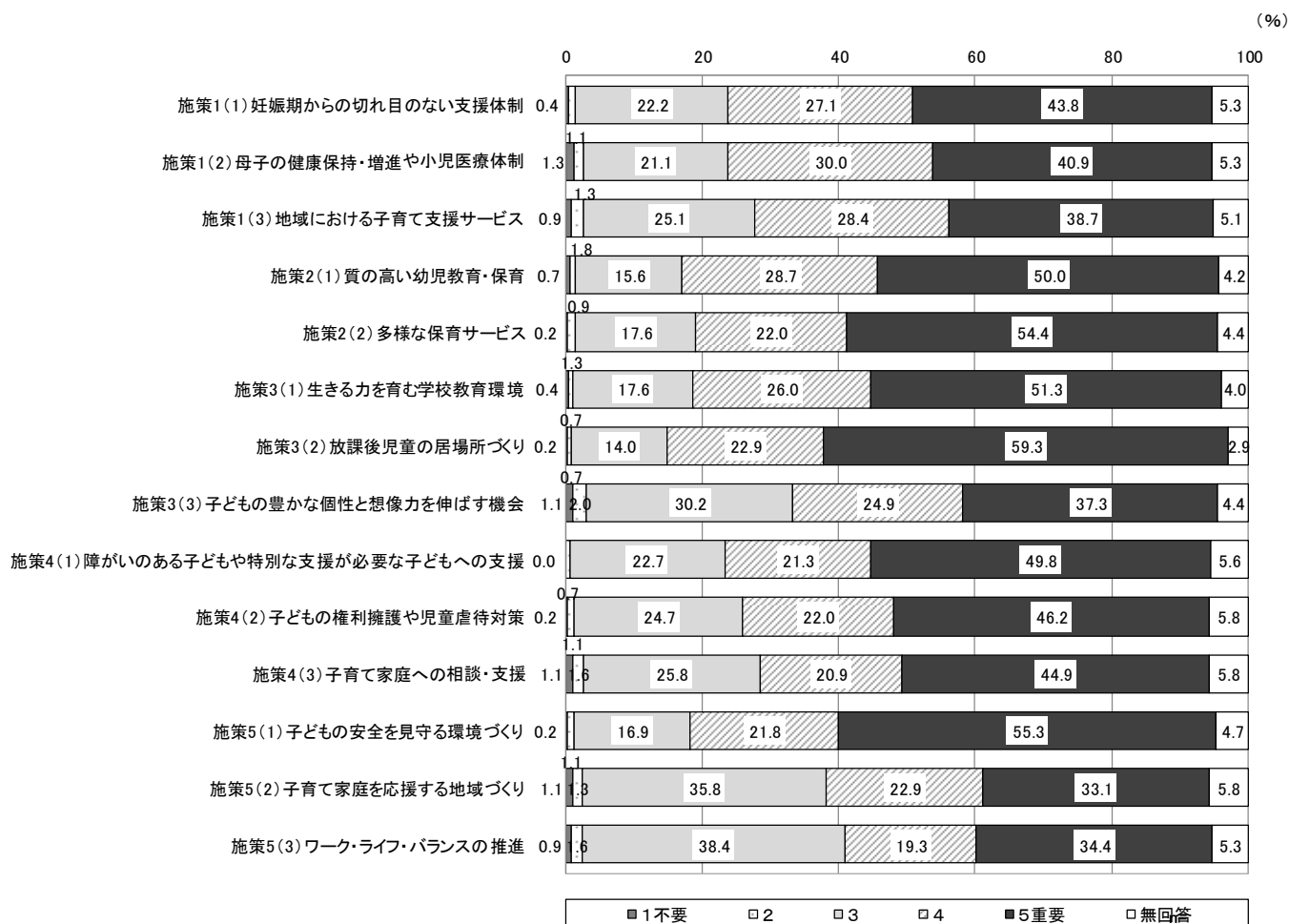
(%)



n=450

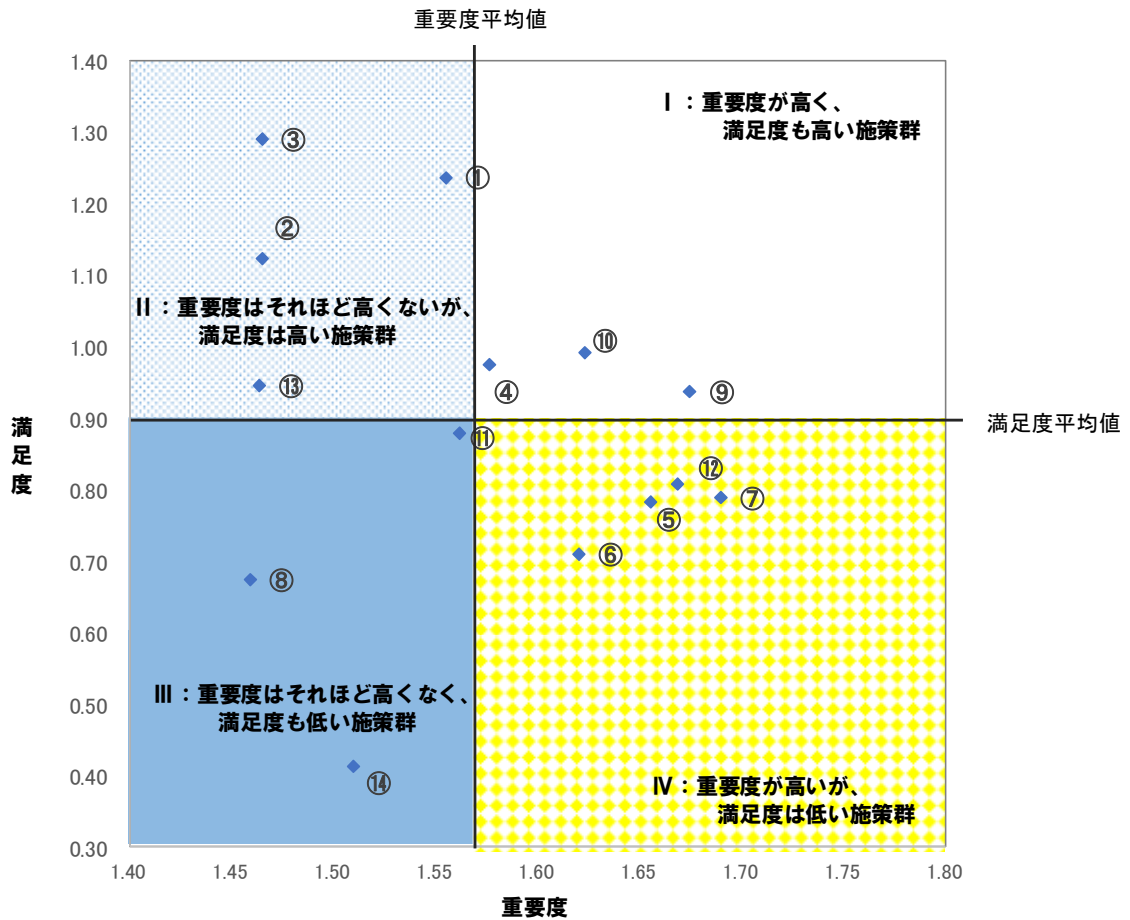
【重要度】

• 重要の「5」の割合が最も高い施策は「施策3(2) 放課後児童の居場所づくり」で、不要の「1」の割合が最も高い施策は「施策1(2) 母子の健康保持・増進や小児医療体制」とです。



n=450

- 重要度は高いが、満足度は低い施策は、「施策 2 (2) 多様な保育サービス」「施策 3 (1) 生きる力を育む学校教育環境」「施策 3 (2) 放課後児童の居場所づくり」「施策 5 (1) 子どもの安全を見守る環境づくり」です。



①	施策 1 (1) 妊娠期からの切れ目のない支援体制	⑧	施策 3 (3) 子どもの豊かな個性と想像力を伸ばす機会
②	施策 1 (2) 母子の健康保持・増進や小児医療体制	⑨	施策 4 (1) 障がいのある子どもや特別な支援が必要な子どもへの支援
③	施策 1 (3) 地域における子育て支援サービス	⑩	施策 4 (2) 子どもの権利擁護や児童虐待対策
④	施策 2 (1) 質の高い幼児教育・保育	⑪	施策 4 (3) 子育て家庭への相談・支援
⑤	施策 2 (2) 多様な保育サービス	⑫	施策 5 (1) 子どもの安全を見守る環境づくり
⑥	施策 3 (1) 生きる力を育む学校教育環境	⑬	施策 5 (2) 子育て家庭を応援する地域づくり
⑦	施策 3 (2) 放課後児童の居場所づくり	⑭	施策 5 (3) ワーク・ライフ・バランスの推進

評価点数の算出方法

$$\text{満足度} = \frac{(\text{満足} \times 2 \text{点} + \text{やや満足} \times 1 \text{点} + \text{やや不満} \times -1 \text{点} + \text{不満} \times -2 \text{点})}{(\text{満足} + \text{やや満足} + \text{やや不満} + \text{不満}) \text{の回答数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{(\text{重要} \times 2 \text{点} + \text{やや重要} \times 1 \text{点} + \text{やや不要} \times -1 \text{点} + \text{不要} \times -2 \text{点})}{(\text{重要} + \text{やや重要} + \text{やや不要} + \text{不要}) \text{の回答数}}$$

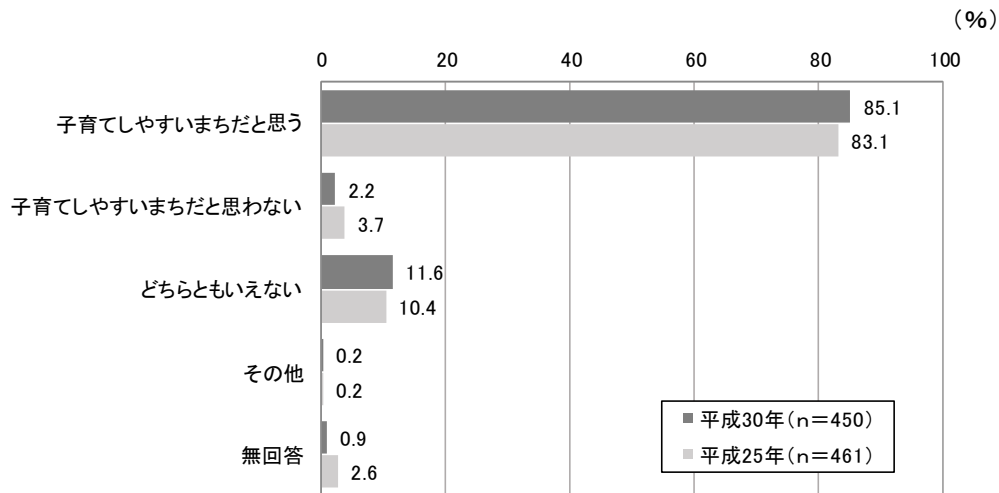
※加重平均にて評価値を算出

- 5. 満足 (重要) 2点
- 4. やや満足 (重要) 1点
- 3. どちらでも 0点
- 2. やや不満 (不要) -1点
- 1. 不満 (不要) -2点

※「無回答」を除いて算出している。

問 28 浦安市は子育てしやすいまちか（単回答）

- 「子育てしやすいまちだと思う」が 85.1%、「子育てしやすいまちだと思わない」が 2.2%となっています。
- 平成 25 年調査と比較すると、「子育てしやすいまちだと思う」が 2.0 ポイント増加しています。
- 子どもの学年別にみると、“1 年生”、居住地域別にみると“中町”で「子育てしやすいまちだと思う」が高くなっています。



		合計	問28 浦安市は子育てしやすいまちか				
			子育てしやすいまちだと思う	子育てしやすいまちだと思わない	どちらともいえない	その他	無回答
全体		450 100.0	383 85.1	10 2.2	52 11.6	1 0.2	4 0.9
子どもの学年	1年生	107 100.0	96 89.7	1 0.9	10 9.3	0 0.0	0 0.0
	2年生	108 100.0	91 84.3	4 3.7	11 10.2	0 0.0	2 1.9
	3年生	118 100.0	100 84.7	2 1.7	15 12.7	1 0.8	0 0.0
	4年生	112 100.0	92 82.1	3 2.7	15 13.4	0 0.0	2 1.8
住まいの地域	元町	139 100.0	113 81.3	1 0.7	23 16.5	1 0.7	1 0.7
	中町	167 100.0	152 91.0	3 1.8	9 5.4	0 0.0	3 1.8
	新町	139 100.0	113 81.3	6 4.3	20 14.4	0 0.0	0 0.0

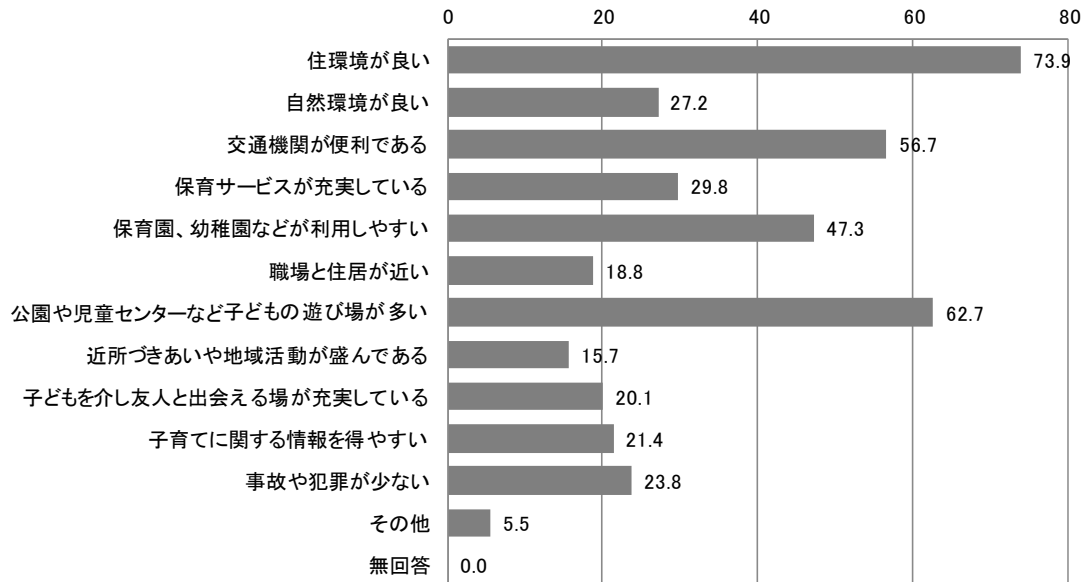
問 28-2 浦安市は子育てしやすいまちと思う理由（複数回答）

【問 32 で「1. 子育てしやすいまちだと思う」と回答した方限定】

・「住環境が良い」が 73.9%で最も高く、次いで「公園や児童センターなど子どもの遊び場が多い」が 62.7%、「交通機関が便利である」が 56.7%となっています。

・居住地域別にみると、“新町”で、「住環境が良い」が最も高くなっています。

(%)



n=383

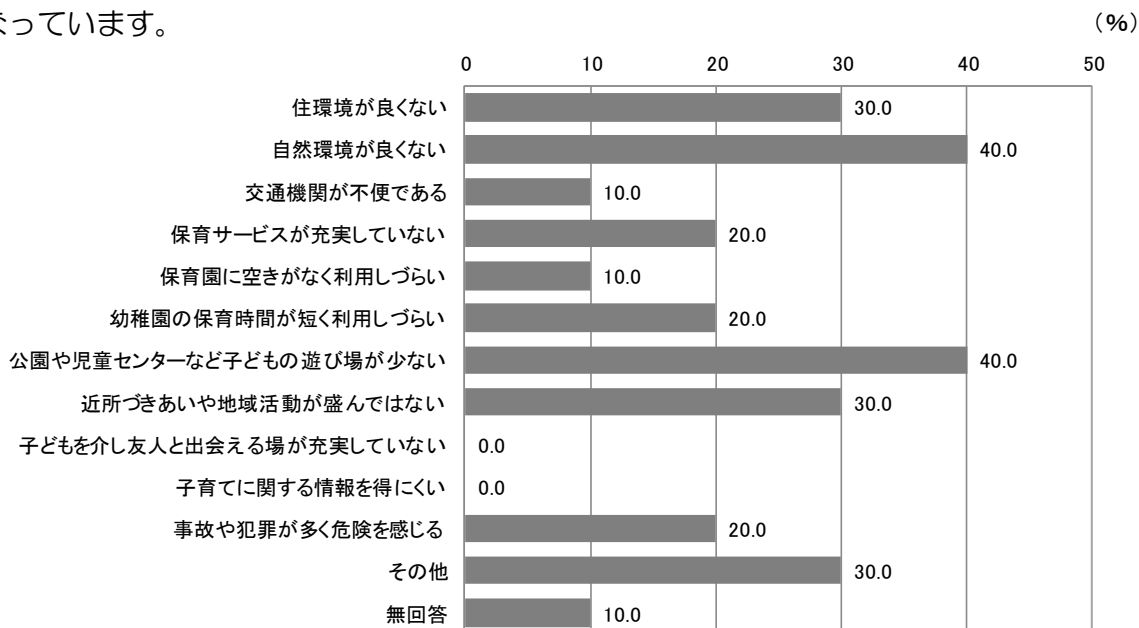
		合計	問28-1 浦安市は子育てしやすいまちと思う理由						
			住環境が良い	自然環境が良い	交通機関が便利である	保育サービスが充実している	保育園、幼稚園などが利用しやすい	職場と住居に近い	公園や児童センターなど子どもの遊び場が多い
全体		383 100.0	283 73.9	104 27.2	217 56.7	114 29.8	181 47.3	72 18.8	240 62.7
住 ま い の 地 域	元町	113 100.0	61 54.0	19 16.8	71 62.8	30 26.5	57 50.4	27 23.9	55 48.7
	中町	152 100.0	122 80.3	33 21.7	100 65.8	48 31.6	69 45.4	30 19.7	98 64.5
	新町	113 100.0	95 84.1	51 45.1	42 37.2	33 29.2	53 46.9	15 13.3	84 74.3

		合計	問28-1 浦安市は子育てしやすいまちと思う理由					
			近所づきあいや地域活動が盛んである	子どもを介し友人と出会う場が充実している	子育てに関する情報を得やすい	事故や犯罪が少ない	その他	無回答
全体		383 100.0	60 15.7	77 20.1	82 21.4	91 23.8	21 5.5	0 0.0
住 ま い の 地 域	元町	113 100.0	14 12.4	24 21.2	19 16.8	12 10.6	11 9.7	0 0.0
	中町	152 100.0	25 16.4	28 18.4	37 24.3	29 19.1	9 5.9	0 0.0
	新町	113 100.0	19 16.8	23 20.4	23 20.4	48 42.5	1 0.9	0 0.0

問 29 浦安市は子育てしやすいまちと思わない理由（複数回答）

【問 32 で「2. 子育てしやすいまちだと思わない」と回答した方限定】

・「自然環境が良くない」と「公園や児童センターなど子どもの遊び場が少ない」が 40.0%と多くなっています。

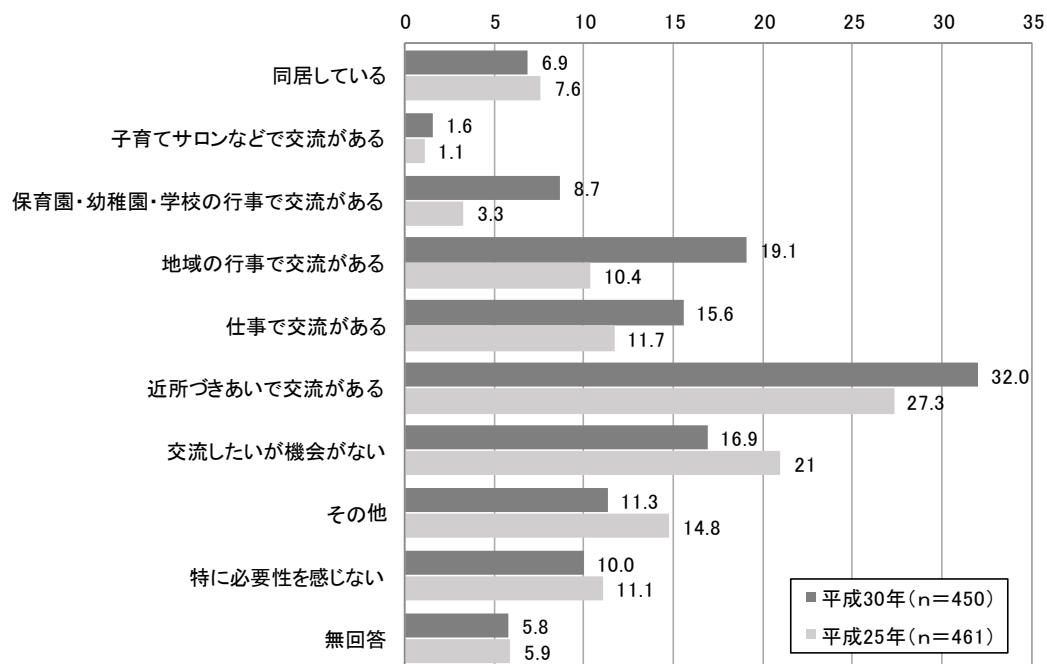


n=10

問 29 高齢者との交流の有無（複数回答）

・「近所づきあいで交流がある」が 32.0%で最も高く、次いで「地域の行事で交流がある」が 19.1%、「交流したいが機会がない」が 16.9%となっています。

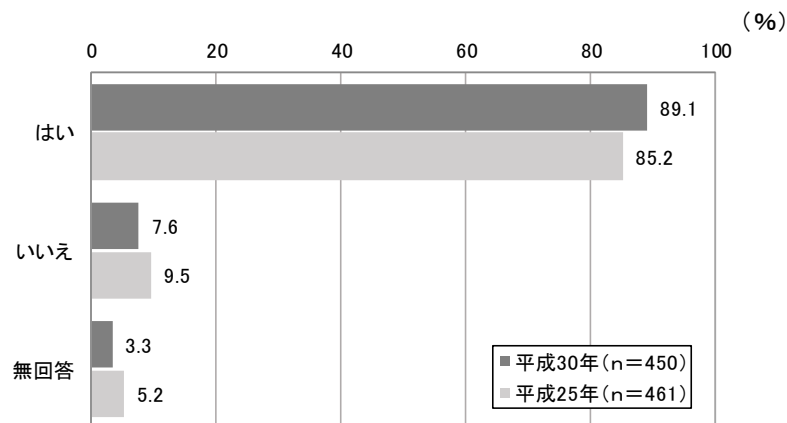
・居住地域別にみると、「特に必要性を感じない」は“新町”では最も高くなっています。



	合計	問29 高齢者との交流の有無										
		同居して いる	子育てサ ロンなど で交流が ある	保育園・ 幼稚園・ 学校の行 事で交流 がある	地域の行 事で交流 がある	仕事で交 流がある	近所づき あいで交 流がある	交流した いが機 会がない	その他	特に必要 性を感じ ない	無回答	
全体	450 100.0	31 6.9	7 1.6	39 8.7	86 19.1	70 15.6	144 32.0	76 16.9	51 11.3	45 10.0	26 5.8	
住 ま い の 地 域	元町	139 100.0	12 8.6	0 0.0	6 4.3	22 15.8	23 16.5	45 32.4	23 16.5	18 12.9	12 8.6	9 6.5
	中町	167 100.0	13 7.8	3 1.8	20 12.0	45 26.9	25 15.0	69 41.3	22 13.2	17 10.2	9 5.4	9 5.4
	新町	139 100.0	4 2.9	4 2.9	12 8.6	18 12.9	22 15.8	28 20.1	31 22.3	16 11.5	23 16.5	8 5.8

問 30 高齢者との交流機会が必要と思うか（単回答）

- ・「はい」が89.1%、「いいえ」が7.6%となっています。
- ・平成25年調査と比較すると、「はい」が3.9ポイントの増加となっています。
- ・「はい」は、子どもの学年別にみると“3年生”、居住地域別にみると“中町”で高くなっています。



	合計	問30 高齢者との交流機会が必要と思うか			
		はい	いいえ	無回答	
全体	450 100.0	401 89.1	34 7.6	15 3.3	
子 ど も の 学 年	1年生	107 100.0	96 89.7	6 5.6	5 4.7
	2年生	108 100.0	93 86.1	10 9.3	5 4.6
	3年生	118 100.0	109 92.4	6 5.1	3 2.5
	4年生	112 100.0	98 87.5	12 10.7	2 1.8
住 ま い の 地 域	元町	139 100.0	122 87.8	11 7.9	6 4.3
	中町	167 100.0	151 90.4	10 6.0	6 3.6
	新町	139 100.0	123 88.5	13 9.4	3 2.2

問 31 市の子育て環境に関する意見（自由回答）

- ・自由記述については、162人（36.0%）から267件の意見がありました。意見分類ごとの意見数は以下のとおりです。

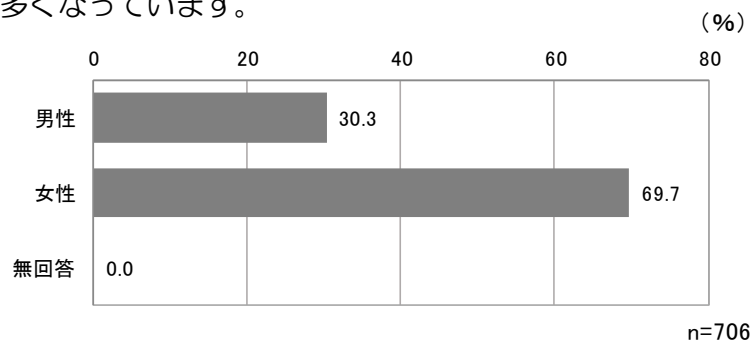
意見内容	件数
子育て支援事業・施策（ファミサポ、病児・病後児保育、一時預かり 等）	41
公園・遊び場	32
小学校・教育環境 等	31
子育て環境（買い物、住宅環境）	27
児童育成クラブ	19
安全（道路、不審者、治安）	18
保育・教育の事業・施設	15
特別な支援（障がい・ひとり親 等）	12
経済的支援	12
健康（医療機関・健診等・医療費助成）	7
相談・情報	5
児童館	3
放課後子ども教室	3
その他	42
計	461

III 市民調査

1. 回答者のご家族の状況について

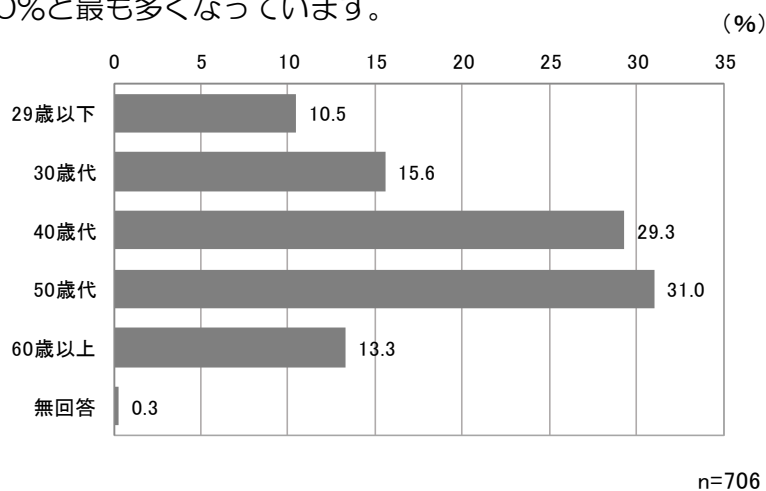
問1 性別（単回答）

・「女性」が69.7%と多くなっています。



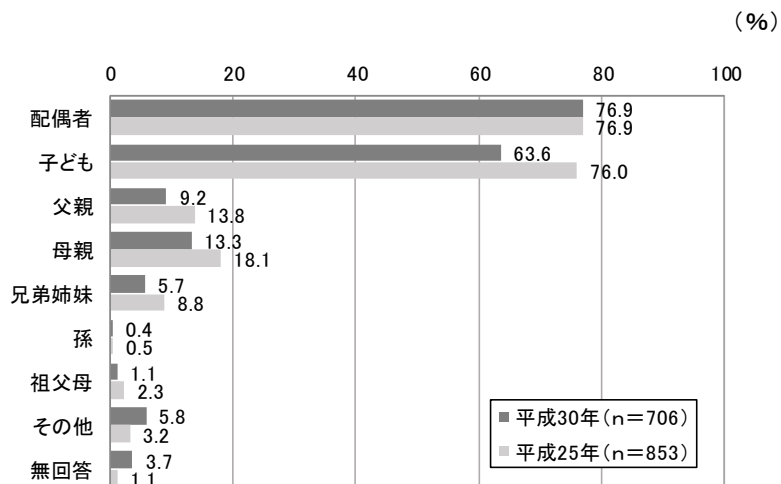
問2 年齢（単回答）

・「50歳代」が31.0%と最も多くなっています。



問3 家族構成（複数回答）

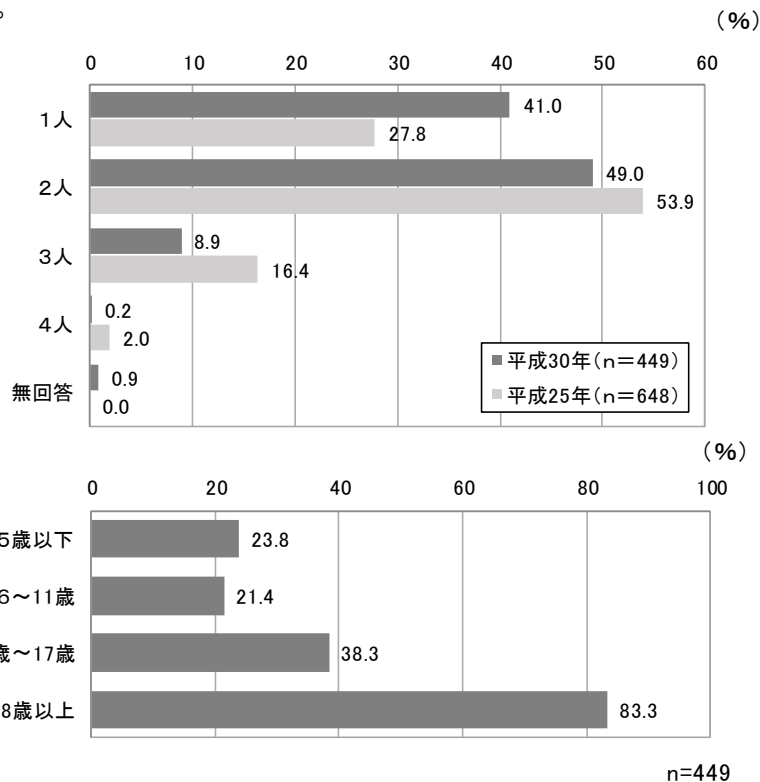
・平成25年調査と比べ、「子ども」の割合が76.0%から63.6%と、12.4ポイント減少しています。



問4 子どもの人数・年齢（数量回答）

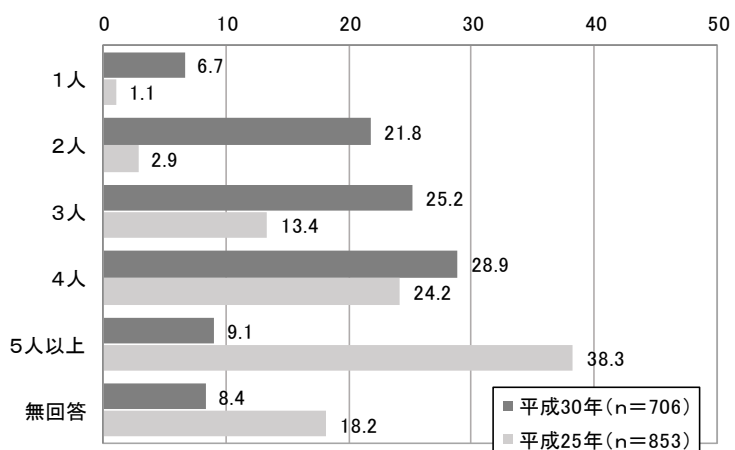
【子どもと同居している方限定】

- 同居している子どもの人数は、「2人」が49.0%と最も多くなっています。
- 平成25年調査と比べ、同居している子どもの人数は、「3人」7.5ポイント減少し、「1人」13.2ポイント増加しています。



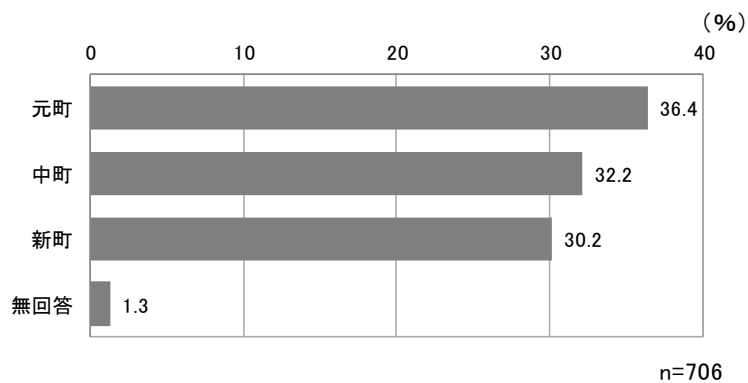
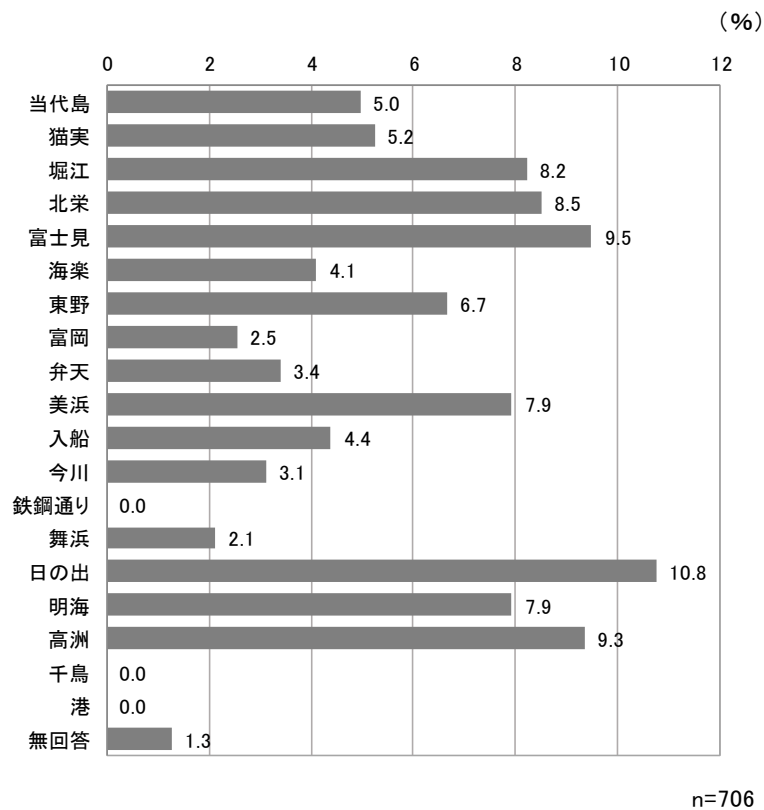
問5 世帯員の人数（数量回答）

- 「4人」が28.9%と最も多くなっています。
- 平成25年調査では、「5人以上」が38.3%と最も多くなっています。



問6① 住まいの地域（単回答）

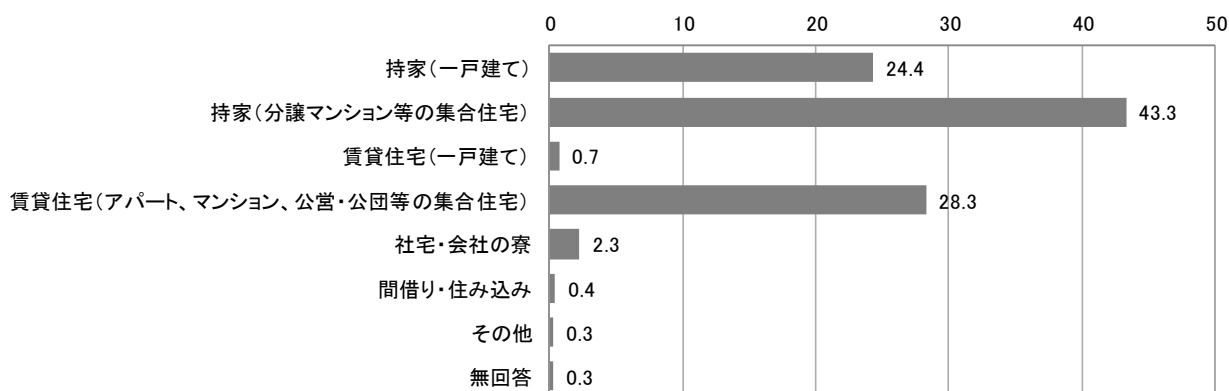
・地区としては「日の出」が10.8%と最も多くなっており、地域としては「元町」が多くなっています。



問6② 住まいの種類（単回答）

- 「持家（分譲マンション等の集合住宅）」が43.3%と最も多くなっています。
- 地域ごとにみると、中町と新町では「持家（分譲マンション等の集合住宅）」が多く、元町では「賃貸住宅（アパート、マンション、公営・公団等の集合住宅）」が多くなっています。
- 結婚の状況ごとにみると、“既婚である”でのみ「持家（分譲マンション等の集合住宅）」が多くなっています。

(%)

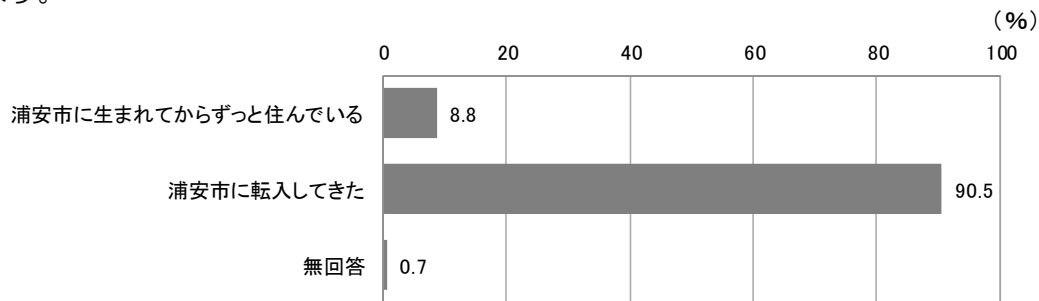


n=706

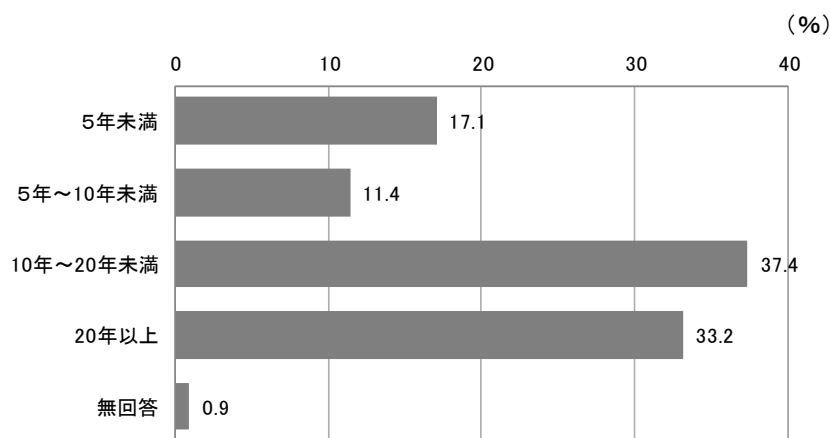
	合計	問6② 住まいの種類							
		持家(一戸建て)	持家(分譲マンション等の集合住宅)	賃貸住宅(一戸建て)	賃貸住宅(アパート、マンション、公営・公団等の集合住宅)	社宅・会社の寮	間借り・住み込み	その他	無回答
全体	706	172	306	5	200	16	3	2	2
	100.0	24.4	43.3	0.7	28.3	2.3	0.4	0.3	0.3
問6① 住まいの地域									
元町	257	76	69	1	105	4	0	2	0
	100.0	29.6	26.8	0.4	40.9	1.6	0.0	0.8	0.0
中町	227	70	89	3	58	7	0	0	0
	100.0	30.8	39.2	1.3	25.6	3.1	0.0	0.0	0.0
新町	213	24	146	1	34	5	2	0	1
	100.0	11.3	68.5	0.5	16.0	2.3	0.9	0.0	0.5
問9 結婚の状況									
未婚である	114	22	32	1	53	3	2	1	0
	100.0	19.3	28.1	0.9	46.5	2.6	1.8	0.9	0.0
既婚である	535	137	255	3	125	13	0	1	1
	100.0	25.6	47.7	0.6	23.4	2.4	0.0	0.2	0.2
結婚したが離別・死別している	44	11	13	1	17	0	1	0	1
	100.0	25.0	29.5	2.3	38.6	0.0	2.3	0.0	2.3

問6③ 居住歴（単回答）

- ・「浦安市に転入してきた」が90.5%と多くを占めています。
- ・居住年数としては、「10年～20年未満」が37.4%と最も多くなっています。
- ・地域ごとにみると、“元町”“中町”“新町”の順で、「浦安市に転入してきた」割合が高くなっています。



n=706

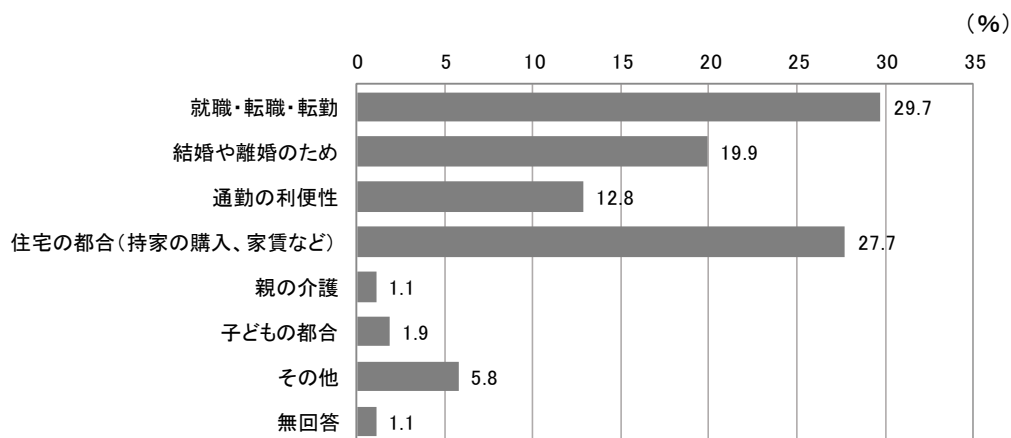


n=639

		合計	問6③ 居住歴		
			浦安市に生まれてからずっと住んでいる	浦安市に転入してきた	無回答
全体		706	62	639	5
		100.0	8.8	90.5	0.7
問6① 住まいの地域	元町	257	38	214	5
		100.0	14.8	83.3	1.9
	中町	227	16	211	0
	100.0	7.0	93.0	0.0	
	新町	213	6	207	0
	100.0	2.8	97.2	0.0	

問6④ 転入の理由（単回答）【問6③で「2. 浦安市に転入してきた」と回答した方限定】

- ・「就職・転職・転勤」を理由に転入した割合が29.7%と最も高くなっています。
- ・年齢別にみると、“50歳代”“60歳以上”では「住宅の都合（持家の購入、家賃など）」を理由に転入している方が多くなっています。

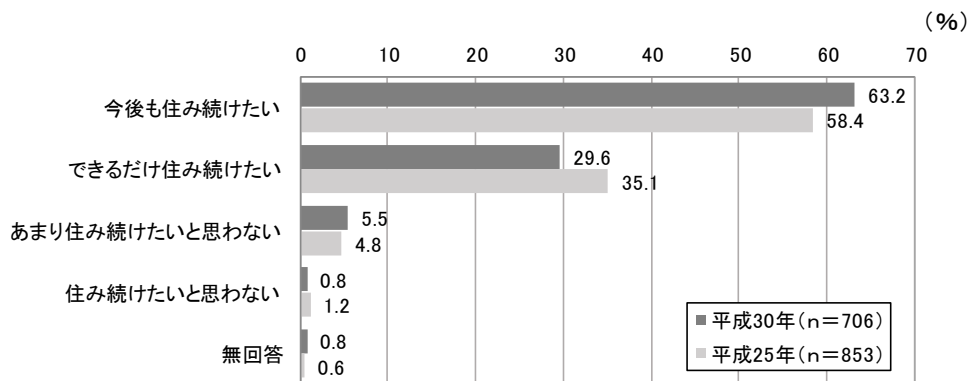


n=639

		合計	問6④ 転入の理由							
			就職・転職・転勤	結婚や離婚のため	通勤の利便性	住宅の都合 (持家の購入、家賃など)	親の介護	子どもの都合	その他	無回答
全体		639 100.0	190 29.7	127 19.9	82 12.8	177 27.7	7 1.1	12 1.9	37 5.8	7 1.1
問2 年齢	29歳以下	60 100.0	20 33.3	7 11.7	8 13.3	18 30.0	0 0.0	0 0.0	7 11.7	0 0.0
	30歳代	98 100.0	36 36.7	32 32.7	13 13.3	12 12.2	0 0.0	0 0.0	5 5.1	0 0.0
	40歳代	193 100.0	60 31.1	40 20.7	25 13.0	45 23.3	2 1.0	9 4.7	10 5.2	2 1.0
	50歳代	200 100.0	60 30.0	35 17.5	25 12.5	62 31.0	4 2.0	0 0.0	11 5.5	3 1.5
	60歳以上	86 100.0	13 15.1	12 14.0	11 12.8	40 46.5	1 1.2	3 3.5	4 4.7	2 2.3
	問9 結婚の状況	未婚である	95 100.0	37 38.9	2 2.1	18 18.9	31 32.6	0 0.0	0 0.0	7 7.4
既婚である		493 100.0	140 28.4	112 22.7	59 12.0	134 27.2	6 1.2	10 2.0	26 5.3	6 1.2
結婚したが離別・死別している		40 100.0	9 22.5	9 22.5	4 10.0	10 25.0	1 2.5	2 5.0	4 10.0	1 2.5

問7 今後も浦安市に住みたいか（単回答）

- 「今後も住みたい」が最も多くなっており、平成25年調査と比べ、64ポイント増加しています。
- 年齢別にみると“29歳以下”“50歳代”で、結婚の状況にみると“結婚したが離別・死別している”で「住みたいと思わない」割合が多くなっています。

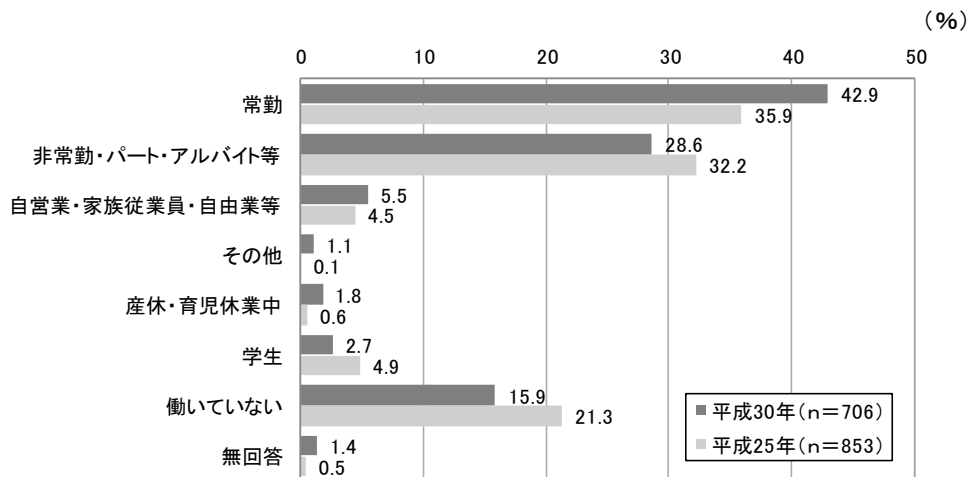


		合計	問7 今後も浦安市に住みたいか				
			今後も住 み続けた い	できるだ け住み続 けたい	あまり住 み続けた いと思わ ない	住み続け たいと思 わない	無回答
全体		706 100.0	446 63.2	209 29.6	39 5.5	6 0.8	6 0.8
問2 年齢	29歳以下	74 100.0	32 43.2	28 37.8	11 14.9	1 1.4	2 2.7
	30歳代	110 100.0	69 62.7	32 29.1	6 5.5	1 0.9	2 1.8
	40歳代	207 100.0	140 67.6	57 27.5	7 3.4	1 0.5	2 1.0
	50歳代	219 100.0	135 61.6	70 32.0	11 5.0	3 1.4	0 0.0
	60歳以上	94 100.0	68 72.3	22 23.4	4 4.3	0 0.0	0 0.0
	問9 結婚の 状況	未婚である	114 100.0	58 50.9	43 37.7	11 9.6	0 0.0
	既婚である	535 100.0	354 66.2	145 27.1	27 5.0	5 0.9	4 0.7
	結婚したが離別・ 死別している	44 100.0	27 61.4	15 34.1	1 2.3	1 2.3	0 0.0
問4 子ども の人数	1人	184 100.0	114 62.0	58 31.5	9 4.9	1 0.5	2 1.1
	2人	220 100.0	151 68.6	57 25.9	9 4.1	1 0.5	2 0.9
	3人	40 100.0	26 65.0	13 32.5	1 2.5	0 0.0	0 0.0
	4人	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

2. 回答者の仕事や生活について

問8 現在の就労状況

- ・「常勤」が42.9%と最も多くなっており、平成25年調査と比べ、7.0ポイント増加しています。
- 一方「非常勤・パート・アルバイト等」は平成25年調査と比べ、3.6ポイント減少しています。
- ・“女性”の21.1%、“60歳以上”の28.7%は「働いていない」と回答しています。



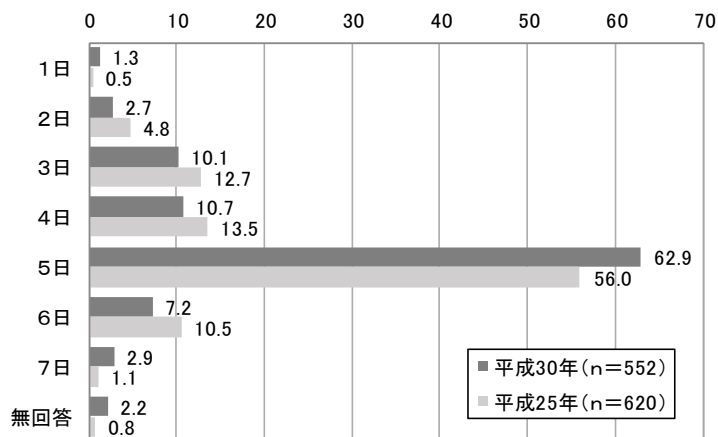
		合計	問8 現在の就労状況							
			常勤	非常勤・パート・アルバイト等	自営業・家族従業員・自由業等	その他	産休・育児休業中	学生	働いていない	無回答
全体		706	303	202	39	8	13	19	112	10
		100.0	42.9	28.6	5.5	1.1	1.8	2.7	15.9	1.4
問1 性別	男性	214	160	12	17	3	0	12	8	2
		100.0	74.8	5.6	7.9	1.4	0.0	5.6	3.7	0.9
	女性	492	143	190	22	5	13	7	104	8
		100.0	29.1	38.6	4.5	1.0	2.6	1.4	21.1	1.6
問2 年齢	29歳以下	74	35	12	1	2	1	19	2	2
		100.0	47.3	16.2	1.4	2.7	1.4	25.7	2.7	2.7
	30歳代	110	52	19	1	1	10	0	24	3
		100.0	47.3	17.3	0.9	0.9	9.1	0.0	21.8	2.7
	40歳代	207	101	72	8	2	2	0	19	3
		100.0	48.8	34.8	3.9	1.0	1.0	0.0	9.2	1.4
50歳代	219	90	68	18	2	0	0	39	2	
	100.0	41.1	31.1	8.2	0.9	0.0	0.0	17.8	0.9	
60歳以上	94	24	31	11	1	0	0	27	0	
	100.0	25.5	33.0	11.7	1.1	0.0	0.0	28.7	0.0	

問8-1 就労日数・時間や残業の状況（日数）

【問8で「1.」「2.」「3.」「4.」と回答した方限定】

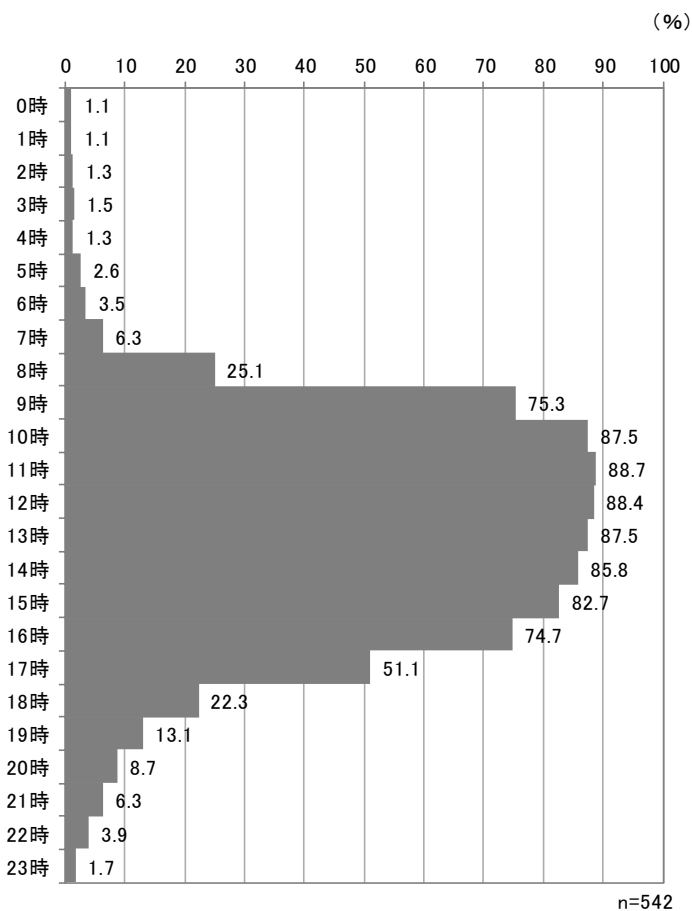
【日数】

- 週に「5日」働いている方が最も多くなっています。 (％)



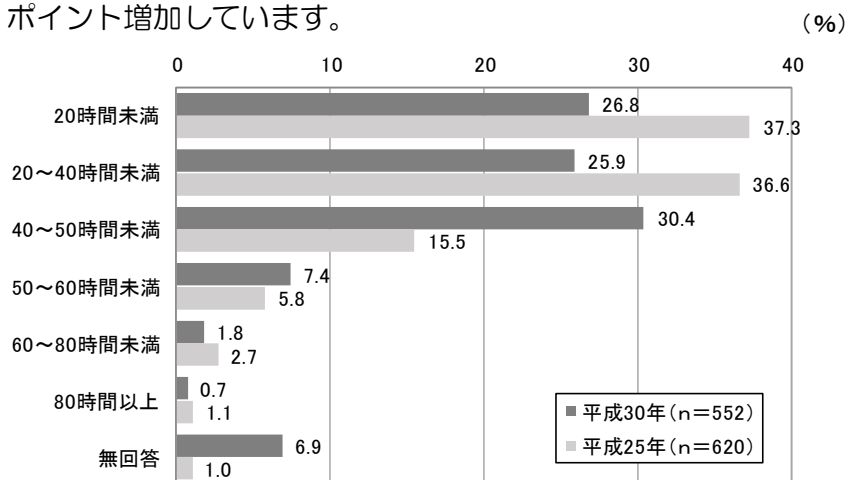
【時間帯】

- 9時から16時は7割以上の方が働いています。



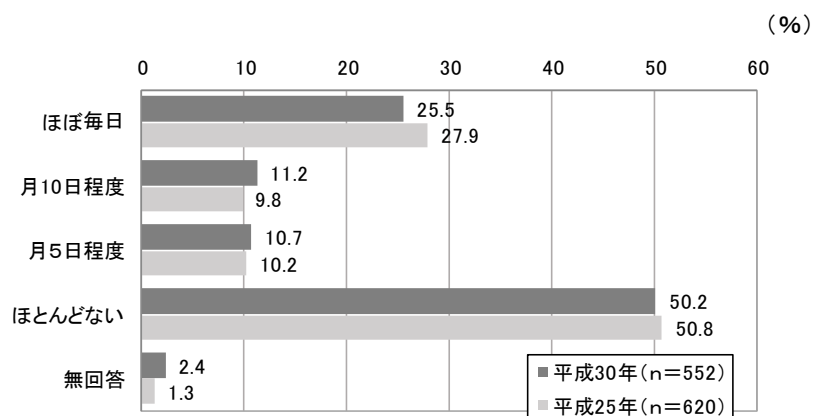
[時間]

- 週の勤務時間としては、「40～50 時間未満」が 30.4%と最も多くなっており、平成 25 年調査と比べ、14.9 ポイント増加しています。



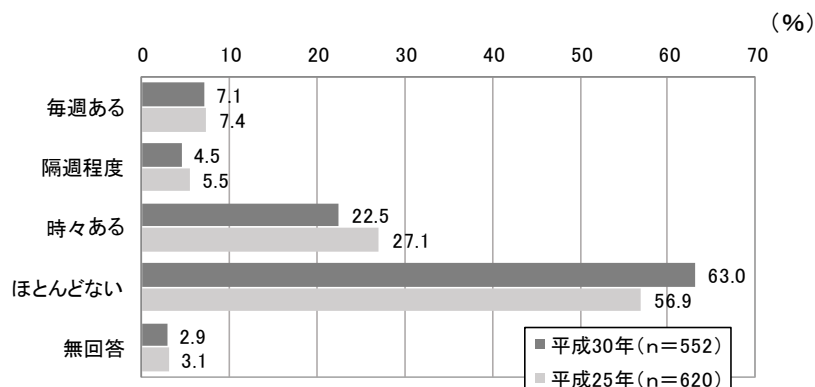
[残業の状況]

- 「ほとんどない」が 50.2%と最も多くなっています。



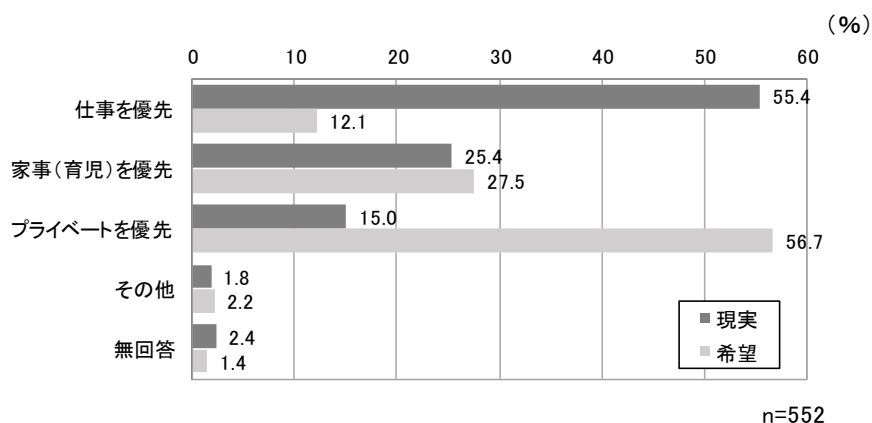
[休日出勤の状況]

- 「ほとんどない」が 63.0%と最も多くなっています。



問8-2 生活の中での時間の優先度（単回答）

- 希望としては「プライベートを優先」が56.7%と最も多くなっていますが、現実としては「仕事を優先」が55.4%と最も多くなっています。
- 年齢別にみると“29歳以下”で、結婚の状況ごとにみると“未婚である”で「プライベートを優先」を希望する方が7割以上と多くなっています。また、子どもが“3人”“4人”では「家事（育児）を優先」を希望している方が多くなっています。



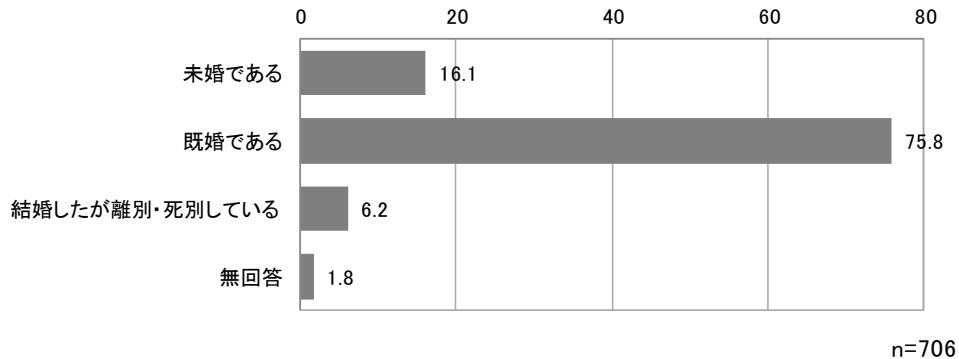
		合計	問8-2 ①生活の中での希望の優先度				無回答
			仕事を優先	家事（育児）を優先	プライベートを優先	その他	
全体		552 100.0	67 12.1	152 27.5	313 56.7	12 2.2	8 1.4
問2 年齢	29歳以下	50 100.0	5 10.0	8 16.0	36 72.0	1 2.0	0 0.0
	30歳代	73 100.0	8 11.0	26 35.6	37 50.7	2 2.7	0 0.0
	40歳代	183 100.0	7 3.8	76 41.5	92 50.3	3 1.6	5 2.7
	50歳代	178 100.0	33 18.5	34 19.1	104 58.4	5 2.8	2 1.1
	60歳以上	67 100.0	14 20.9	7 10.4	44 65.7	1 1.5	1 1.5
問9 結婚の状況	未婚である	91 100.0	11 12.1	6 6.6	69 75.8	3 3.3	2 2.2
	既婚である	415 100.0	46 11.1	135 32.5	220 53.0	9 2.2	5 1.2
	結婚したが離別・死別している	40 100.0	9 22.5	10 25.0	20 50.0	0 0.0	1 2.5
問4 子どもの人数	1人	137 100.0	19 13.9	55 40.1	62 45.3	0 0.0	1 0.7
	2人	181 100.0	18 9.9	63 34.8	95 52.5	4 2.2	1 0.6
	3人	28 100.0	3 10.7	13 46.4	9 32.1	1 3.6	2 7.1
	4人	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		合計	②生活の中での現実の優先度				無回答
			仕事を優先	家事（育児）を優先	プライベートを優先	その他	
全体		552 100.0	306 55.4	140 25.4	83 15.0	10 1.8	13 2.4
問2 年齢	29歳以下	50 100.0	29 58.0	2 4.0	17 34.0	1 2.0	1 2.0
	30歳代	73 100.0	40 54.8	26 35.6	6 8.2	1 1.4	0 0.0
	40歳代	183 100.0	93 50.8	60 32.8	23 12.6	1 0.5	6 3.3
	50歳代	178 100.0	104 58.4	40 22.5	25 14.0	5 2.8	4 2.2
	60歳以上	67 100.0	39 58.2	12 17.9	12 17.9	2 3.0	2 3.0
問9 結婚の状況	未婚である	91 100.0	59 64.8	2 2.2	25 27.5	2 2.2	3 3.3
	既婚である	415 100.0	220 53.0	132 31.8	47 11.3	7 1.7	9 2.2
	結婚したが離別・死別している	40 100.0	24 60.0	5 12.5	9 22.5	1 2.5	1 2.5
問4 子どもの人数	1人	137 100.0	80 58.4	39 28.5	15 10.9	2 1.5	1 0.7
	2人	181 100.0	84 46.4	72 39.8	18 9.9	2 1.1	5 2.8
	3人	28 100.0	11 39.3	12 42.9	4 14.3	0 0.0	1 3.6
	4人	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

3. 回答者の結婚や子育てなどについて

問9 結婚の状況（単回答）

・「既婚である」が75.8%と最も多くなっています。 (%)

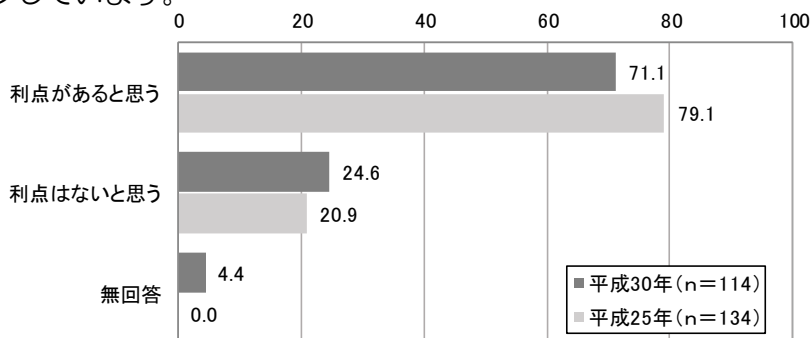


問9-1 結婚することを感じる利点（単回答、複数回答）

【問9で「1. 未婚である」と回答した方限定】

【利点の有無】

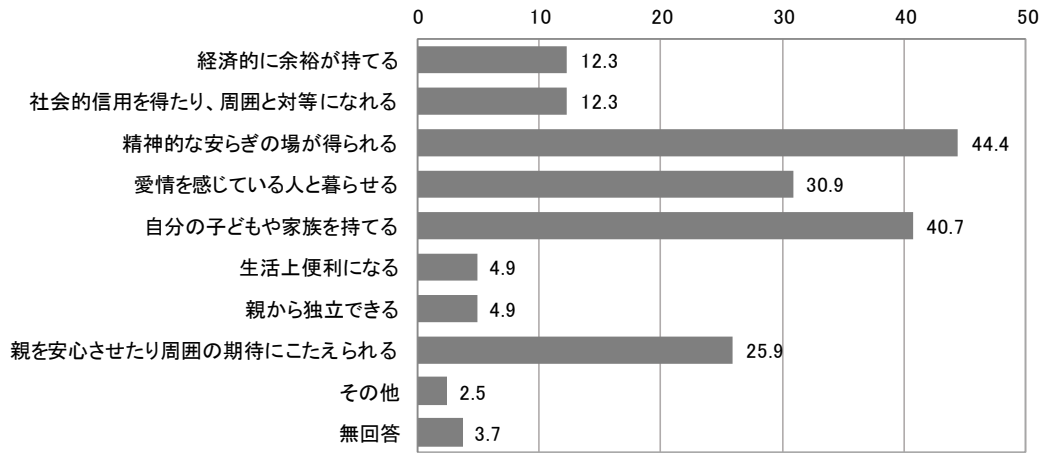
・「利点があると思う」が71.1%と最も多くなっていますが、平成25年調査と比べると8.0ポイント減少しています。 (%)



		合計	問9-1 結婚することを感じる利点		
			利点があると思う	利点はないと思う	無回答
全体		114 100.0	81 71.1	28 24.6	5 4.4
問1 性別	男性	55 100.0	39 70.9	14 25.5	2 3.6
	女性	59 100.0	42 71.2	14 23.7	3 5.1
問2 年齢	29歳以下	57 100.0	44 77.2	13 22.8	0 0.0
	30歳代	21 100.0	17 81.0	4 19.0	0 0.0
	40歳代	22 100.0	13 59.1	6 27.3	3 13.6
	50歳代	12 100.0	5 41.7	5 41.7	2 16.7
	60歳以上	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0

【理由】

・「精神的な安らぎの場が得られる」が44.4%と最も多く、次いで「自分の子どもや家族を持てる」が40.7%と多くなっています。(%)



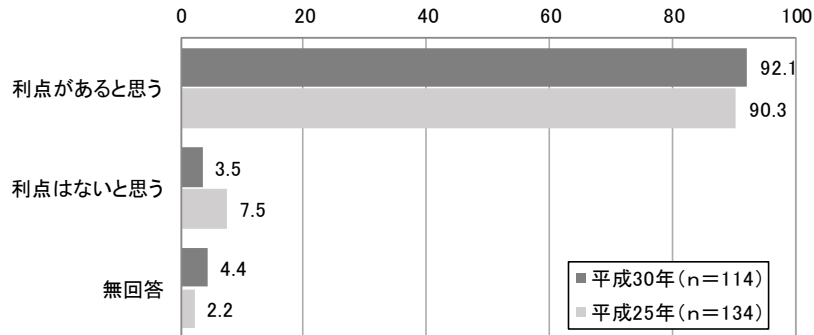
n=81

問9-2 独身生活に感じる利点（単回答、複数回答）

【問9で「1. 未婚である」と回答した方限定】

【利点の有無】

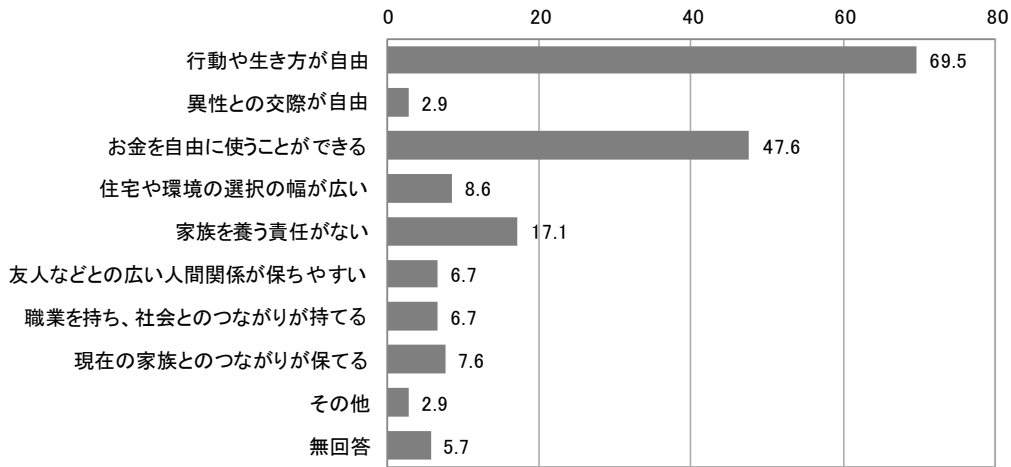
・「利点があると思う」が92.1%と最も多くなっています。(%)



		合計	問9-2 独身生活に感じる利点		
			利点があると思う	利点はないと思う	無回答
全体		114	105	4	5
		100.0	92.1	3.5	4.4
問1 性別	男性	55	51	2	2
		100.0	92.7	3.6	3.6
	女性	59	54	2	3
		100.0	91.5	3.4	5.1
問2 年齢	29歳以下	57	54	3	0
		100.0	94.7	5.3	0.0
	30歳代	21	21	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
	40歳代	22	18	1	3
		100.0	81.8	4.5	13.6
	50歳代	12	10	0	2
		100.0	83.3	0.0	16.7
	60歳以上	2	2	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0

[理由]

•「行動や生き方が自由」が60.5%と最も多く、次いで「お金を自由に使うことができる」が47.6%と多くなっています。(%)

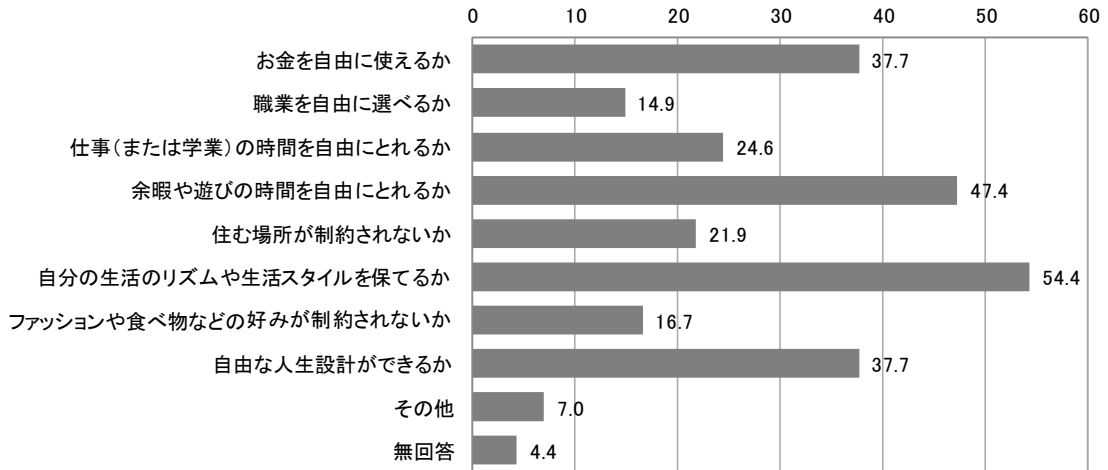


n=105

問9-3 結婚を考えるとときに気になること（複数回答）

•「自分の生活のリズムや生活スタイルを保てるか」が54.4%、「余暇や遊びの時間を自由にとれるか」が47.7%、「お金を自由に使えるか」が37.7%と順に多くなっています。

(%)

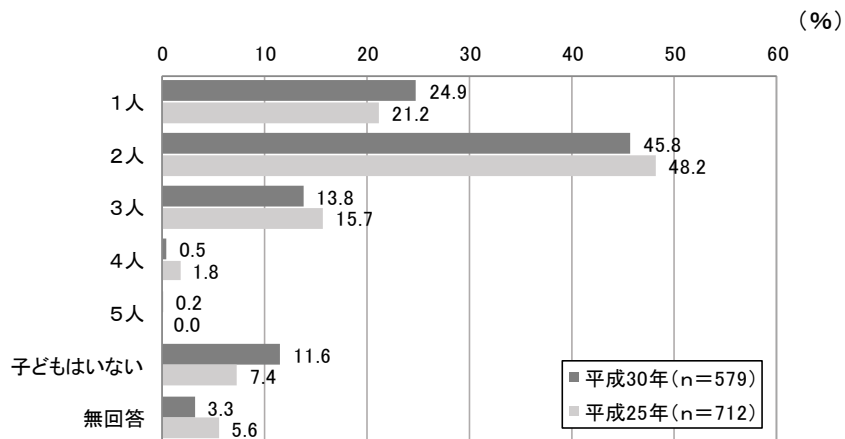


n=114

問9-4 子どもの人数（同居以外も含む）（単回答）

【問9で「2.」「3.」と回答した方限定】

- 「2人」が45.8%と最も多くなっています。
- 平成25年調査と比べると、「1人」が3.7ポイント増加し、「3人」が1.9ポイント減少しています。

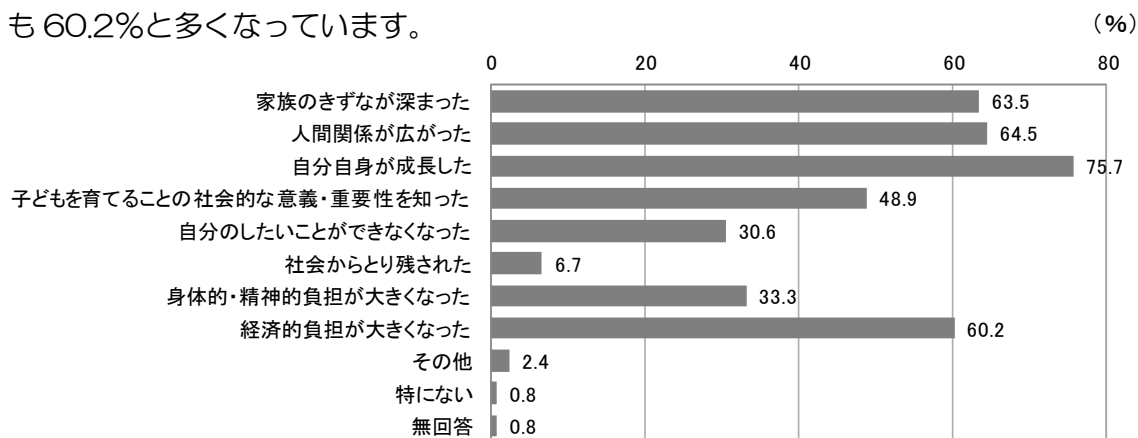


		合計	問9-4 子どもの人数（同居以外も含む）						子どもはいない	無回答
			1人	2人	3人	4人	5人			
全体		579	144	265	80	3	1	67	19	
		100.0	24.9	45.8	13.8	0.5	0.2	11.6	3.3	
問6① 住まいの地域	元町	196	48	77	28	2	0	35	6	
		100.0	24.5	39.3	14.3	1.0	0.0	17.9	3.1	
	中町	189	49	90	27	0	1	15	7	
	100.0	25.9	47.6	14.3	0.0	0.5	7.9	3.7		
	新町	187	45	96	24	1	0	16	5	
		100.0	24.1	51.3	12.8	0.5	0.0	8.6	2.7	

問9-5 子育てを経験して感じること（複数回答）

【問9-4でお子さんの人数を回答した方限定】

・「自分自身が成長した」が75.7%と最も多くなっています。また、「経済的負担が大きくなった」も60.2%と多くなっています。



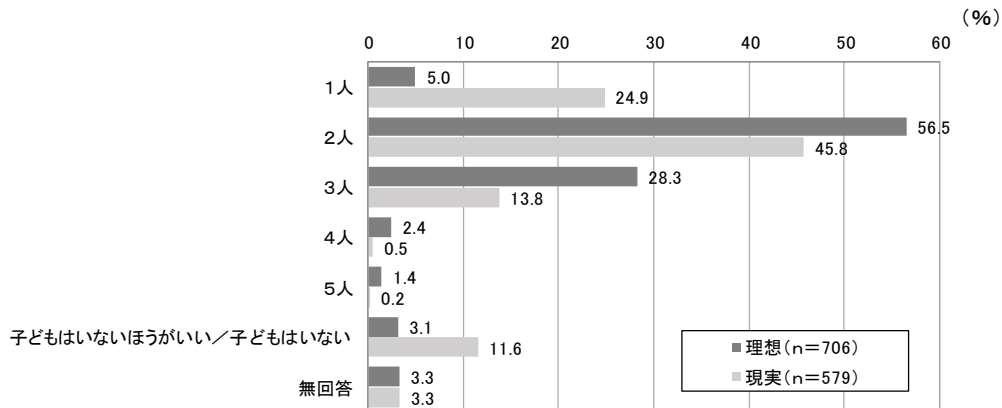
n=493

	合計	問9-5 子育てを経験して感じること					
		家族のきずなが深まった	人間関係が広がった	自分自身が成長した	子どもを育てることの社会的な意義・重要性を知った	自分のしたいことができなくなった	社会からとり残された
全体	493	313	318	373	241	151	33
	100.0	63.5	64.5	75.7	48.9	30.6	6.7
男性	122	94	50	83	70	37	0
	100.0	77.0	41.0	68.0	57.4	30.3	0.0
女性	371	219	268	290	171	114	33
	100.0	59.0	72.2	78.2	46.1	30.7	8.9
1人	171	98	97	122	79	55	15
	100.0	57.3	56.7	71.3	46.2	32.2	8.8
2人	214	144	148	163	103	74	17
	100.0	67.3	69.2	76.2	48.1	34.6	7.9
3人	37	22	31	32	25	11	0
	100.0	59.5	83.8	86.5	67.6	29.7	0.0
4人	1	1	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	合計	問9-5 子育てを経験して感じること				
		身体的・精神的負担が大きくなった	経済的負担が大きくなった	その他	特にない	無回答
全体	493	164	297	12	4	4
	100.0	33.3	60.2	2.4	0.8	0.8
男性	122	25	80	1	3	2
	100.0	20.5	65.6	0.8	2.5	1.6
女性	371	139	217	11	1	2
	100.0	37.5	58.5	3.0	0.3	0.5
1人	171	48	86	8	1	3
	100.0	28.1	50.3	4.7	0.6	1.8
2人	214	82	144	4	2	1
	100.0	38.3	67.3	1.9	0.9	0.5
3人	37	16	28	0	0	0
	100.0	43.2	75.7	0.0	0.0	0.0
4人	1	1	1	0	0	0
	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問 10 理想とする子どもの人数（単回答）

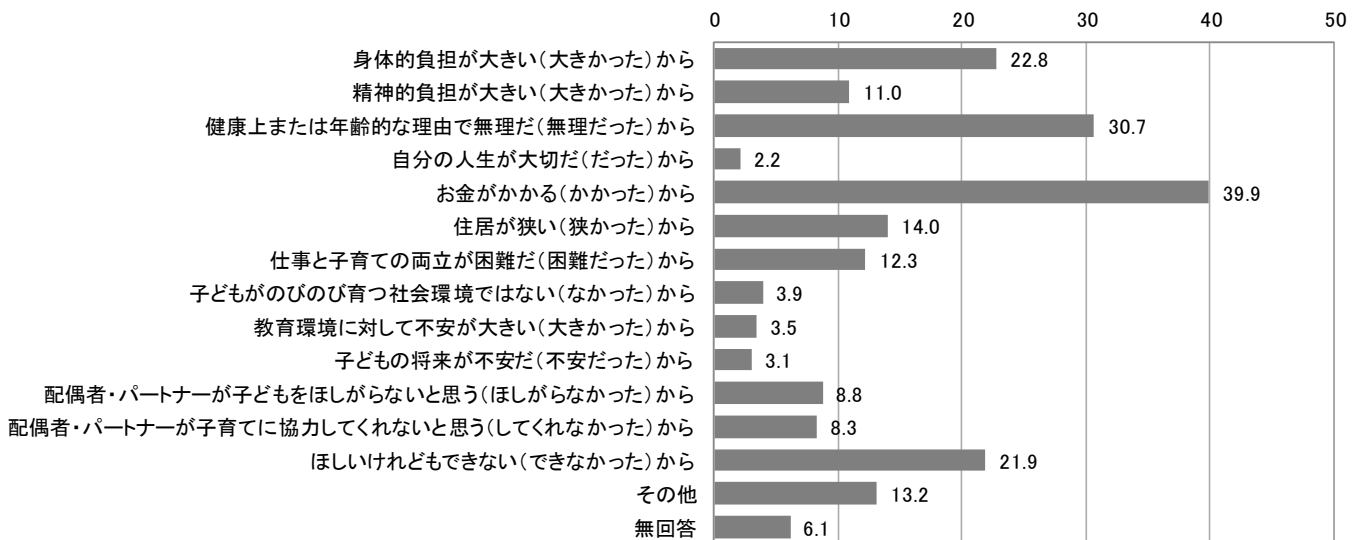
- 理想と現実ともに「2人」が最も多くなっています。
- 「1人」は現実が理想と比べ 19.9 ポイント多く、逆に「3人」は理想が現実と比べ 14.5 ポイント多くなっています。



問 11 理想の子ども的人数より、実際的人数が少ない理由（複数回答）

【問 10 の理想の人数より実際的人数が少ない方限定】

- 「お金がかかる（かかった）から」が 39.9% が最も多く、次いで「健康上または年齢的な理由で無理だ（無理だった）から」が 30.7% と多くなっています。

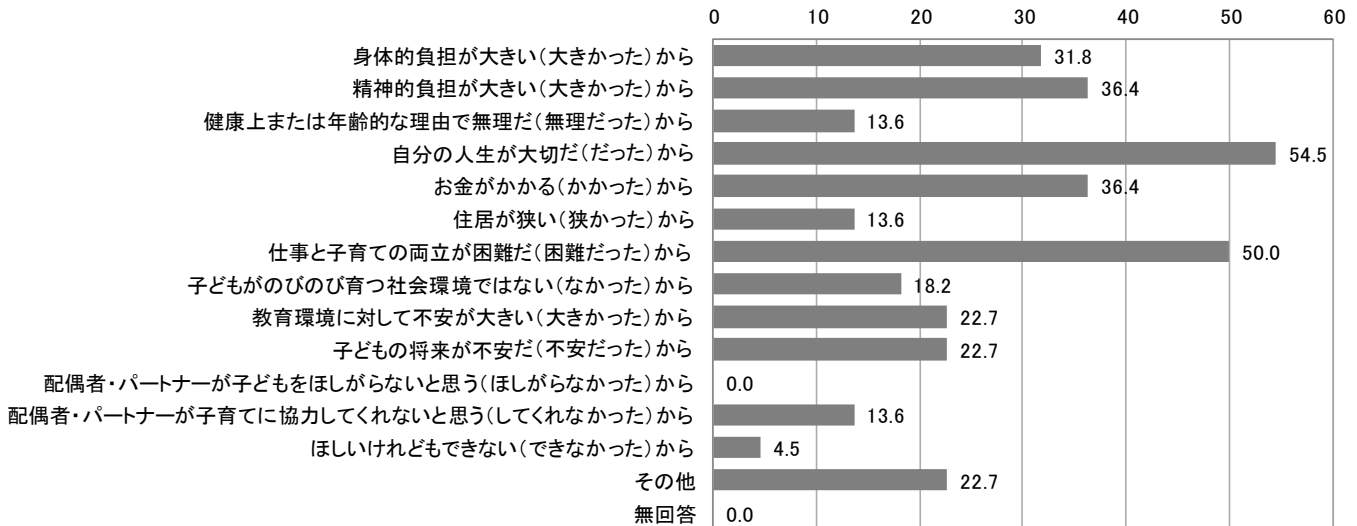


n=228

問 12 子どもがいないほうがよい理由（複数回答）

【問 10 で「6. 子どもはいないほうがよい」と回答した方限定】

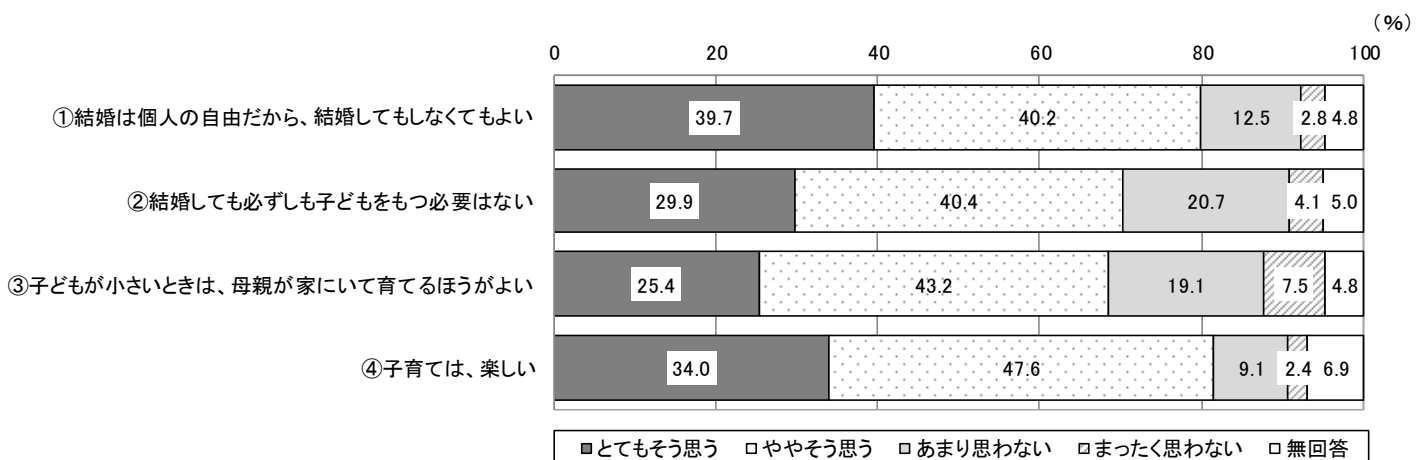
- ・「自分の人生が大切だ（だった）から」が54.5%が最も多く、次いで「仕事と子育ての両立が困難だ（困難だった）から」が50.0%と多くなっています。 (%)



n=22

問 13 結婚や子育てに関する考え方（単回答）

- ・①結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもよい、②結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない、④子育ては、楽しい」に関しては、約3割の方が「とてもそう思う」と回答していますが、③子どもが小さいときは、母親が家にいて育てるほうがよいについては「とてもそう思う」が25.4%となっています。

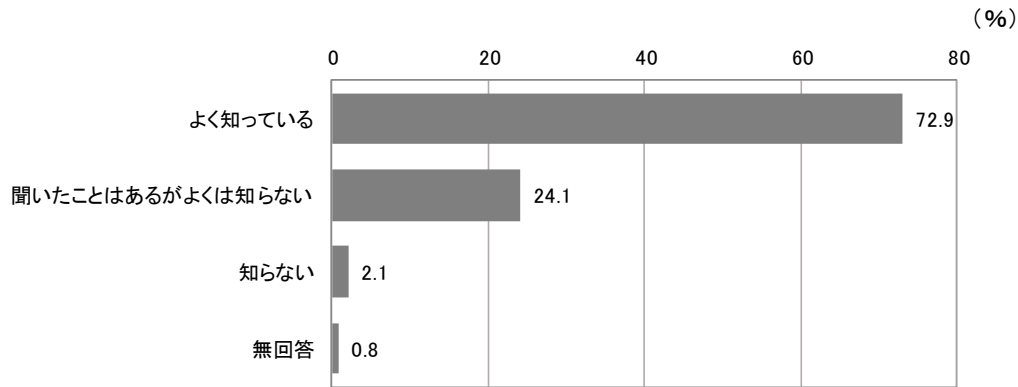


n=706

4. 少子化などについて

問 14 出生率の低下や子どもの減少についての認知度（単回答）

- 「よく知っている」が72.9%と最も多くなっています。
- 年齢が上がるほど、子どもの数が増えるほど、「よく知っている」割合が高くなっています。

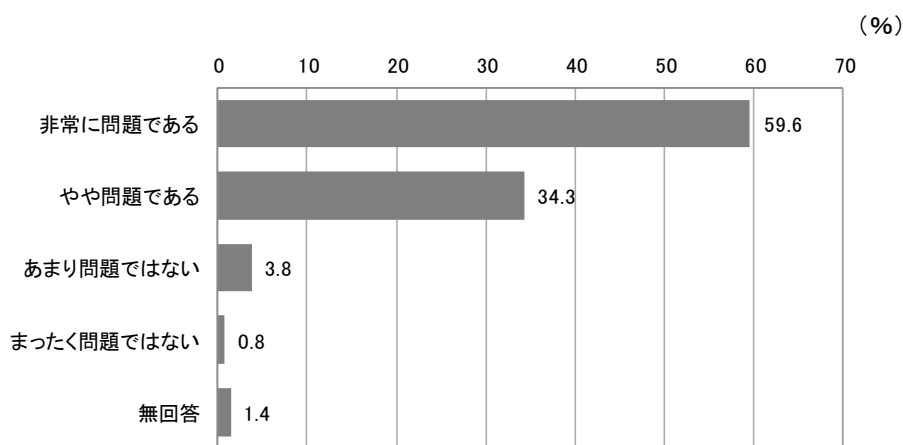


n=706

		合計	問14 出生率の低下や子どもの減少についての認知度			
			よく知っている	聞いたことはあるがよくは知らない	知らない	無回答
全体		706	515	170	15	6
		100.0	72.9	24.1	2.1	0.8
問1 性別	男性	214	170	35	7	2
		100.0	79.4	16.4	3.3	0.9
	女性	492	345	135	8	4
		100.0	70.1	27.4	1.6	0.8
問2 年齢	29歳以下	74	43	28	2	1
		100.0	58.1	37.8	2.7	1.4
	30歳代	110	77	31	1	1
		100.0	70.0	28.2	0.9	0.9
	40歳代	207	147	55	5	0
		100.0	71.0	26.6	2.4	0.0
	50歳代	219	170	44	3	2
		100.0	77.6	20.1	1.4	0.9
	60歳以上	94	76	12	4	2
	100.0	80.9	12.8	4.3	2.1	
問4 子どもの人数	1人	184	132	45	4	3
		100.0	71.7	24.5	2.2	1.6
	2人	220	163	52	4	1
		100.0	74.1	23.6	1.8	0.5
	3人	40	32	6	1	1
	100.0	80.0	15.0	2.5	2.5	
	1	0	0	0	1	
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

問 15 出生率の低下について感じる事（単回答）

- 「非常に問題である」が59.6%と最も多くなっています。
- “29歳以下”で「非常に問題である」より「やや問題である」が多くなっています。

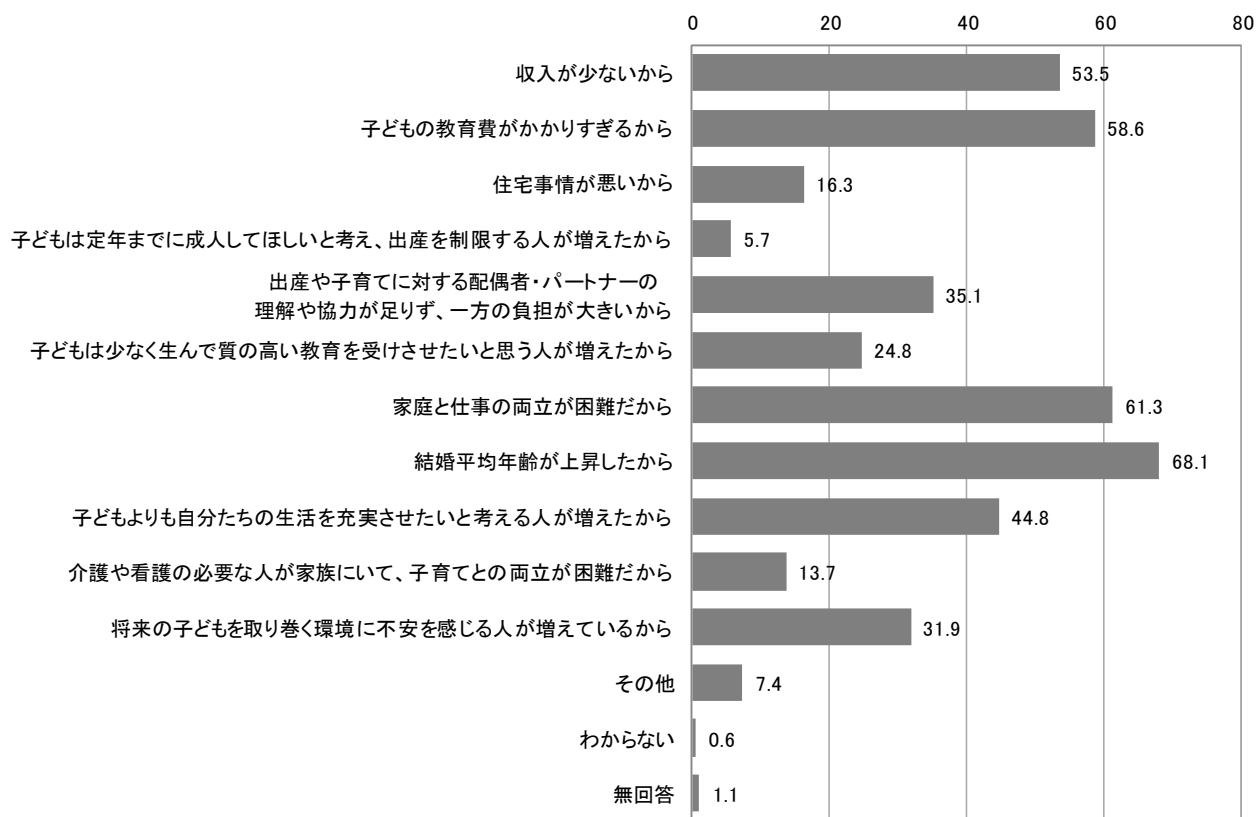


n=706

		問15 出生率の低下について感じる事					
		合計	非常に問題である	やや問題である	あまり問題ではない	まったく問題ではない	無回答
全体		706	421	242	27	6	10
		100.0	59.6	34.3	3.8	0.8	1.4
問1 性別	男性	214	154	46	8	2	4
		100.0	72.0	21.5	3.7	0.9	1.9
	女性	492	267	196	19	4	6
		100.0	54.3	39.8	3.9	0.8	1.2
問2 年齢	29歳以下	74	34	36	2	0	2
		100.0	45.9	48.6	2.7	0.0	2.7
	30歳代	110	57	44	5	3	1
		100.0	51.8	40.0	4.5	2.7	0.9
	40歳代	207	136	66	5	0	0
		100.0	65.7	31.9	2.4	0.0	0.0
	50歳代	219	133	68	11	2	5
		100.0	60.7	31.1	5.0	0.9	2.3
	60歳以上	94	59	28	4	1	2
		100.0	62.8	29.8	4.3	1.1	2.1
問4 子どもの人数	1人	184	113	56	10	2	3
		100.0	61.4	30.4	5.4	1.1	1.6
	2人	220	140	74	4	1	1
		100.0	63.6	33.6	1.8	0.5	0.5
	3人	40	25	12	1	0	2
	100.0	62.5	30.0	2.5	0.0	5.0	
	4人	1	0	0	0	0	1
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問 16 出生率低下の理由（複数回答）

・「結婚平均年齢が上昇したから」が68.1%、「家庭と仕事の両立が困難だから」が61.3%、「子どもの教育費がかかりすぎるから」が58.6%と順に多くなっています。 (％)

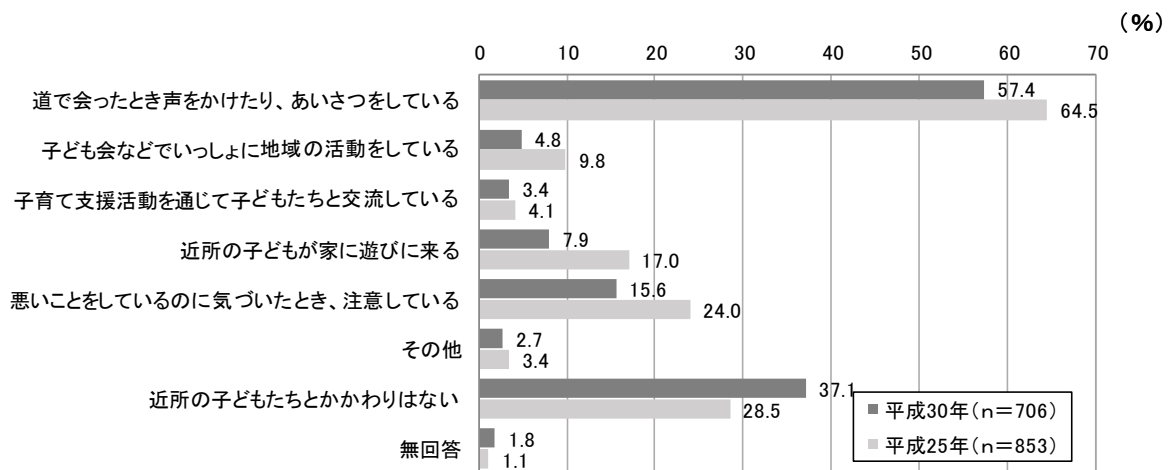


n=706

5. 子どもや子育てなどについて

問 17 近所の子どもたちとの接し方（複数回答）

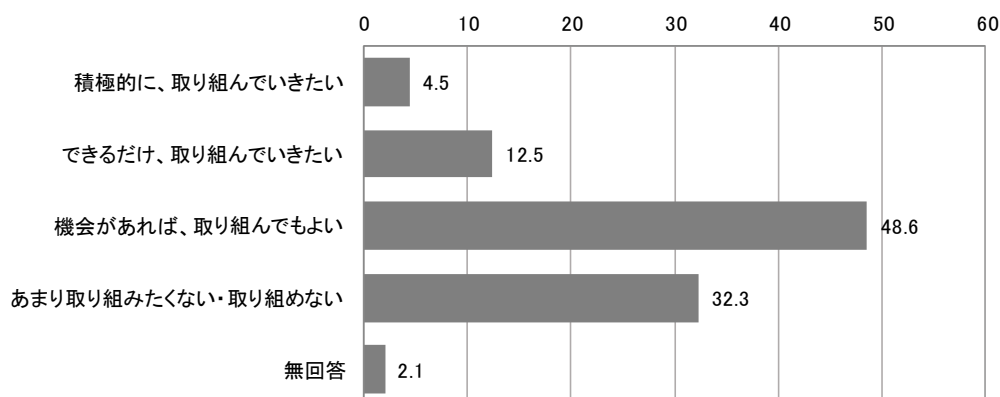
- 「道で会ったとき声をかけたり、あいさつをしている」が最も多くなっていますが、平成 25 年調査と比べると、7.1 ポイント減少しています。
- 「近所の子どもたちとかかわりはない」は 37.1%で、平成 25 年調査と比べて 8.6%増加しています。
- 性別で見ると“男性”で、年齢別にみると“29 歳以下”“30 歳代”で、結婚の状況ごとに見ると“未婚である”で「近所の子どもたちとかかわりはない」が多くなっています。



		合計	問17 近所の子どもたちとの接し方							無回答
			道で会ったとき声をかけたさつをしている	子ども会などでいっしょに地域の活動をしている	子育て支援活動を通じて子どもたちと交流している	近所の子どもが家に遊びに来る	悪いことをしているのに気づいたとき、注意している	その他	近所の子どもたちとかかわりはない	
全体		706 100.0	405 57.4	34 4.8	24 3.4	56 7.9	110 15.6	19 2.7	262 37.1	13 1.8
問1 性別	男性	214 100.0	93 43.5	10 4.7	3 1.4	11 5.1	22 10.3	5 2.3	105 49.1	6 2.8
	女性	492 100.0	312 63.4	24 4.9	21 4.3	45 9.1	88 17.9	14 2.8	157 31.9	7 1.4
問2 年齢	29歳以下	74 100.0	22 29.7	1 1.4	1 1.4	1 1.4	2 2.7	2 2.7	49 66.2	1 1.4
	30歳代	110 100.0	48 43.6	5 4.5	5 4.5	11 10.0	12 10.9	7 6.4	53 48.2	4 3.6
	40歳代	207 100.0	132 63.8	17 8.2	8 3.9	33 15.9	38 18.4	5 2.4	67 32.4	2 1.0
	50歳代	219 100.0	147 67.1	8 3.7	8 3.7	9 4.1	39 17.8	4 1.8	65 29.7	1 0.5
	60歳以上	94 100.0	54 57.4	3 3.2	2 2.1	2 2.1	19 20.2	1 1.1	28 29.8	5 5.3
問6① 住まいの地域	元町	257 100.0	122 47.5	10 3.9	8 3.1	21 8.2	29 11.3	7 2.7	117 45.5	8 3.1
	中町	227 100.0	134 59.0	15 6.6	12 5.3	19 8.4	39 17.2	8 3.5	78 34.4	2 0.9
	新町	213 100.0	145 68.1	9 4.2	4 1.9	15 7.0	41 19.2	4 1.9	62 29.1	3 1.4
問9 結婚の状況	未婚である	114 100.0	30 26.3	1 0.9	2 1.8	1 0.9	5 4.4	3 2.6	76 66.7	4 3.5
	既婚である	535 100.0	346 64.7	33 6.2	22 4.1	50 9.3	95 17.8	15 2.8	163 30.5	8 1.5
	結婚したが離別・死別している	44 100.0	23 52.3	0 0.0	0 0.0	3 6.8	8 18.2	1 2.3	17 38.6	1 2.3
問4 子どもの人数	1人	184 100.0	115 62.5	10 5.4	4 2.2	16 8.7	23 12.5	9 4.9	59 32.1	3 1.6
	2人	220 100.0	154 70.0	17 7.7	11 5.0	30 13.6	49 22.3	4 1.8	56 25.5	1 0.5
	3人	40 100.0	34 85.0	6 15.0	4 10.0	8 20.0	11 27.5	1 2.5	2 5.0	1 2.5
	4人	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0

問 18 子どもや子育て家庭に対する活動への参加意向（単回答）

- 「機会があれば、取り組んでもよい」が最も多くなっています。
 - “未婚である”では「あまり取り組みたくない・取り組めない」が多くなっています。
- (%)



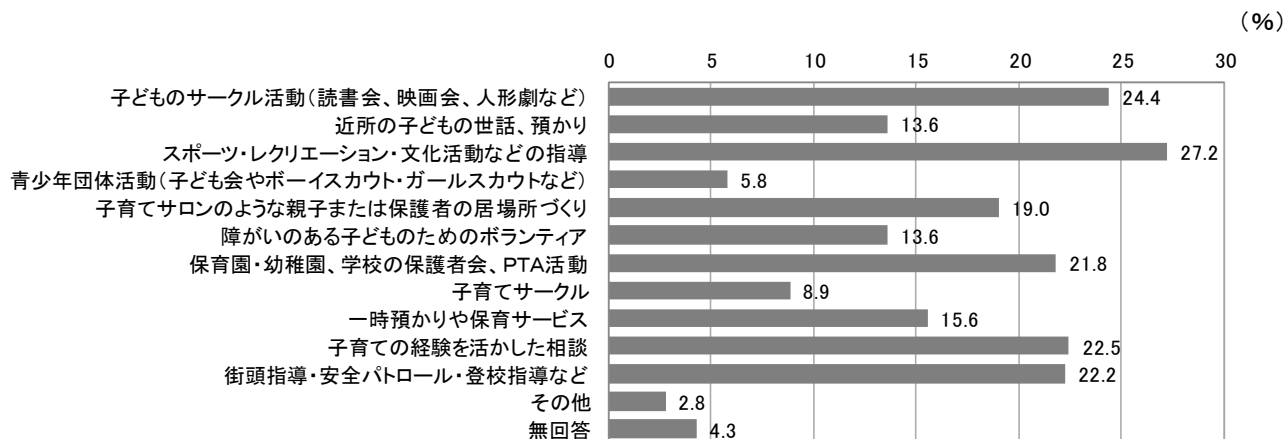
n=706

		問18 子どもたちや子育て家庭に対する活動への参加意向					
		合計	積極的に、取り組んでいきたい	できるだけ、取り組んでいきたい	機会があれば、取り組んでもよい	あまり取り組みたくない・取り組めない	無回答
全体		706	32	88	343	228	15
		100.0	4.5	12.5	48.6	32.3	2.1
問2 年齢	29歳以下	74	6	10	33	24	1
		100.0	8.1	13.5	44.6	32.4	1.4
	30歳代	110	6	25	52	25	2
		100.0	5.5	22.7	47.3	22.7	1.8
	40歳代	207	14	24	89	77	3
		100.0	6.8	11.6	43.0	37.2	1.4
50歳代	219	5	18	117	72	7	
		100.0	2.3	8.2	53.4	32.9	3.2
	60歳以上	94	1	11	50	30	2
	100.0	1.1	11.7	53.2	31.9	2.1	
問6① 住まいの地域	元町	257	14	32	119	85	7
		100.0	5.4	12.5	46.3	33.1	2.7
	中町	227	15	31	107	68	6
		100.0	6.6	13.7	47.1	30.0	2.6
新町	213	3	23	112	73	2	
		100.0	1.4	10.8	52.6	34.3	0.9
	問9 結婚の状況	未婚である	114	5	13	43	50
		100.0	4.4	11.4	37.7	43.9	2.6
既婚である		535	26	69	274	156	10
		100.0	4.9	12.9	51.2	29.2	1.9
結婚したが離別・死別している	44	1	3	23	17	0	
		100.0	2.3	6.8	52.3	38.6	0.0

問 18-1 参加したい子どもや子育て家庭に対する活動（複数回答）

【問 18 で「1.」「2.」「3.」と回答した方限定】

・「スポーツ・レクリエーション・文化活動などの指導」が 27.2% が最も多く、次いで「子どものサークル活動（読書会、映画会、人形劇など）」が 24.4% と多くなっています。

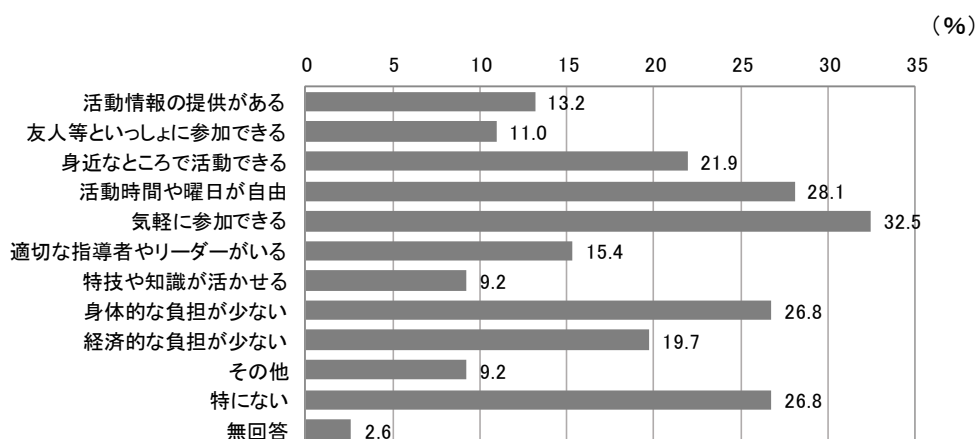


n=463

問 18-2 子どもや子育て家庭に対する活動に参加しやすくなるために必要なこと（複数回答）

【問 18 で「4. あまり取り組みたくない・取り組めない」と回答した方限定】

・「気軽に参加できる」が 32.5%、「活動時間や曜日が自由」が 28.1%、「身体的な負担が少ない」が 26.8% と順に多くなっています。

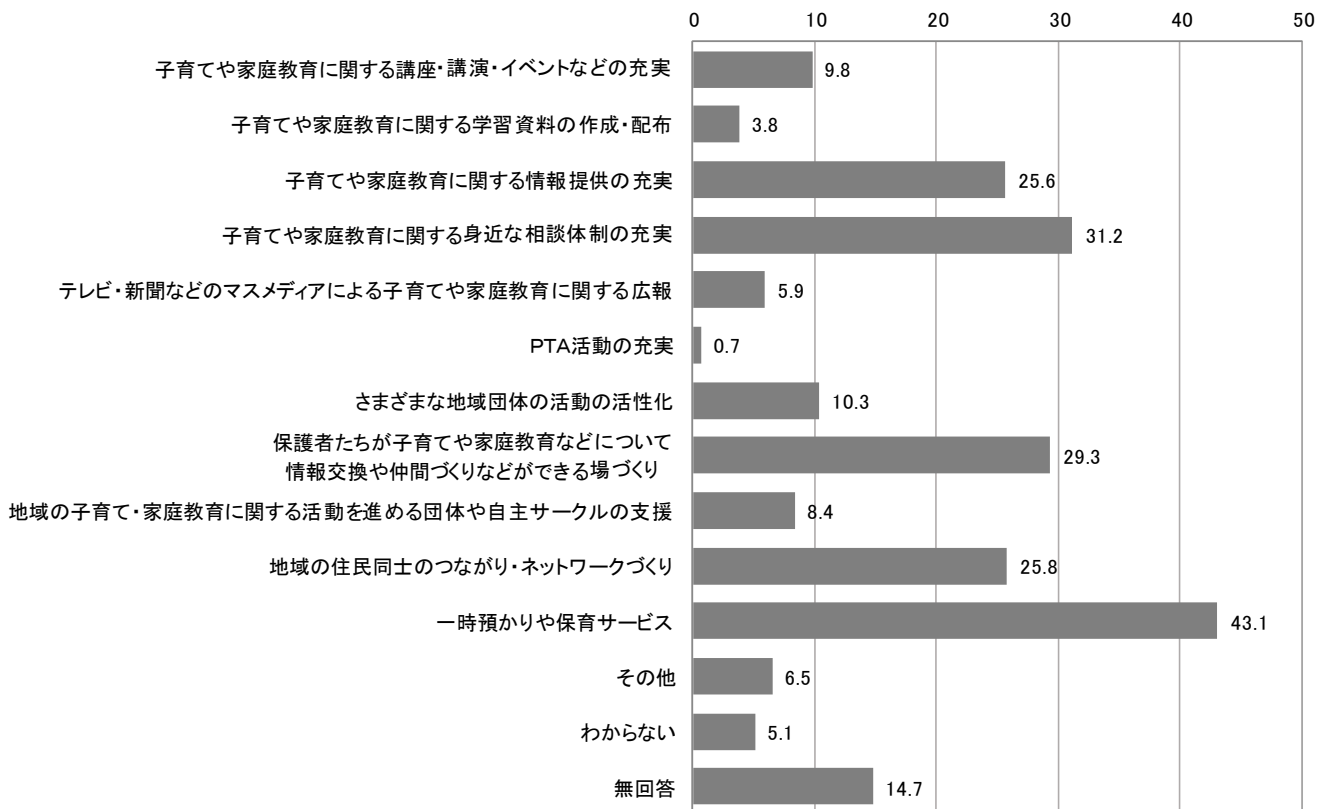


n=228

問 19 子育てや家庭教育の支援のために、必要だと思うこと（複数回答）

・「一時預かりや保育サービス」が 43.1%、「子育てや家庭教育に関する身近な相談体制の充実」が 31.2%、「保護者たちが子育てや家庭教育などについて情報交換や仲間づくりなどができる場づくり」が 39.3%と順に多くなっています。

(%)



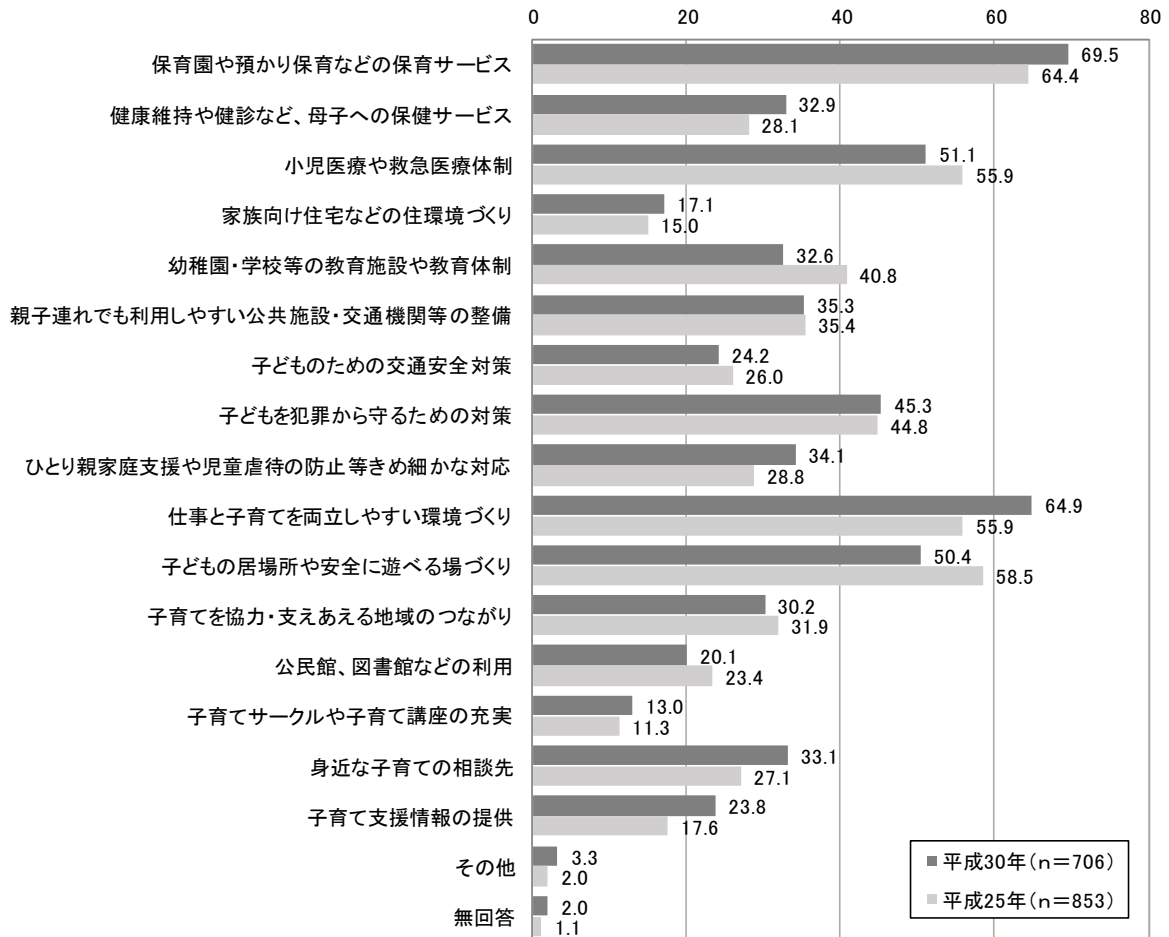
n=706

6. 子育て環境などについて

問 20 安心した子育て環境づくりのために充実していくべきこと（複数回答）

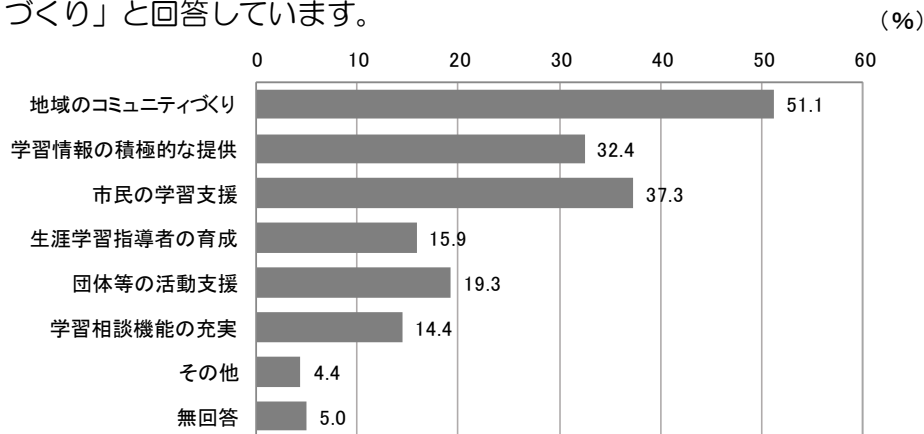
・「保育園や預かり保育などの保育サービス」が 69.5%、「仕事と子育てを両立しやすい環境づくり」が 64.9%と多くなっており、どちらも平成 25 年調査と比べ増加しています。特に「仕事と子育てを両立しやすい環境づくり」は 9.0 ポイント増加しています。

(%)



問 21 公民館などの生涯学習施設に求めること（複数回答）

・「地域のコミュニティづくり」が最も多くなっており、特に“新町”では6割近い方が「地域のコミュニティづくり」と回答しています。

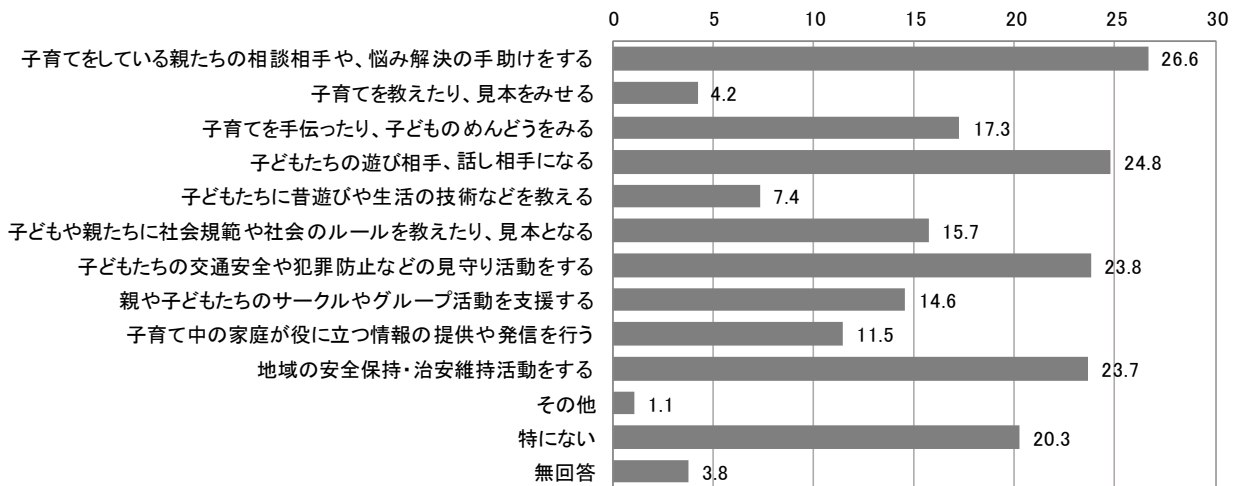


n=706

		問21 公民館などの生涯学習施設に求めること								
		合計	地域のコミュニティづくり	学習情報の積極的な提供	市民の学習支援	生涯学習指導者の育成	団体等の活動支援	学習相談機能の充実	その他	無回答
全体		706	361	229	263	112	136	102	31	35
		100.0	51.1	32.4	37.3	15.9	19.3	14.4	4.4	5.0
問6① 住まいの地域	元町	257	120	91	94	40	49	42	8	18
		100.0	46.7	35.4	36.6	15.6	19.1	16.3	3.1	7.0
	中町	227	111	69	82	33	42	35	14	9
	100.0	48.9	30.4	36.1	14.5	18.5	15.4	6.2	4.0	
	新町	213	126	68	86	37	42	24	9	7
	100.0	59.2	31.9	40.4	17.4	19.7	11.3	4.2	3.3	

問 22 「子育てしやすいまち」「子どもたちが健やかに育つまち」になるために、身近でできること（複数回答）

・「子育てをしている親たちの相談相手や、悩み解決の手助けをする」「子どもたちの遊び相手、話し相手になる」「子どもたちの交通安全や犯罪防止などの見守り活動をする」「地域の安全保持・治安維持活動をする」が多く、2割以上の方が回答しています。（％）



n=706

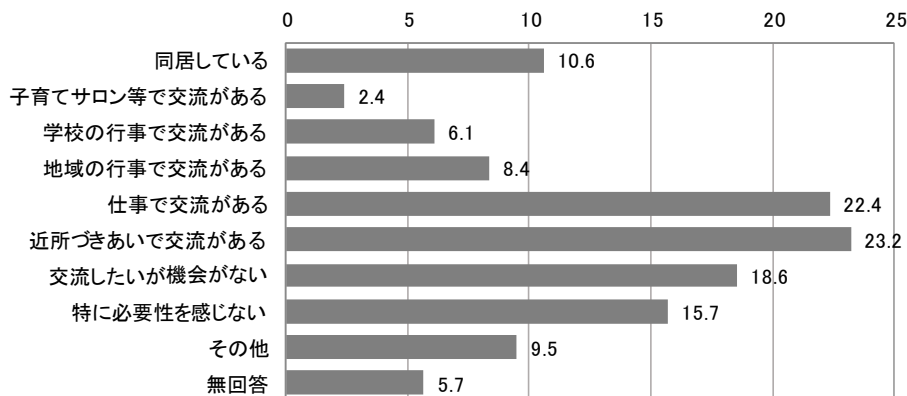
	合計	問22 「子育てしやすいまち」「子どもたちが健やかに育つまち」になるために、身近でできること							
		子育てをしている親たちの相談相手や、悩み解決の手助けをする	子育てを教えたり、見本をみせる	子育てを手伝ったり、子どものめんどうをみる	子どもたちの遊び相手、話し相手になる	子どもたちに昔遊びや生活の技術などを教える	子どもや親たちに社会規範や社会のルールを教えたり、見本となる	子どもたちの交通安全や犯罪防止などの見守り活動をする	
全体	706 100.0	188 26.6	30 4.2	122 17.3	175 24.8	52 7.4	111 15.7	168 23.8	
問6① 住まいの地域	元町	257 100.0	72 28.0	10 3.9	47 18.3	78 30.4	21 8.2	42 16.3	61 23.7
	中町	227 100.0	59 26.0	12 5.3	45 19.8	55 24.2	21 9.3	39 17.2	55 24.2
	新町	213 100.0	55 25.8	8 3.8	30 14.1	41 19.2	9 4.2	28 13.1	49 23.0

	合計	問22 「子育てしやすいまち」「子どもたちが健やかに育つまち」になるために、身近でできること						
		親や子どもたちのサークルやグループ活動を支援する	子育て中の家庭が役に立つ情報の提供や発信を行う	地域の安全保持・治安維持活動をする	その他	特にない	無回答	
全体	706 100.0	103 14.6	81 11.5	167 23.7	8 1.1	143 20.3	27 3.8	
問6① 住まいの地域	元町	257 100.0	37 14.4	35 13.6	58 22.6	1 0.4	52 20.2	4 1.6
	中町	227 100.0	34 15.0	20 8.8	52 22.9	3 1.3	43 18.9	13 5.7
	新町	213 100.0	32 15.0	26 12.2	54 25.4	4 1.9	44 20.7	10 4.7

問 23 高齢者との交流の有無（複数回答）

・「近所づきあいで交流がある」が 23.2%と最も多く、次いで「仕事で交流がある」が 22.4%と多くなっています。

・「近所づきあいで交流がある」と回答する割合は、どの地域においても2割以上の回答がありました。

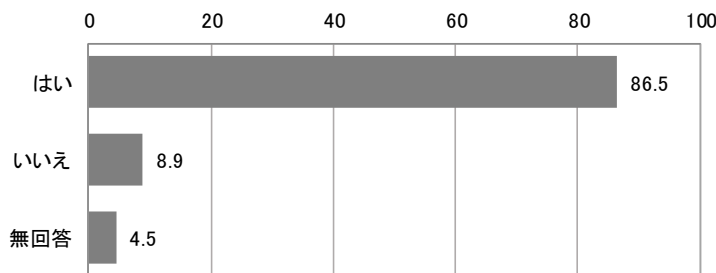


n=706

		問23 高齢者との交流の有無										
合計		同居している	子育てサロン等で交流がある	学校の行事で交流がある	地域の行事で交流がある	仕事で交流がある	近所づきあいで交流がある	交流したいが機会がない	特に必要性を感じない	その他	無回答	
全体		706	75	17	43	59	158	164	131	111	67	40
		100.0	10.6	2.4	6.1	8.4	22.4	23.2	18.6	15.7	9.5	5.7
問6① 住まいの地域	元町	257	29	9	10	15	58	54	57	45	15	13
		100.0	11.3	3.5	3.9	5.8	22.6	21.0	22.2	17.5	5.8	5.1
	中町	227	29	5	17	19	60	57	33	30	31	12
		100.0	12.8	2.2	7.5	8.4	26.4	25.1	14.5	13.2	13.7	5.3
新町	213	16	2	16	23	38	52	40	34	20	14	
	100.0	7.5	0.9	7.5	10.8	17.8	24.4	18.8	16.0	9.4	6.6	

問 24 高齢者との交流機会が必要と思うか（単回答）

・「はい」が 86.5%と多くを占めています。



n=706

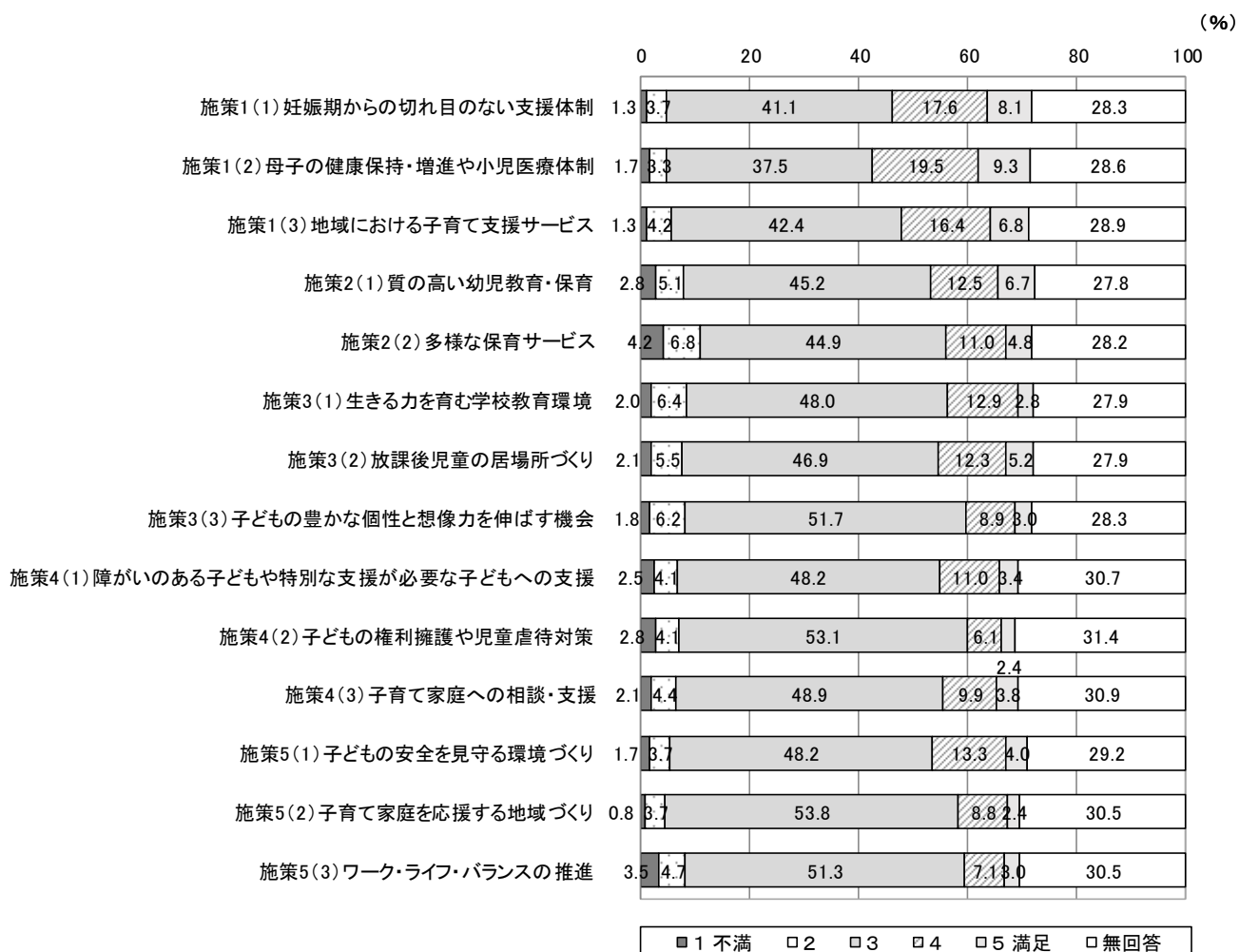
		問24 高齢者との交流機会が必要と思うか			
合計		はい	いいえ	無回答	
全体		706	611	63	32
		100.0	86.5	8.9	4.5
問6① 住まいの地域	元町	257	221	23	13
		100.0	86.0	8.9	5.1
	中町	227	198	20	9
		100.0	87.2	8.8	4.0
新町	213	185	19	9	
	100.0	86.9	8.9	4.2	

7. 浦安市子育て支援総合計画について

問 25 子育て施策への評価（単回答）

【満足度】

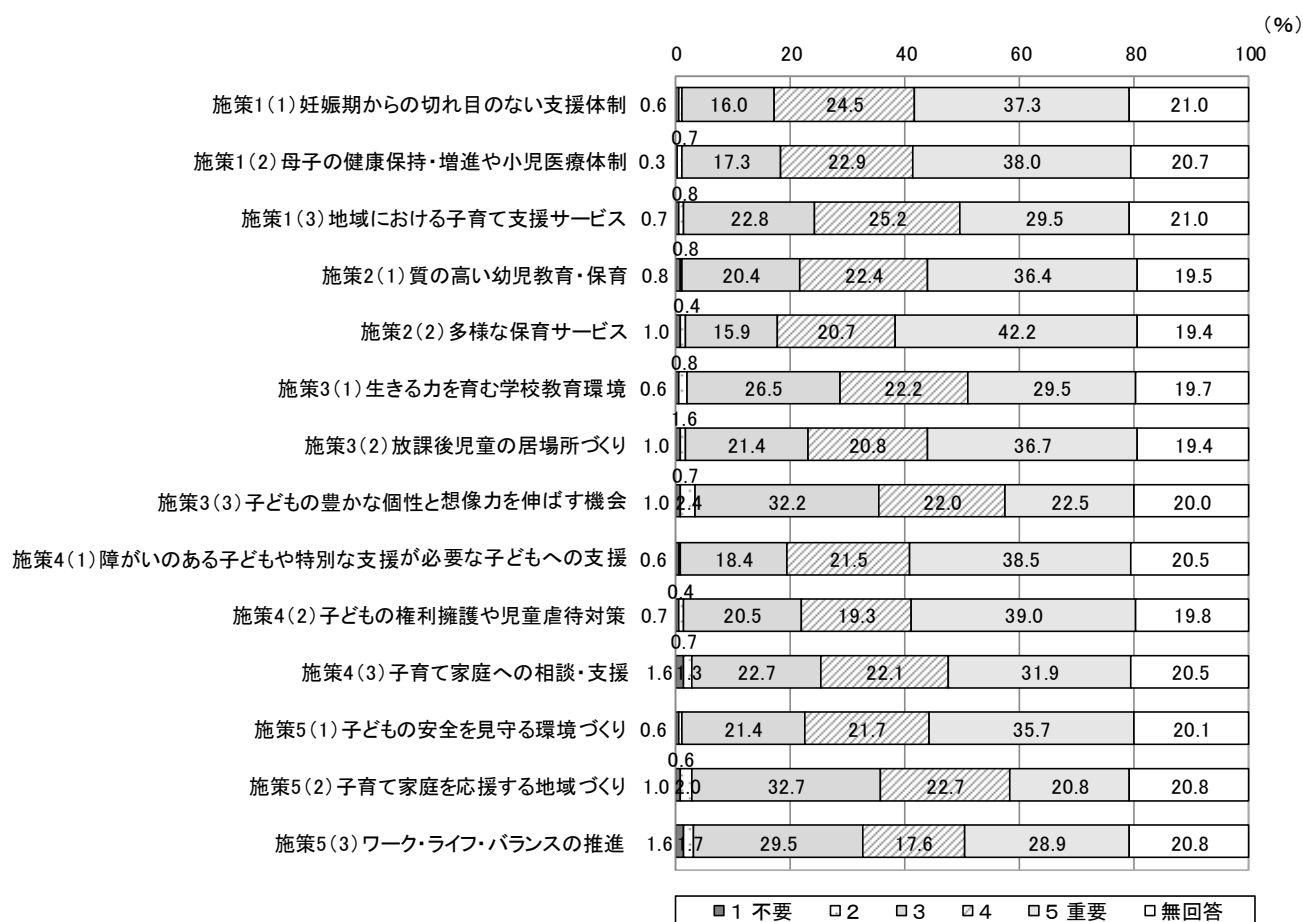
- ・満足の「5」の割合が最も高い施策は「施策 1（2）母子の健康保持・増進や小児医療体制」で、不満の「1」の割合が最も高い施策は「施策 2（2）多様な保育サービスの今度の重要性」です。



n=706

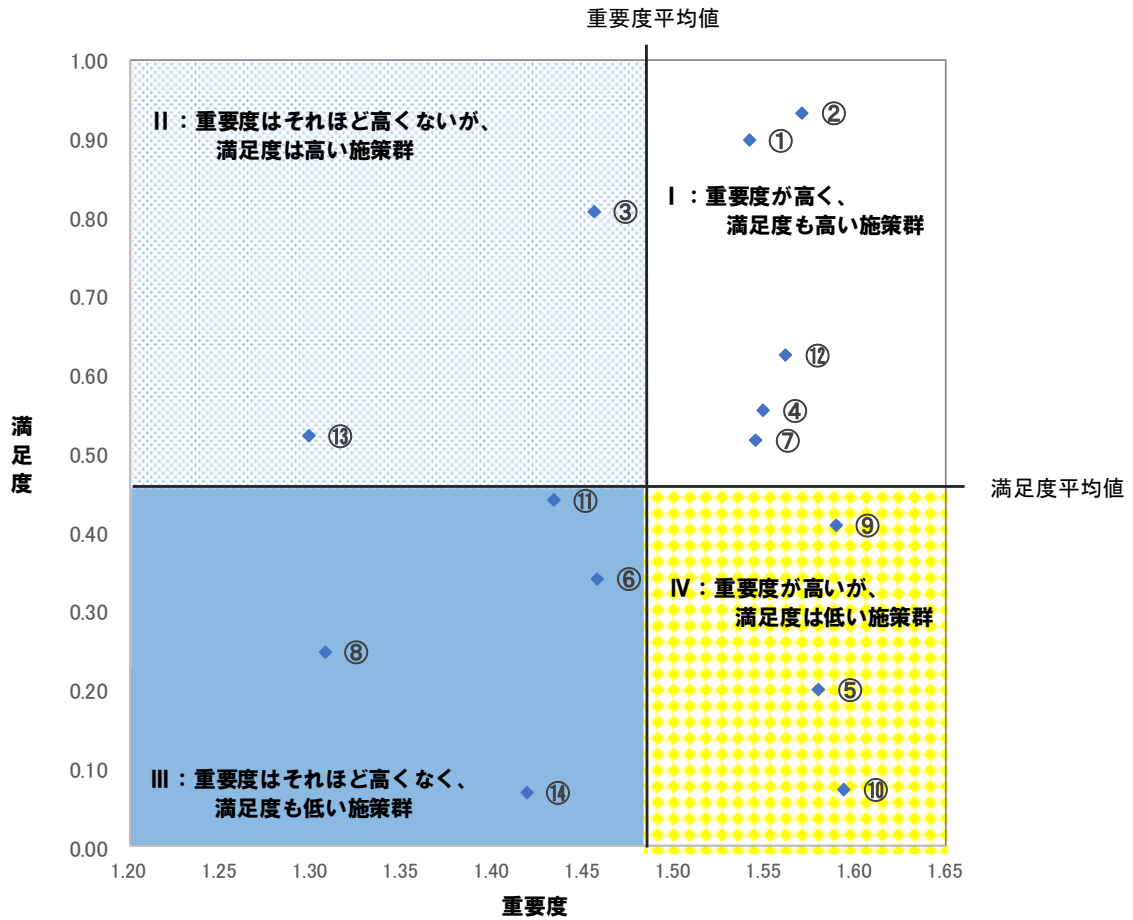
【重要度】

- 重要の「5」の割合が最も高い施策は「施策2(2) 多様な保育サービスの今度の重要性」で、不要の「1」の割合が最も高い施策は「施策4(3) 子育て家庭への相談・支援」と「施策5(3) ワーク・ライフ・バランスの推進」です。



n=706

- 重要度は高いが、満足度は低い施策は、「施策 2（2）多様な保育サービス」「施策 4（1）障がいのある子どもや特別な支援が必要な子どもへの支援」「施策 4（2）子どもの権利擁護や児童虐待対策」です。



①	施策 1（1）妊娠期からの切れ目のない支援体制	⑧	施策 3（3）子どもの豊かな個性と想像力を伸ばす機会
②	施策 1（2）母子の健康保持・増進や小児医療体制	⑨	施策 4（1）障がいのある子どもや特別な支援が必要な子どもへの支援
③	施策 1（3）地域における子育て支援サービス	⑩	施策 4（2）子どもの権利擁護や児童虐待対策
④	施策 2（1）質の高い幼児教育・保育	⑪	施策 4（3）子育て家庭への相談・支援
⑤	施策 2（2）多様な保育サービス	⑫	施策 5（1）子どもの安全を見守る環境づくり
⑥	施策 3（1）生きる力を育む学校教育環境	⑬	施策 5（2）子育て家庭を応援する地域づくり
⑦	施策 3（2）放課後児童の居場所づくり	⑭	施策 5（3）ワーク・ライフ・バランスの推進

評価点数の算出方法

$$\text{満足度} = \frac{(\text{満足} \times 2 \text{点} + \text{やや満足} \times 1 \text{点} + \text{やや不満} \times -1 \text{点} + \text{不満} \times -2 \text{点})}{(\text{満足} + \text{やや満足} + \text{やや不満} + \text{不満}) \text{の回答数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{(\text{重要} \times 2 \text{点} + \text{やや重要} \times 1 \text{点} + \text{やや不要} \times -1 \text{点} + \text{不要} \times -2 \text{点})}{(\text{重要} + \text{やや重要} + \text{やや不要} + \text{不要}) \text{の回答数}}$$

※加重平均にて評価値を算出

- 5. 満足（重要） 2点
- 4. やや満足（重要） 1点
- 3. どちらでも 0点
- 2. やや不満（不要） -1点
- 1. 不満（不要） -2点

※「無回答」を除いて算出している。

問 26 市の子育て施策に関する意見（自由回答）

- 自由記述については、301 人（42.6%）から 301 件の意見がありました。意見分類ごとの意見数は以下のとおりです。

意見内容	件数
子育て環境（買い物、住宅環境）	36
子育て支援事業・施策（ファミサポ、病児・病後児保育、一時預かり 等）	32
公園・遊び場	30
小学校・教育環境 等	26
保育・教育の事業・施設	24
経済的支援	22
安全（道路、不審者、治安）	18
相談・情報	14
特別な支援（障がい・ひとり親等）	10
健康（医療機関、健診、医療費助成 等）	5
児童育成クラブ	2
その他	82
計	301

第3章 グループヒアリング結果

ヒアリング結果とりまとめ中(一部抜粋)

<質問内容>

- 問1 浦安市の子育ての環境や支援への満足度はどのくらいですか。(不満1点～満足5点の5段階評価)
- 問2 浦安市の子育て支援を充実させていくために必要だと思われる支援などがございましたらお聞かせください。
- 問3 子育てされているご経験の中で感じていることがありましたら、ご意見をお聞かせください。
- 問4 市の、広報うらやすやホームページ、子育てハンドブックなどの情報媒体を利用されていますか。また、情報媒体を利用のしやすさ、どんな情報がほしいかもお聞かせください。

<ヒアリング対象者>

I 主催事業「ふたごちゃん、みつごちゃんあつまれ」参加者のヒアリング

実施日：11月7日(水) 10:30～11:00

実施場所：集合事務所 3階 子育て支援センター

参加者：主催事業参加者 10組(妊婦含む)

事務局：浦安市こども課 2名、業務委託業者(株)ぎょうせい 2名

問1 ○参加者全員が4点という評価となった。

問2 ○市役所内の多目的トイレや授乳室の入口の幅が狭く、ふたご用のベビーカーでは入れない。トイレの外にベビーカーを置いてトイレに入るのも、荷物等があるので不安である。
○市内の道がガタガタで、ベビーカーでの移動がしづらい。また、歩道が狭くベビーカーで歩いていると、対向者とすれ違うことができない。

問3、4

○エンゼルヘルパー利用の際、1回2時間までというのは短い。家に訪問して1日保育してくれるような制度が欲しい。

II-1 主催事業「ほのぼのタイム(1回目)」参加者のヒアリング

実施日：11月22日(木) 10:00～12:00

実施場所：日の出公民館 2階 和室

参加者：主催事業参加者 16組

事務局：浦安市こども課 1名、業務委託業者(株)ぎょうせい 1名

問1 ○参加者16名中、15名が4点、1名が5点という評価となった。

問2、3、4

○マイ浦安のイベントやサービス等の情報を対象年齢ごとに示してほしい。

○市のHPは情報が探しにくい。また市のHPの情報が更新された際は、新しい情報が上に来る等わかりやすい表示方法にしてほしい。

○ベビーカーでバスを利用するときは、多少待ってでもノンステップバスを待つようにしている。ノンステップバスがもっと増えると良い。

Ⅱ-2 主催事業「ほのぼのタイム(2回目)」参加者のヒアリング

実施日：12月3日(月) 10:00~12:00

実施場所：堀江公民館 2階 和室

参加者：主催事業参加者 14組

事務局：浦安市こども課 1名、業務委託業者(株)ぎょうせい 1名

問1 ○参加者13名中、3名が3点、9名が4点、1名が5点という評価となった。

問2, 3, 4

○2ヵ月まではエンゼルヘルパー制度があり、4ヵ月以降は預かり保育に預けることができるが、支援が必要な時期なので、支援やサポートの充実をお願いしたい。

○レンガを組んだ道路等、ガタガタする道路があると、ベビーカーで移動しにくい。難しいことだと思うが、道路の段差が極力ないことを要望する。

○市のサイトの情報として、載っている地区と載っていない地区がある。どの地区も一律で情報提供をしてほしい。

Ⅲ-1 「こども発達センター(1回目)」に通うこどもの保護者のヒアリング

実施日：1月30日(木) 10:30~12:00

実施場所：浦安市総合福祉センター 1階 こども発達センター

参加者：こども発達センターに通うこどもの保護者 3名

事務局：浦安市こども課 1名、業務委託業者(株)ぎょうせい 1名

問1, 2, 3

○「にじいろ」に入りたいから、浦安市に引っ越してきたという方の話も聞く。環境としては恵まれている方かと思う。

○健康センターでの相談事業において、相談に乗ってもらえたのはありがたかった。話を聞いてもらい、発達センターへ繋いでもらったのも良かった。

○浦安市は進学時、できる限り保護者や子どもの要望を聞いてもらえるという印象があるが、実際にどのような制度ですすめてもらえるのか、わからないことも多く不安もある。

○一時預かりの予約が取りにくく、空きがないことが多い。特に産前産後。ポピンズができたので少しでも緩和されることを期待する。

Ⅲ-2 「こども発達センター(2回目)」に通うこどもの保護者のヒアリング

実施日：2月4日(月) 10:30~11:30

実施場所：浦安市総合福祉センター 1階 こども発達センター

参加者：こども発達センターに通うこどもの保護者 2名

事務局：浦安市こども課 1名、業務委託業者（株）ぎょうせい 1名

問1 ○「不満な部分が多い。」という評価となった。

問2, 3

○重症心身障害児や医療ケアが必要な障害児に対する支援・行政としての対応が足りていないように感じる。

○浦安市は発達障害への支援は手厚い印象があるが、重症心身障害児等への支援はあまりない。

○つきっきりの看護が主なので、睡眠時間がとれないことが多い。短い時間でも預かってもらえると助かる。

○母子分離を実施するためには、医療ケアや看護師の確保が必要。そういった整備ができていないと、通園や通所もできない。

IV 子育てケアマネジャーのヒアリング

実施日：12月13日（木）、12月14日（金）、12月17日（月）、1月15日（金）
1月21日（木）、1月22日（火） 計6日

実施場所：浦安市役所2階総合窓口、健康センター応援ルーム、集合事務所総合相談室

参加者：16名

事務局：浦安市こども課1名

問1 子育てケアマネジャー16名、全6回実施のうち、5点が1名、4点が13名、2点が1名という評価となった。

問2 ○以前は、子育て支援の場所が限られ、ケアプランもない状態であったが、子育てのイベントや保育ママの制度等、様々な制度が手厚くなってきている。

○浦安市は、専業主婦にとっては育てやすい街ではあるが、保育園が不足しており受入態勢がないのが現状である。保育園の待機児童対策が重要と感じている。

○子育てだけではなく、思春期、青年期等全てのこどもを対象にした支援があるといい。

※ ひとり親のヒアリングについては、事業への参加者がいなかったため中止となりました。

第3章 グループヒアリング結果

ヒアリング結果とりまとめ中

<質問内容>

- 問1 浦安市の子育ての環境や支援への満足度はどのくらいですか。(不満1点～満足5点の5段階評価)
- 問2 浦安市の子育て支援を充実させていくために必要だと思われる支援などがございましたらお聞かせください。
- 問3 子育てされているご経験の中で感じていることがありましたら、ご意見をお聞かせください。
- 問4 市の、広報うらやすやホームページ、子育てハンドブックなどの情報媒体を利用されていますか。また、情報媒体を利用のしやすさ、どんな情報がほしいかもお聞かせください。

<ヒアリング対象者>

I 主催事業「ふたごちゃん、みつごちゃんあつまれ」参加者のヒアリング

実施日：11月7日(水) 10:30～11:00

実施場所：集合事務所 3階 子育て支援センター

参加者：主催事業参加者 10組(妊婦含む)

事務局：浦安市こども課 2名、業務委託業者(株)ぎょうせい 2名

II-1 主催事業「ほのぼのタイム(1回目)」参加者のヒアリング

実施日：11月22日(木) 10:00～12:00

実施場所：日の出公民館 2階 和室

参加者：主催事業参加者 16組

事務局：浦安市こども課 1名、業務委託業者(株)ぎょうせい 1名

II-2 主催事業「ほのぼのタイム(2回目)」参加者のヒアリング

実施日：12月3日(月) 10:00～12:00

実施場所：堀江公民館 2階 和室

参加者：主催事業参加者 14組

事務局：浦安市こども課 1名、業務委託業者(株)ぎょうせい 1名

III-1 「こども発達センター(1回目)」に通うこどもの保護者のヒアリング

実施日：1月30日(木) 10:30～12:00

実施場所：浦安市総合福祉センター 1階 こども発達センター

参加者：こども発達センターに通うこどもの保護者 3名

事務局：浦安市こども課 1名、業務委託業者(株)ぎょうせい 1名

Ⅲ-2 「こども発達センター（2回目）」に通うこどもの保護者のヒアリング

実施日：2月4日（月）10：30～11：30

実施場所：浦安市総合福祉センター 1階 こども発達センター

参加者：こども発達センターに通うこどもの保護者 2名

事務局：浦安市こども課 1名、業務委託業者（株）ぎょうせい 1名

Ⅳ 子育てケアマネジャーのヒアリング

実施日：12月13日（木）、12月14日（金）、12月17日（月）、1月15日（金）
1月21日（木）、1月22日（火） 計6日

実施場所：浦安市役所2階総合窓口、健康センター応援ルーム、集合事務所総合相談室

参加者：16名

事務局：浦安市こども課1名

※ ひとり親のヒアリングについては、事業への参加者がいなかったため中止となりました。

資料編

調査票を追加